

令和 5 年度
山陽小野田市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
アンケート集計結果

第 9 期山陽小野田市高齢者福祉計画及び
介護保険事業計画の策定に向けて

令和 5 年 8 月 1 5 日時点

＜山陽小野田市＞

目 次

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について	3
1 目的	3
2 調査基準日	3
3 調査期間	3
4 調査方法	3
5 調査対象者	3
6 日常生活圏域（中学校区）ごとの対象者と回答者人数	3
7 回答者の基礎集計	4
8 留意事項	5
II 調査結果の総括（概要と考察）	6
1 回答者の属性	6
2 家族や生活状況について	6
3 からだを動かすことについて	6
4 食べることについて	7
5 毎日の生活について	7
6 地域での活動について	8
7 たすけあいについて	8
8 健康について	9
9 認知症について	10
10 住み慣れた地域での暮らしについて	10
III 集計結果（全体）	12
問1 あなたのご家族や生活状況について	12
問1分析① 年齢階層・介護認定等と家族構成	14
問2 からだを動かすことについて	16
問2分析① 健康リスク判定【運動器の機能低下】	20
問2分析② 健康リスク判定【転倒リスク】	21
問2分析③ 健康リスク判定【閉じこもり傾向】	22
問3 食べることについて	24
問3分析① 健康リスク判定【低栄養状態】	27
問3分析② 健康リスク判定【咀嚼機能の低下】	27
問3分析③ 健康リスク判定【口腔機能の低下】	28
問4 毎日の生活について	30
問4分析① 健康リスク判定【認知機能の低下】	37
問4分析② 介護認定等・年齢階層と趣味・生きがいの有無	38
問5 地域での活動について	39
問6 たすけあいについて	44
問6分析① 家族構成と心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無	49

問 7 健康について.....	50
問 7 分析① 健康リスク判定【うつ傾向】	54
問 7 分析② 普段の運動と転倒リスク.....	55
問 7 分析③ 地域活動への参加頻度と健康状態	56
問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について	57
問 8 分析① 認知症相談窓口の認知度.....	58
問 9 住み慣れた地域での暮らしについて	59
問 9 分析① 地域包括支援センターの認知度	64
問 9 分析② 家族構成と人生の最後を迎えたい場所	65
問 9 分析③ 年齢階層とインターネット利用状況	65
問 9 分析④ 力を入れてほしい高齢者施策と普段の生活で困っていること	66
IV 集計結果（日常生活圏域別）	67
問 1 あなたのご家族や生活状況について	67
問 2 からだを動かすことについて.....	70
問 3 食べることについて.....	75
問 4 毎日の生活について.....	80
問 5 地域での活動について.....	91
問 6 たすけあいについて.....	96
問 7 健康について.....	105
問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について	110
問 9 住み慣れた地域での暮らしについて	112
V ニーズ調査（調査票様式）	121
VI 参考資料（令和 4 年度山陽小野田市高齢者福祉実態調査結果）	135

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

1 目的

山陽小野田市に居住する高齢者の状況を把握することで、地域課題を把握（地域診断）し、地域の目標を設定し、第9期山陽小野田市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画における介護予防事業等の施策に反映することを目的に実施しました。

2 調査基準日

令和5年4月1日

3 調査期間

令和5年4月20日（木）～令和5年5月25日（木）

4 調査方法

郵送による配布、回収

5 調査対象者

基準日時点で65歳以上の市民で、下記条件で中学校区ごとに無作為に抽出した者（合計3,000人）

- (1) 総合事業対象者の認定を受けている者 246人
- (2) 要支援1, 2の認定を受けている者 442人
- (3) 要介護認定を受けていない者（一般高齢者） 2,312人

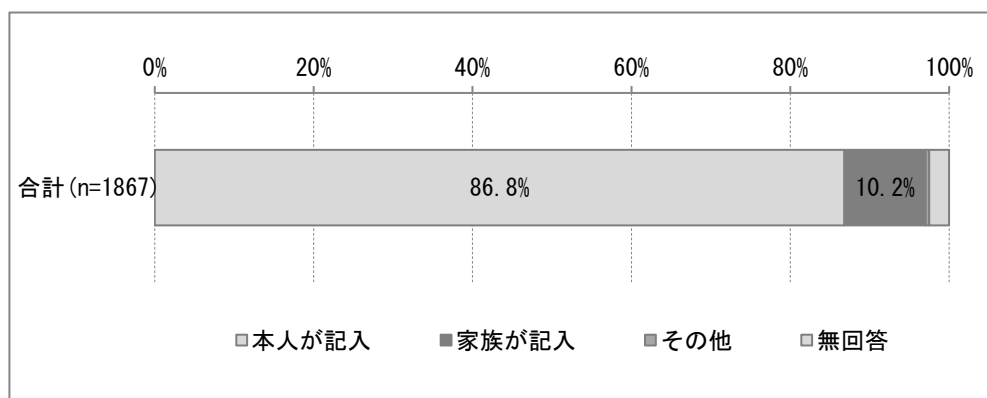
6 日常生活圏域（中学校区）ごとの対象者と回答者人数

（回収率 62.2%）

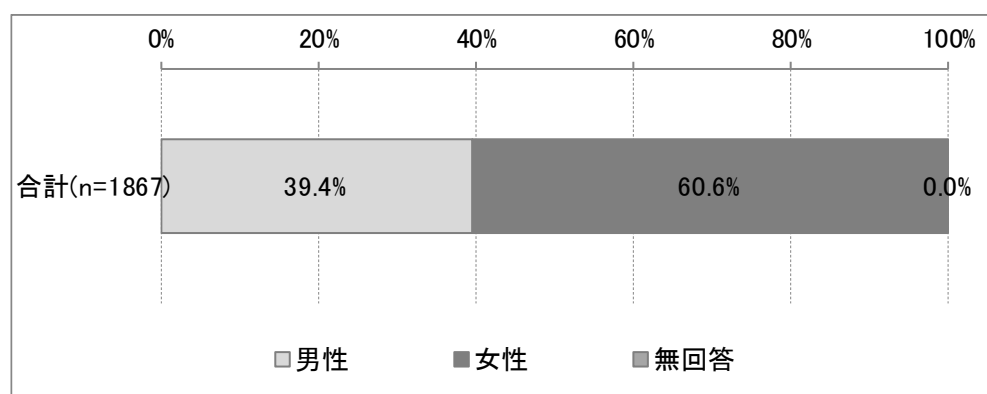
圏域	事業対象者		要支援1		要支援2		一般高齢者		合 計	
	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答
竜 王	31	18	29	22	22	14	279	163	361	217
小野田	67	44	49	33	54	33	530	331	700	441
高千帆	98	62	63	38	63	31	713	439	937	570
厚 狭	27	18	55	40	42	26	463	308	587	392
厚 陽	10	4	11	6	12	5	103	69	136	84
埴 生	13	7	17	11	25	15	224	130	279	163
合 計	246	153	224	150	218	124	2,312	1,440	3,000	1,867

7 回答者の基礎集計

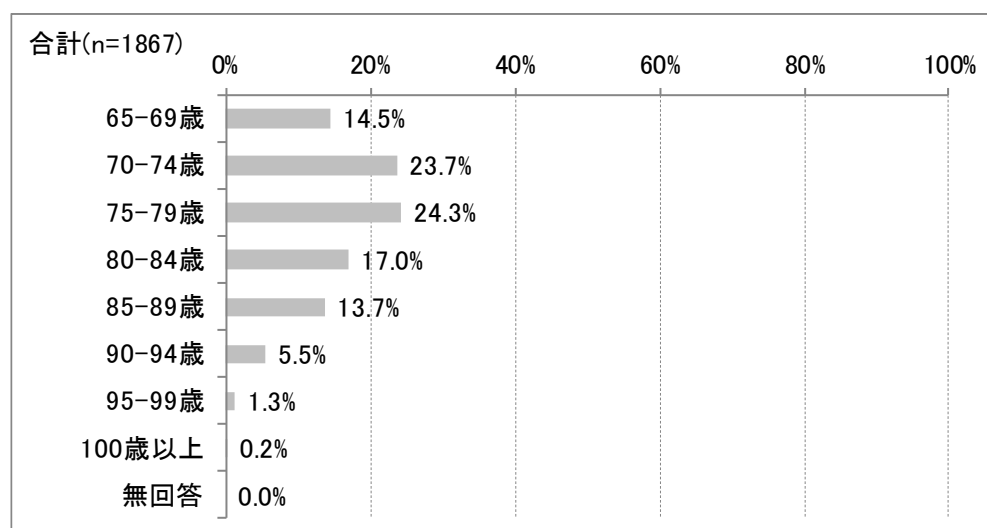
(1) 調査票を記入した人



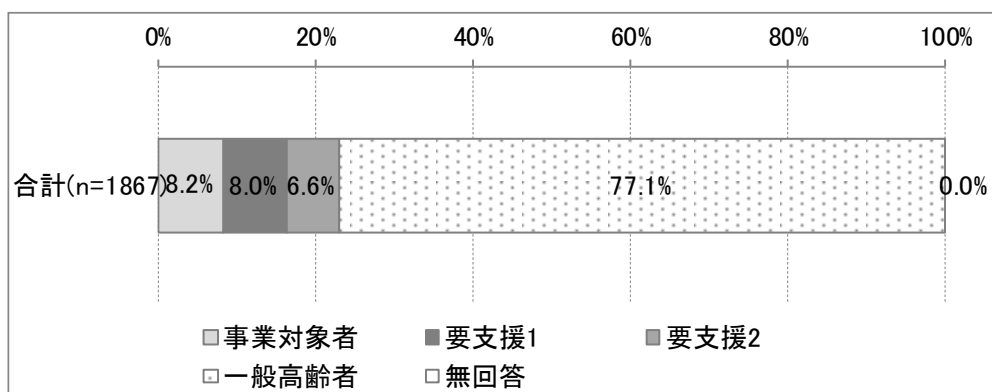
(2) 性別



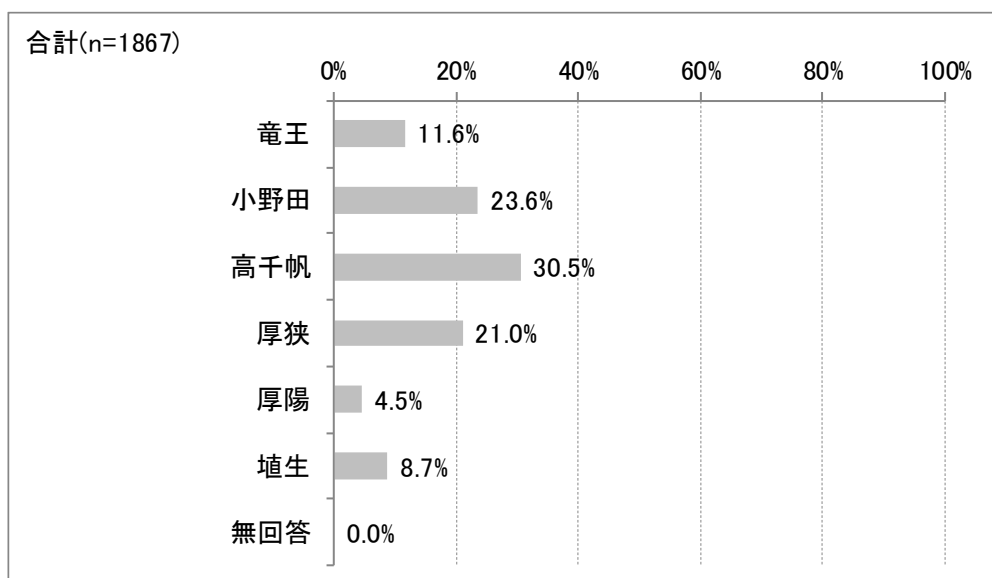
(3) 年齢構成



(4) 介護認定等状況



(5) 日常生活圏域別の回答割合



8 留意事項

- ・集計した回答割合は、小数点以下の端数処理により合計が 100%にならないことがあります。また、グラフ表示が煩雑になるため、比率の低いものは数値の表示を省略しているものがあります。
- ・「SA」は単数回答、「MA」は複数回答、「★」は独自設問を示します。

Ⅱ 調査結果の総括（概要と考察）

1 回答者の属性

- 調査票を記入したのは、調査対象者「本人」が 86.8%となっています。（4 頁）
- 回答者の性別は、「男性」が 39.4%、「女性」が 60.6%となっています。（4 頁）
- 回答者の年齢は、65 歳以上 74 歳以下の「前期高齢者」が 38%、75 歳以上の「後期高齢者」が 62%となっています。（4 頁）
- 回答者は、介護認定等を受けていない人が 77%、総合事業や要支援 1・2 の認定者が 23%となっています。（5 頁）

2 家族や生活状況について

(1) 結果概要

- 回答者の家族構成は、「1 人暮らし」が 26.0%、「夫婦 2 人暮らし」が 41.8%、「息子・娘との 2 世帯」が 15.1%となっています。年齢が高いほど、「1 人暮らし」の割合が高い傾向にあります。（12 頁）
- 「介護・介助が必要ない」と答えた人が 73.6%となっており、「何らかの介護・介助は必要」又は「介護を受けている」と答えた人が 19.9%となっています。（12 頁）
- 「介護・介助が必要になった主な原因」は、「高齢による衰弱」が 18.9%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が 16.0%となっています。（13 頁）
- 誰から介護・介助を受けているかについては、「娘」が 31.7%で最も高く、次いで「配偶者」が 28.4%となっています。（13 頁）
- 現在の暮らしの状況を経済的にみて「ふつう」「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」と答えた人が 69.5%となっており、「大変苦しい」「やや苦しい」と答えた人が 29.8%となっています。（14 頁）
- 住まいは「持ち家（一戸建て）」が 87.3%となっています。（14 頁）

(2) 考察

- 年齢層が上がるほど「1 人暮らし」の割合が高くなっています。今後高齢化がさらに進むことで「家族による介護・支援が見込めない高齢者」が増加することが見込まれるため、高齢者の相談窓口の周知と重層的な支援体制の構築が必要となります。（14・15 頁）

3 からだを動かすことについて

(1) 結果概要

- 前回調査は新型コロナウイルス感染症が拡大していた時期と重なっていたため、外出を控えている回答が多い傾向にありました。今回の調査では「控えていない」と答えている人が 62.8%となっています。（18 頁）
- 健康リスク判定による運動器の機能低下が疑われる割合（リスクあり）は 27.4%となっています。年齢構成別にみると、年齢が高いほどリスクが高い傾向にあり、85 歳

以上では半数以上がリスクありとなっています。（20・21 頁）

- 健康リスク判定による閉じこもり傾向が疑われる割合（週 2 回以上外出していない場合はリスクあり）は、24.6%となっています。家族構成別にみると、夫婦 2 人暮らしの場合、約 8 割が週 2 回以上外出していると回答しています。（22・23 頁）

（2）考察

- 運動器の機能低下は、高齢化や介護認定等が悪化するほど「リスクあり」の割合が高くなる傾向があります。運動器の機能が低下することにより、外出しにくくなることが考えられるため、筋力の維持・向上や介護予防の取組を継続していく必要があります。（20・21 頁）
- 閉じこもり傾向は、「1 人暮らし」「息子・娘との 2 世帯」では「リスクあり」の割合が高くなる傾向があります。そのため、1 人暮らしの人の外出頻度を高めるための支援や同居家族に対するリスク周知を図る必要があります。（22・23 頁）
- 外出する際の移動手段では、「自動車（自分で運転）」や「徒歩」の割合が高くなっています。高齢化に伴う転倒リスクの増加や運転免許証返納後の移動手段確保が課題となるため、高齢者が安全に外出・移動できる仕組みを検討する必要があります。（19・21・22 頁）

4 食べることについて

（1）結果概要

- 健康リスク判定による低栄養状態が疑われる割合（リスクあり）は 1.6%となっています。（27 頁）
- 健康リスク判定による咀嚼機能の低下が疑われる割合（リスクあり）は 37.1%となり、口腔機能の低下が疑われる割合（リスクあり）は 29.3%となっています。（27～29 頁）

（2）考察

- 「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」と答えた人が 37.1%となっています。咀嚼機能や口腔機能の低下により低栄養になるリスクがあるため、機能が低下する前の段階から咀嚼・口腔ケアの普及啓発を進めていく必要があります。（24 頁）

5 毎日の生活について

（1）結果概要

- 健康リスク判定による認知機能の低下が疑われる割合（リスクあり）は 42.9%となっています（37 頁）
- 趣味や生きがいの有無は、「趣味あり」が 66.0%、「生きがいあり」が 49.8%となっています。介護認定等が悪化するほど、趣味や生きがいがある割合が低くなる傾向があります。（35・38 頁）
- 普段の生活で困っていることは、「重い物の移動」「草取り・草刈り」「庭木の手入れ」が多くなっています。（36 頁）

(2) 考察

- 認知機能の低下が疑われる割合は4割を超えているため、認知症の相談窓口や成年後見制度、地域包括支援センターの周知を本人やその家族も含め、推進していく必要があります。(37頁)
- 介護認定等が悪化するほど、趣味や生きがいがある割合が低くなる傾向があります。本人が生きがいを持って生活していけるよう趣味や生きがいの創出やきっかけづくりを進めていく必要があります。(38頁)
- 普段の生活の困りごとでは、重い物の移動や草取り等、軽易な生活支援を回答している割合が多くなっています。安心して自宅で暮らし続けることができるよう公助だけでなく、地域での助け合いの仕組みづくりを進めていく必要があります。(36頁)

6 地域での活動について

(1) 結果概要

- 地域活動への参加頻度について、「ボランティアのグループ」は週1回以上が3.5%、「スポーツ関係のグループやクラブ」は週1回以上が12.8%、「趣味関係のグループ」は週1回以上が10.1%、「学習・教養サークル」は週1回以上が2.5%、「介護予防のための通いの場や百歳体操」は週1回以上が11%、「老人クラブ」は週1回以上が1.4%、「町内会・自治会」は週1回以上が1.8%、「収入のある仕事」は週1回以上が15.1%となっています。(39～42頁)
- 健康づくり活動や趣味等のグループ活動について、参加者として参加したい割合は「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせて46.6%となっていますが、お世話役として参加したい割合は「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせて25.6%となっています。(43頁)

(2) 考察

- 地域での活動の参加頻度については、活動内容や団体の違いで参加の割合が異なりますが、参加割合が高いものでも2割に満たない割合となっています。地域でどのような活動が行われているか周知するなど、参加のきっかけづくりを進めていく必要があります。(39～42頁)
- 地域活動のお世話役の担い手不足が課題とされています。高齢化が進展しても持続可能な地域活動としていくことため、効率的な人材のマッチングを進めるための手法を検討していく必要があります。(43頁)

7 たすけあいについて

(1) 結果概要

- 心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が46.3%で最も高く、次いで「別居の子ども」が37.7%、「友人」が37.2%となっています。家族構成別にみると、1人暮らしでは、「そのような人はいない」が11.9%と他の世帯と比較して高くなっている傾向があります。(44頁)

○病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が 50.7%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 34.4%、「同居の子ども」が 20.2%となっています。（45 頁）

○よく会う友人・知人の関係は、「近所・同じ地域の人」が 49.1%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 30.4%、「仕事での同僚・元同僚」が 23.7%となっています。（47 頁）

(2) 考察

○心配事や愚痴を聞いてくれる人、看病や世話をしてくれる人について、1 人暮らしでは「そのような人がいない」と回答した割合が高くなっています。何かあったときの相談窓口の周知や地域での見守りを進めていく必要があります。（49 頁）

8 健康について

(1) 結果概要

○健康状態は、「とてもよい」が 7.7%、「まあよい」が 60.8%、「あまりよくない」が 21.0%となっています。（50 頁）

○自身の幸福感を 10 点満点で回答してもらったところ、8 点以上が 41.1%、5 点から 7 点が 42%、4 点以下が 8.6%となっています。（50 頁）

○健康リスク判定によるうつ傾向が疑われる割合（リスクあり）は 43.4%となっています。家族構成別にみると、1 人暮らしの人でリスクがある割合は 49.7%となっており、他の世帯と比べて高い傾向があります。また、介護認定等が悪化するほど、リスクがある割合が高くなる傾向があります。（54・55 頁）

○普段の運動について、「運動している」と答えた人は「運動していない」と答えた人に比べて、普段の生活で困っていることが少ない傾向があります。

また、転んだ経験や転倒に対する不安も少ない傾向があります。（55・56 頁）

○地域活動の参加頻度別に健康状態をみると、「週 1 回以上参加がある」と答えた人は「健康状態がよい」の割合が高くなる傾向があります。（56 頁）

(2) 考察

○うつ傾向が疑われる割合は 1 人暮らしの人や介護認定等が悪化するほど、リスクがある割合が高くなる傾向があります。うつ傾向が要因となり閉じこもり等他の健康リスクにつながることも考えられるため、介護予防の取組や地域との関わり、生きがいづくりを促すきっかけづくりを進めていく必要があります。（54・55 頁）

○普段運動している人は、運動していない人に比べて転倒リスクが少ない傾向があります。実施している運動の構成別にみると、「散歩・ウォーキング」「体操・ストレッチ」が突出して多くなっており、負荷が低い運動は高齢になっても無理なく続けることができると考えられるため、引き続きこれら運動の普及啓発を進めていく必要があります。（55・56 頁）

9 認知症について

(1) 結果概要

- 本人や家族に認知症の症状がある人について、「いる」が 10.9%、「いない」が 81.3%となっています。（57 頁）
- 認知症に関する相談窓口の認知度は、「知っている」が 28.1%、「知らない」が 63.6%となっています。（57 頁）
- 成年後見制度の認知度は、「知っている」が 43.5%、「知らない」が 47.3%となっています。（57 頁）
- 「認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる」場合でも、50.2%が認知症の相談窓口を知らないと答えています。（58 頁）

(2) 考察

- 8割以上の方が本人や家族で認知症の症状がある人はいないと答えていますが、認知症は誰もがなりうる病気であるため、認知症の知識や相談窓口、成年後見制度の普及啓発を進めていく必要があります。
また、「認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる」場合でも、50.2%が認知症の相談窓口を知らないと答えています。認知症のある人やその家族が地域や社会から取り残されることがないように、相談窓口の更なる周知を進めていく必要があります。（57・58 頁）
- 認知症の症状がある人やその家族に対して関係者が連携して関わり、支援する仕組みづくりを進めていく必要があります。

10 住み慣れた地域での暮らしについて

(1) 結果概要

- 地域包括支援センターについて、「知っている」が 27.2%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 40.9%、「知らない」が 25.1%となっています。（59 頁）
- 介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けたいかについて、「家族や在宅サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」が 54.5%、「施設で暮らしたい」が 24.2%、「わからない」が 11.9%となっています。（59 頁）
- 「施設で暮らしたい」と考える理由は、「家族への負担」が 55.0%、「病状が急変したときに不安」「急変時に入院できるか不安」が合わせて 41%、「介護してくれる家族がいない」が 17.0%となっています。（60 頁）
- 人生の最後を迎えたい場所について、「自宅」が 50.3%、「医療機関」が 15.3%、「施設」が 10.2%となっています。家族構成別にみると、1人暮らしの人は他の世帯に比べて施設や医療機関の割合が高い傾向にあります。（62・65 頁）
- インターネットの利用状況について、「利用している」が 37.3%、「利用していない」が 53.8%となっています。年齢階層別にみると、前期高齢者は「自分一人で、ある程度利用している」と答えた人が 55.4%となっている一方、後期高齢者は「自分一人で、ある程度利用している」と答えた人が 21.1%となっています。（63・65・66 頁）

- 高齢者施策で特に力を入れてほしい項目について、「安心して外出できる移動手段の確保」が 26.1%、「家族による介護を援助する福祉サービスの充実」が 24.3%、「在宅医療（訪問診療・訪問看護等）の充実」が 23.9%、「緊急時に通報ができる装置の貸与」が 20.9%、「高齢者福祉の相談ができる窓口の充実」が 20.7%となっています。（64 頁）

(2) 考察

- 地域包括支援センターの役割まで知っている人は3割弱となります。

また、何かあったときに相談する相手がいないと答えた人は、相談相手がいると答えた人と比べて地域包括支援センターの認知度が低い傾向にあります。高齢者が安心して生活を継続できるよう、地域包括支援センターの周知を促進していく必要があります。（59・64・65 頁）

- 介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいかについて、家族の介護や在宅サービスを受けながら自宅で暮らしたいと答えた人が半数以上となっている一方、介護してくれる家族への負担を不安に感じている人が多くなっています。安心して住み慣れた地域で自宅での生活を継続できるよう、本人や家族を介護する人の負担を軽減するため、効果的な取組を進めていく必要があります。（59・60 頁）

- 施設で暮らしたいと答えた人の 45.9%が急変時の不安や 24 時間相談に乗ってくれるところがないことを理由としています。これらの不安を軽減し、在宅生活継続の限界点を伸ばすため、医療と介護の連携を進め、在宅医療の普及啓発を図るとともに、緊急時通報装置（安心相談ナースホン）の普及を進めていく必要があります。（60 頁）

- インターネットの利用状況では、自分一人で、ある程度利用していると答えた人が前期高齢者で多くなっています。

また、普段の生活をおくる上で必要なものでは、「携帯電話・スマートフォン」が 58.7%となり、今後さらにその割合が高くなることが予測されるため、インターネットやスマートフォン等を用いた情報の周知方法やデジタル活用について、検討を進めていく必要があります。（65・66 頁）

- 今後、特に力を入れてほしいと思われる高齢者施策では、「安心して外出できる移動手段の確保」が高い割合となっています。調査時点で普段の生活で困っていることとして「外出時の移動手段」を回答している割合は高くありませんが、運転免許証返納や運転できる家族がいなくなることによる閉じこもりを予防するため、移動手段を確保することだけに限らず、地域の活性化や生活支援の観点を踏まえ、地域特性を考慮した検討を進めていく必要があります。（36・64・66 頁）

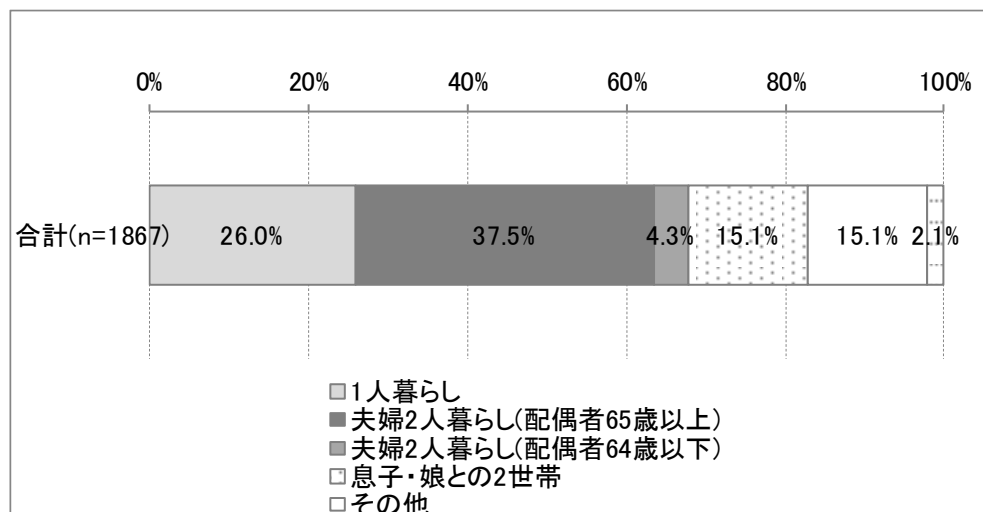
- 高齢化が進展し、介護が必要となる人が多くなることが予測されています。家族を介護する人の負担を軽減し、仕事と介護が両立できる環境整備を啓発し、介護離職を防ぐための取組を進めていく必要があります。

Ⅲ 集計結果（全体）

問 1 あなたのご家族や生活状況について

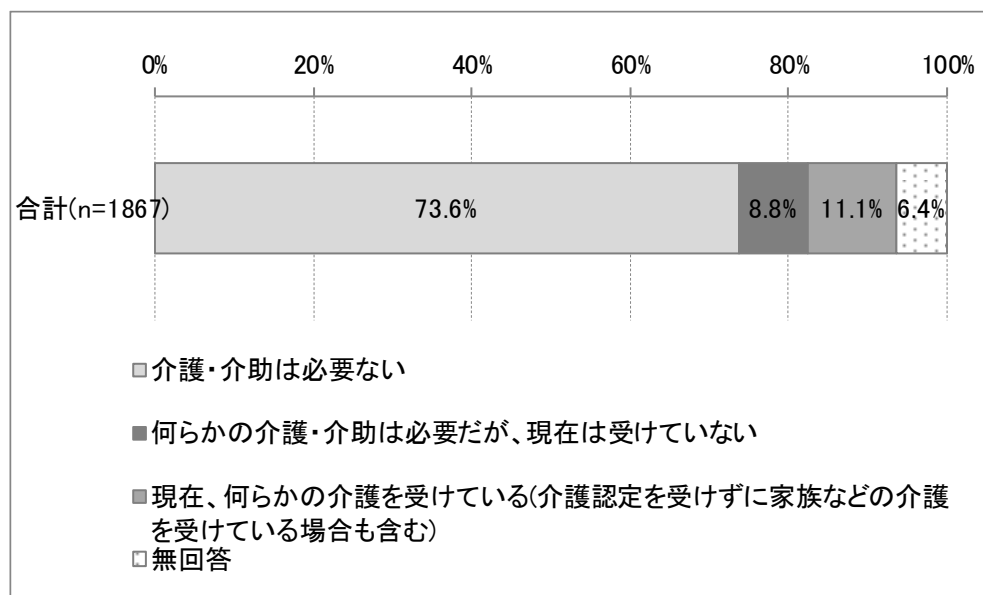
問 1 (1) 家族構成をお教えてください (SA)

○「夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上) (37.5%)」の割合が最も高く、次いで、「1 人暮らし (26.0%)」、「息子・娘との 2 世帯 (15.1%)」となっています。



問 1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (SA)

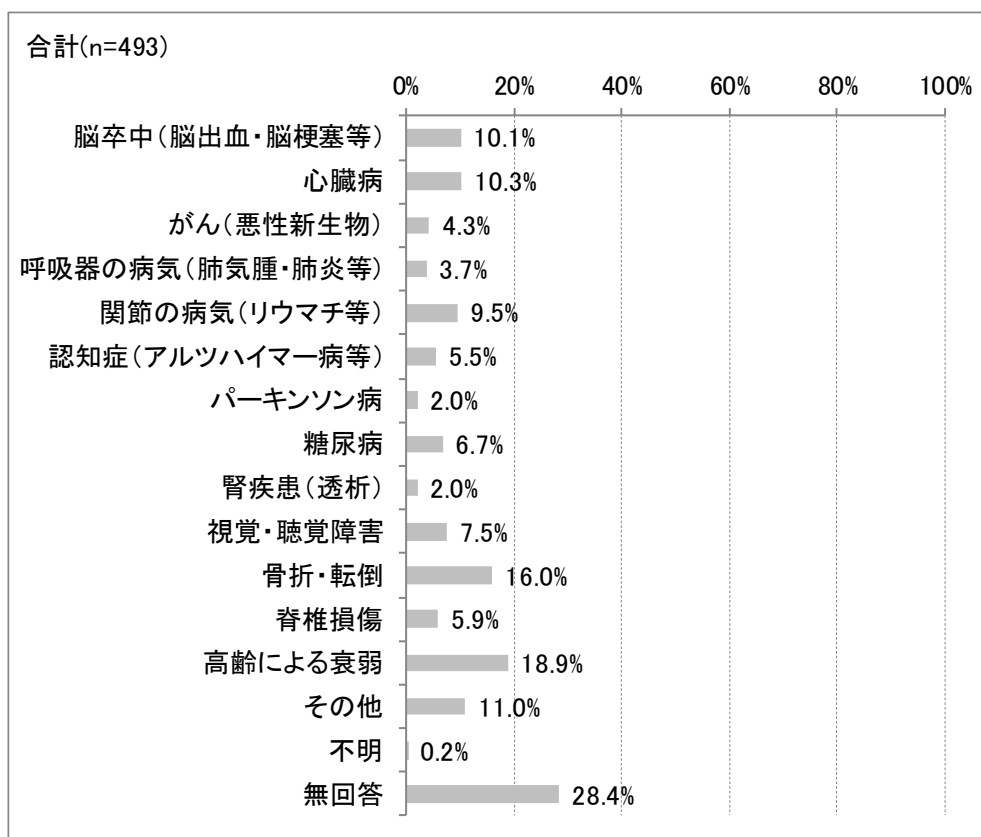
○「介護・介助は必要ない (73.6%)」の割合が最も高く、次いで、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) (11.1%)」が高い割合となっています。



【(2)において、「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問 1 (2-1) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (MA)

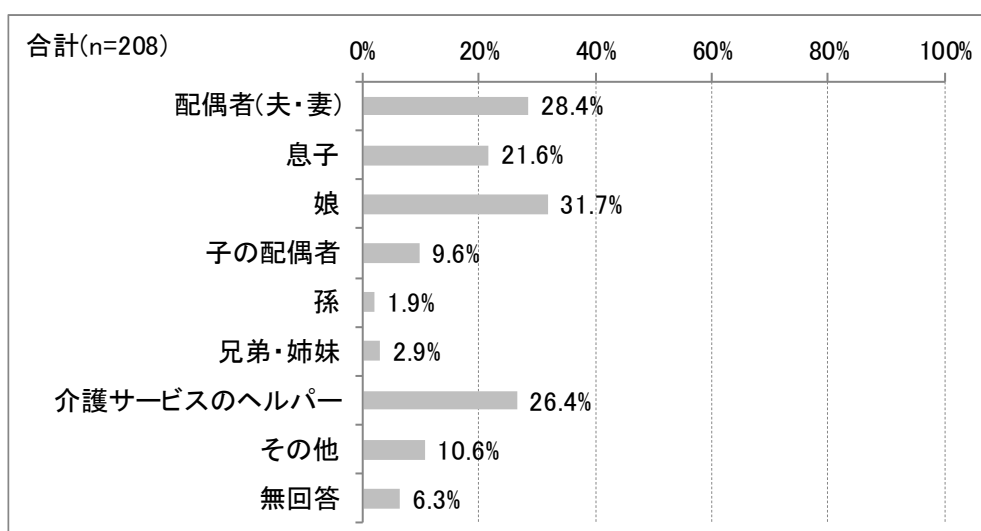
○「高齢による衰弱 (18.9%)」の割合が最も高く、次いで、「骨折・転倒 (16.0%)」が高い割合となっています。



【(2)において、「現在、何らかの介護を受けている」方のみ】

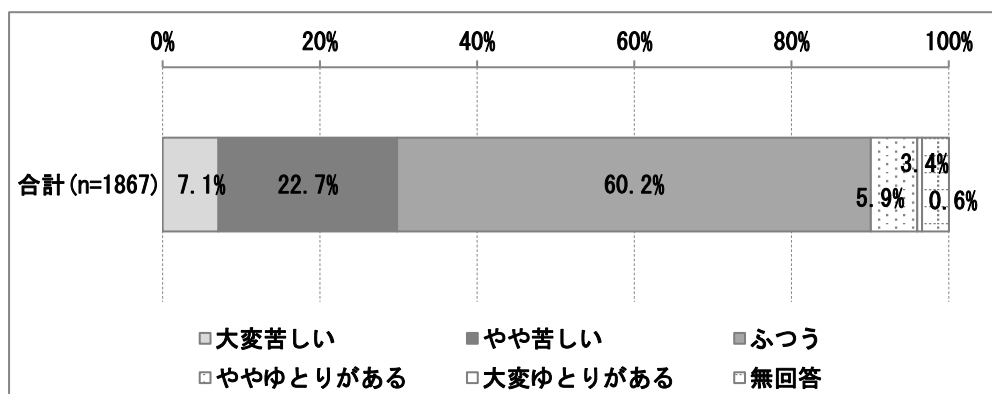
問 1 (2-2) 主にどなたの介護、介助を受けていますか (MA)

○「娘 (31.7%)」の割合が最も高く、次いで、「配偶者 (夫・妻) (28.4%)」が高い割合となっています。



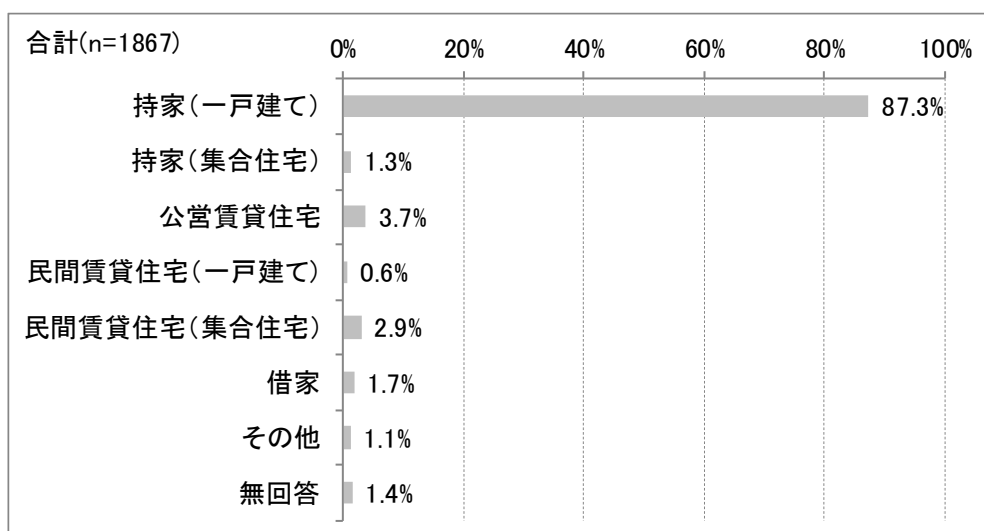
問 1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (SA)

○「ふつう (60.2%)」の割合が最も高く、次いで、「やや苦しい (22.7%)」、「大変苦しい (7.1%)」となっています。



問 1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (SA)

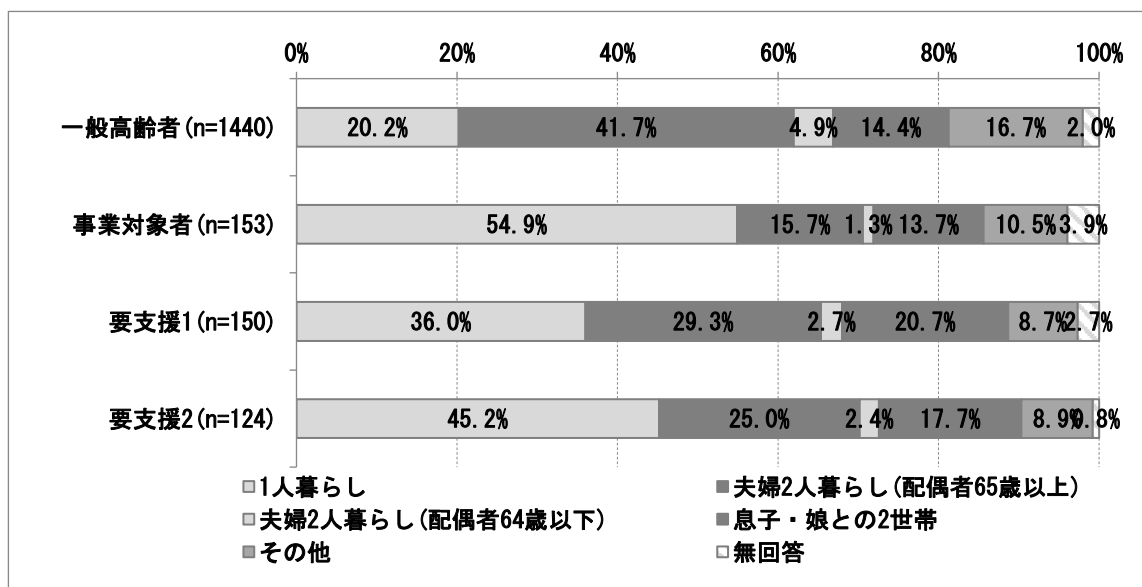
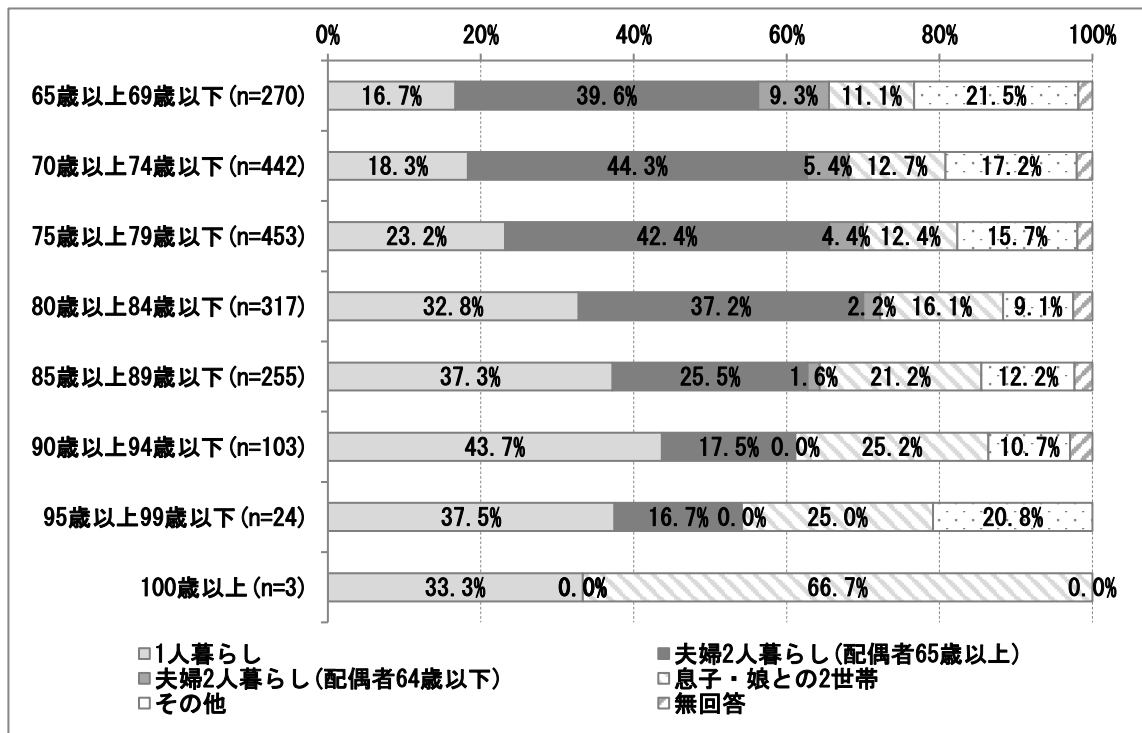
○「持ち家 (一戸建て) (87.3%)」の割合が最も高く、次いで、「公営賃貸住宅 (3.7%)」、「民間賃貸住宅 (集合住宅) (2.9%)」となっています。



問 1 分析① 年齢階層・介護認定等と家族構成

○ここでは、年齢階層・介護認定等と問 1 (1)の項目から年齢階層別・介護認定等別の家族構成について分析しています。

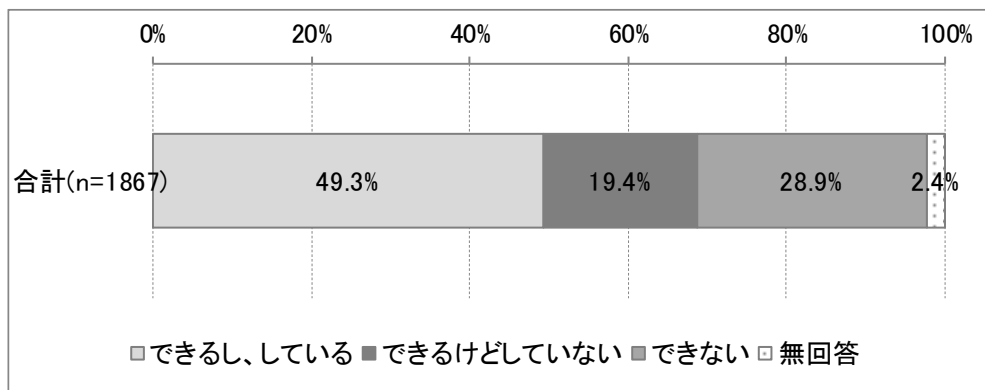
○年齢階層が上がるほど、1人暮らしの割合が高くなる傾向があります。



問2 からだを動かすことについて

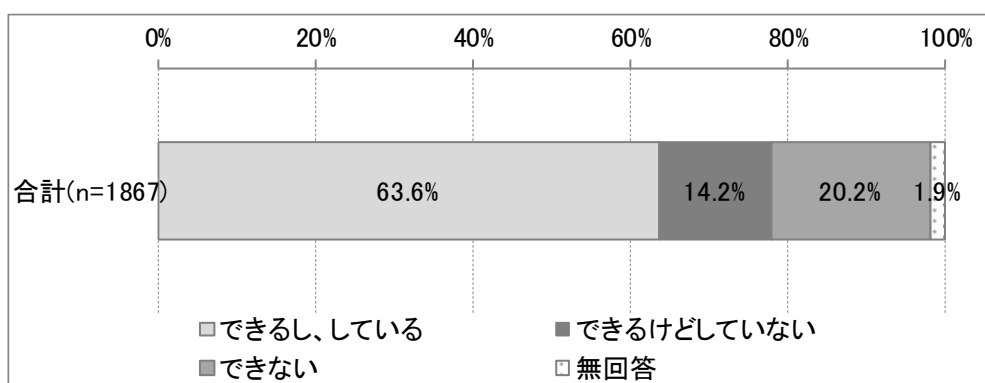
問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (SA)

○「できるし、している（49.3%）」の割合が最も高く、次いで、「できない（28.9%）」、「できるけどしていない（19.4%）」となっています。



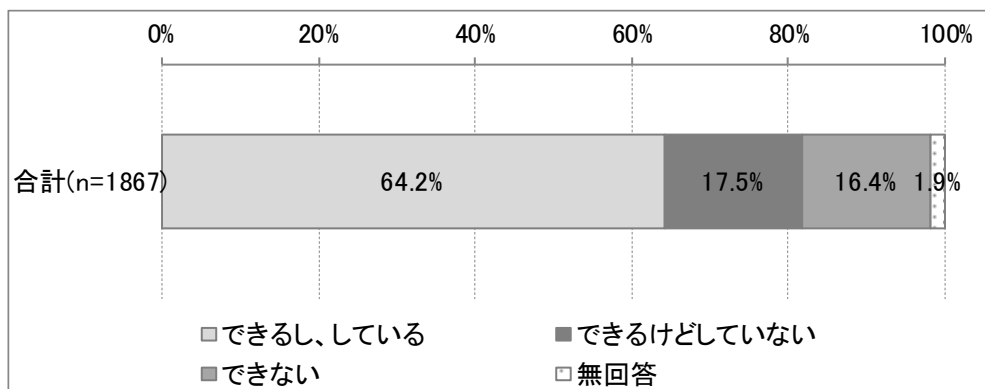
問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (SA)

○「できるし、している（63.6%）」の割合が最も高く、次いで、「できない（20.2%）」、「できるけどしていない（14.2%）」となっています。



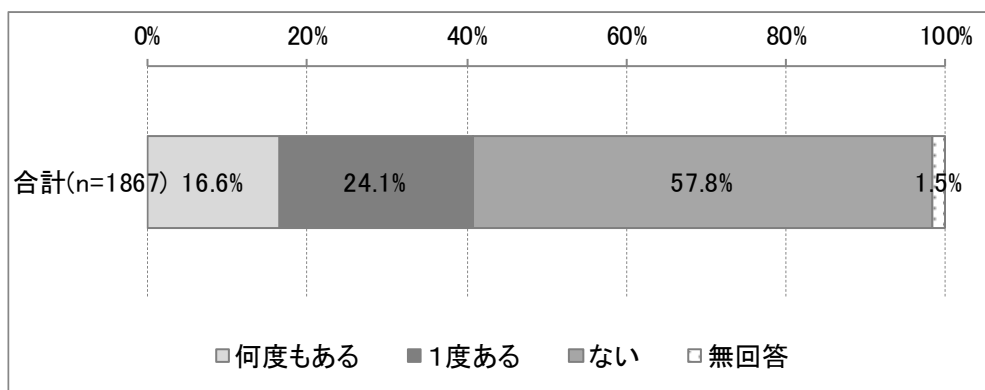
問2 (3) 15分位続けて歩いていますか (SA)

○「できるし、している（64.2%）」の割合が最も高く、次いで、「できるけどしていない（17.5%）」、「できない（16.4%）」となっています。



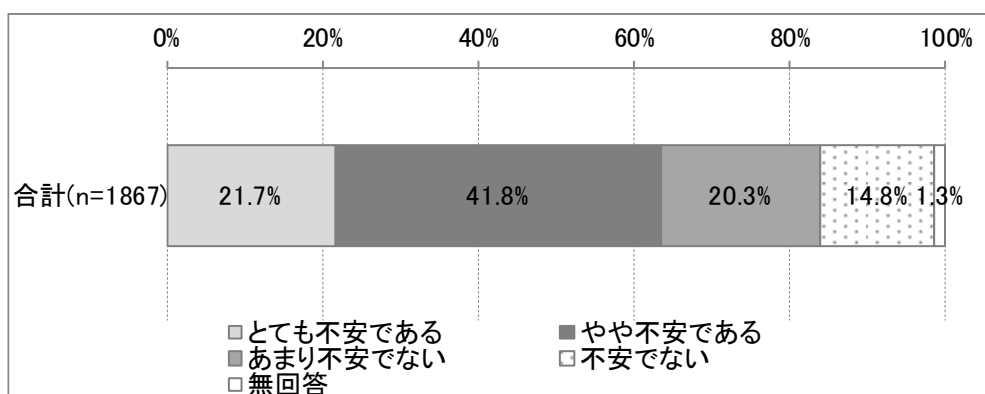
問 2 (4) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか (SA)

○「ない (57.8%)」の割合が最も高く、次いで、「1 度ある (24.1%)」、「何度もある (16.6%)」となっています。



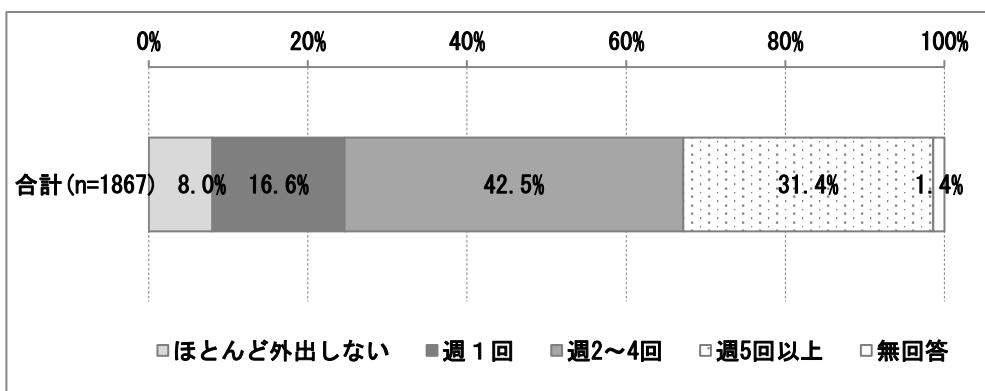
問 2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (SA)

○「やや不安である (41.8%)」の割合が最も高く、次いで、「とても不安である (21.7%)」、「あまり不安でない (20.3%)」となっています。



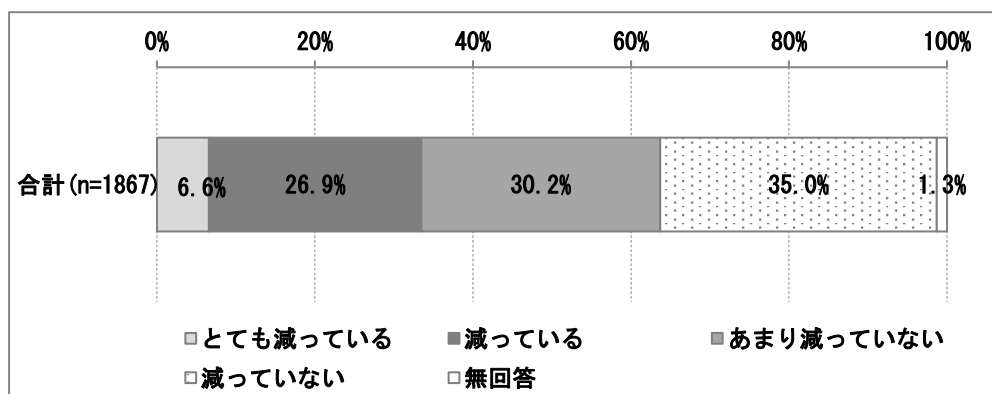
問 2 (6) 週に 1 回以上は外出していますか (SA)

○「週 2～4 回 (42.5%)」の割合が最も高く、次いで、「週 5 回以上 (31.4%)」、「週 1 回 (16.6%)」となっています。



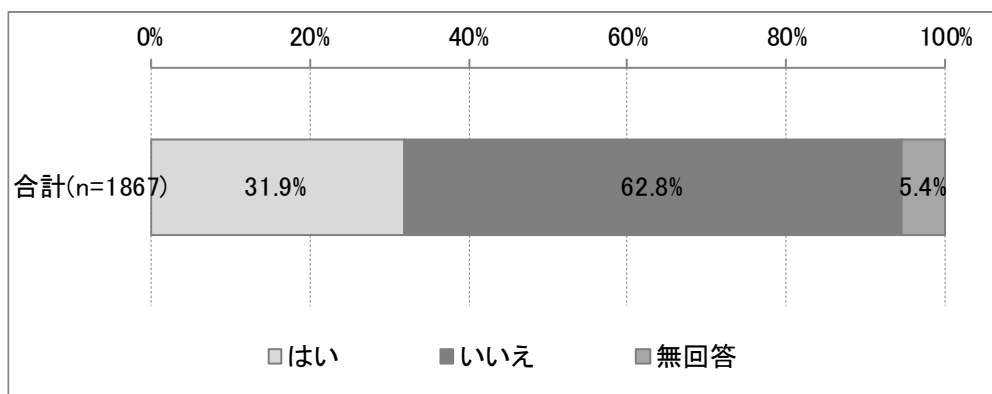
問 2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (SA)

○「減っていない (35.0%)」の割合が最も高く、次いで、「あまり減っていない (30.2%)」、「減っている (26.9%)」となっています。



問 2 (8) 外出を控えていますか (SA)

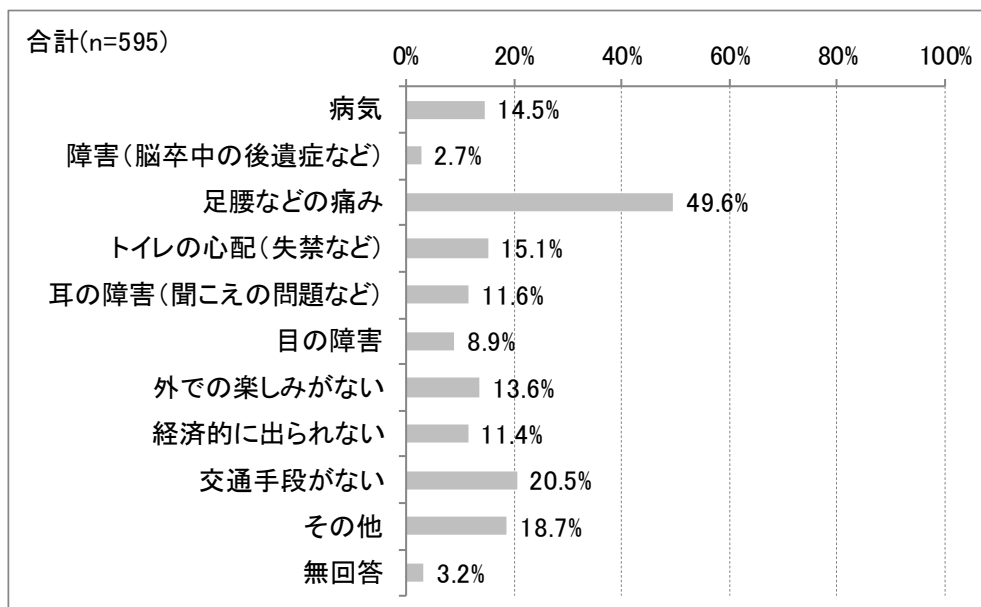
○「いいえ (62.8%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (31.9%)」となっています。



【(8)において、「はい（外出を控えている）」の方のみ】

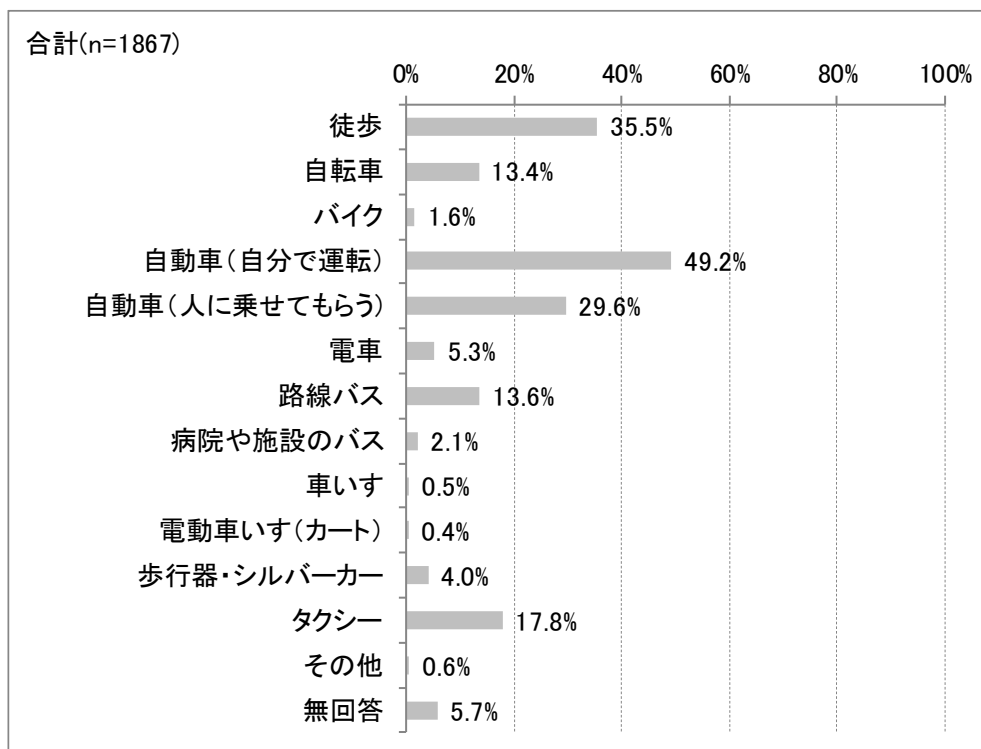
問 2 (8-1) 外出を控えている理由は、次のどれですか (MA)

○「足腰などの痛み（49.6%）」の割合が最も高く、次いで、「交通手段がない（20.5%）」、「その他（18.7%）」となっています。



問 2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (MA)

○「自動車（自分で運転）（49.2%）」の割合が最も高く、次いで、「徒歩（35.5%）」、「自動車（人に乗せてもらう）（29.6%）」となっています。



問2分析① 健康リスク判定【運動器の機能低下】

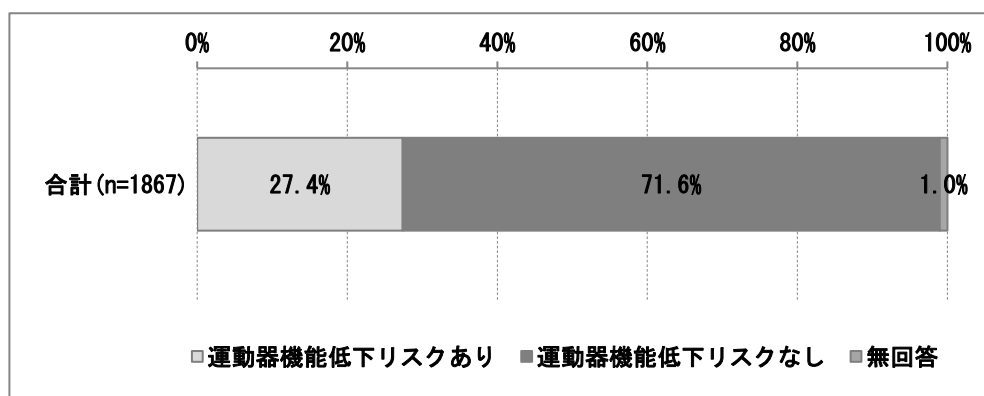
○ここでは、問2(1)～(5)の項目から運動器の機能低下リスクについて分析しています。

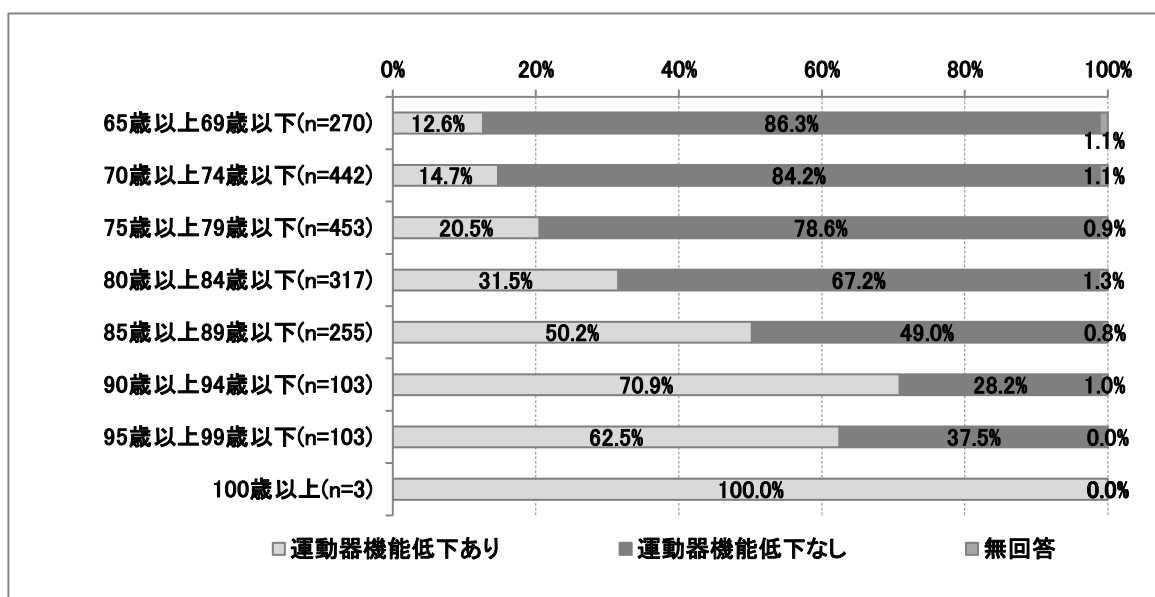
《判定方法》

下記の設問で3問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、運動器の機能が低下している高齢者となります。

設問		選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

○リスク判定の結果、「運動器機能低下」が疑われる割合は27.4%となっています。年齢階層別にみると、高齢になるにつれて運動器の機能が低下している傾向があります。





問2分析② 健康リスク判定【転倒リスク】

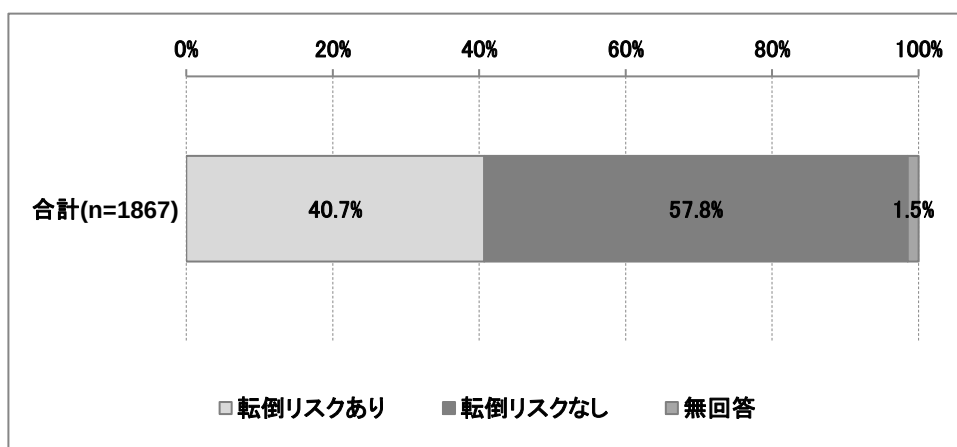
○ここでは、問2(4)の項目から転倒リスクについて分析しています。

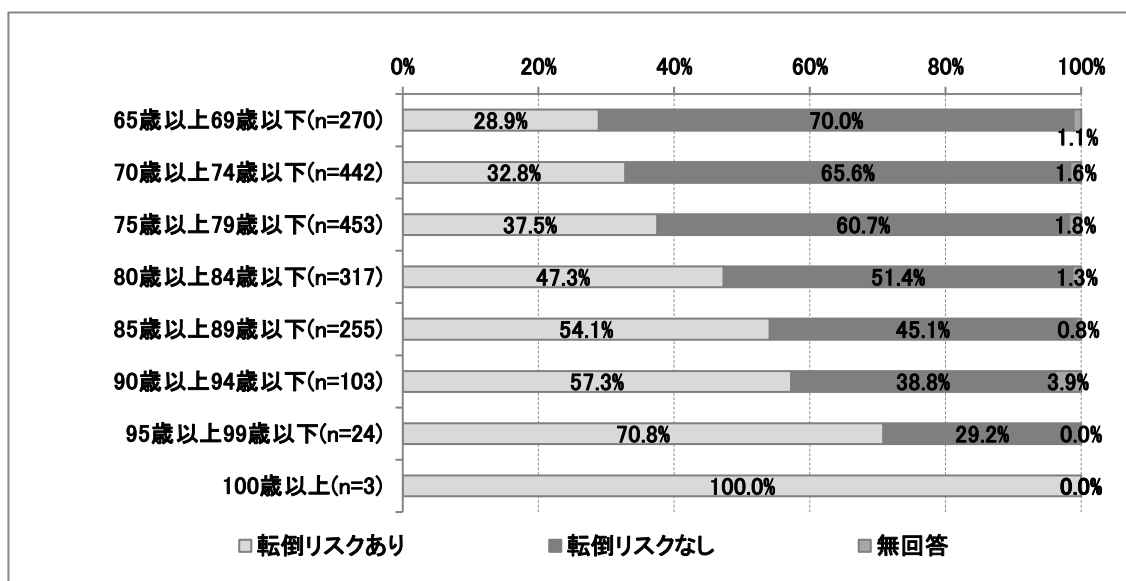
《判定方法》

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問		選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

○リスク判定の結果、「転倒リスク」が疑われる割合は40.7%となっています。年齢階層別にみると、高齢になるにつれて転倒リスクが増加している傾向があります。





問2分析③ 健康リスク判定【閉じこもり傾向】

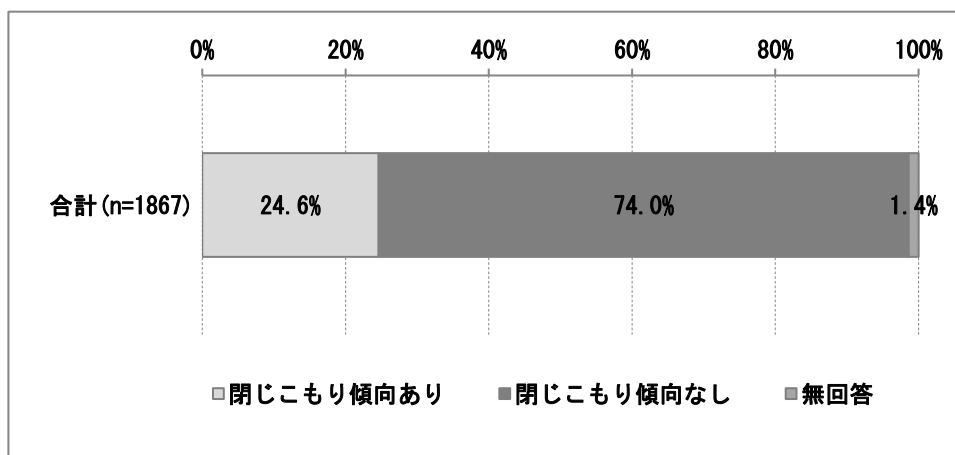
○ここでは、問2(6)の項目から閉じこもり傾向について分析しています。

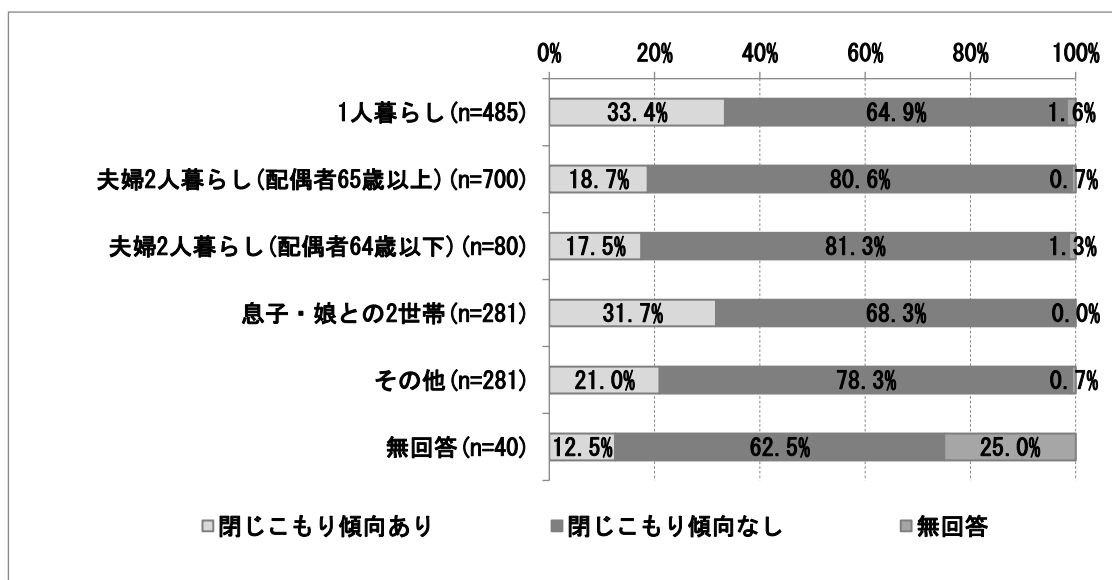
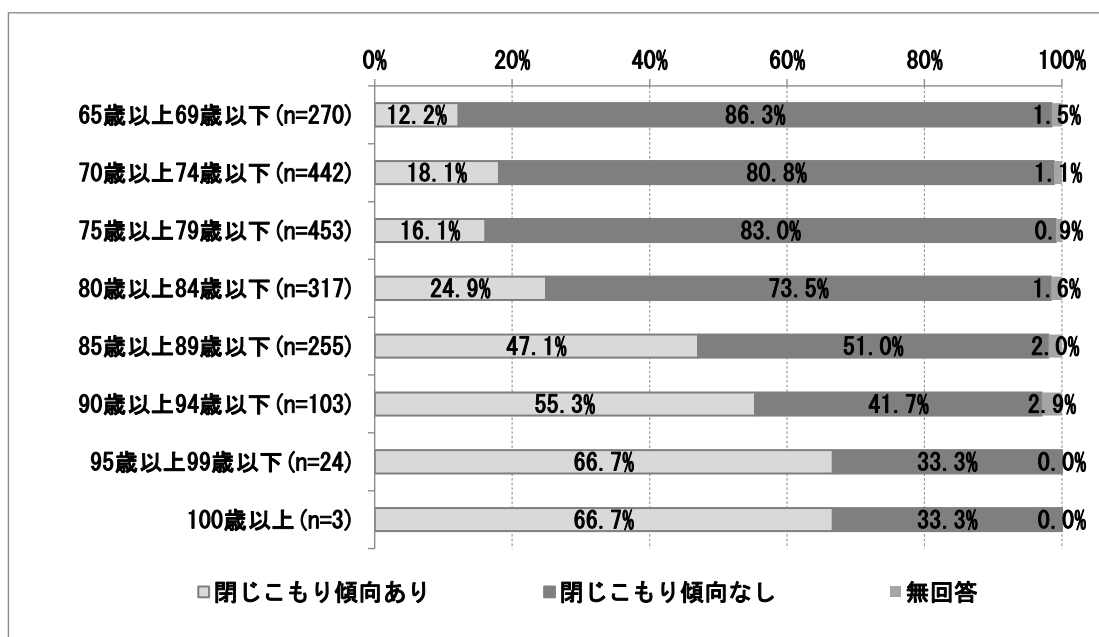
《判定方法》

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、閉じこもり傾向ある高齢者となります。

設問		選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

○リスク判定の結果、「閉じこもり傾向」が疑われる割合は 24.6%となっています。年齢階層別にみると、高齢になるにつれて閉じこもり傾向の割合が増加する傾向があります。家族構成別にみると、「1人暮らし」や「息子・娘との2世帯」でも閉じこもり傾向の割合が増加する傾向があります。



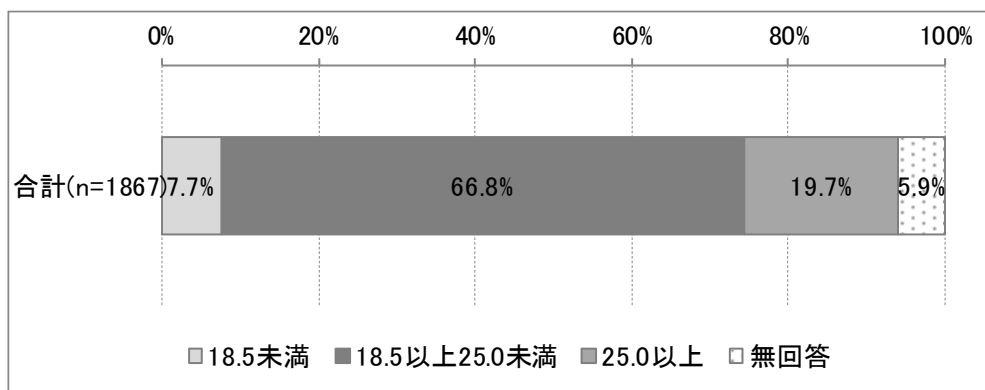


問3 食べることについて

問3(1) 身長・体重を記入してください

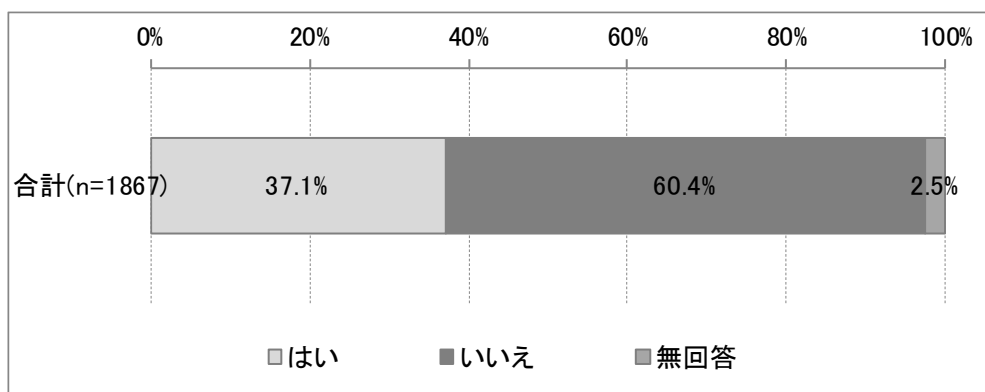
※グラフは、身長・体重から BMI を算出して作成。

- 「18.5 以上 25.0 未満（66.8%）」の割合が最も高く、次いで、「25.0 以上（19.7%）」、「18.5 未満（7.7%）」となっています。



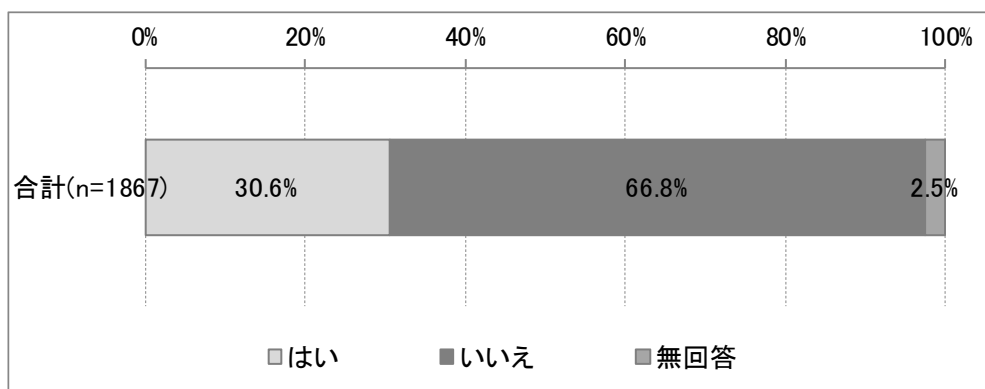
問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (SA)

- 「いいえ（60.4%）」の割合が最も高く、次いで、「はい（37.1%）」となっています。



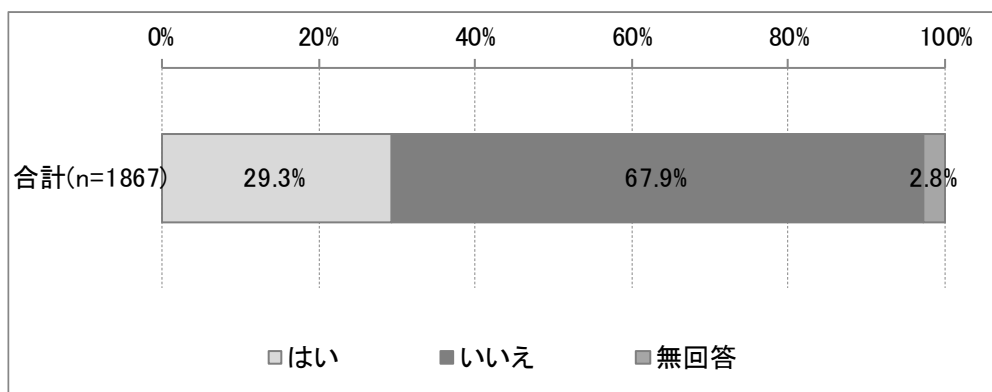
問3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (SA)

- 「いいえ（66.8%）」の割合が最も高く、次いで、「はい（30.6%）」となっています。



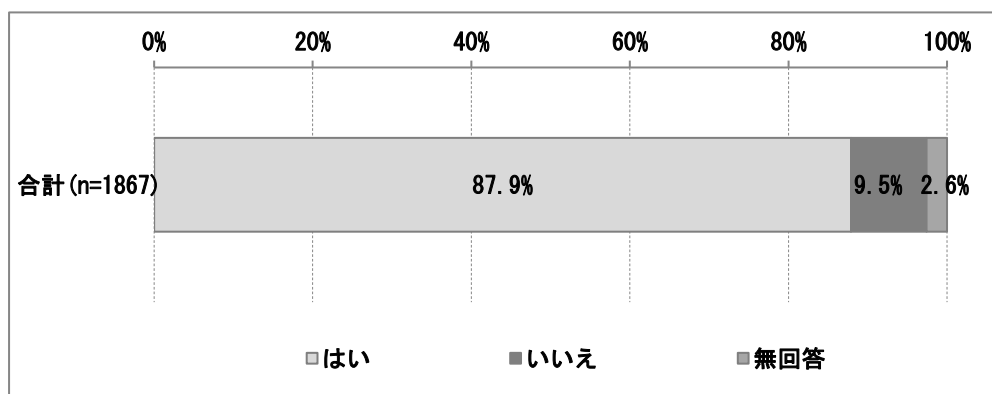
問3 (4) 口の渇きが気になりますか (SA)

○「いいえ (67.9%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (29.3%)」となっています。



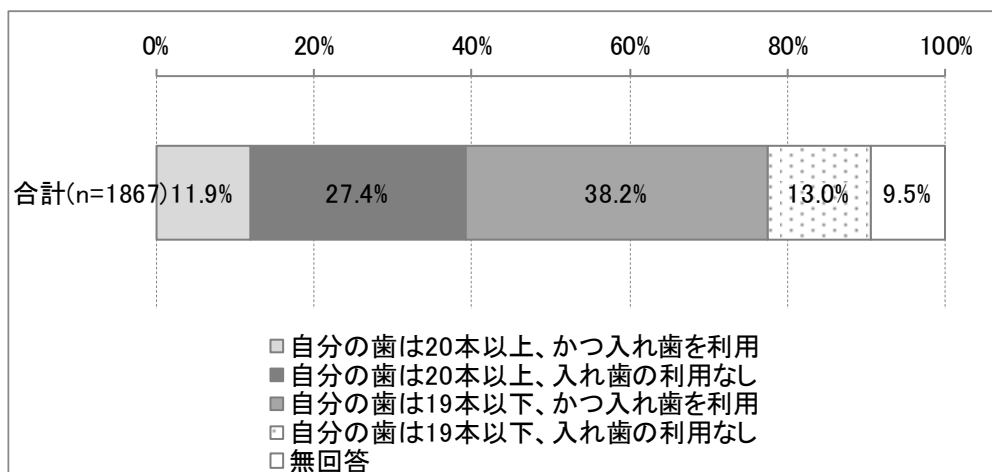
問3 (5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか (SA)

○「はい (87.9%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (9.5%)」となっています。



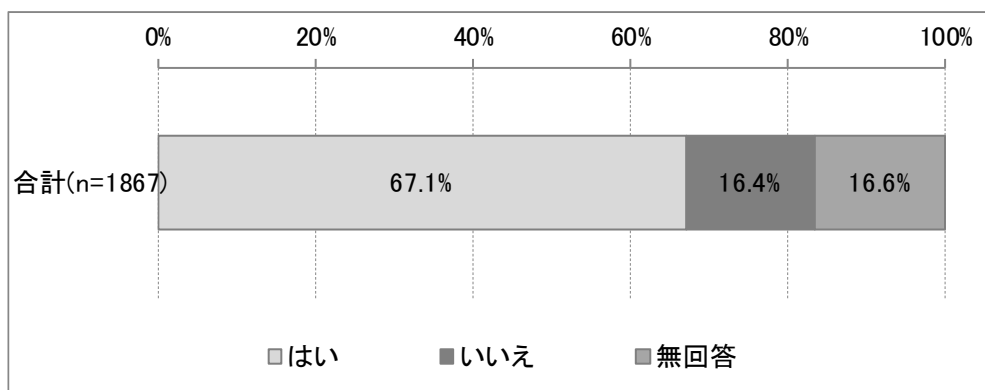
問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (SA)

○「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 (38.2%)」の割合が最も高く、次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし (27.4%)」、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし (13.0%)」となっています。



問3 (6-1) 噛み合わせは良いですか (SA)

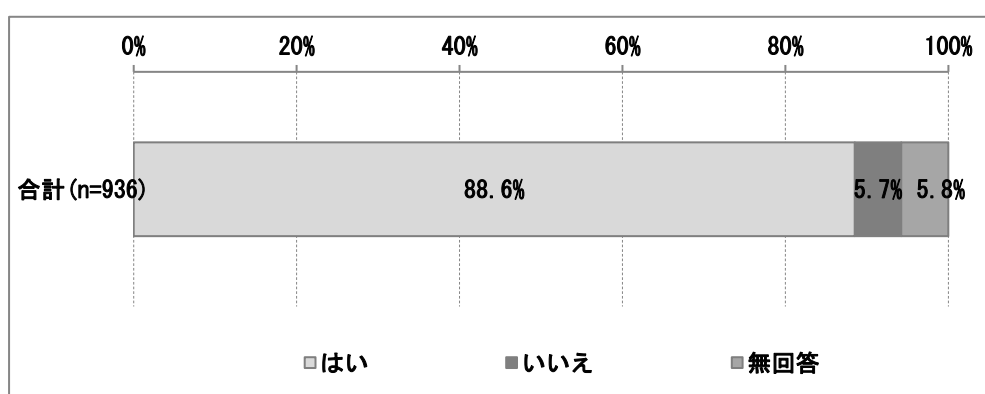
○「はい (67.1%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (16.4%)」となっています。



【(6)において、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

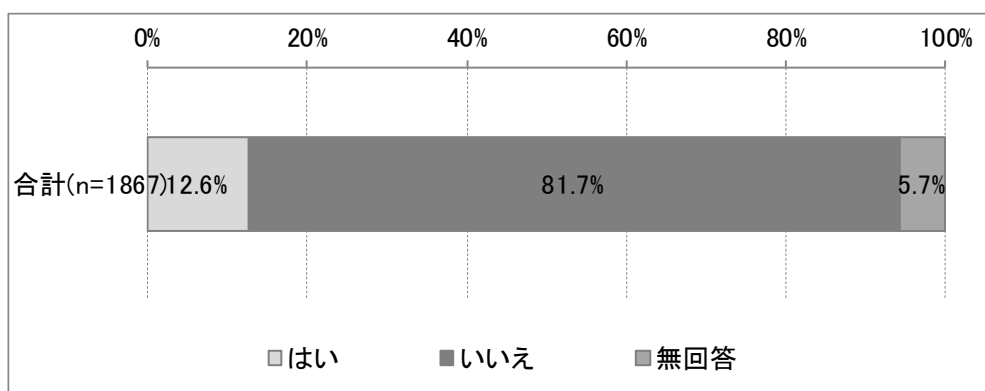
問3 (6-2) 毎日入れ歯の手入れをしていますか (SA)

○「はい (88.6%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (5.7%)」となっています。



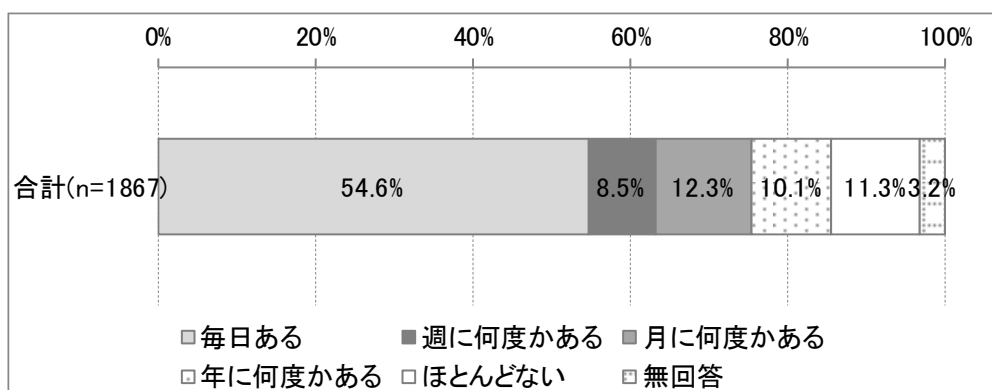
問3 (7) 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか (SA)

○「いいえ (81.7%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (12.6%)」となっています。



問3(8) どなたかと食事をとる機会がありますか(SA)

○「毎日ある(54.6%)」の割合が最も高く、次いで、「月に何度かある(12.3%)」、「ほとんどない(11.3%)」となっています。



問3分析① 健康リスク判定【低栄養状態】

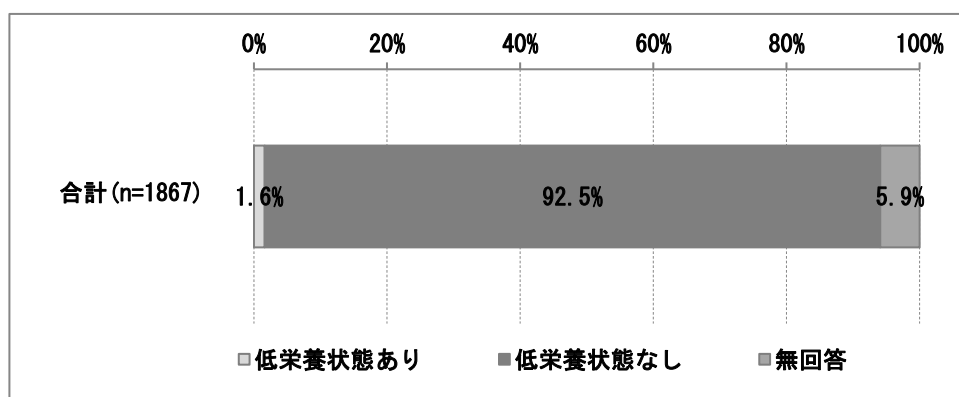
○ここでは、問3(1)・(7)の項目から低栄養状態のリスクについて分析しています。

《判定方法》

下記の設問で、該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

設問		選択肢
問3(1)	身長、体重(BMI)	BMIが18.5未満
問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

○リスク判定の結果、「低栄養状態」が疑われる割合は1.6%となっています。



問3分析② 健康リスク判定【咀嚼機能の低下】

○ここでは、問3(2)の項目から咀嚼機能の低下リスクについて分析しています。

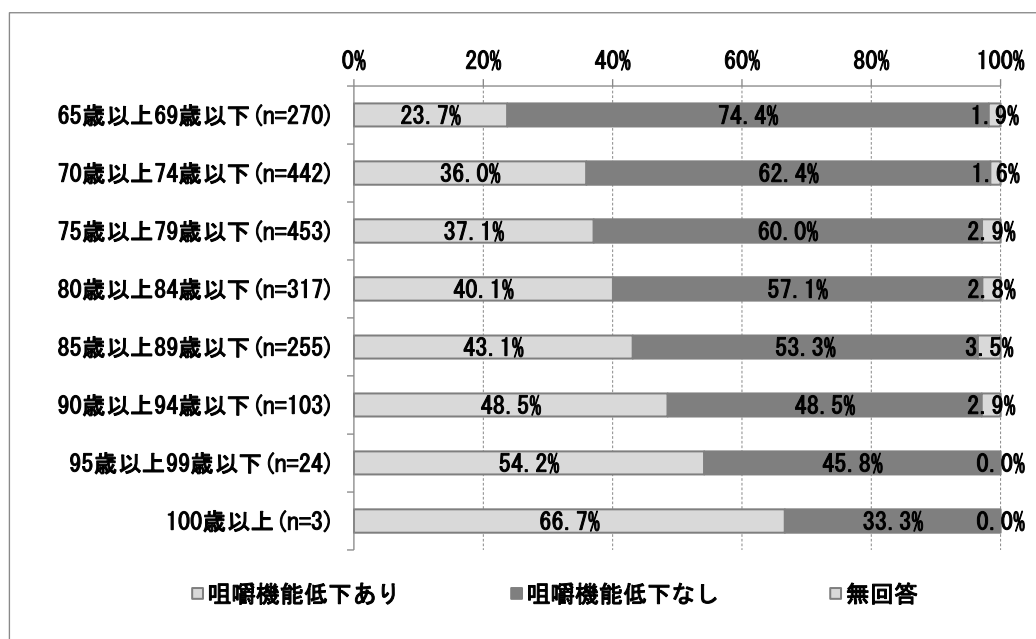
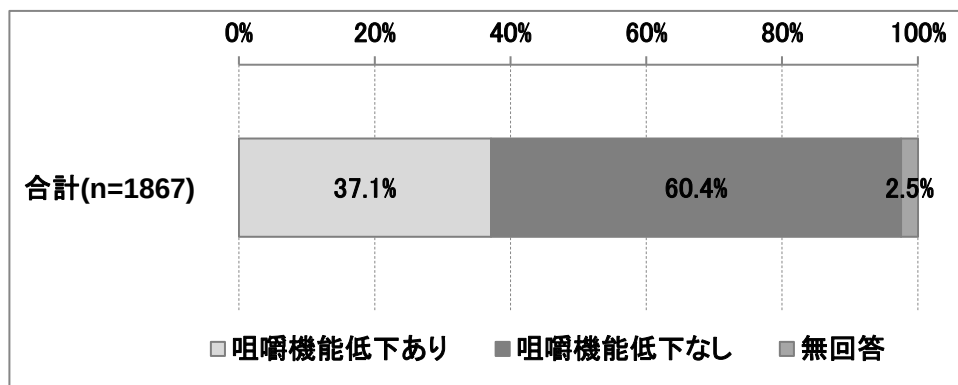
《判定方法》

下記の設問で、該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、咀嚼機能

の低下が疑われる高齢者となります。

設問		選択肢
問 3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

○リスク判定の結果、「咀嚼機能の低下」が疑われる割合は 37.1%となっています。



問 3 分析③ 健康リスク判定【口腔機能の低下】

○ここでは、問 3 (2)～(4)の項目から口腔機能の低下リスクについて分析しています。

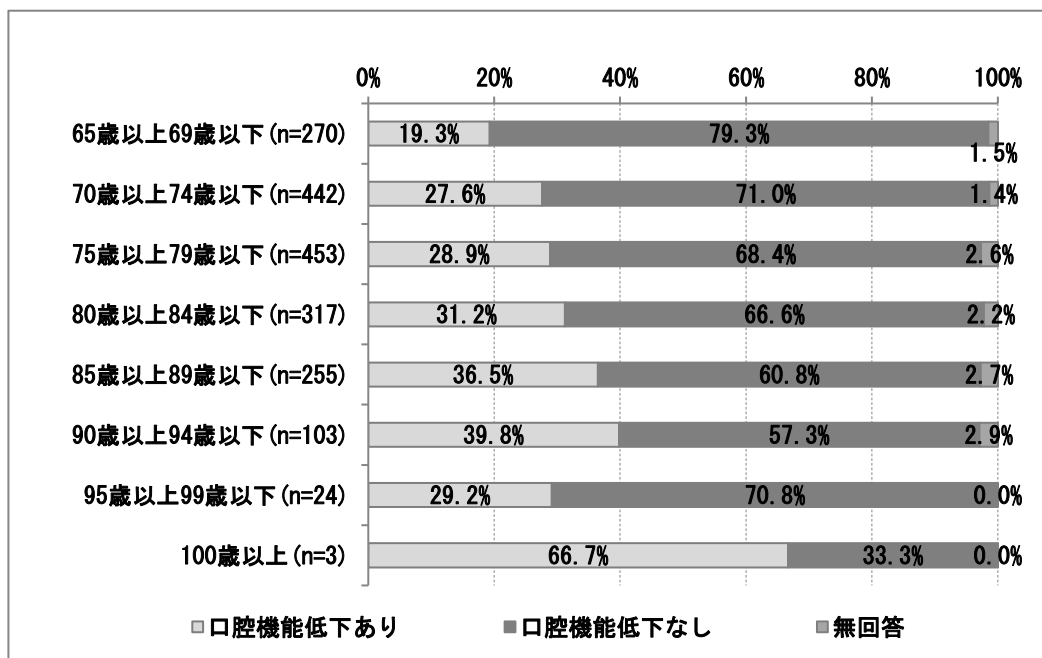
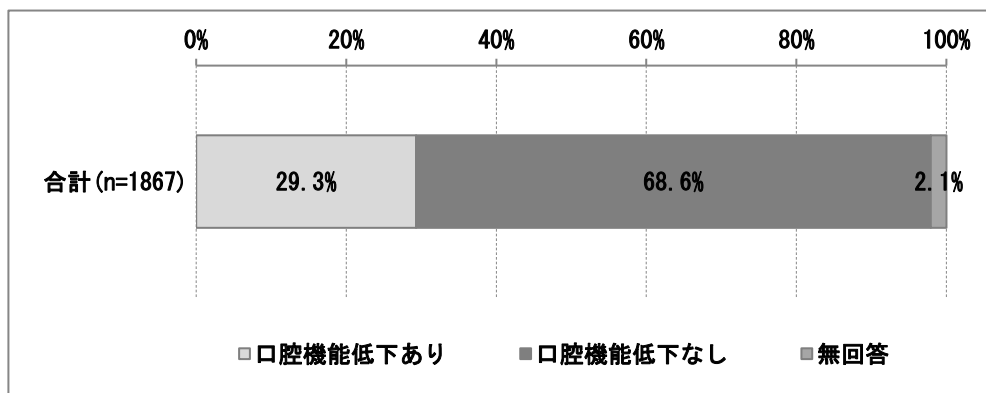
《判定方法》

下記の設問で 2 問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、口腔機能の低下が疑われる高齢者となります。

設問		選択肢
問 3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
問 3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ

問3(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ
-------	--------------	-----------------

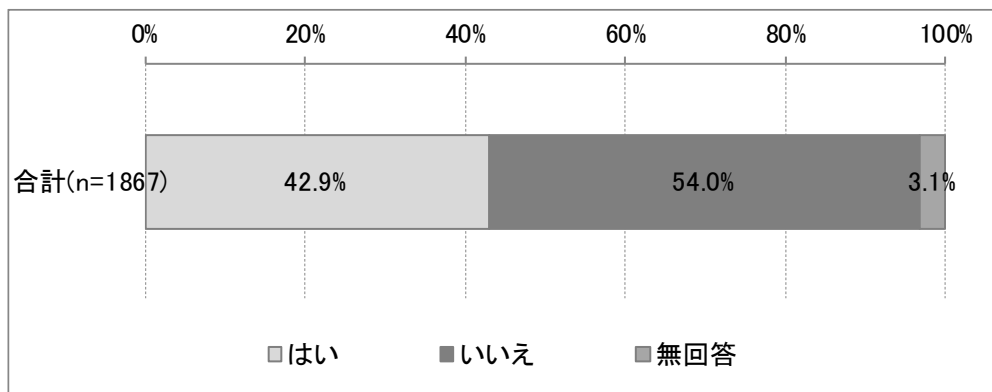
○リスク判定の結果、「口腔機能の低下」が疑われる割合は29.3%となっています。



問 4 毎日の生活について

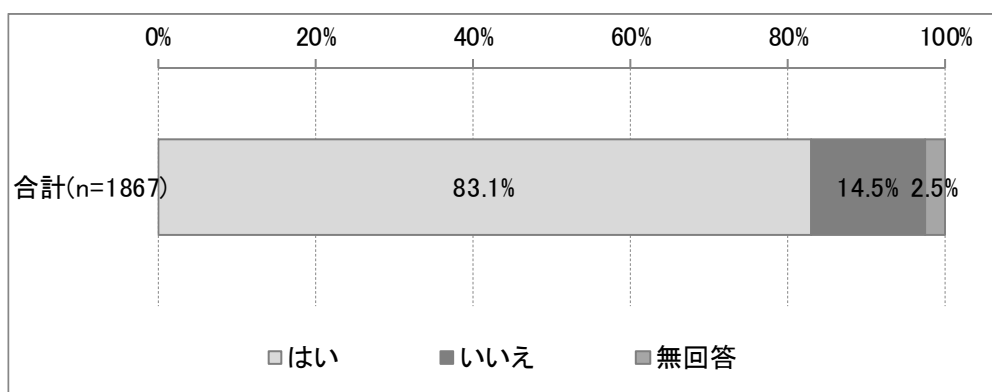
問 4 (1) 物忘れが多いと感じますか (SA)

○「いいえ (54.0%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (42.9%)」となっています。



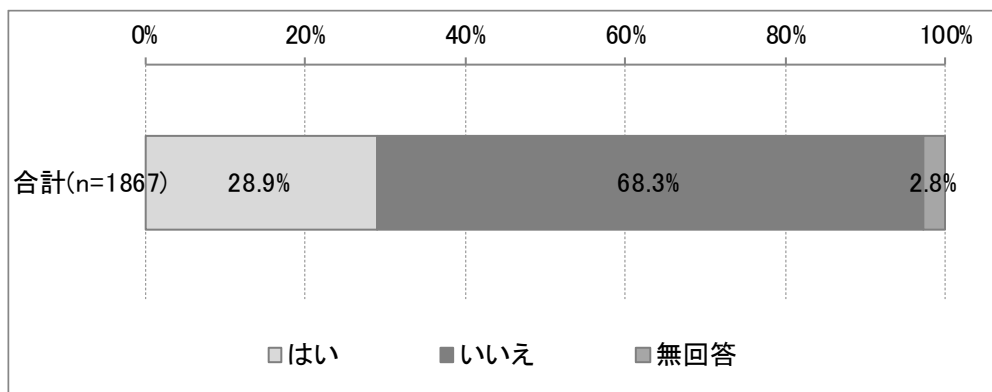
問 4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (SA)

○「はい (83.1%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (14.5%)」となっています。



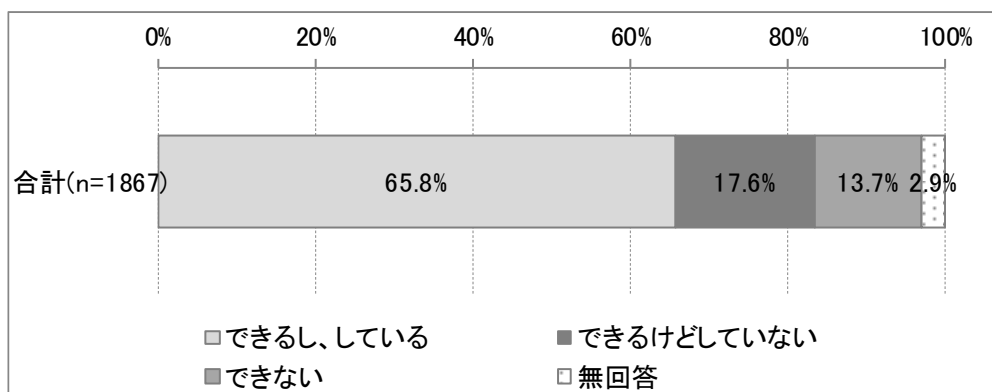
問 4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (SA)

○「いいえ (68.3%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (28.9%)」となっています。



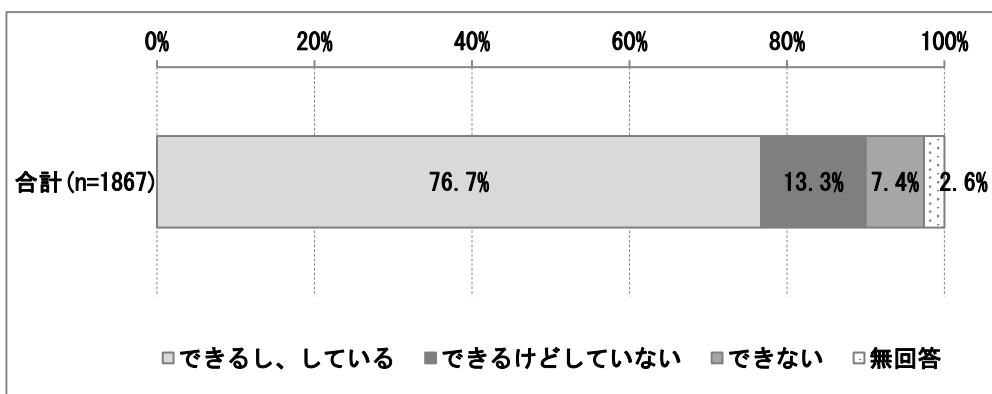
問 4 (4) バスや電車を使って 1 人で外出していますか（自家用車も可）（SA）

○「できるし、している（65.8%）」の割合が最も高く、次いで、「できるけどしていない（17.6%）」、「できない（13.7%）」となっています。



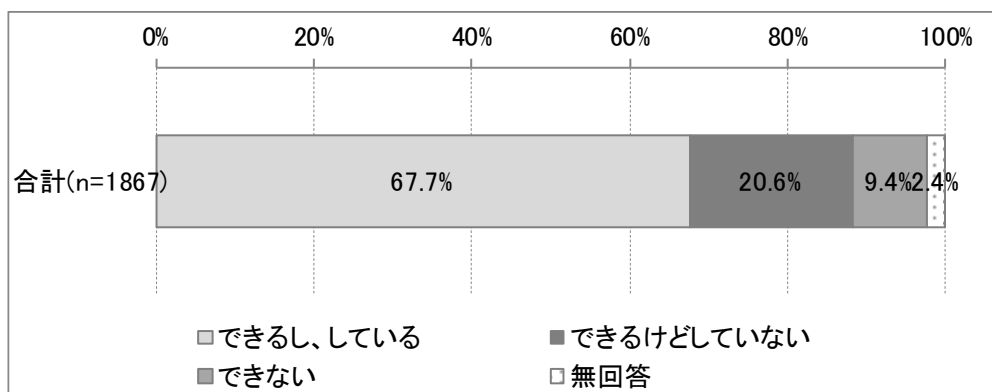
問 4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか（SA）

○「できるし、している（76.7%）」の割合が最も高く、次いで、「できるけどしていない（13.3%）」、「できない（7.4%）」となっています。



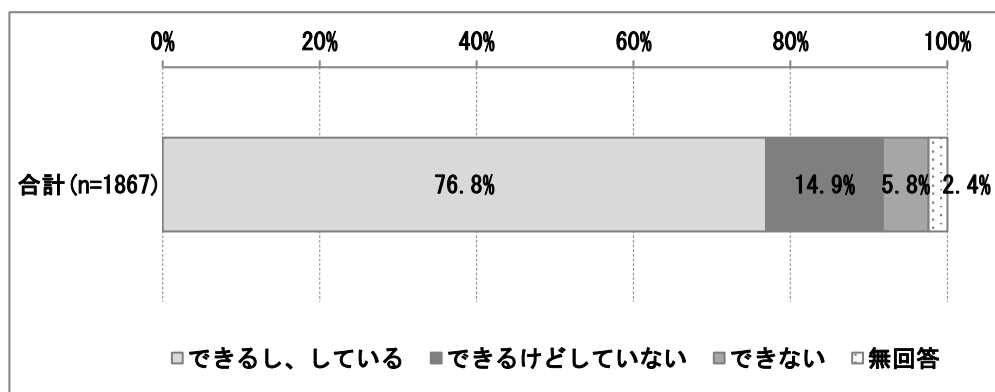
問 4 (6) 自分で食事の用意をしていますか（SA）

○「できるし、している（67.7%）」の割合が最も高く、次いで、「できるけどしていない（20.6%）」、「できない（9.4%）」となっています。



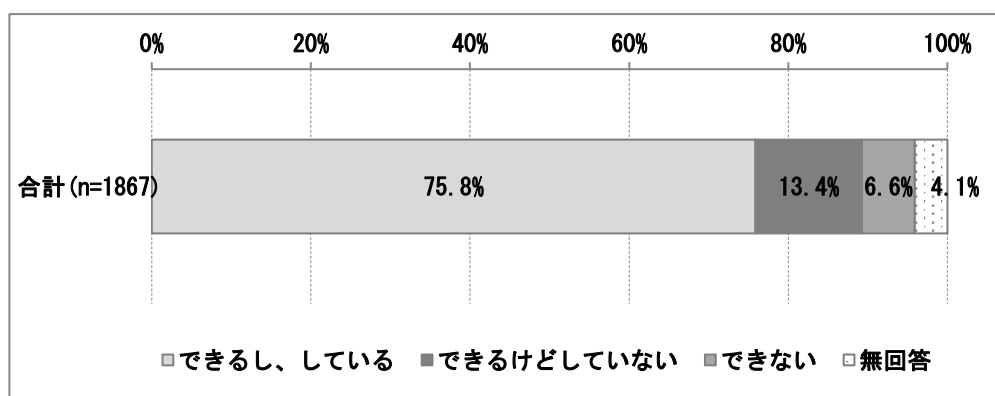
問 4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか (SA)

○「できるし、している (76.8%)」の割合が最も高く、次いで、「できるけどしていない (14.9%)」、「できない (5.8%)」となっています。



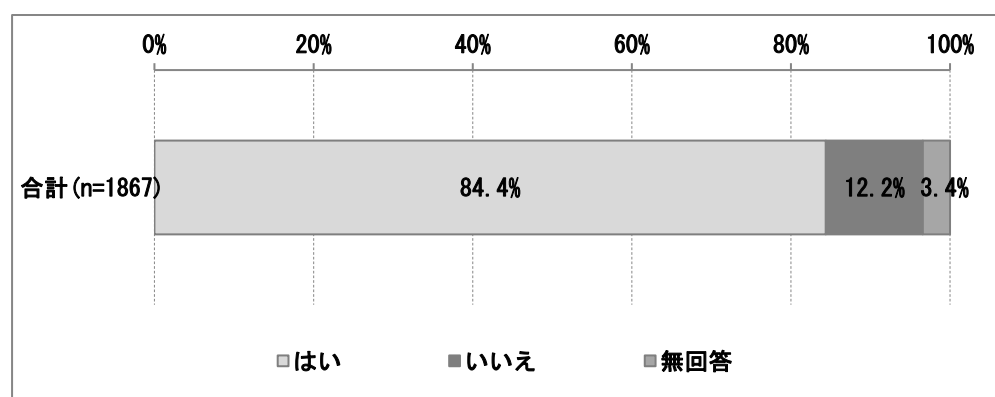
問 4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (SA)

○「できるし、している (75.8%)」の割合が最も高く、次いで、「できるけどしていない (13.4%)」、「できない (6.6%)」となっています。



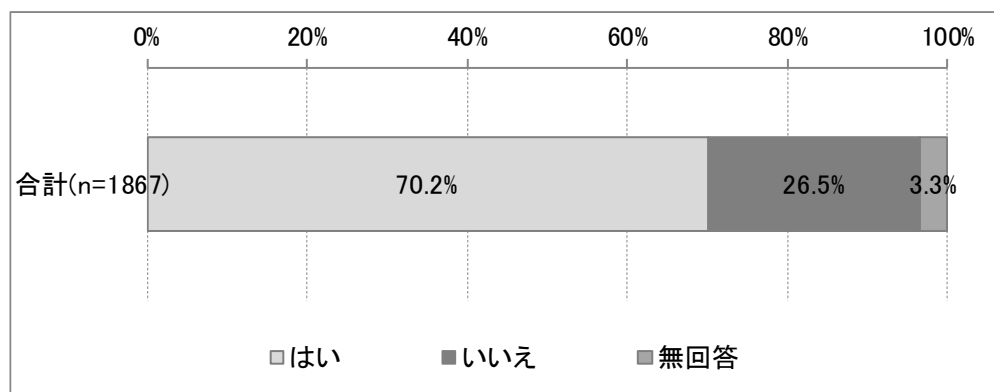
問 4 (9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (SA)

○「はい (84.4%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (12.2%)」となっています。



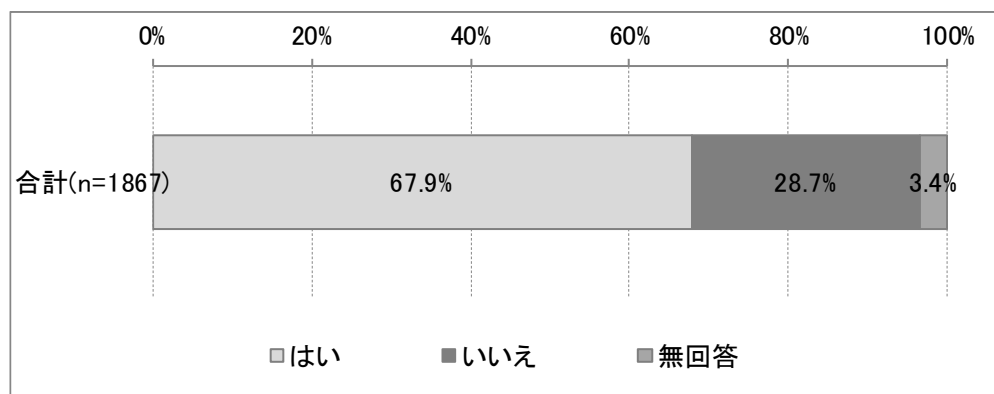
問 4 (10) 新聞を読んでいますか (SA)

○「はい (70.2%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (26.5%)」となっています。



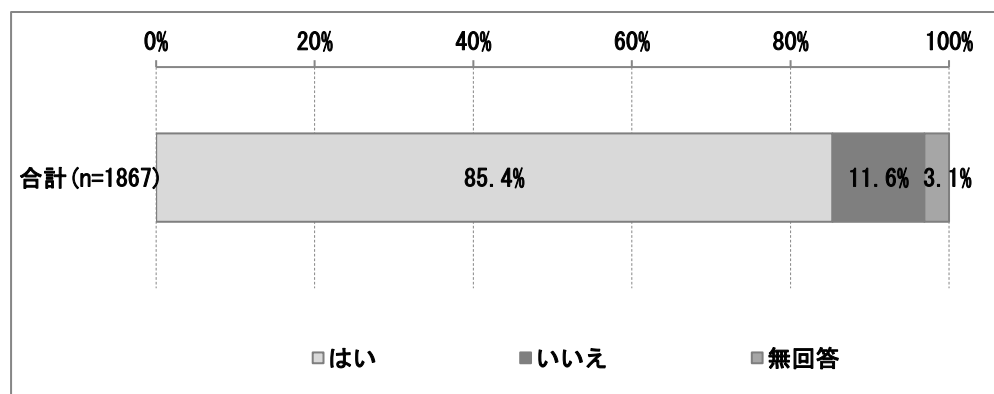
問 4 (11) 本や雑誌を読んでいますか (SA)

○「はい (67.9%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (28.7%)」となっています。



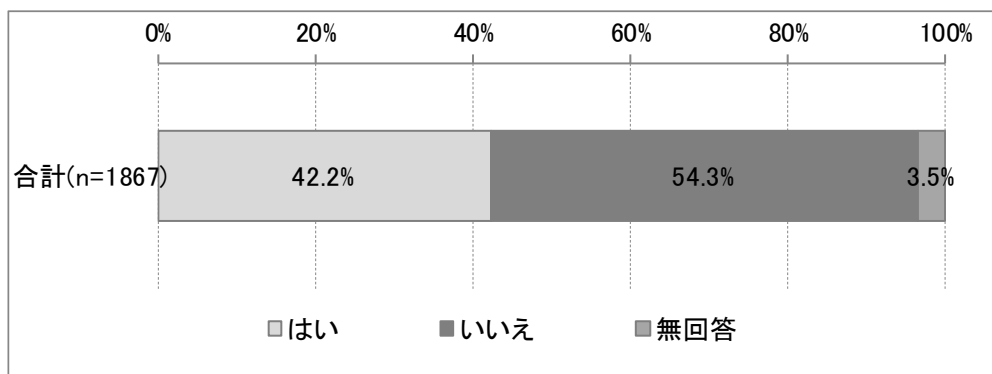
問 4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (SA)

○「はい (85.4%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (11.6%)」となっています。



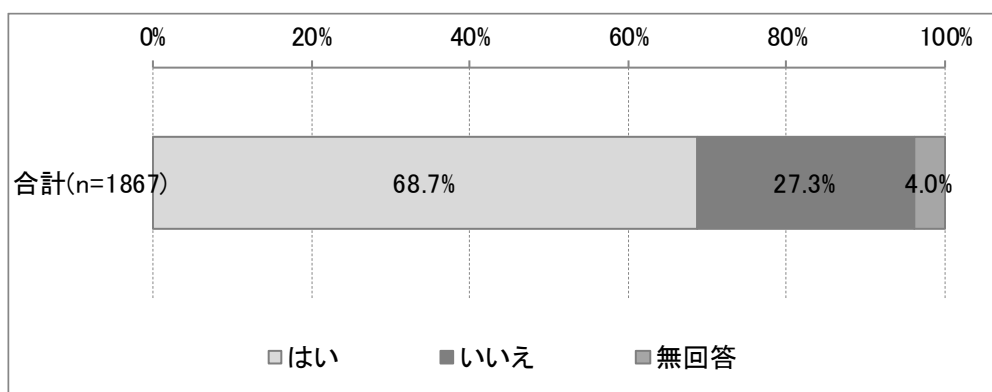
問 4 (13) 友人の家を訪ねていますか (SA)

○「いいえ (54.3%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (42.2%)」となっています。



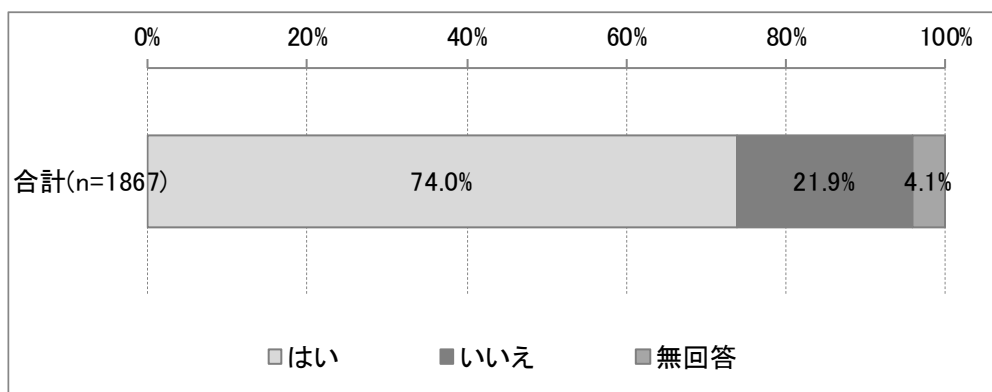
問 4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか (SA)

○「はい (68.7%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (27.3%)」となっています。



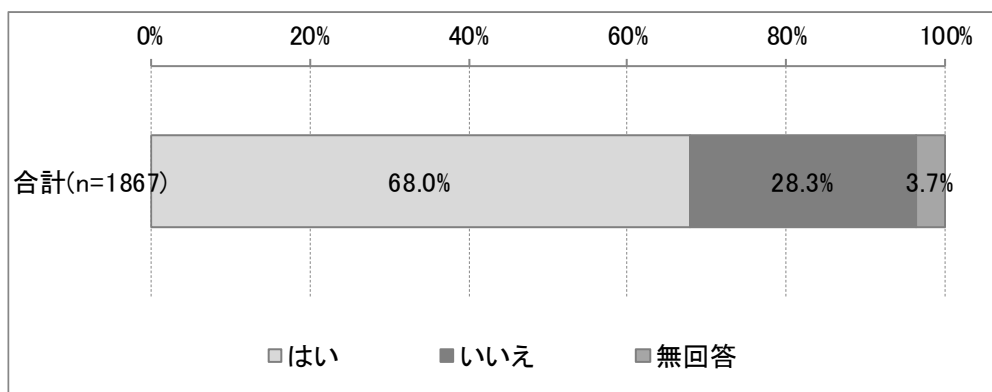
問 4 (15) 病人を見舞うことができますか (SA)

○「はい (74.0%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (21.9%)」となっています。



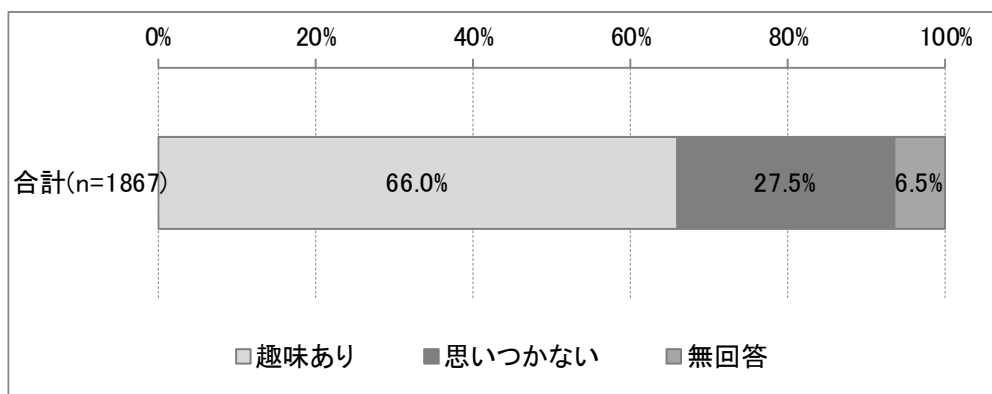
問 4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (SA)

○「はい (68.0%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (28.3%)」となっています。



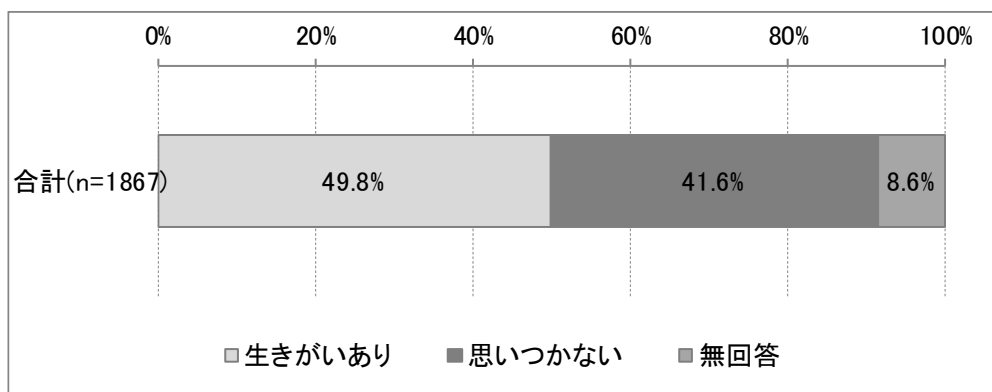
問 4 (17) 趣味はありますか (SA)

○「趣味あり (66.0%)」の割合が最も高く、次いで、「思いつかない (27.5%)」となっています。



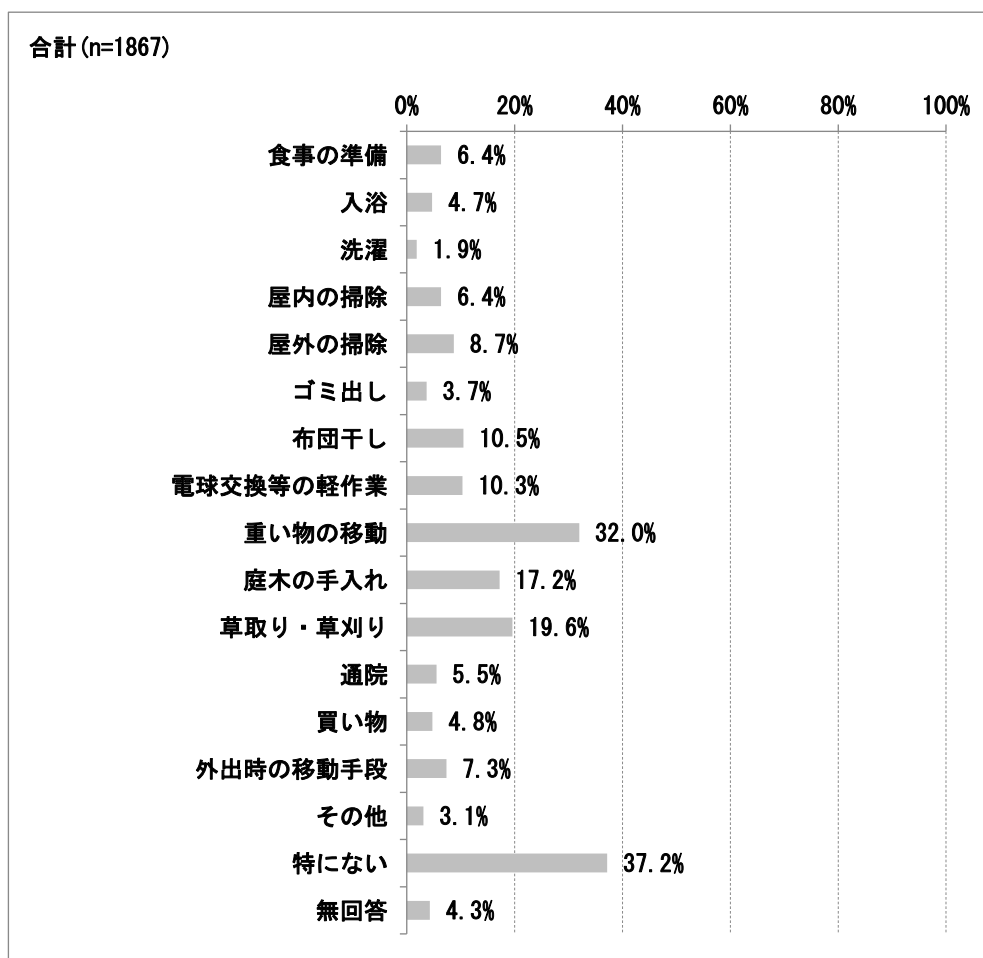
問 4 (18) 生きがいがありますか (SA)

○「生きがいあり (49.8%)」の割合が最も高く、次いで、「思いつかない (41.6%)」となっています。



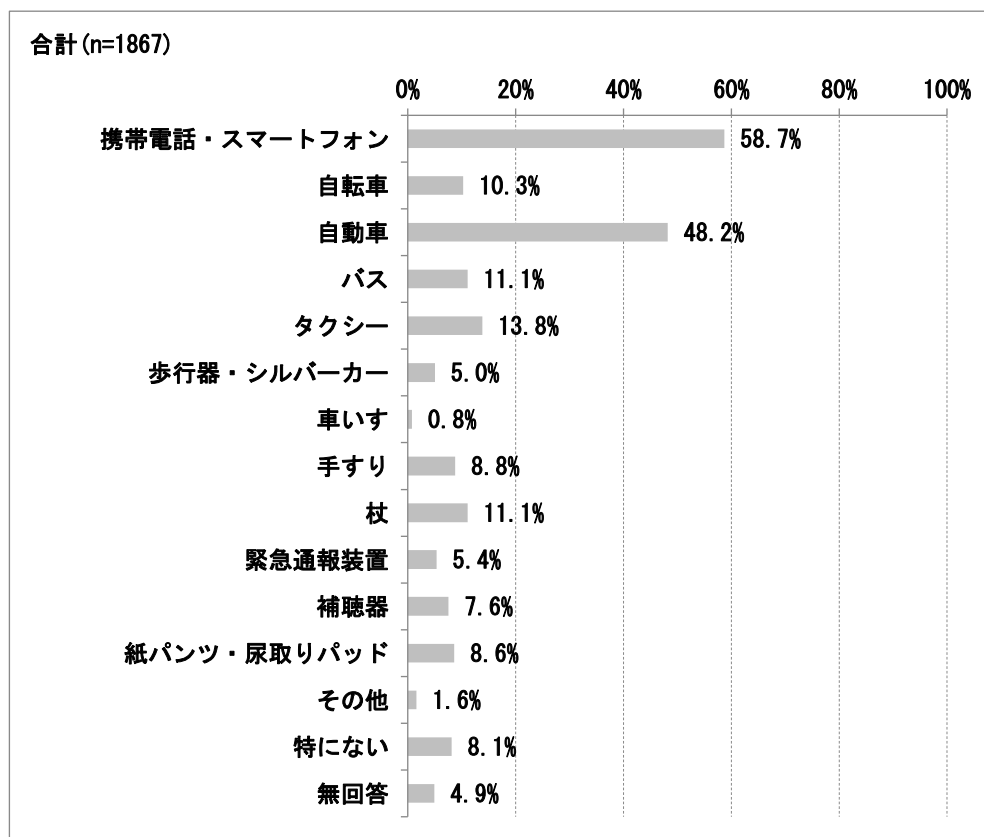
問4 (19) 普段の生活で困っていることはありますか(★MA・3つまで)

○「特にない(37.2%)」の割合が最も高く、次いで「重い物の移動(32.0%)」、「草取り・草刈り(19.6%)」となっています。



問 4 (20) 普段の生活をおくる上で必要なものは何ですか(★MA・3つまで)

○「携帯電話・スマートフォン (58.7%)」の割合が最も高く、次いで、「自動車 (48.2%)」、「タクシー (13.8%)」となっています。



問 4 分析① 健康リスク判定【認知機能の低下】

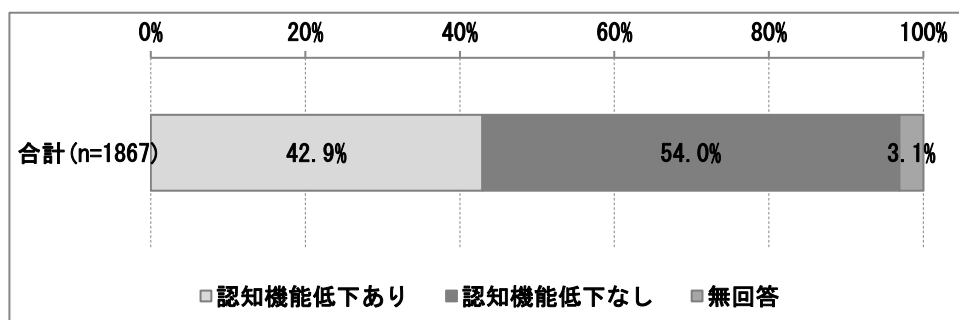
○ここでは、問 4 (1) の項目から認知機能の低下リスクについて分析しています。

《判定方法》

下記の設問で、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、認知機能の低下が疑われる高齢者となります。

設問		選択肢
問 4 (1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい
		2. いいえ

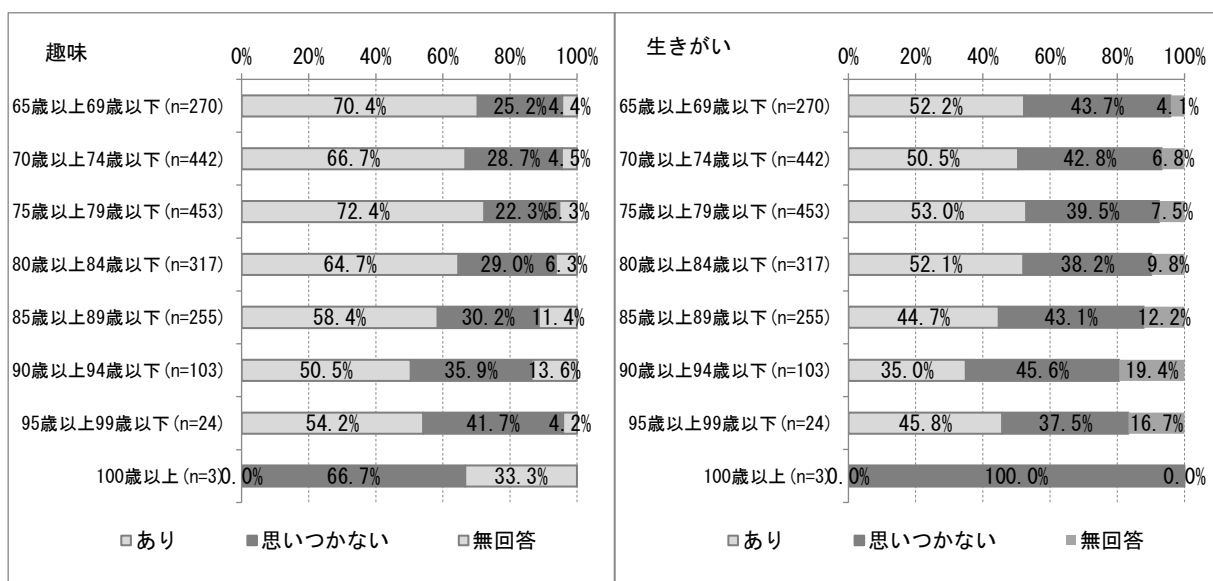
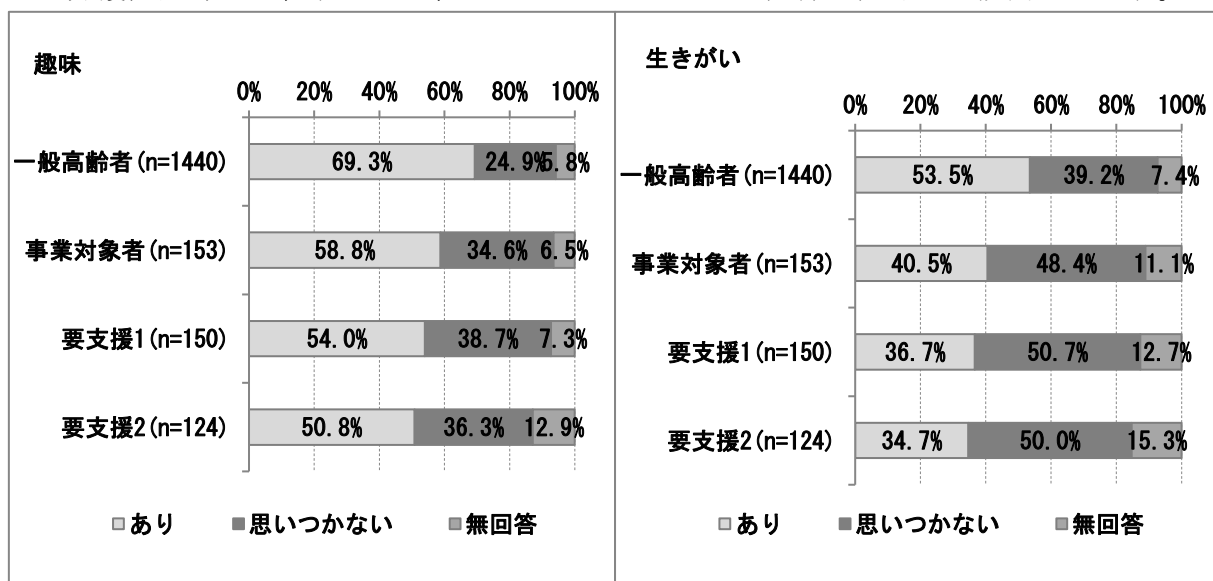
○リスク判定の結果、「認知機能の低下」が疑われる割合は 42.9%となっています。



問4分析② 介護認定等・年齢階層と趣味・生きがいの有無

○ここでは、介護認定等・年齢階層と問4(17)・(18)の項目から介護認定等別・年齢階層別の趣味・生きがいの有無について分析しています。

○介護認定等が悪化するほど、趣味や生きがいがある割合が低くなる傾向があります。

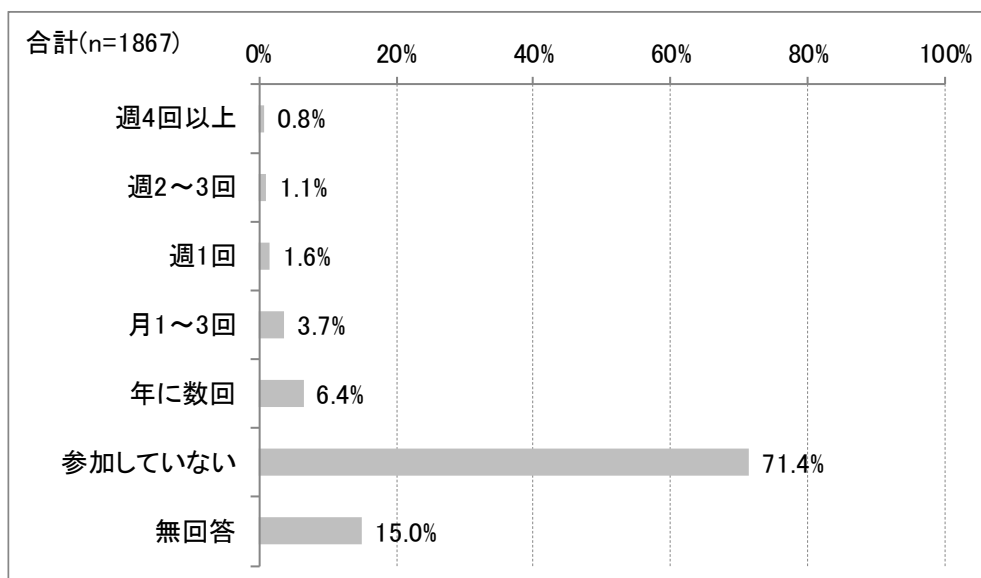


問5 地域での活動について

問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

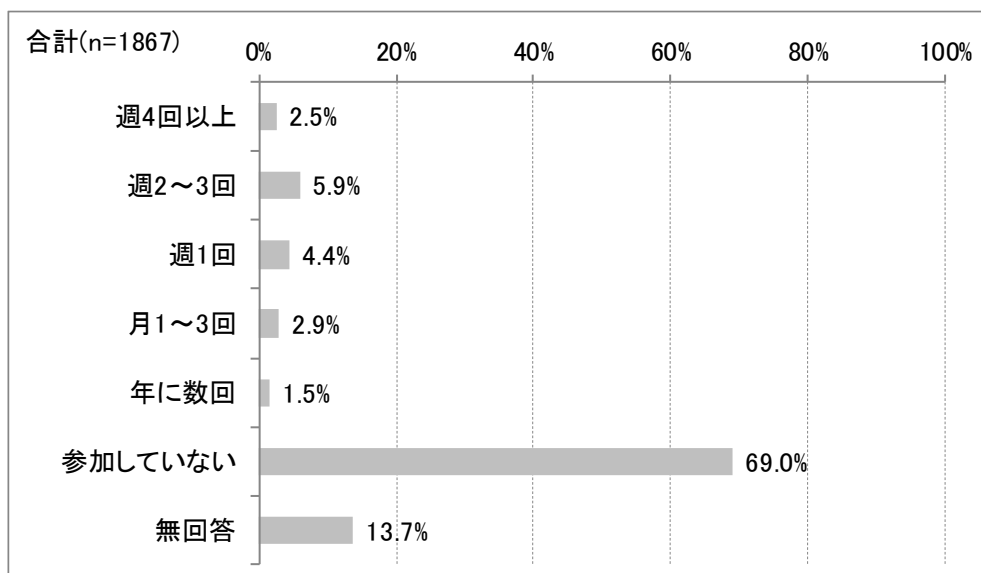
① ボランティアのグループ

○「参加していない(71.4%)」の割合が最も高く、次いで、「年に数回(6.4%)」、「月1～3回(3.7%)」となっています。



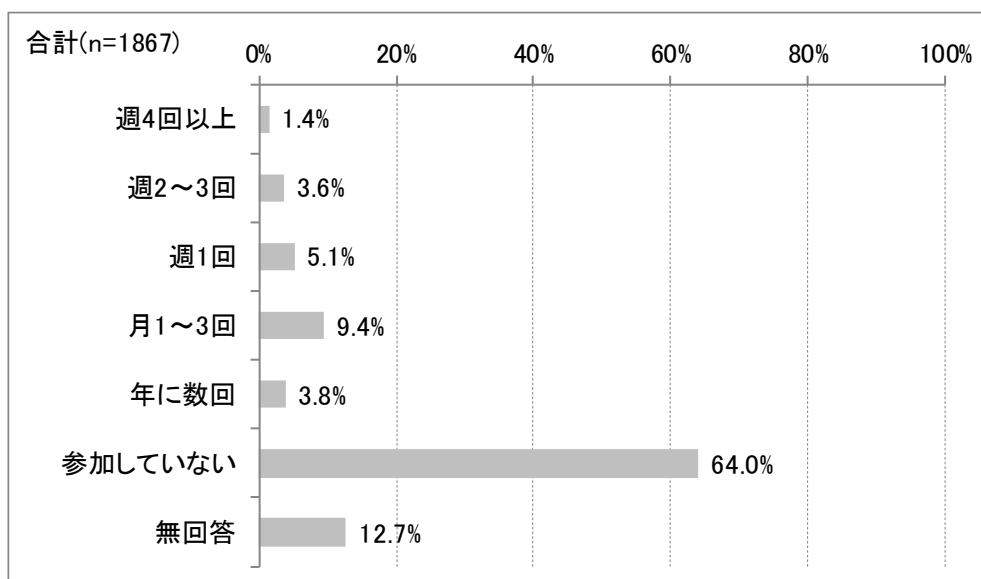
② スポーツ関係のグループやクラブ

○「参加していない(69.0%)」の割合が最も高く、次いで、「週2～3回(5.9%)」、「週1回(4.4%)」となっています。



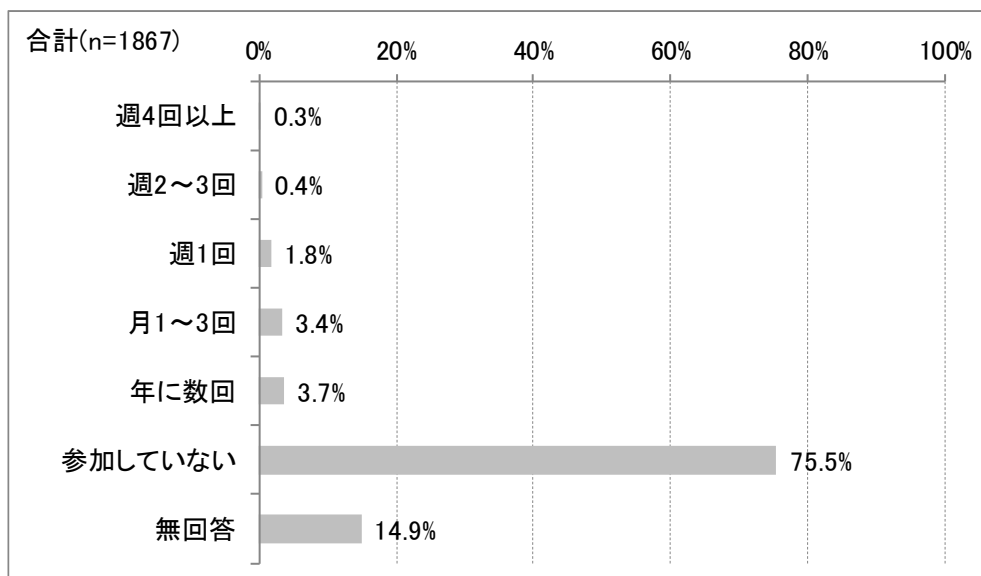
③趣味関係のグループ

○「参加していない（64.0%）」の割合が最も高く、次いで、「月1～3回（9.4%）」、「週1回（5.1%）」となっています。



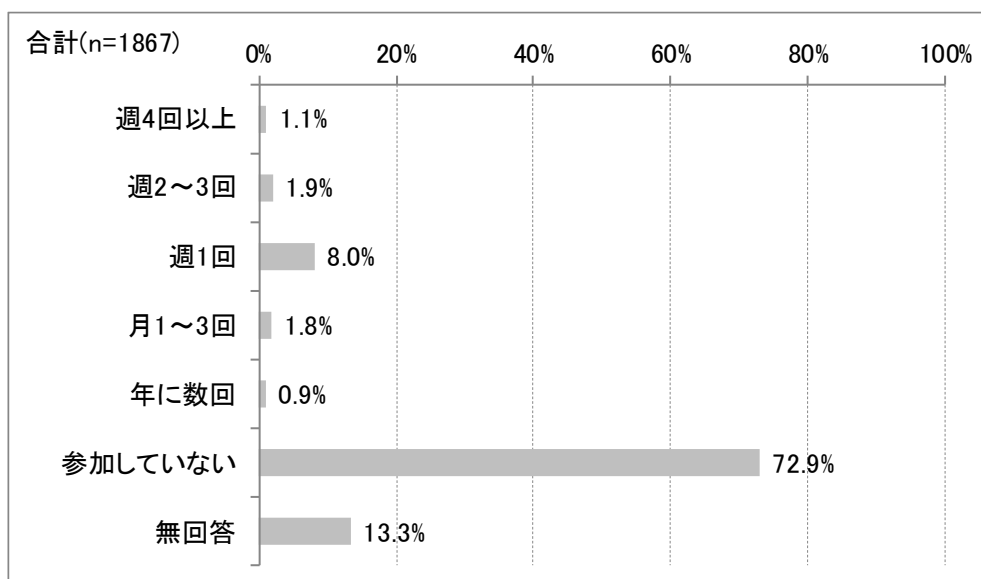
④学習・教養サークル

○「参加していない（75.5%）」の割合が最も高く、次いで、「年に数回（3.7%）」、「月1～3回（3.4%）」となっています。



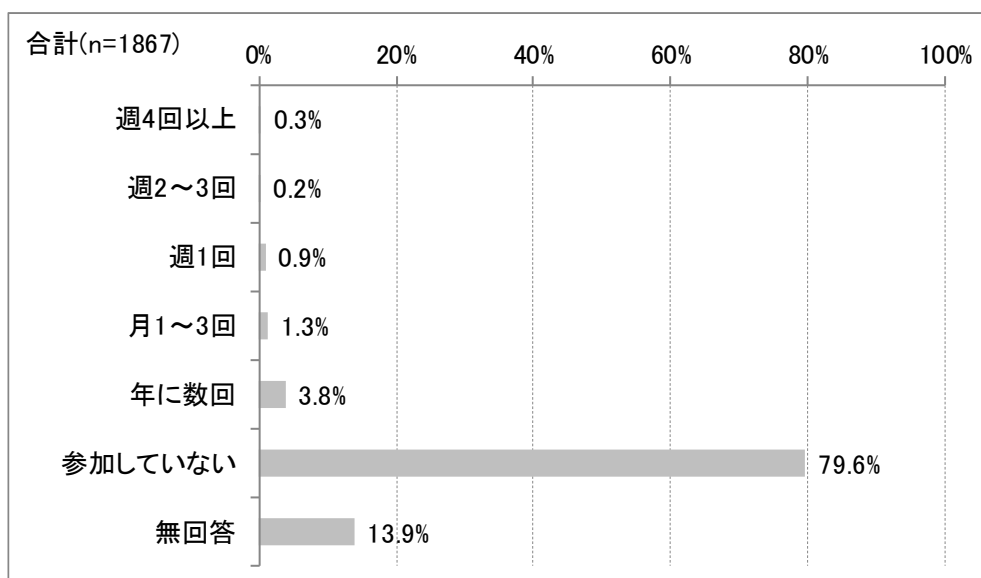
⑤介護予防のための通いの場や百歳体操

○「参加していない（72.9%）」の割合が最も高く、次いで、「週 1 回（8.0%）」、「週 2～3 回（1.9%）」となっています。



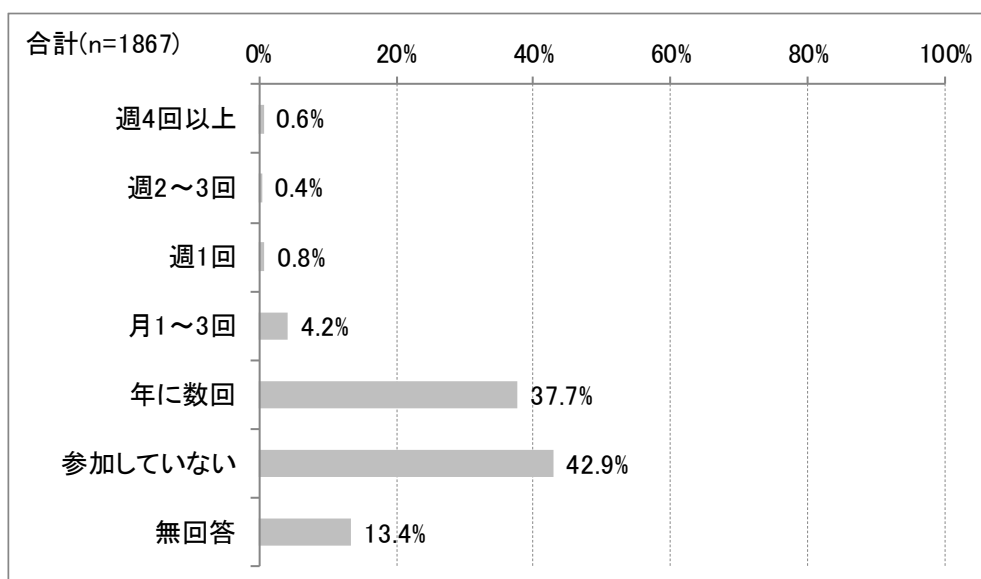
⑥老人クラブ

○「参加していない（79.6%）」の割合が最も高く、次いで、「年に数回（3.8%）」、「月 1～3 回（1.3%）」となっています。



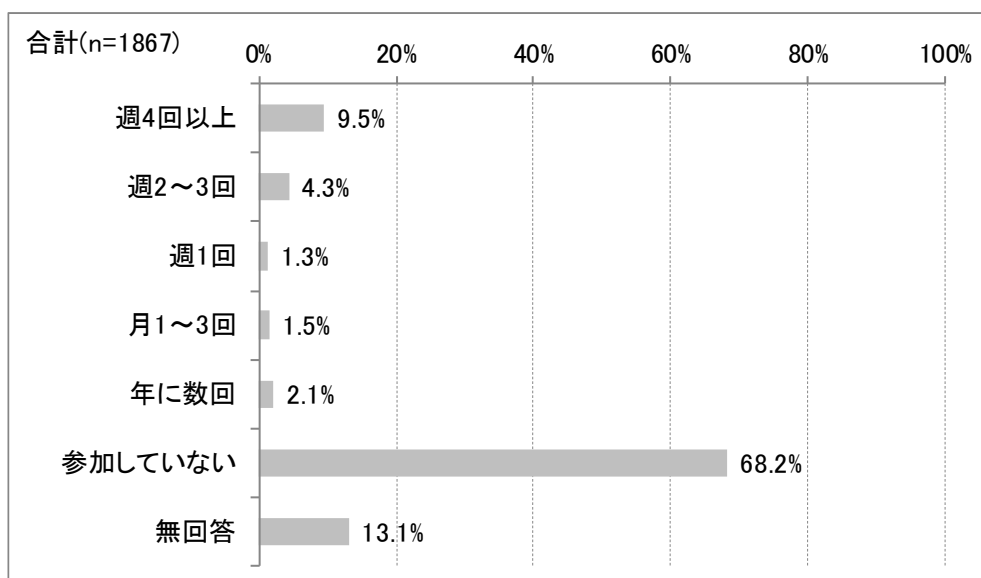
⑦町内会・自治会

○「参加していない（42.9%）」の割合が最も高く、次いで、「年に数回（37.7%）」、「月1～3回（4.2%）」となっています。



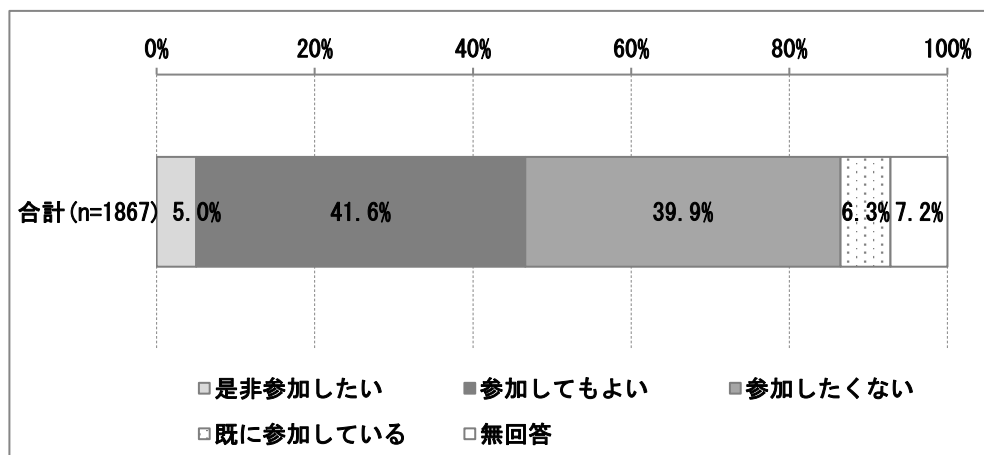
⑧収入のある仕事

○「参加していない（68.2%）」の割合が最も高く、次いで、「週4回以上（9.5%）」、「週2～3回（4.3%）」となっています。



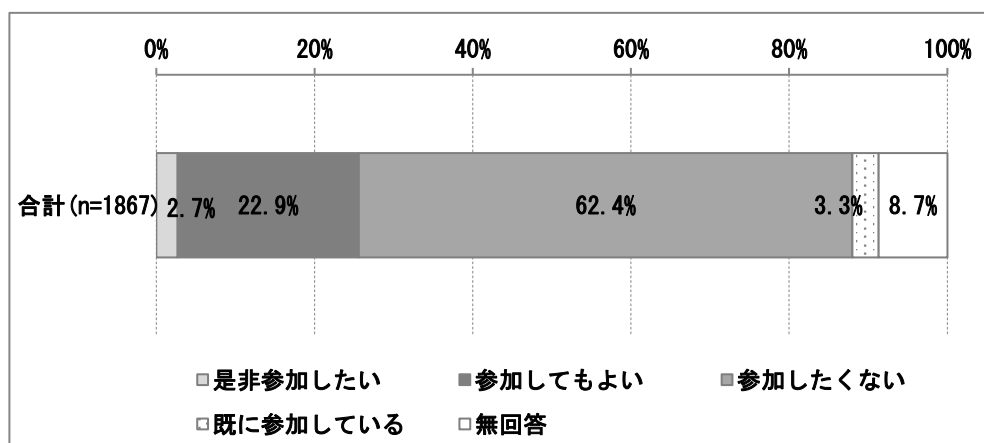
問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(SA)

○「参加してもよい(41.6%)」の割合が最も高く、次いで、「参加したくない(39.9%)」、「既に参加している(6.3%)」となっています。



問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(SA)

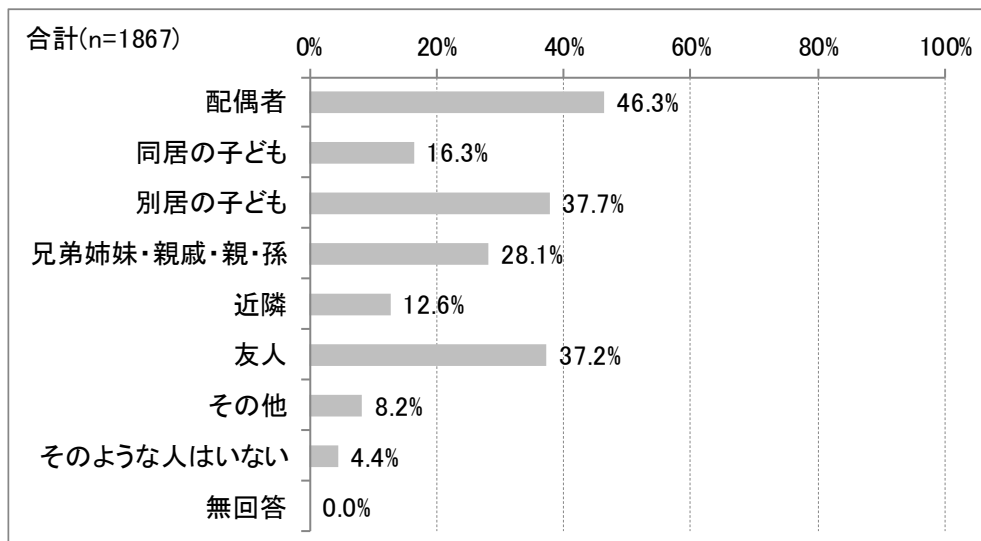
○「参加したくない(62.4%)」の割合が最も高く、次いで、「参加してもよい(22.9%)」、「既に参加している(3.3%)」となっています。



問6 たすけあいについて

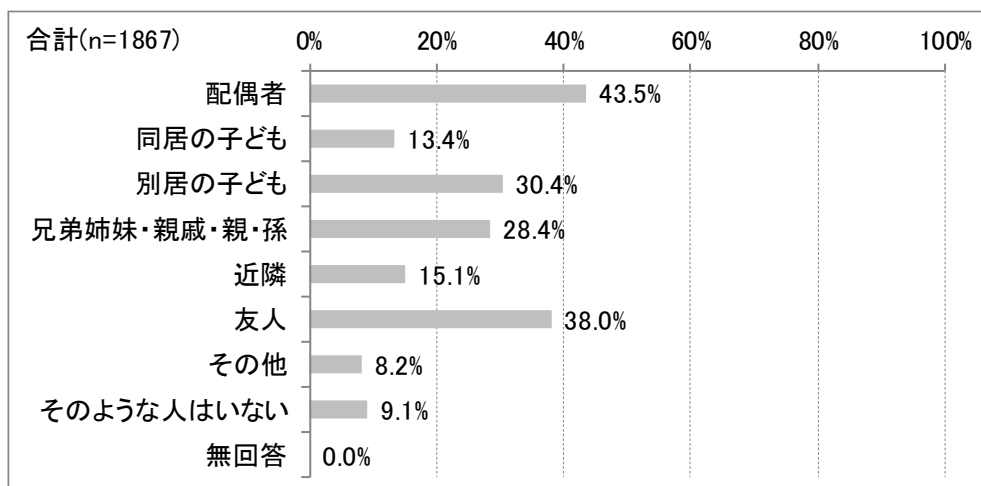
問6(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)

- 「配偶者（46.3%）」の割合が最も高く、次いで、「別居の子ども（37.7%）」、「友人（37.2%）」となっています。



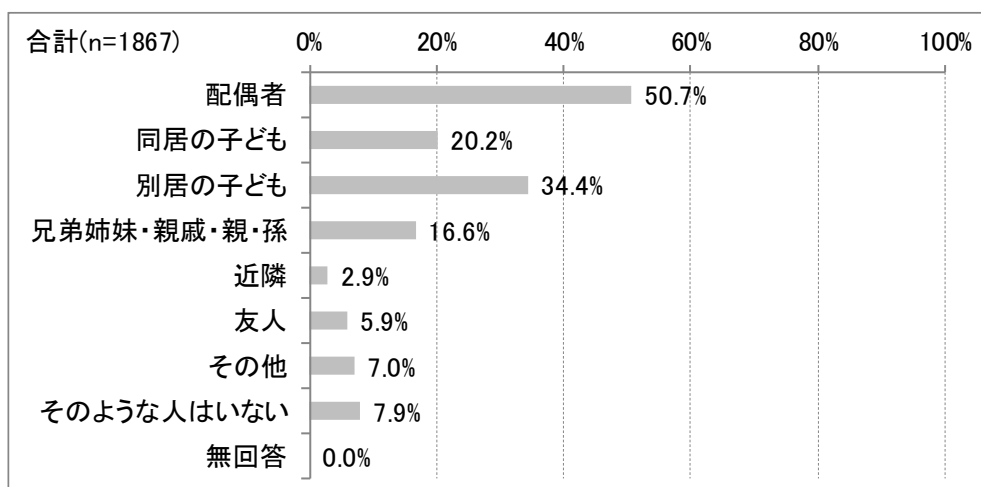
問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)

- 「配偶者（43.5%）」の割合が最も高く、次いで、「友人（38.0%）」、「別居の子ども（30.4%）」となっています。



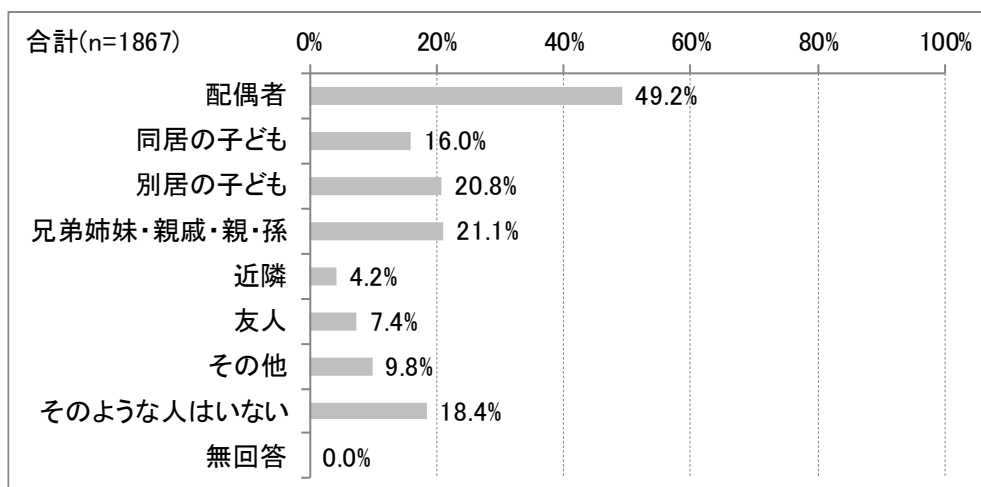
問 6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)

○「配偶者（50.7%）」の割合が最も高く、次いで、「別居の子ども（34.4%）」、「同居の子ども（20.2%）」となっています。



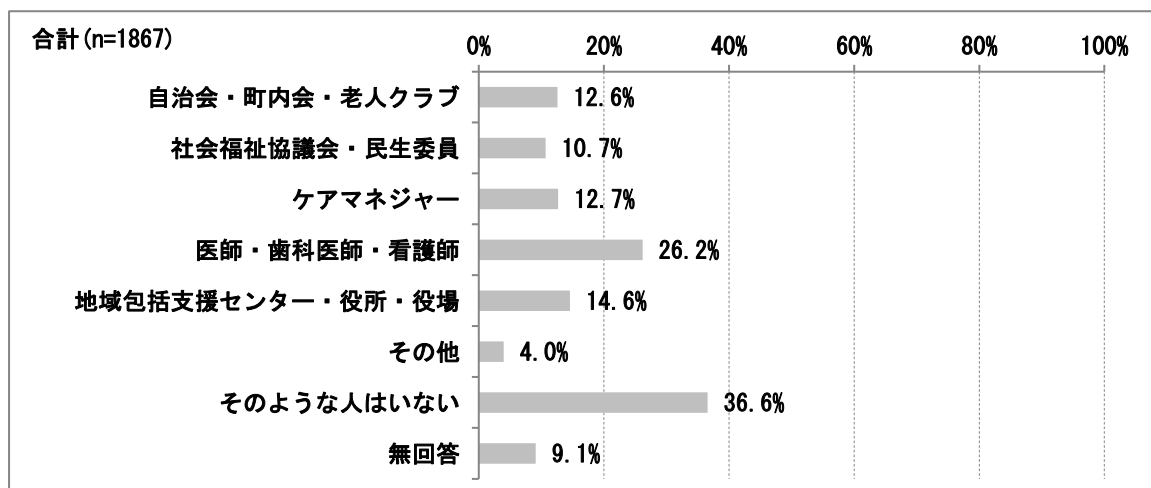
問 6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(MA)

○「配偶者（49.2%）」の割合が最も高く、次いで、「兄弟姉妹・親戚・親・孫（21.1%）」、「別居の子ども（20.8%）」となっています。



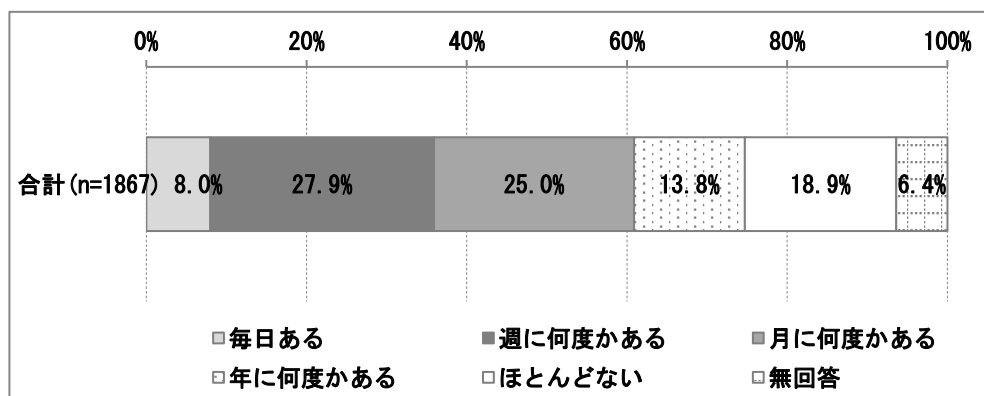
問 6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (MA)

○「そのような人はいない (36.6%)」の割合が最も高く、次いで、「医師・歯科医師・看護師 (26.2%)」、「地域包括支援センター・役所・役場 (14.6%)」となっています。



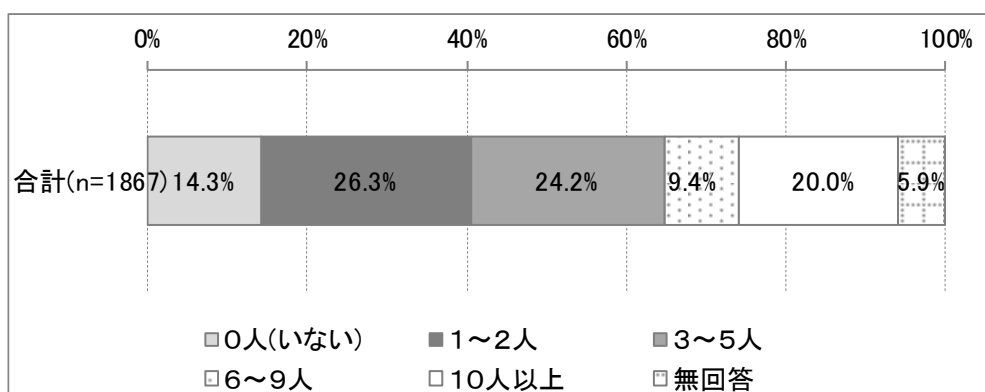
問 6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (SA)

○「週に何度かある (27.9%)」の割合が最も高く、次いで、「月に何度かある (25.0%)」、「ほとんどない (18.9%)」となっています。



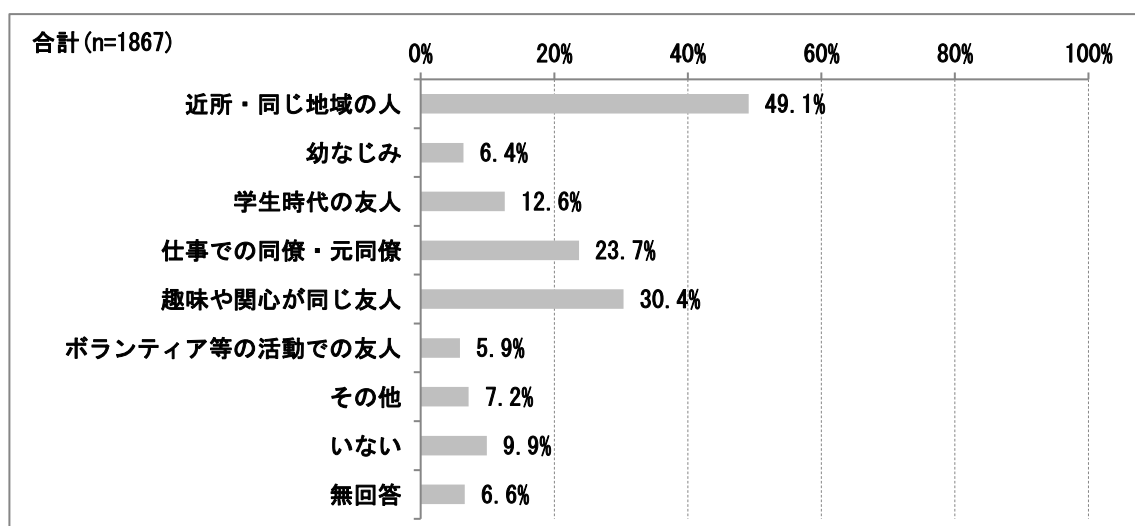
問 6 (7) この 1 か月間、何人の友人・知人と会いましたか (SA)

○「1～2 人 (26.3%)」の割合が最も高く、次いで、「3～5 人 (24.2%)」、「10 人以上 (20.0%)」となっています。



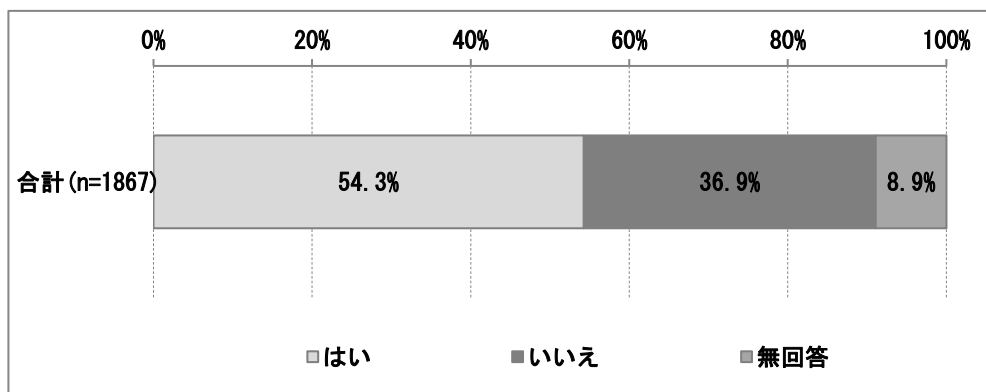
問 6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (MA)

○「近所・同じ地域の人 (49.1%)」の割合が最も高く、次いで、「趣味や関心が同じ友人 (30.4%)」、「仕事での同僚・元同僚 (23.7%)」となっています。



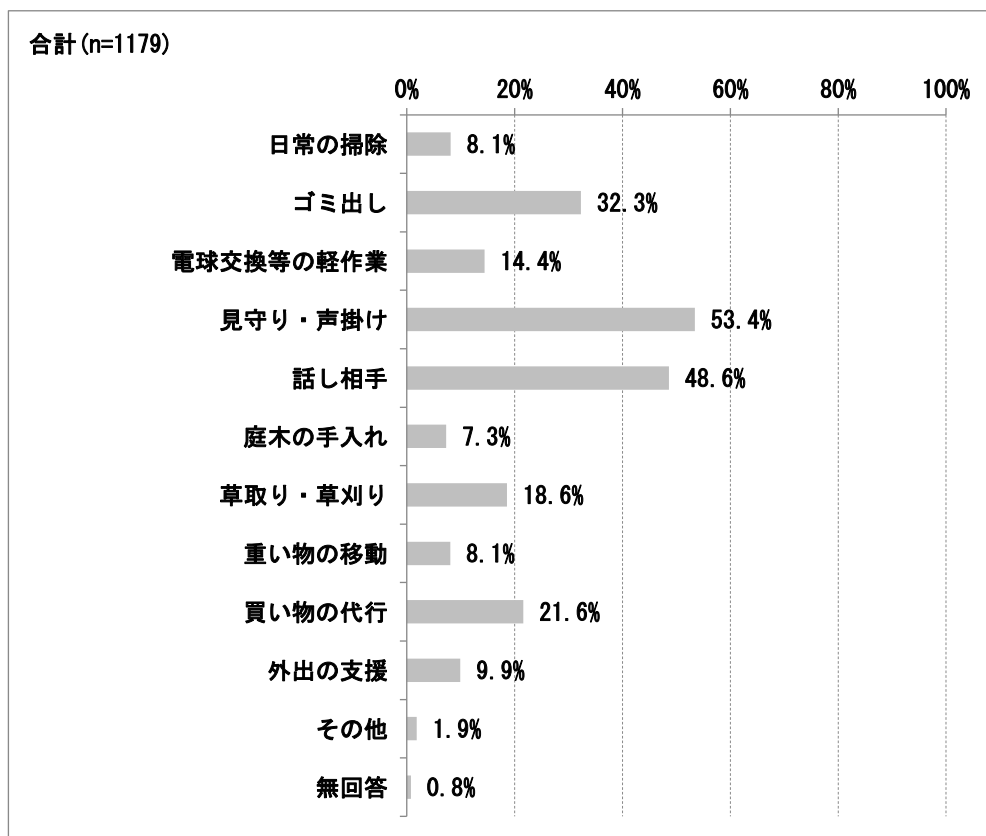
問 6 (9) まわりで困っている高齢者がいたときに、あなたができる支援はありますか(★SA)

○「はい (54.3%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (36.9%)」となっています。



問 6 (9-1) どのような支援ができると思いますか(★MA)

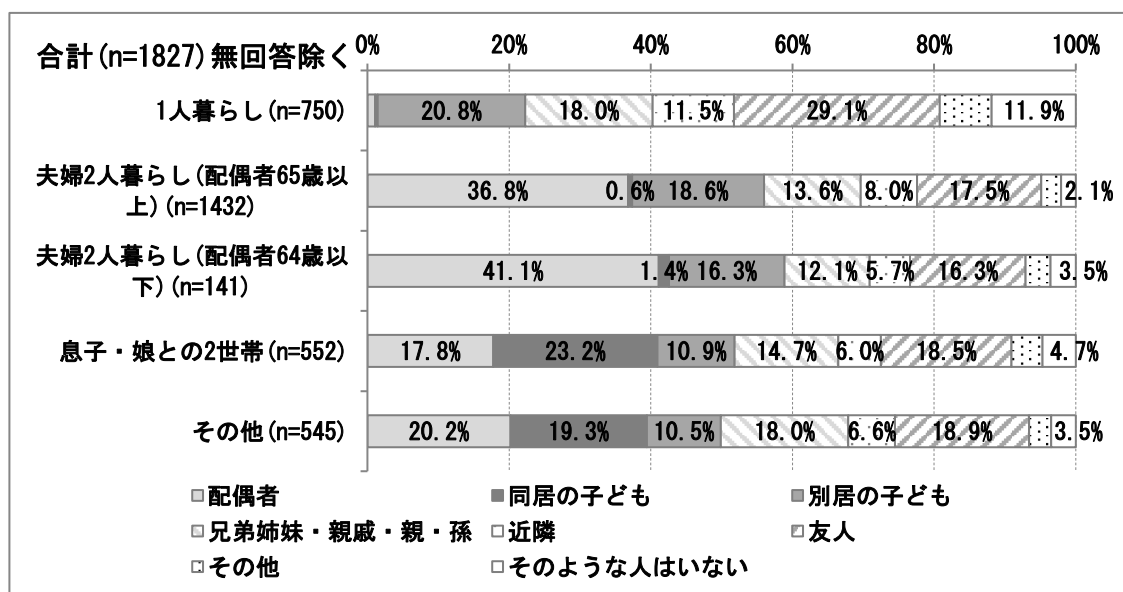
○「見守り・声掛け (53.4%)」の割合が最も高く、次いで、「話し相手 (48.6%)」、「ゴミ出し (32.3%)」となっています。



問6分析① 家族構成と心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無

○ここでは、問6(1)の項目から家族構成と心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無について分析しています。

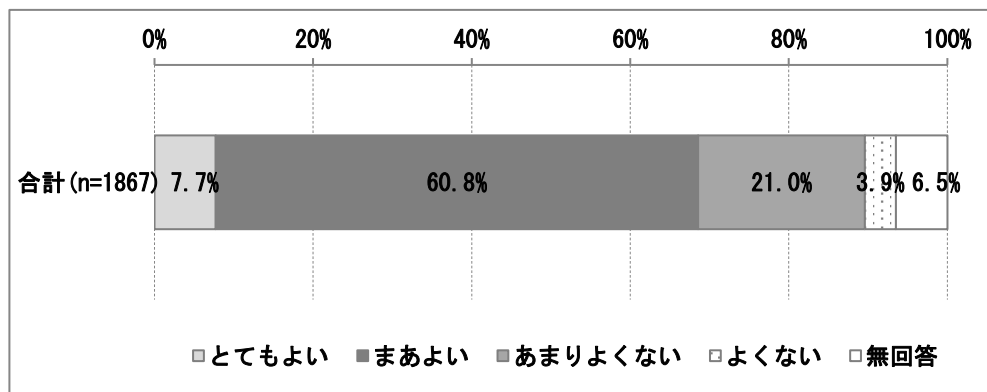
○1人暮らしでは、「心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない」が11.9%となっています。



問7 健康について

問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか(SA)

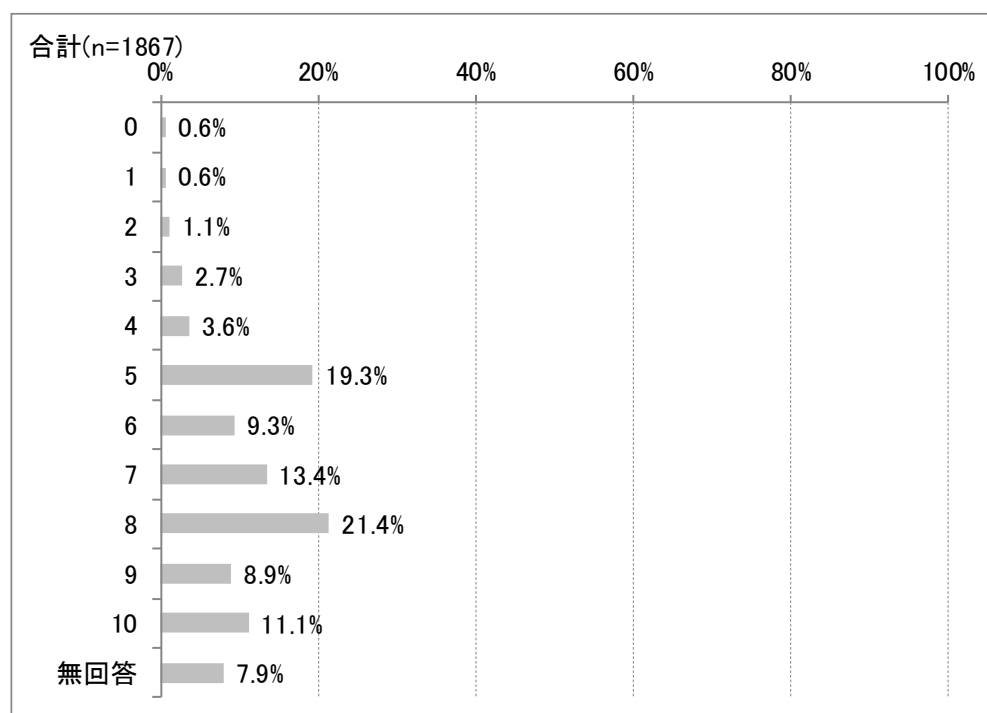
○「まあよい(60.8%)」の割合が最も高く、次いで、「あまりよくない(21.0%)」、「とてもよい(7.7%)」となっています。



問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(SA)

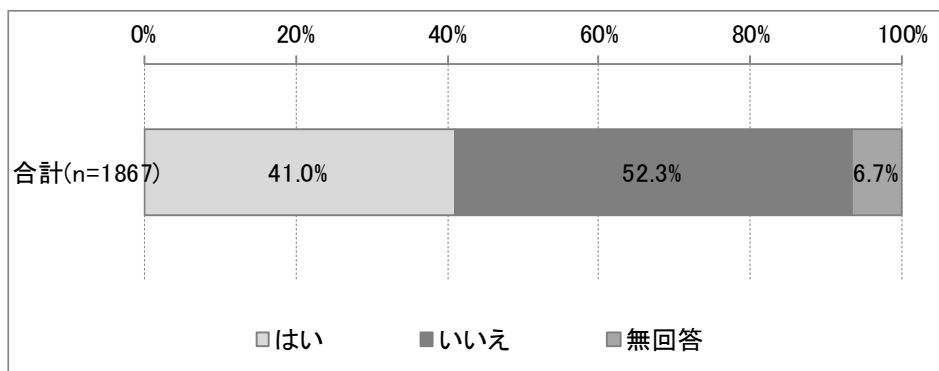
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として記入)

○「8(21.4%)」の割合が最も高く、次いで、「5(19.3%)」、「7(13.4%)」となっています。



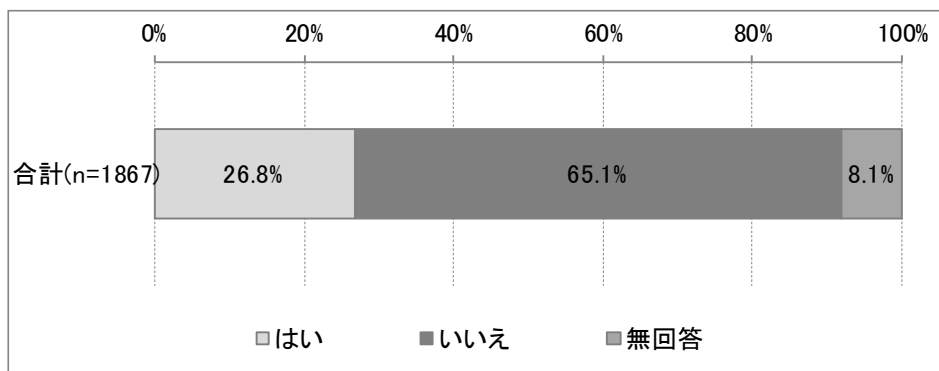
問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(SA)

○「いいえ(52.3%)」の割合が最も高く、次いで、「はい(41.0%)」となっています。



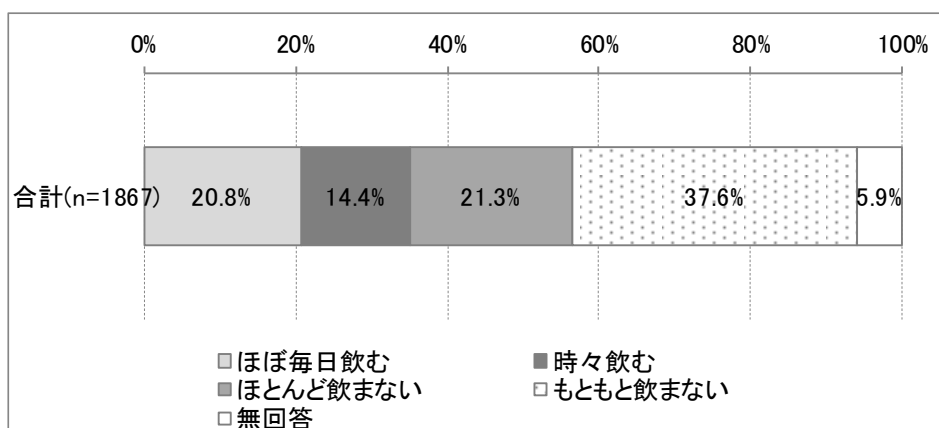
問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(SA)

○「いいえ(65.1%)」の割合が最も高く、次いで、「はい(26.8%)」となっています。



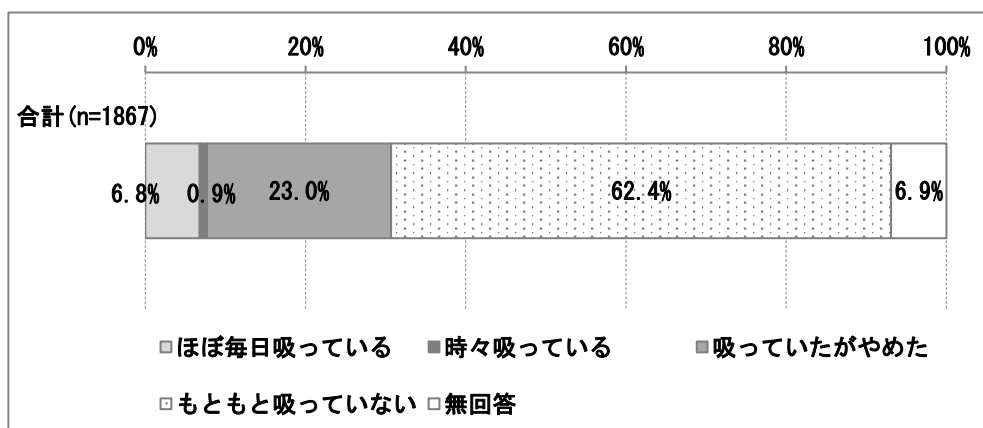
問7(5) お酒は飲みますか(SA)

○「もともと飲まない(37.6%)」の割合が最も高く、次いで、「ほとんど飲まない(21.3%)」、「ほぼ毎日飲む(20.8%)」となっています。



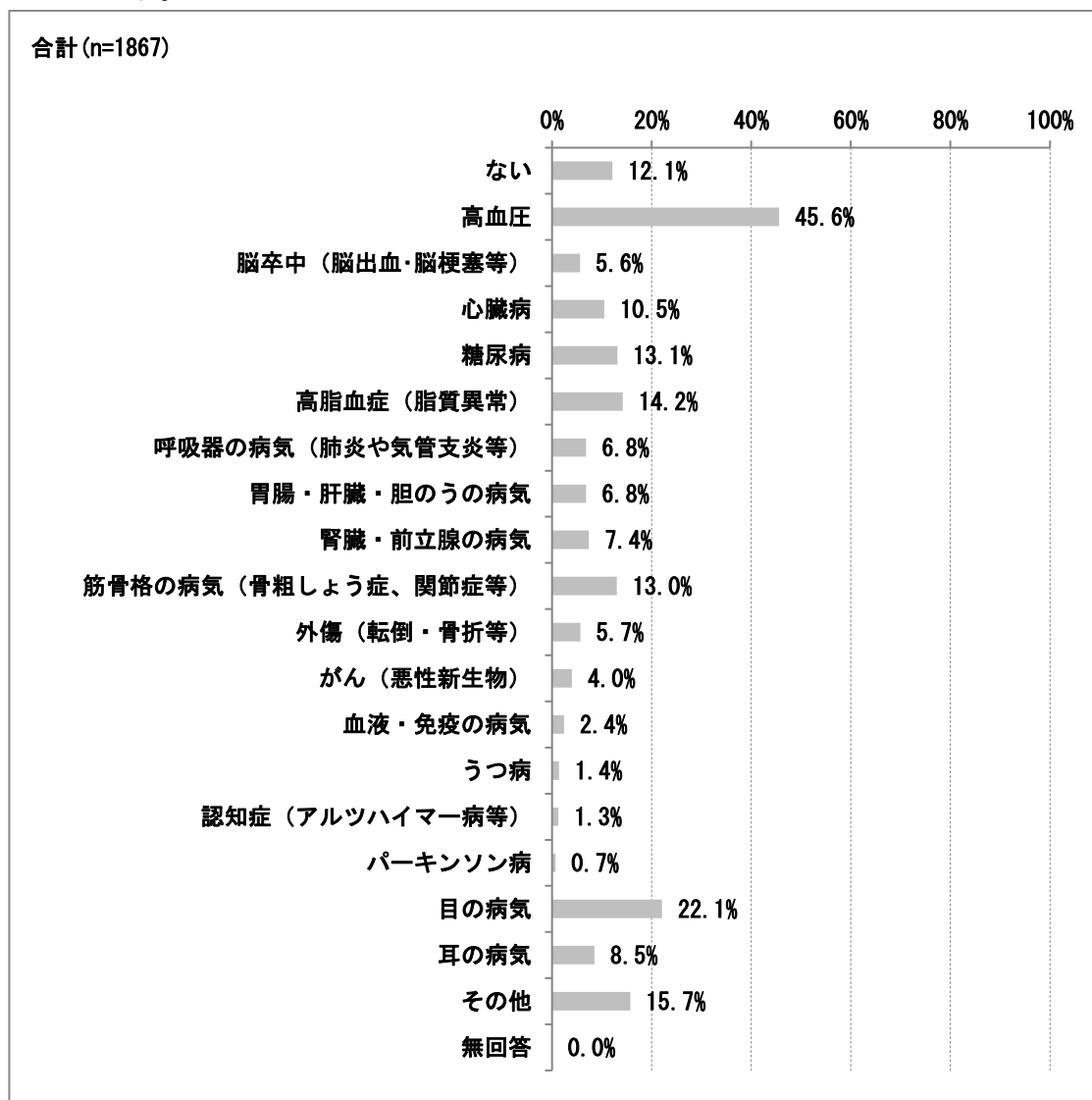
問7(6) タバコは吸っていますか (SA)

○「もともと吸っていない (62.4%)」の割合が最も高く、次いで、「吸っていたがやめた (23.0%)」、「ほぼ毎日吸っている (6.8%)」となっています。



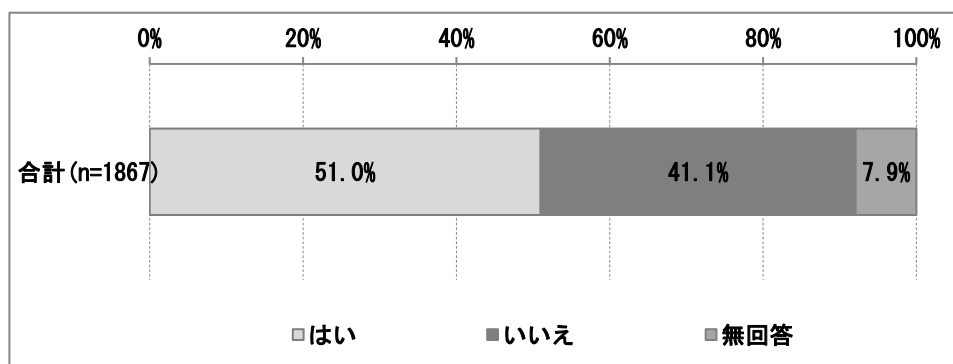
問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (MA)

○「高血圧 (45.6%)」の割合が最も高く、次いで、「目の病気 (22.1%)」、「その他 (15.7%)」、「高脂血症 (脂質異常) (14.2%)」、「糖尿病 (13.1%)」となっています。



問7 (8) 普段運動をしていますか (★SA)

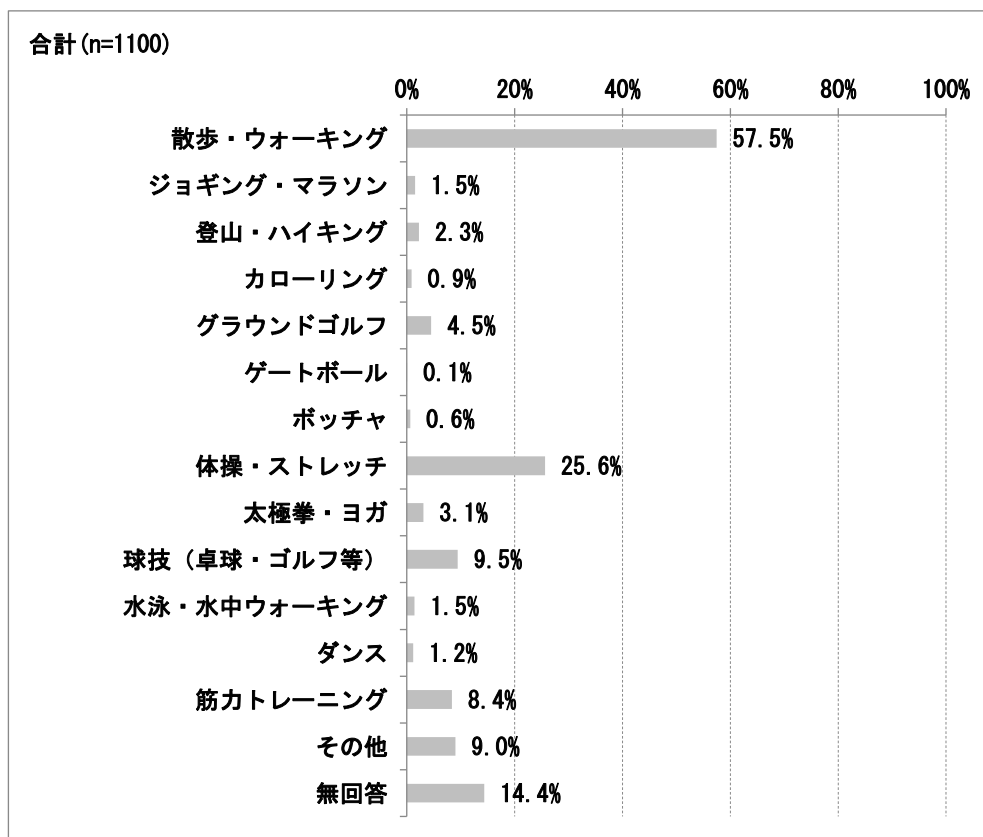
○「はい (51.0%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ (41.1%)」となっています。



【(8)において、「はい（運動をしている）」を回答された方のみ】

問 7 (8-1) 現在している運動は何ですか(★MA)

○「散歩・ウォーキング（57.5%）」の割合が最も高く、次いで、「体操・ストレッチ（25.6%）」、「球技（卓球・ゴルフ等）（9.5%）」となっています。



問 7 分析① 健康リスク判定【うつ傾向】

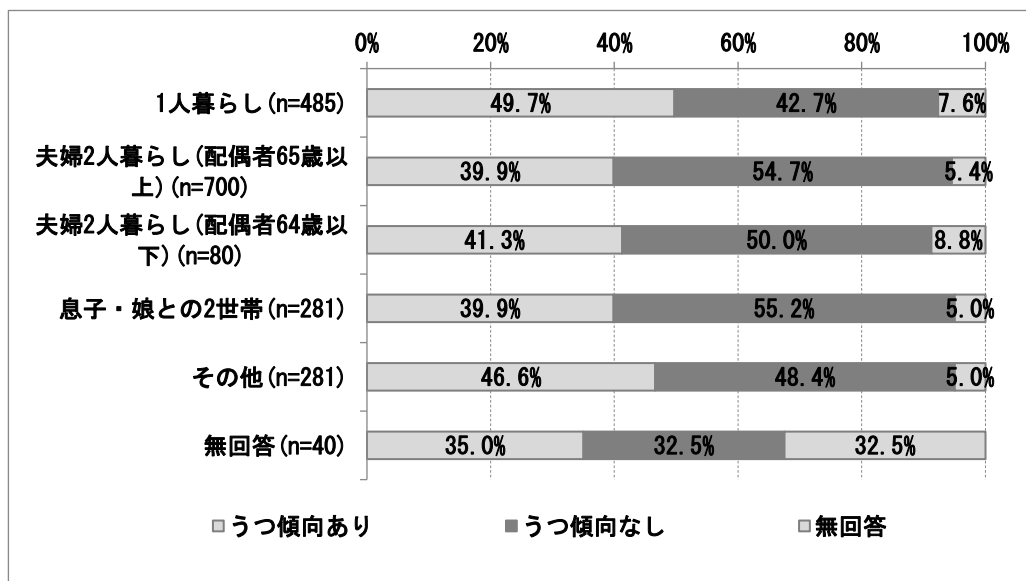
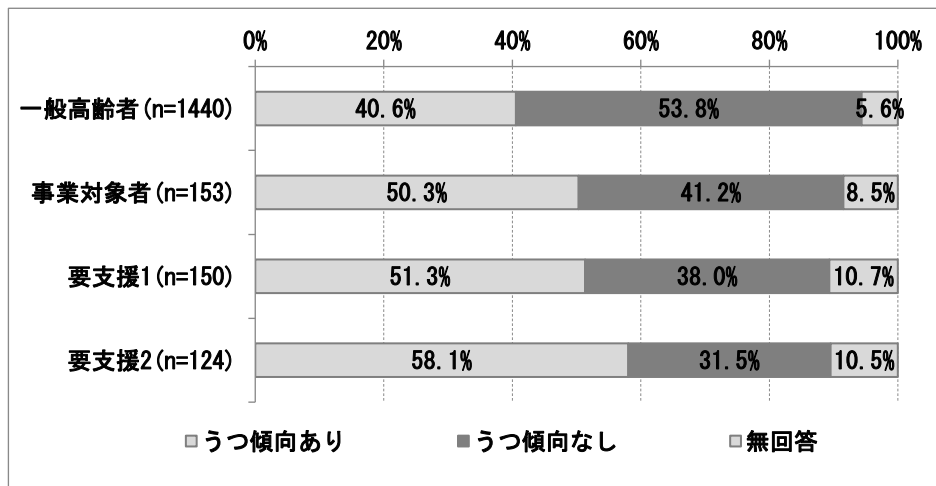
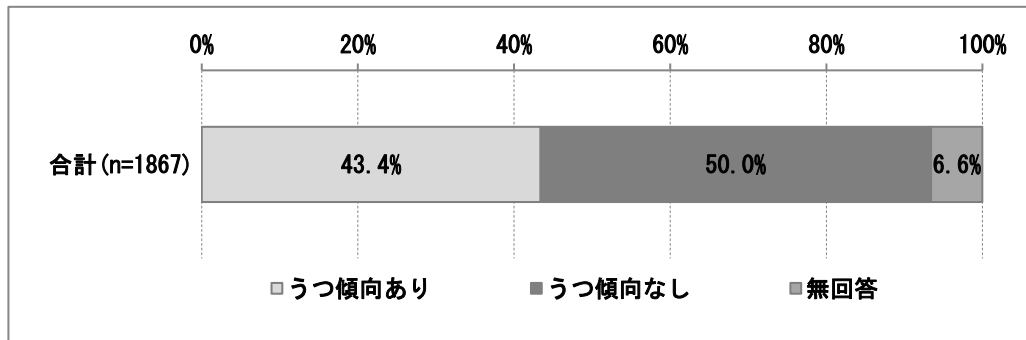
○ここでは、問 6 (3)・(4)の項目からうつ傾向のリスクについて分析しています。

《判定方法》

下記の設問で、いずれかひとつでも該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、うつ傾向にある高齢者となります。

設問		選択肢
問 7 (3)	この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問 7 (4)	この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

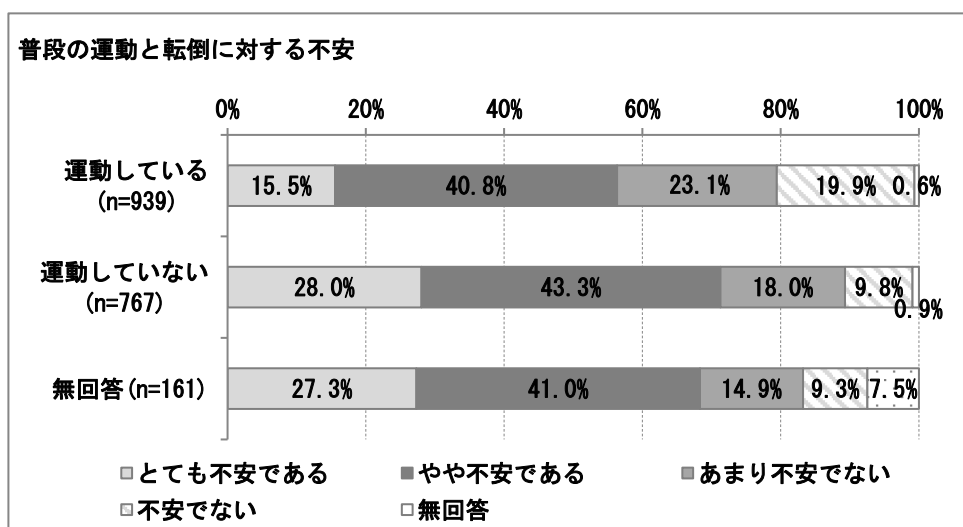
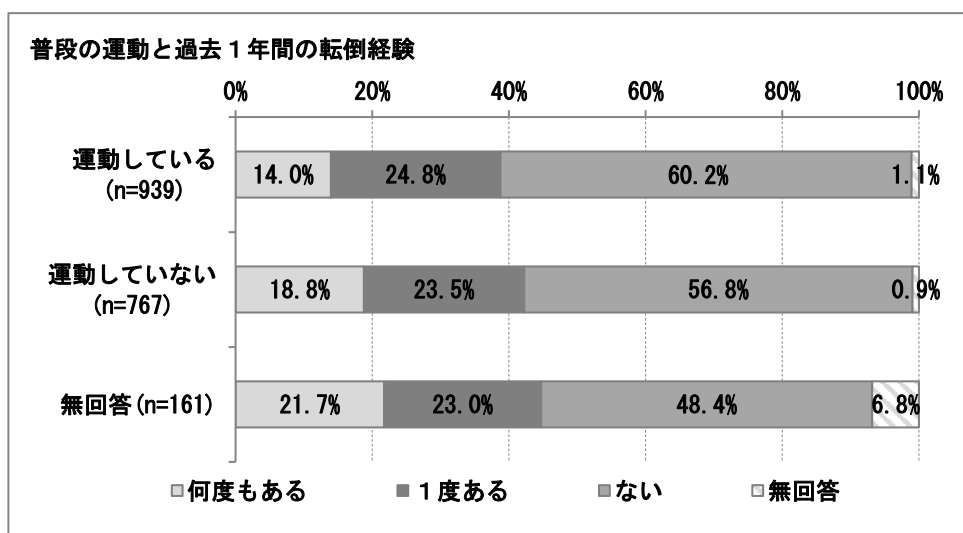
○リスク判定の結果、「うつ傾向」が疑われる割合は 43.4%となっています。うつ傾向は年齢との相関関係は小さく、回答したどの年齢層も 3～4 割程度となっている一方、介護認定等や家族構成によっては、うつ傾向が疑われる割合が高くなっています。



問7分析② 普段の運動と転倒リスク

○ここでは、問7(8)、問2(4)・(5)の項目から普段の運動と転倒リスクの関係について分析しています。

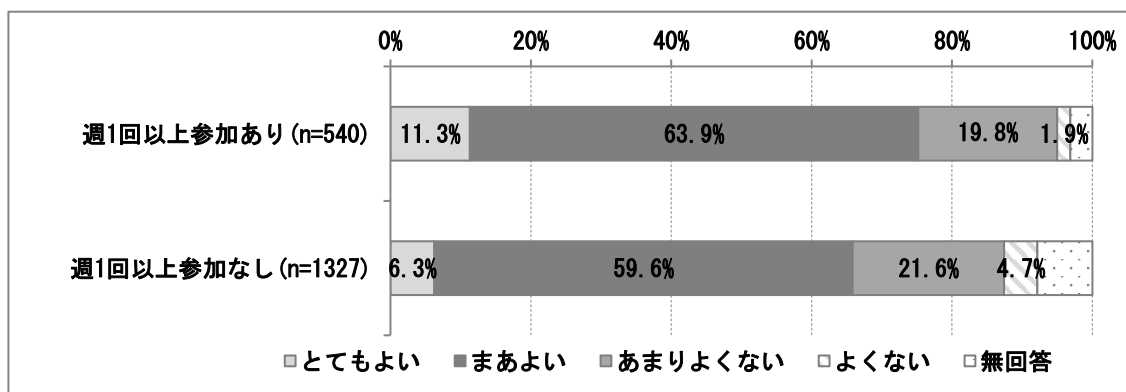
○普段から運動している人の方が「転倒の経験」や「転倒に対する不安」は少なくなっています。



問7分析③ 地域活動への参加頻度と健康状態

○ここでは、問5(1)・問7(1)の項目から地域活動への参加頻度と健康状態について分析しています。

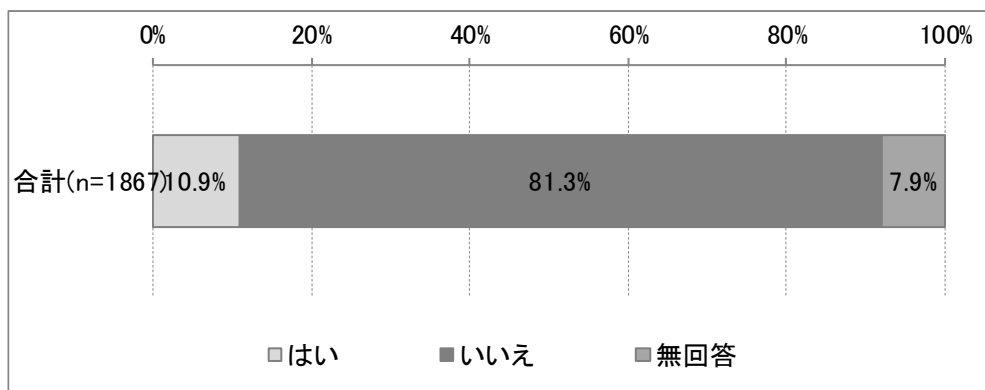
○1人暮らしでは、「心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない」が11.9%となっています。



問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

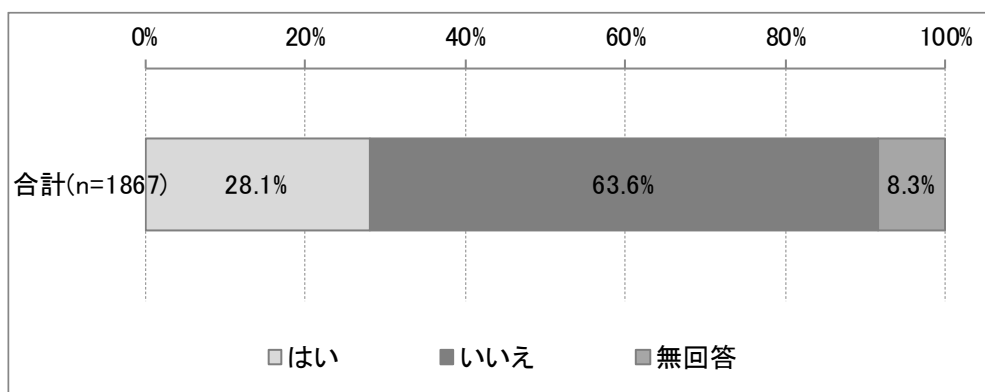
問 8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (SA)

○「いいえ (81.3%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (10.9%)」となっています。



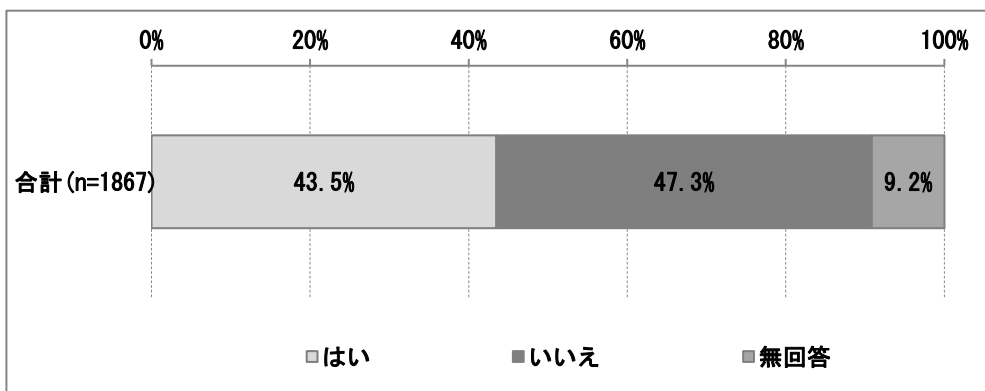
問 8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (SA)

○「いいえ (63.6%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (28.1%)」となっています。



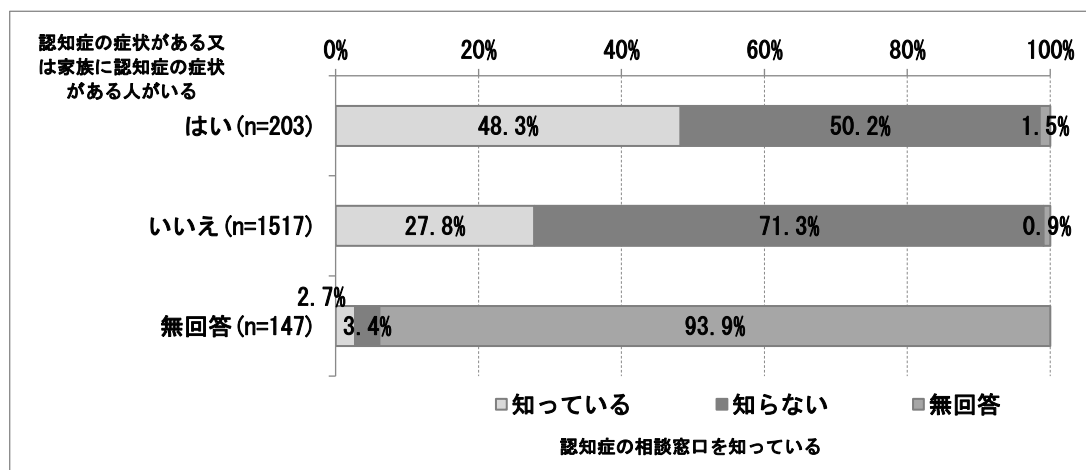
問 8 (3) 成年後見制度を知っていますか (★SA)

○「いいえ (47.3%)」の割合が最も高く、次いで、「はい (43.5%)」となっています。



問 8 分析① 認知症相談窓口の認知度

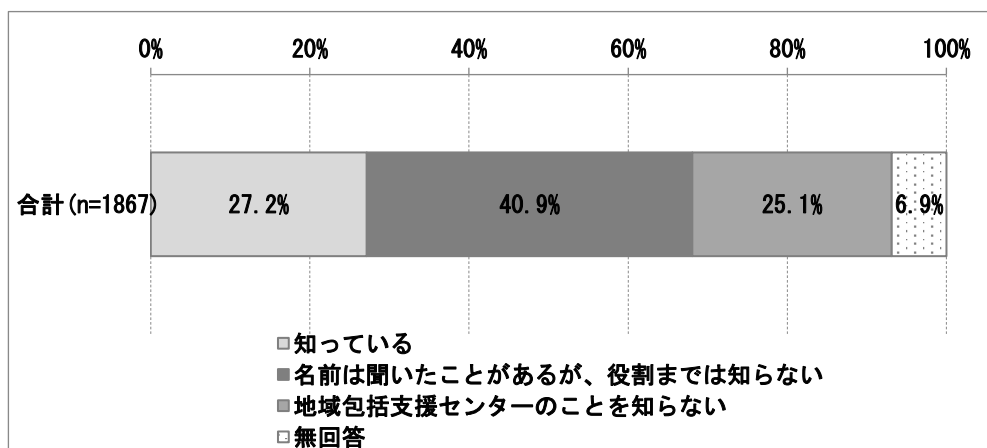
- ここでは、問 8 (1)・(2)の項目から認知症相談窓口の認知度について分析しています。
- 「本人に認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人」で「はい」と答えた人の内、認知症の相談窓口を「知っている」は 48.3%、「いいえ」と答えた人の内、認知症の相談窓口を「知っている」は 27.8%となっています。
- 「認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる」場合でも、50.2%が認知症の相談窓口を知らないと答えています。



問 9 住み慣れた地域での暮らしについて

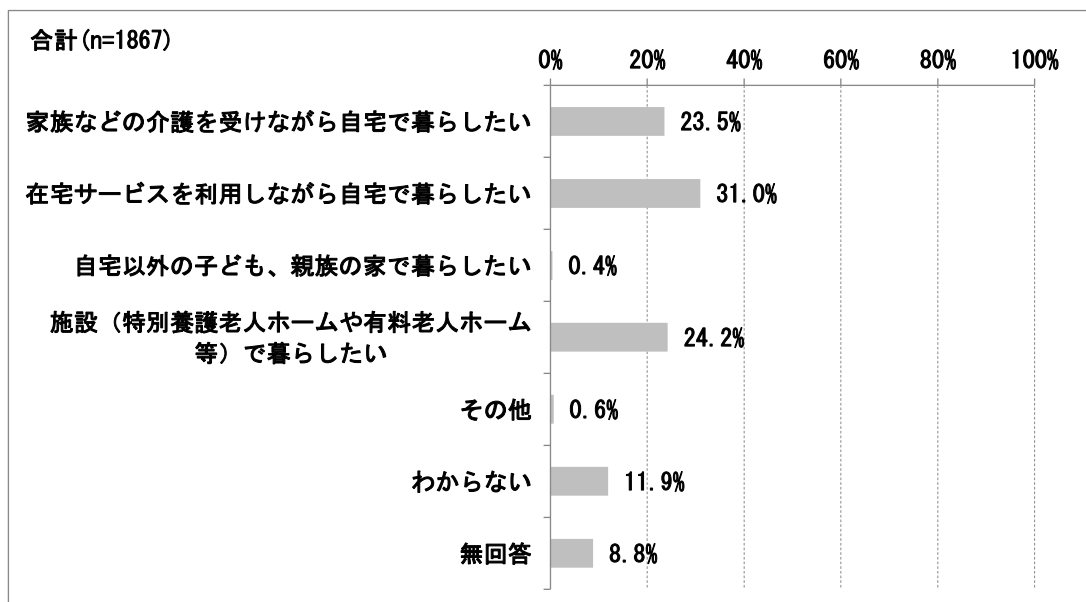
問 9 (1) 市では地域包括支援センターを市役所高齢福祉課に設置していますが、その役割を知っていますか(★SA)

- 「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない(40.9%)」の割合が最も高く、次いで、「知っている(27.2%)」、「地域包括支援センターのことを知らない(25.1%)」となっています。



問 9 (2) あなたが介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいですか(★SA)

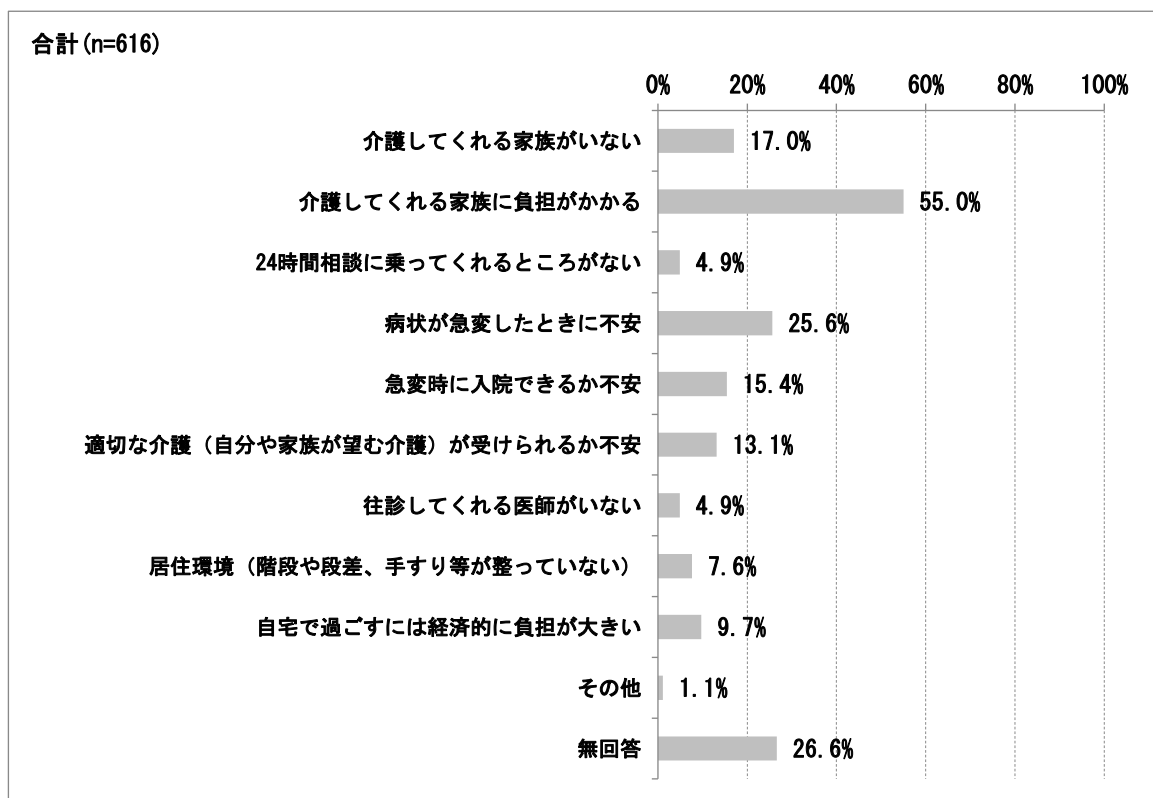
- 「在宅サービスを利用しながら自宅で暮らしたい(31.0%)」の割合が最も高く、次いで、「施設(特別養護老人ホームや有料老人ホーム等)で暮らしたい(24.2%)」、「家族などの介護を受けながら自宅で暮らしたい(23.5%)」となっています。



【(2)において、「施設で暮らしたい」を回答された方のみ】

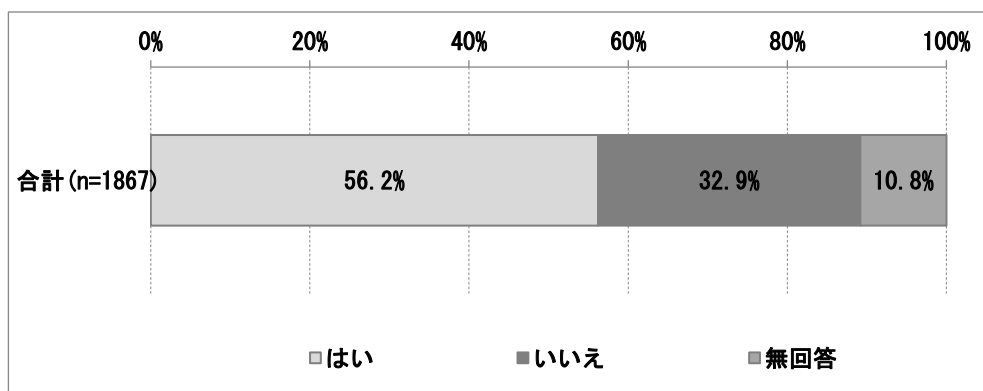
問9(2-1) 自宅や子供、親族の家以外で暮らしたいと考える理由を教えてください(★MA・3つまで)

○「介護してくれる家族に負担がかかる(55.0%)」の割合が最も高く、次いで、「病状が急変したときに不安(25.6%)」、「介護してくれる家族がいない(17.0%)」となっています。



問9(3) 人生の最終段階における介護・医療についてこれまでに考えたことがありますか(★SA)

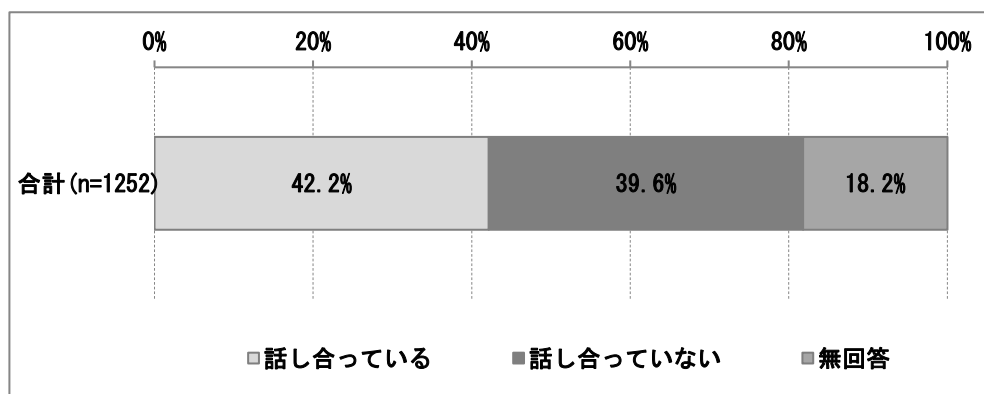
○「はい(56.2%)」の割合が最も高く、次いで、「いいえ(32.9%)」となっています。



【(3)において、「はい（人生の最終段階における介護・医療）について考えたことがある」」を回答された方のみ】

問9 (3-1) 人生の最終段階において、「希望する介護・医療」や「希望しない介護・医療」について話し合ったことがありますか(★SA)

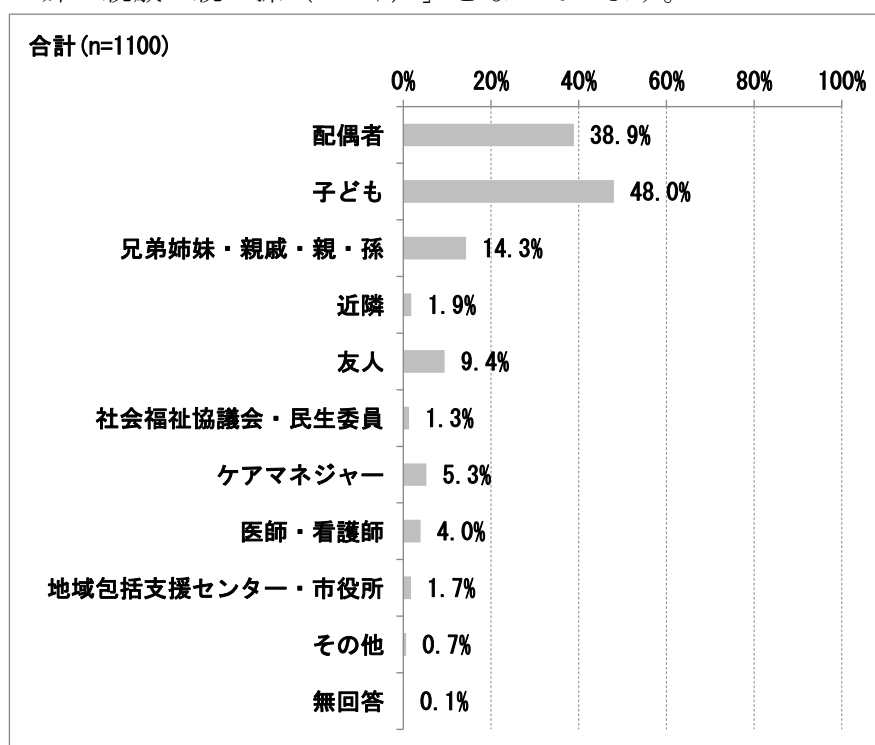
○「はい（42.2%）」の割合が最も高く、次いで、「いいえ（39.6%）」となっています。



【(3-1)において、「話し合っている」」を回答された方のみ】

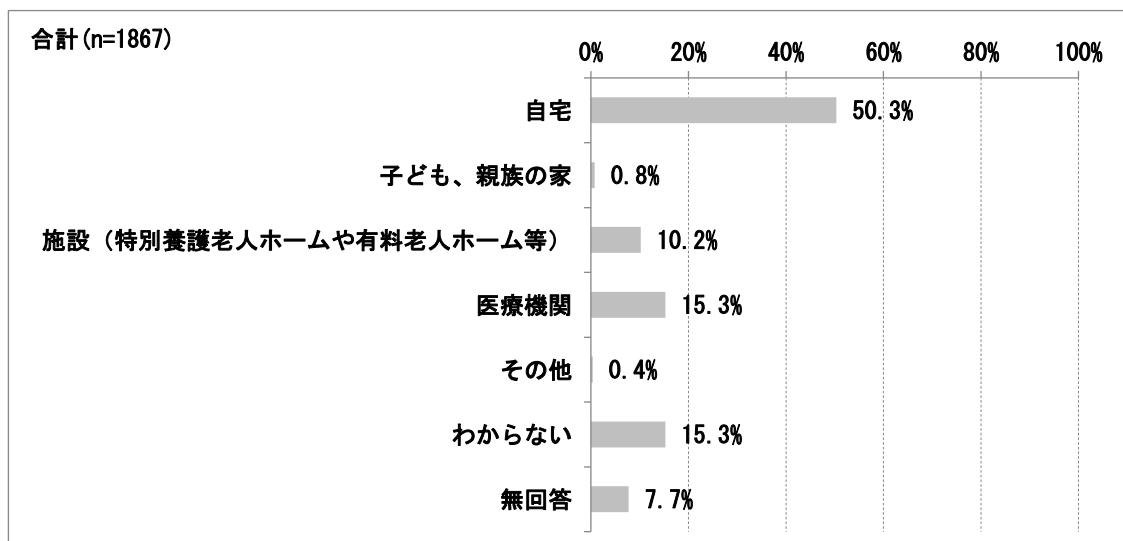
問9 (3-2) どのような立場の方と話しられましたか(★MA・3つまで)

○「子ども（48.0%）」の割合が最も高く、次いで、「配偶者（38.9%）」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫（14.3%）」となっています。



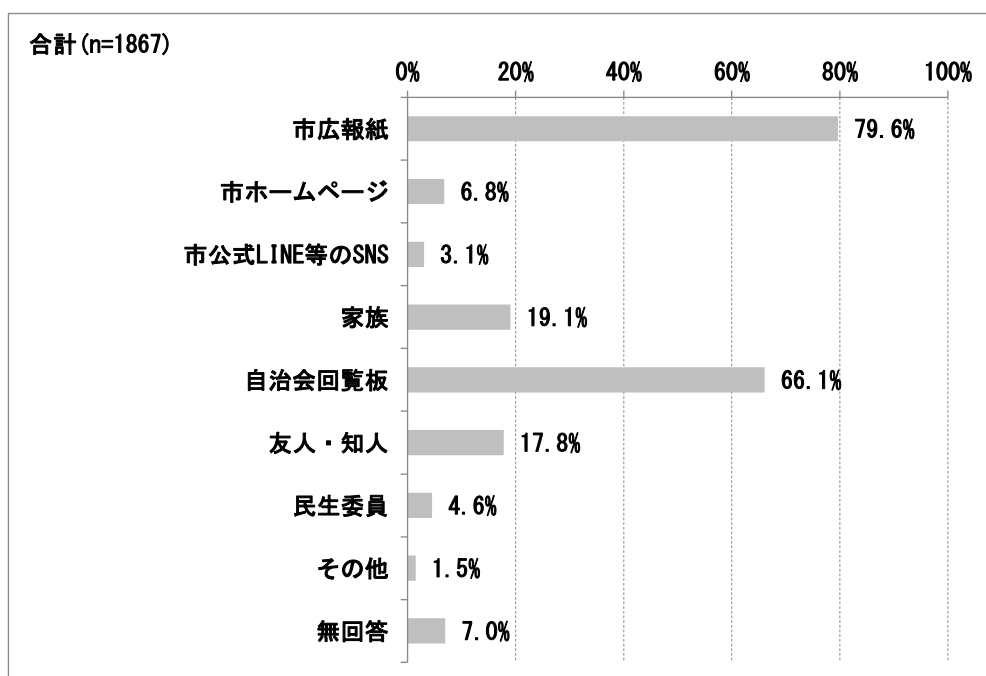
問 9 (4) あなたが人生の最後を迎えたい場所として、ご希望に最も近いものはどれですか(★SA)

○「自宅 (50.3%)」の割合が最も高く、次いで、「医療機関 (15.3%)」、「わからない (15.3%)」、「施設 (特別養護老人ホームや有料老人ホーム等) (10.2%)」となっています。



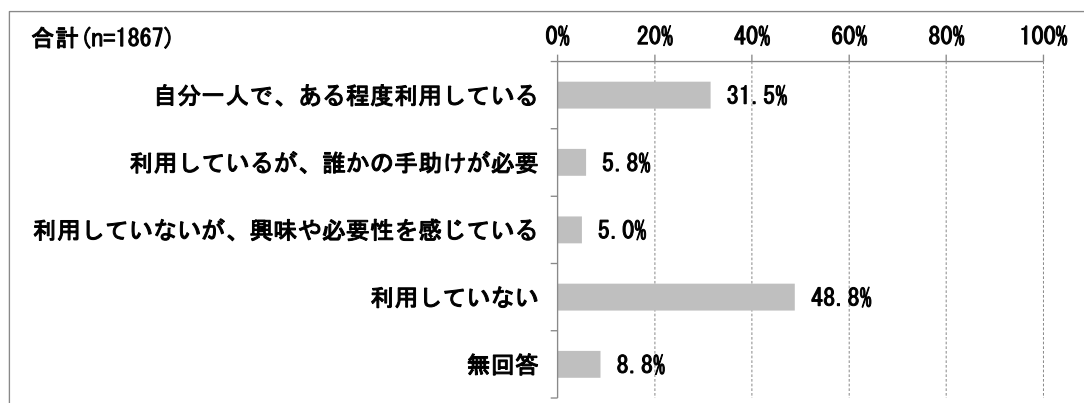
問 9 (5) あなたは市からの情報をどのような手段で入手しますか(★MA・3つまで)

○「市広報紙 (79.6%)」の割合が最も高く、次いで、「自治会回覧板 (66.1%)」、「家族 (19.1%)」となっています。



問 9 (6) パソコン、スマートフォン、タブレット等を用いて、インターネットを利用していますか(★SA)

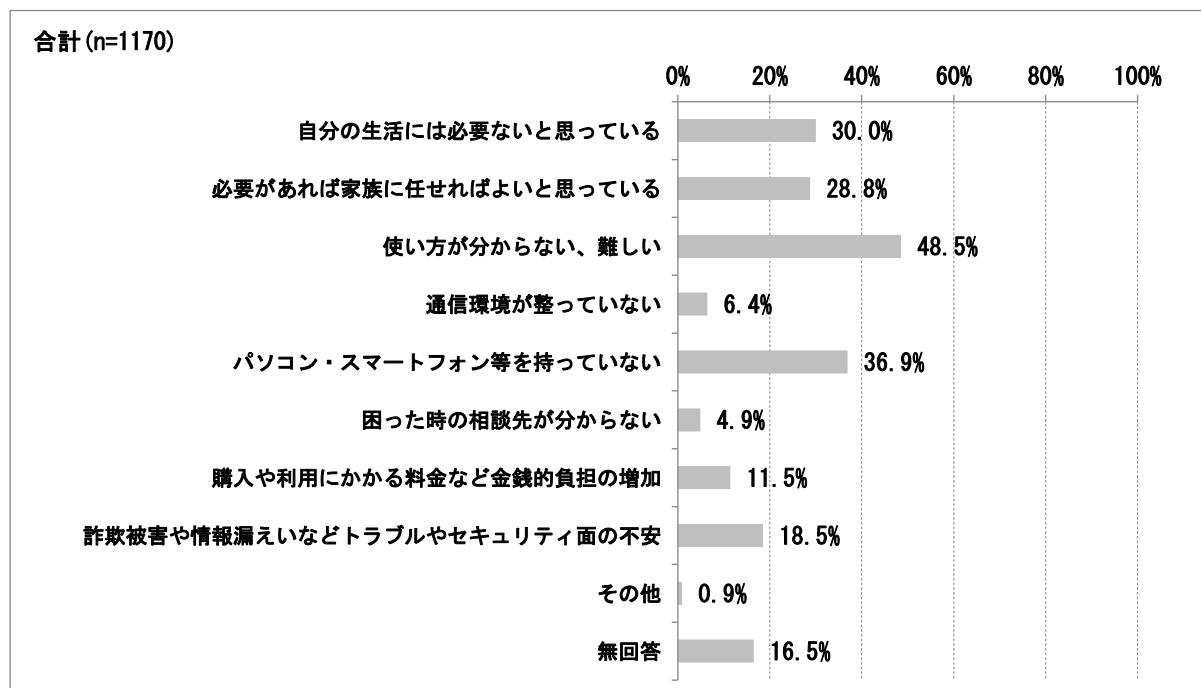
○「利用していない(48.8%)」の割合が最も高く、次いで、「自分一人で、ある程度利用している(31.5%)」、「利用しているが、誰かの手助けが必要(5.8%)」となっています。



【(6)において、「利用していないが、興味や必要性を感じている」「利用していない」を回答された方のみ】

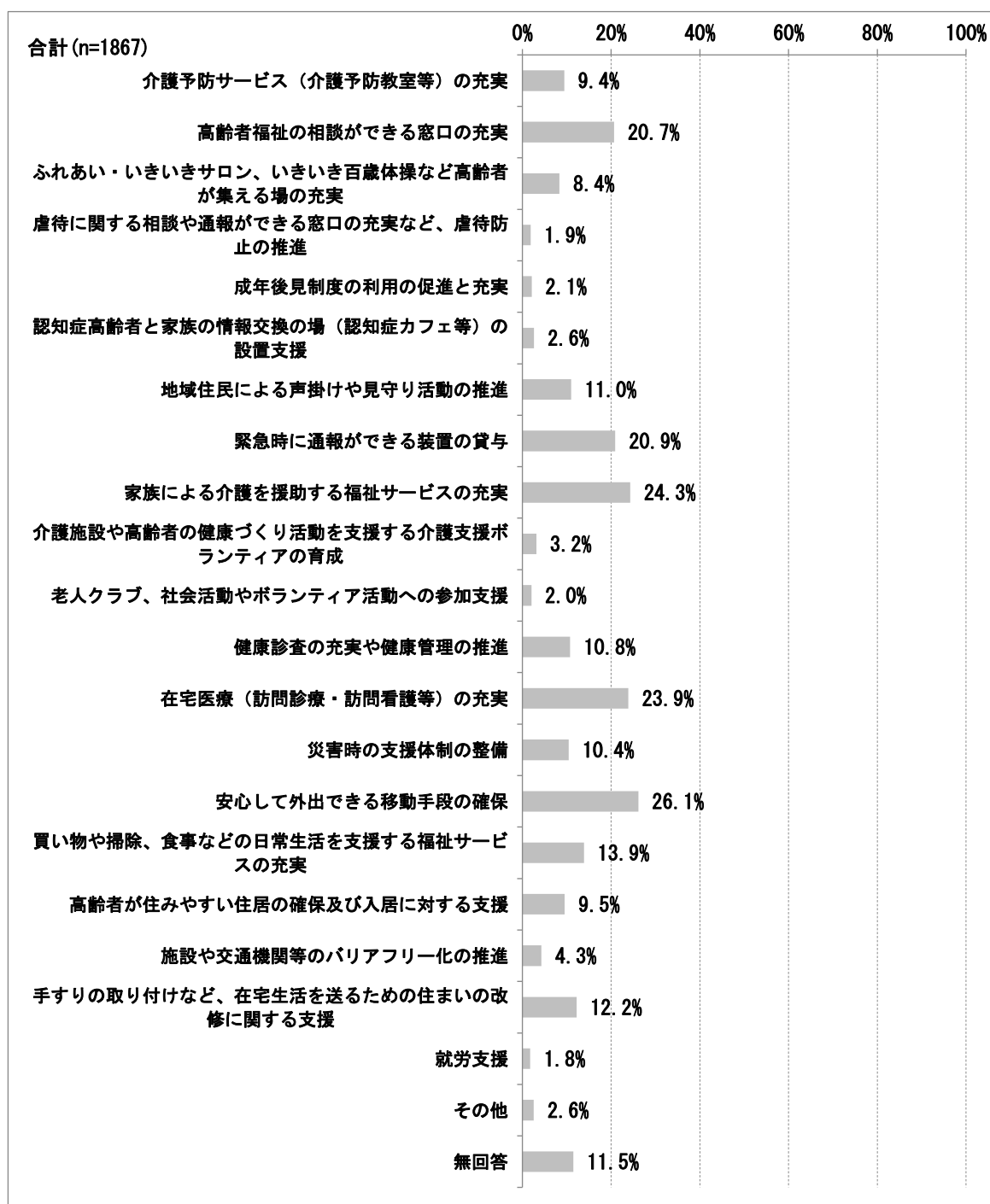
問 9 (6-1) 利用していない理由について教えてください(★MA・3つまで)

○「使い方が分からない、難しい(48.5%)」の割合が最も高く、次いで、「パソコン・スマートフォン等を持っていない(36.9%)」、「自分の生活には必要ないと思っている(30.0%)」となっています。



問9(7) 高齢者施策（サービス）について、特に力を入れてほしい項目を教えてください(★MA・3つまで)

○「安心して外出できる移動手段の確保（26.1%）」の割合が最も高く、次いで、「家族による介護を援助する福祉サービスの充実（24.3%）」、「在宅医療（訪問診療・訪問看護等）の充実（23.9%）」、「緊急時に通報ができる装置等の貸与（20.9%）」、「高齢福祉の相談ができる窓口の充実（20.7%）」となっています。

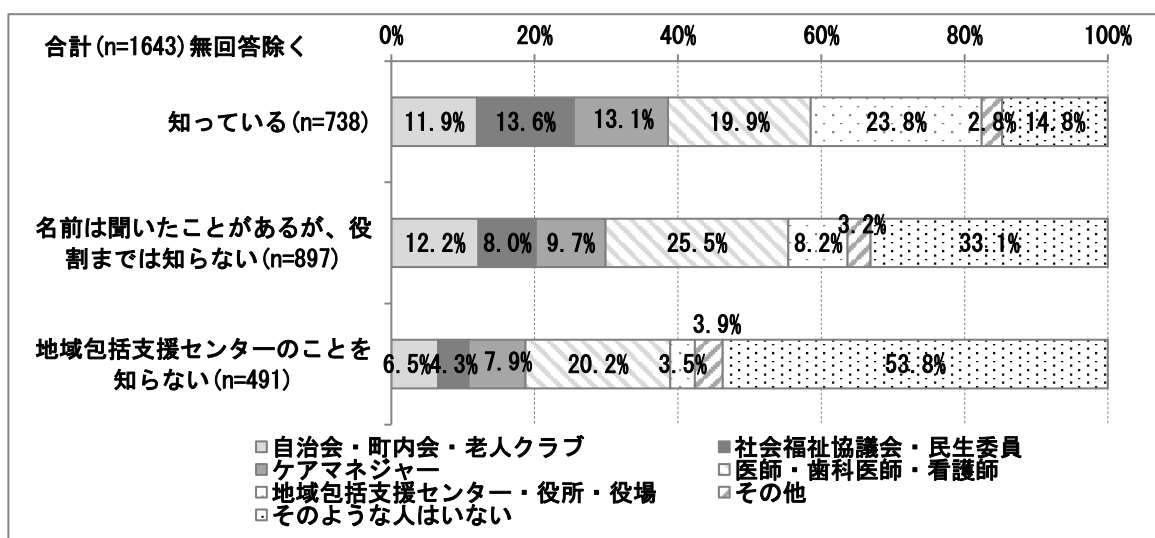


問9分析① 地域包括支援センターの認知度

○ここでは、問9(1)・問6(5)の項目から地域包括支援センターの認知度について分

析しています。

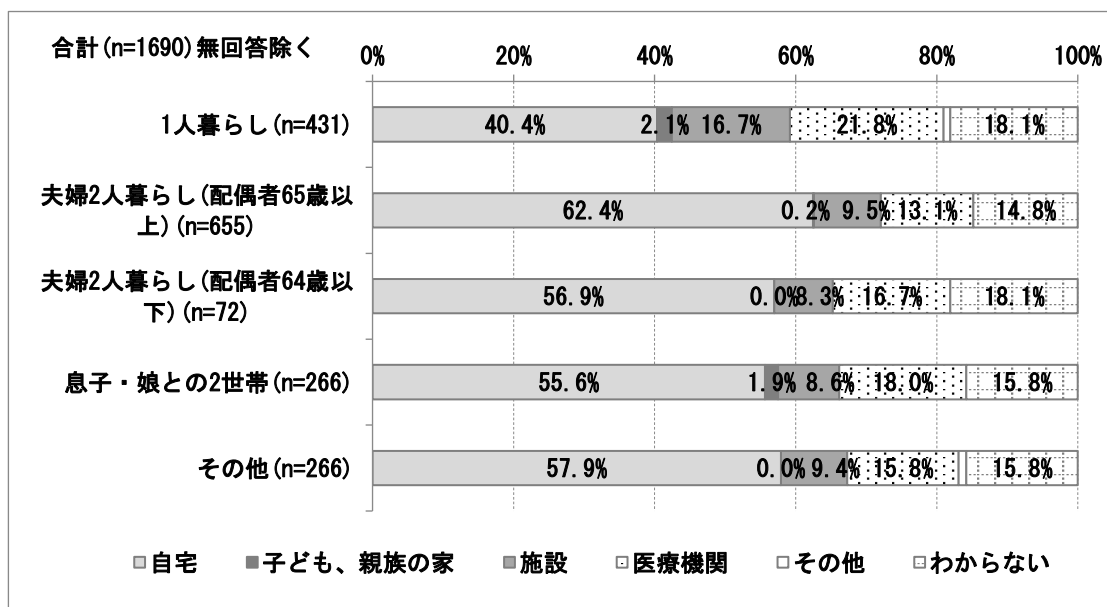
- 「何かあったときに相談する人がいない」場合、「地域包括支援センターのことを知らない」割合が53.8%となっています。



問9分析② 家族構成と人生の最後を迎えたい場所

- ここでは、家族構成と問9(4)の項目から家族構成別の人生の最後を迎えたい場所について分析しています。

- 1人暮らしの場合、「施設」や「医療機関」と答えた割合が38.5%となっています。

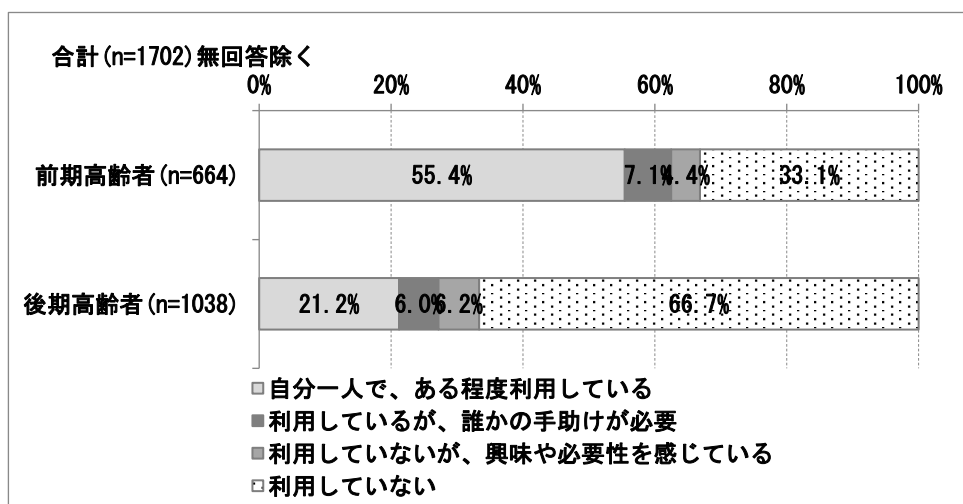


問9分析③ 年齢階層とインターネット利用状況

- ここでは、年齢階層と問9(6)の項目から年齢階層別のインターネット利用状況について分析しています。

- 65歳以上74歳以下の前期高齢者では、「自分一人で、ある程度利用している」が55.4%、75歳以上の後期高齢者では、「自分一人で、ある程度利用している」が

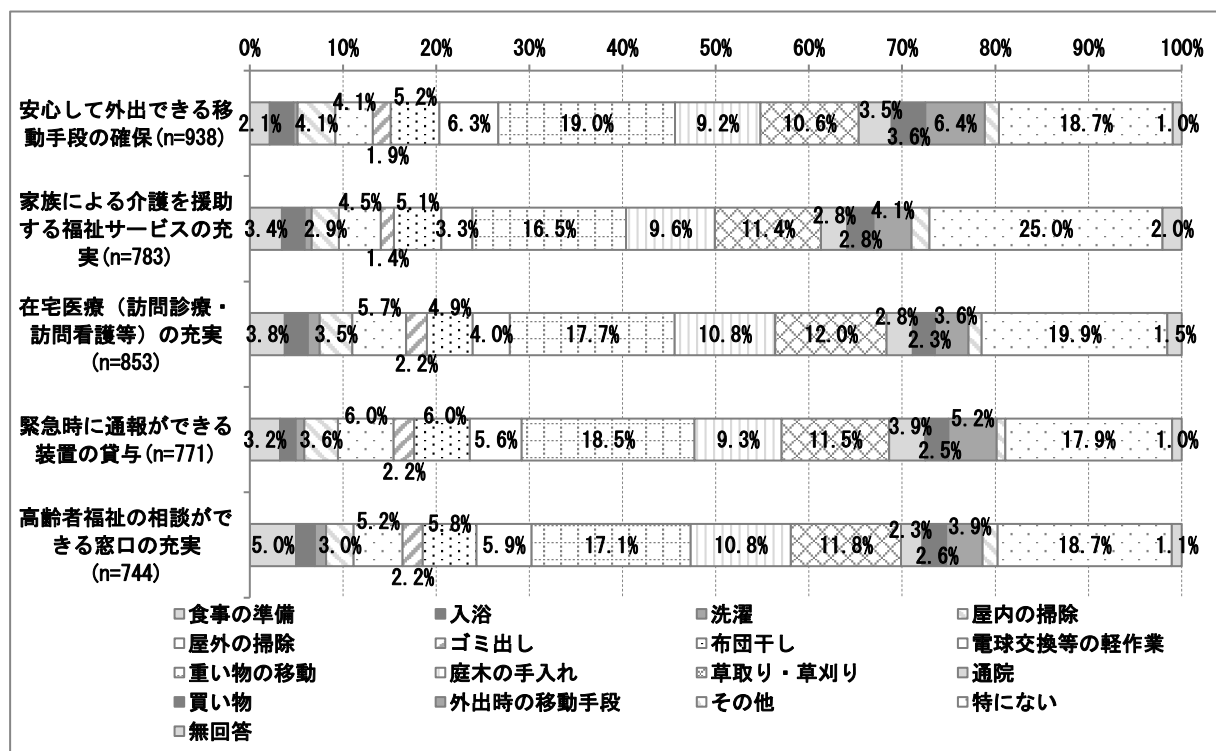
21.2%となっています。



問9分析④ 力を入れてほしい高齢者施策と普段の生活で困っていること

○ここでは、問9(7)・問4(19)の項目から特に力を入れてほしい高齢者施策（上位5つ）と普段の生活の困りごとについて分析しています。

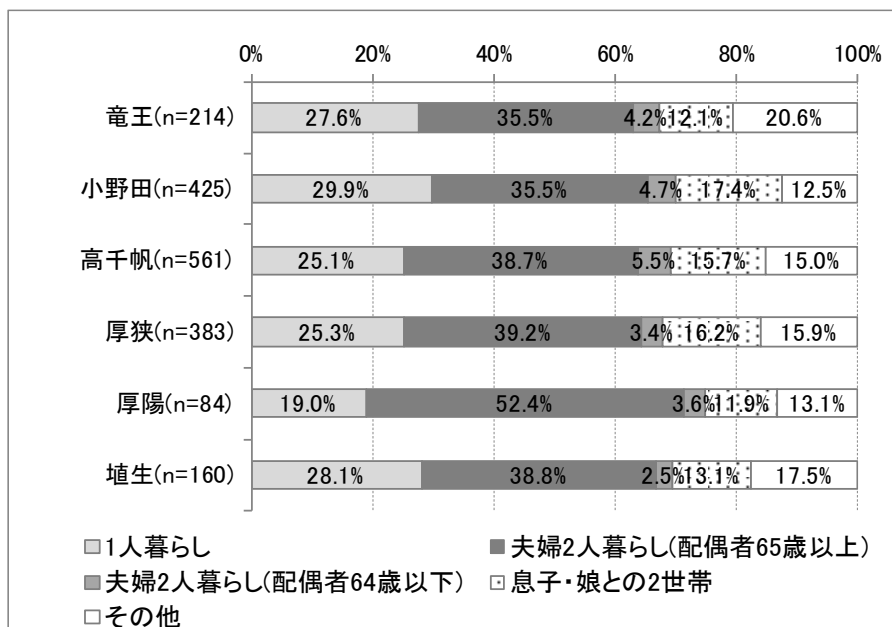
○当該施策を回答した人の普段の生活の困りごとは、「特にない」の割合が最も多く、次いで、「重いもの移動」、「草取り・草刈り」、「庭木の手入れ」となっています。当該施策と普段の生活の困りごとで異なる傾向があることから、当該施策は将来の不安を解決するために求められている施策であると考えられます。



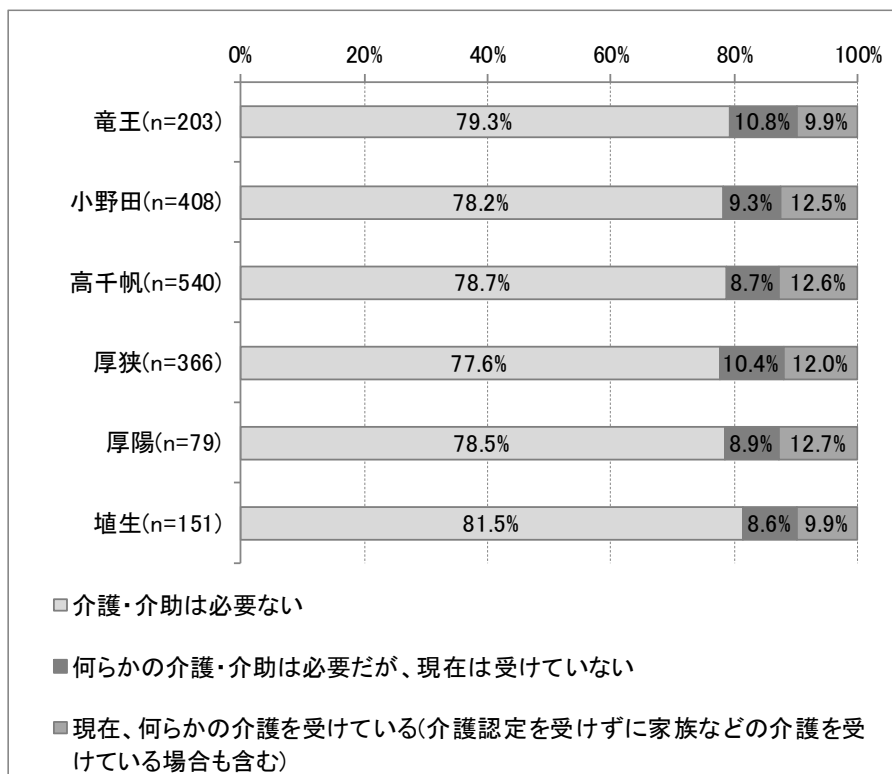
IV 集計結果（日常生活圏域別）

問 1 あなたのご家族や生活状況について

問 1 (1) 家族構成をお教えてください (SA)

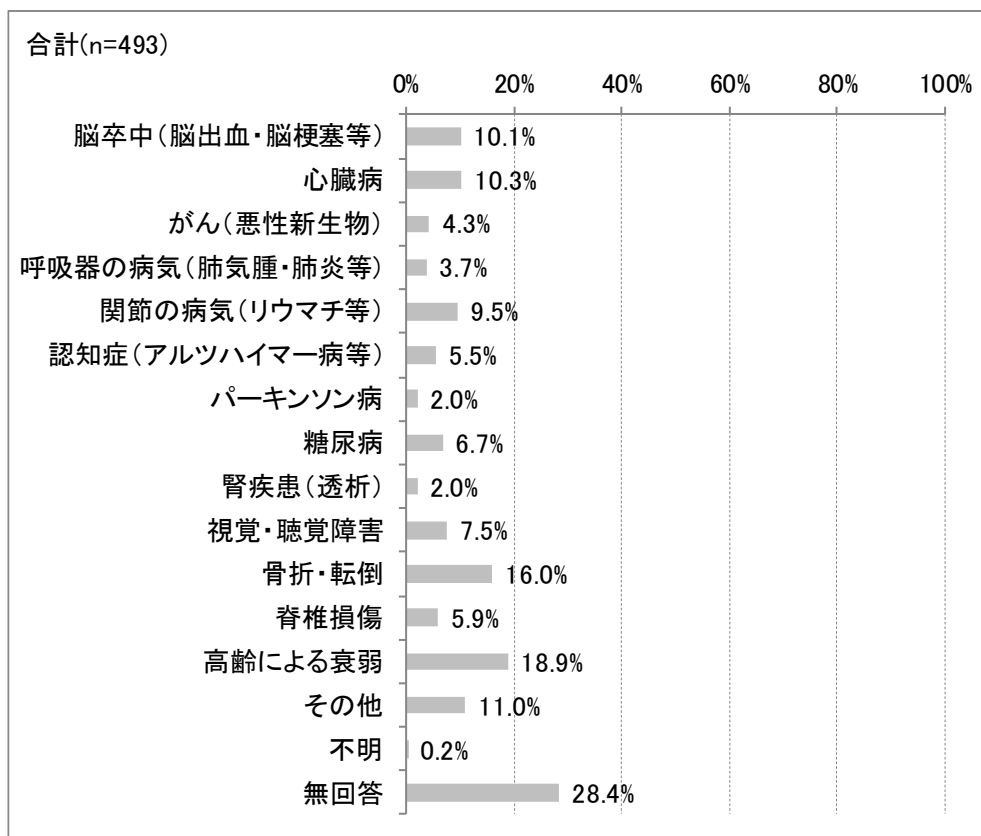


問 1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (SA)



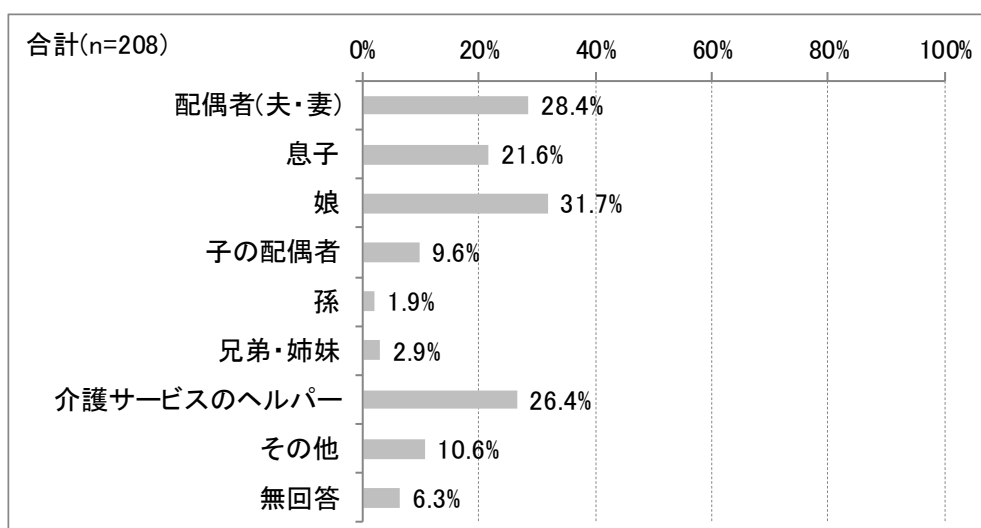
【(2)において、「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問 1 (2-1) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (MA) (再掲)

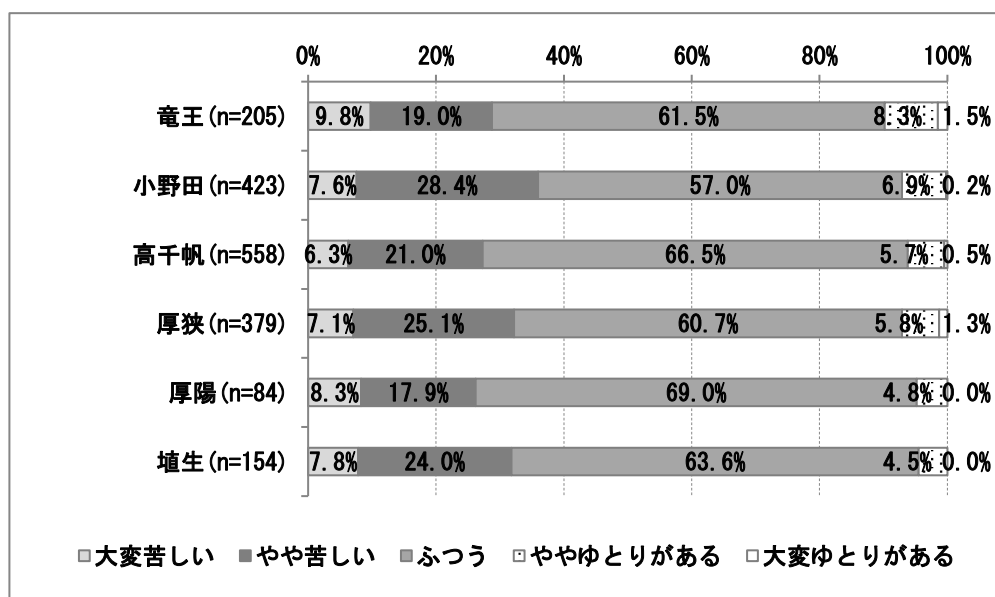


【(2)において、「現在、何らかの介護を受けている」方のみ】

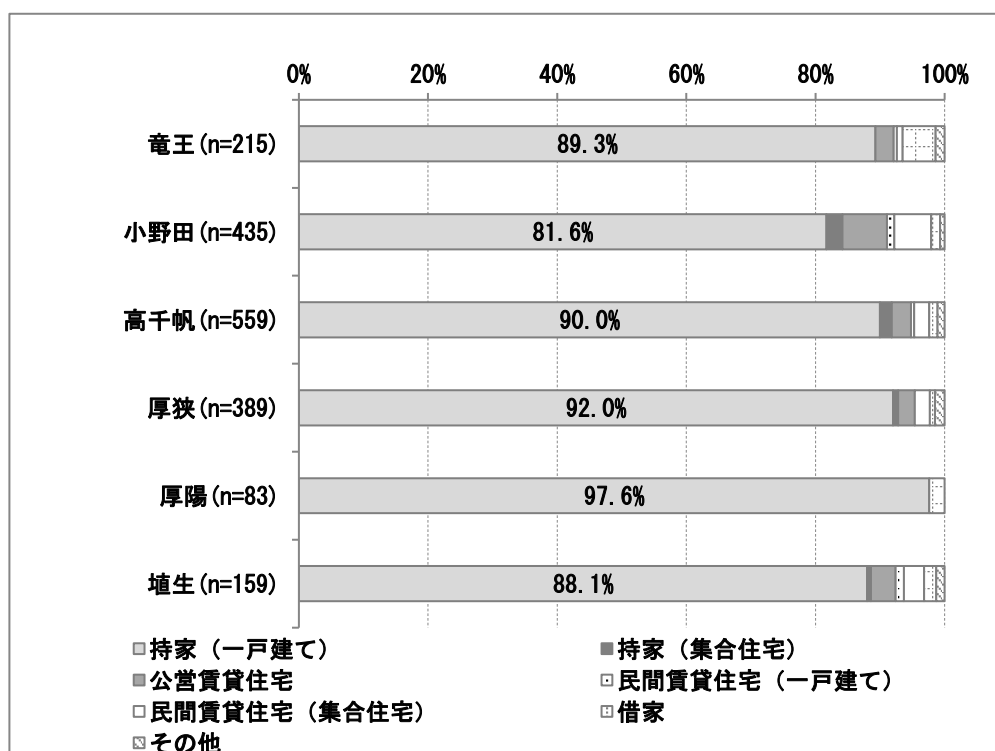
問 1 (2-1) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (MA) (再掲)



問 1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (SA)

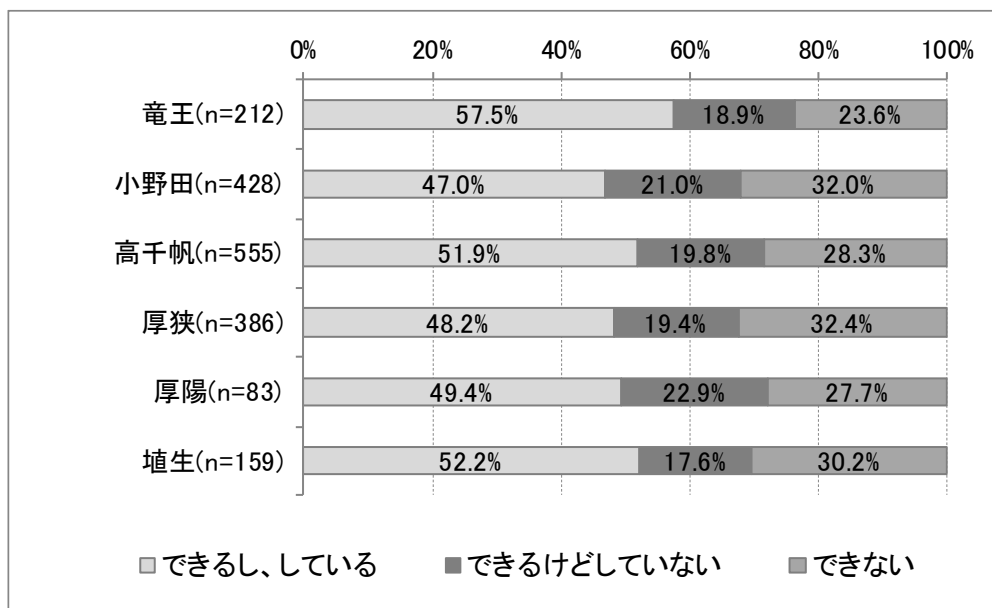


問 1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (SA)

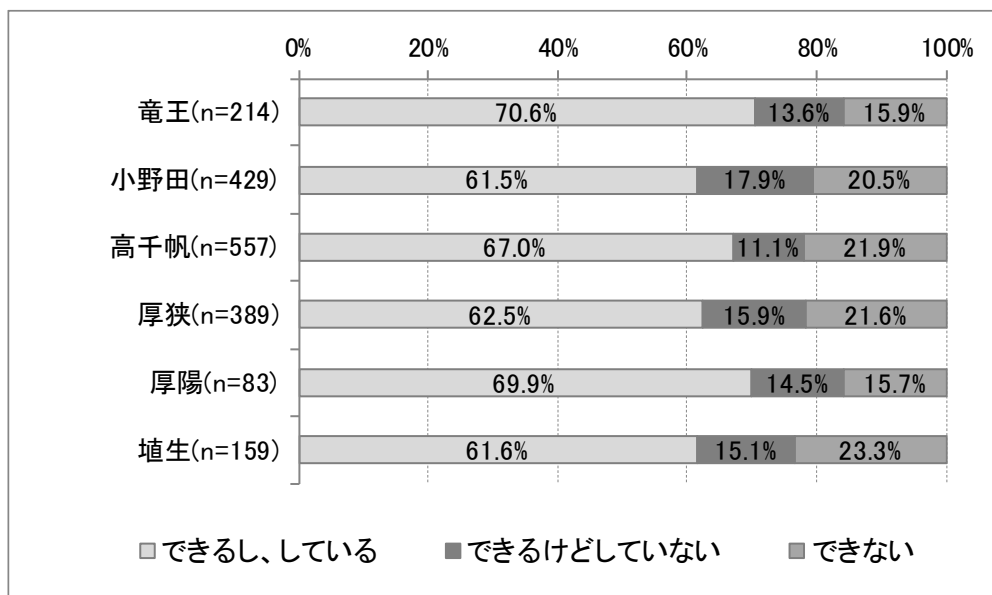


問2 からだを動かすことについて

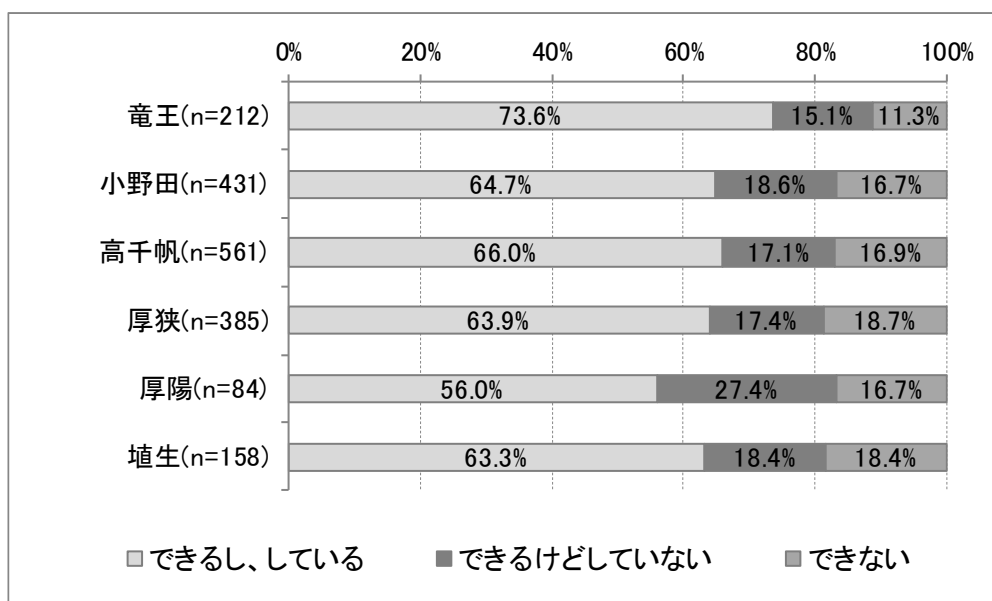
問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(SA)



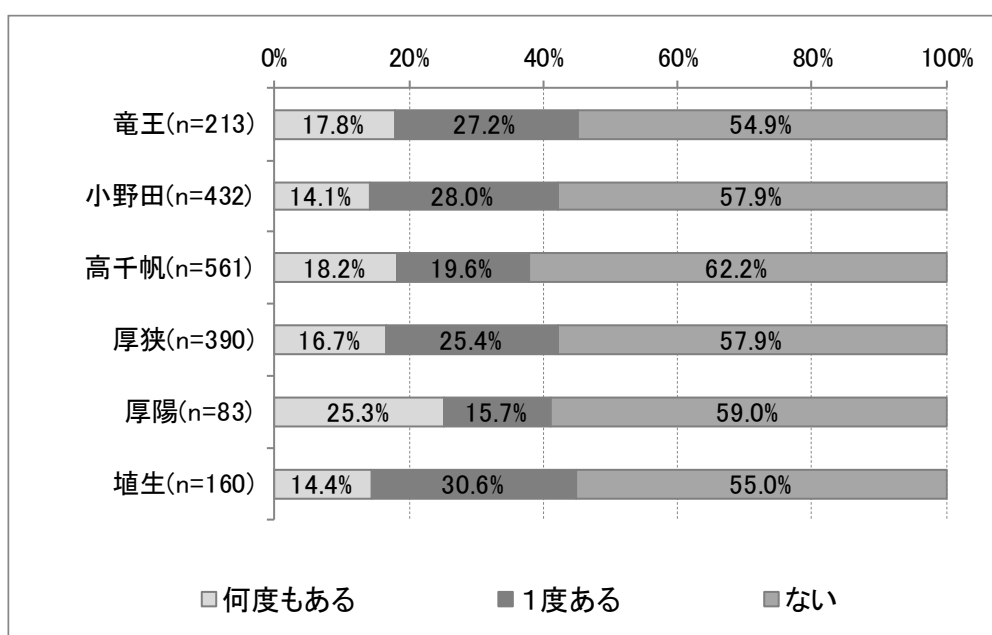
問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(SA)



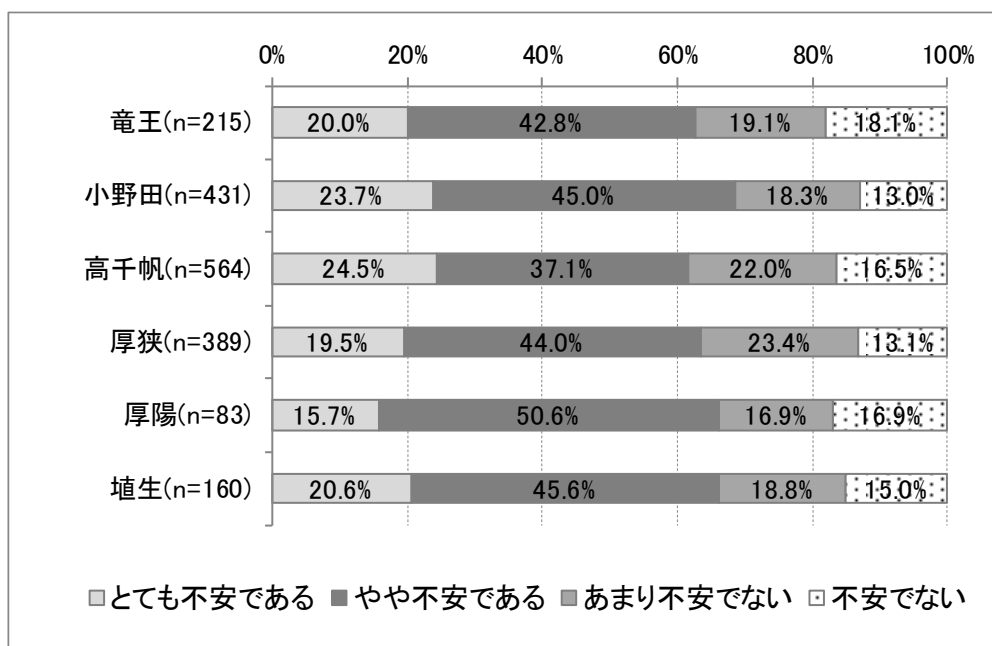
問 2 (3) 15 分位続けて歩いていますか (SA)



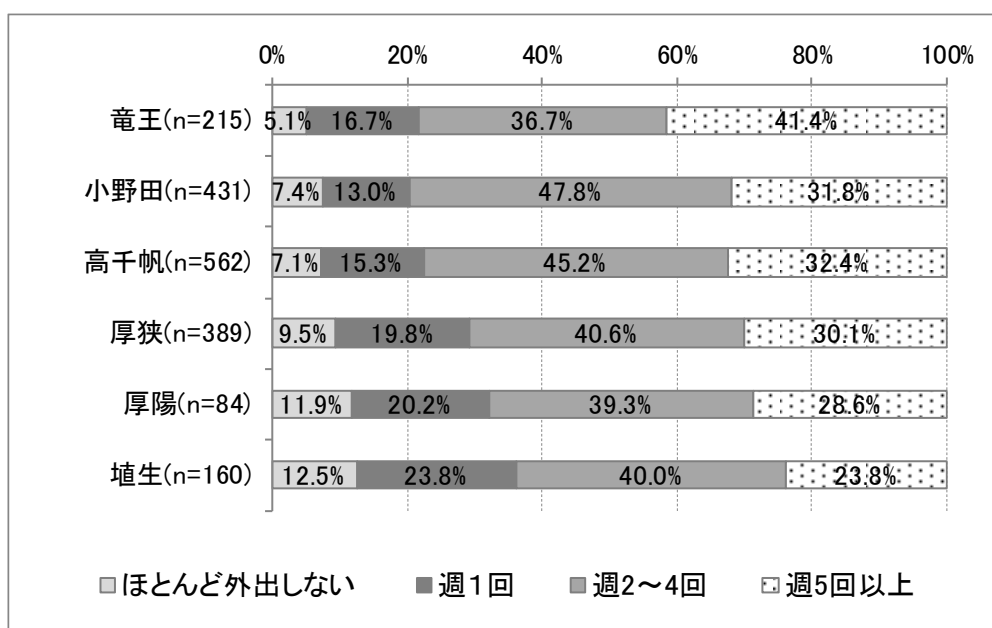
問 2 (4) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか (SA)



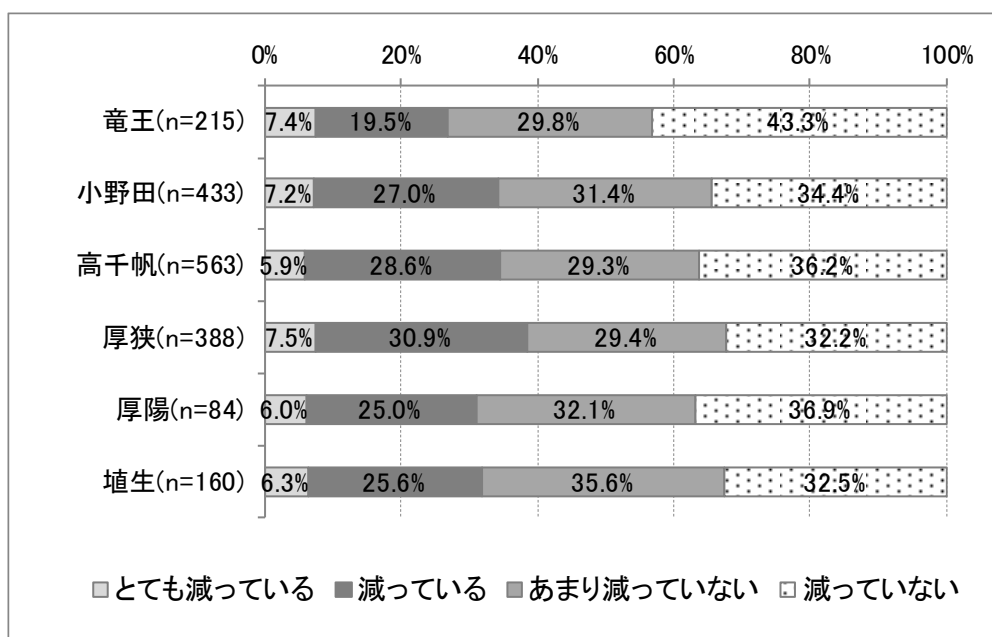
問 2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (SA)



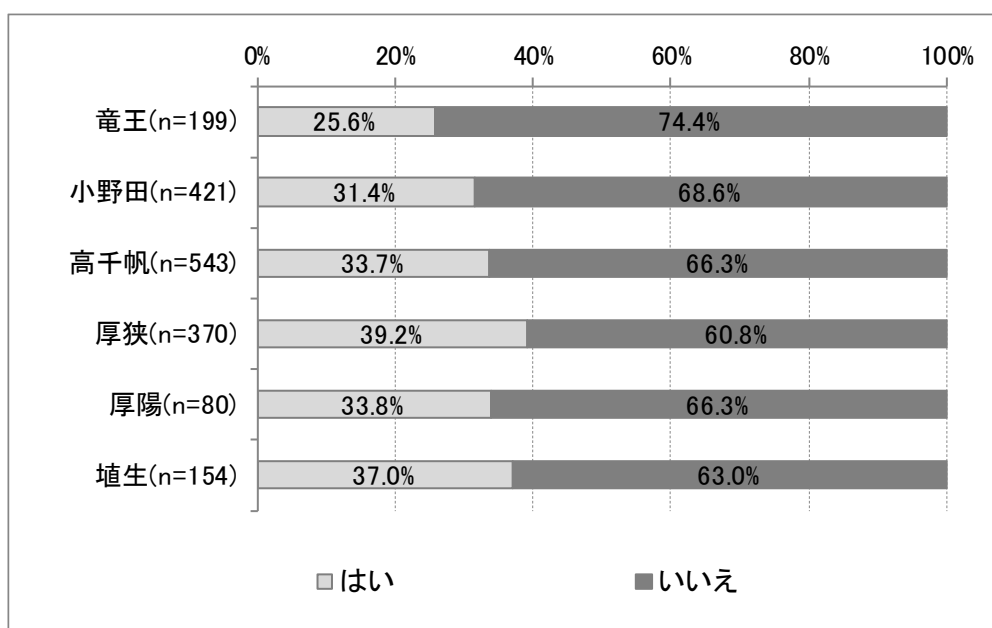
問 2 (6) 週に 1 回以上は外出していますか (SA)



問 2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (SA)

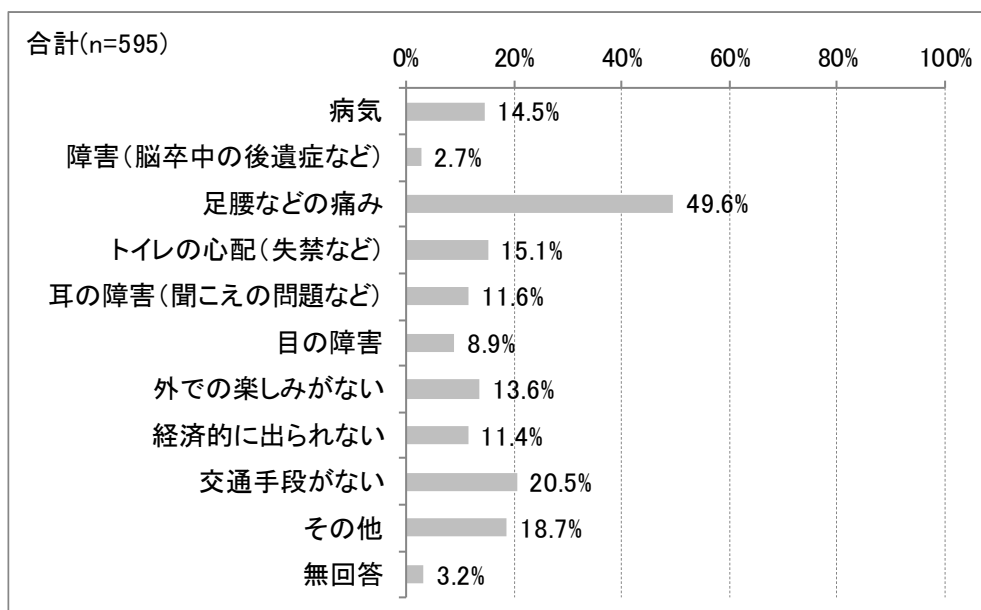


問 2 (8) 外出を控えていますか (SA)

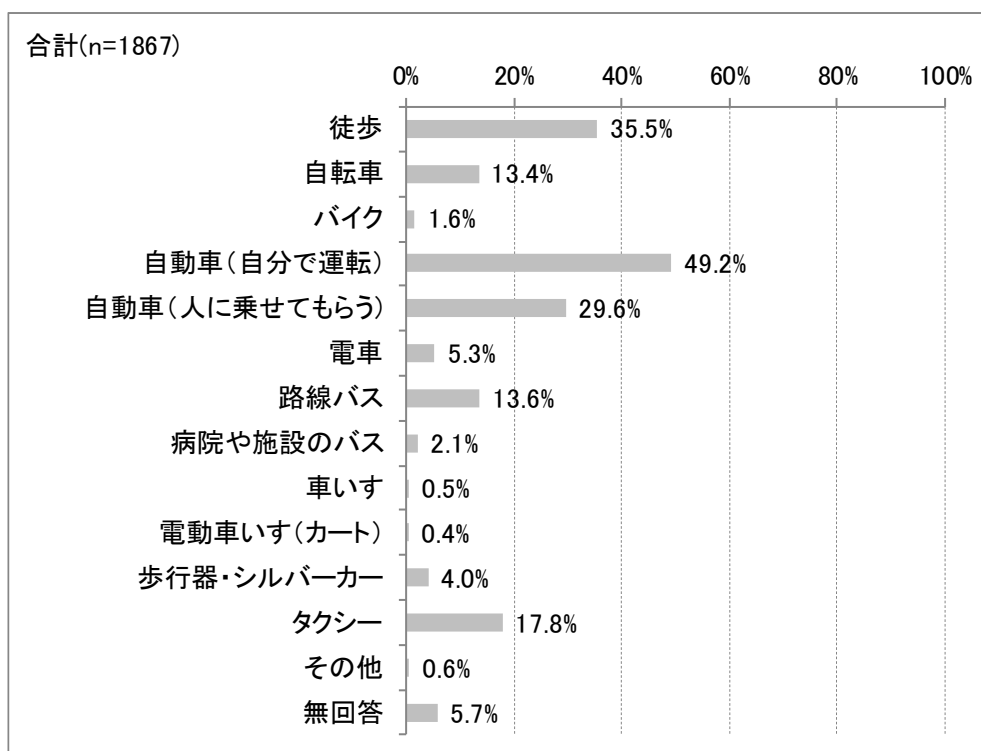


【(8)において、「はい（外出を控えている）」の方のみ】

問 2 (8-1) 外出を控えている理由は、次のどれですか(MA) (再掲)



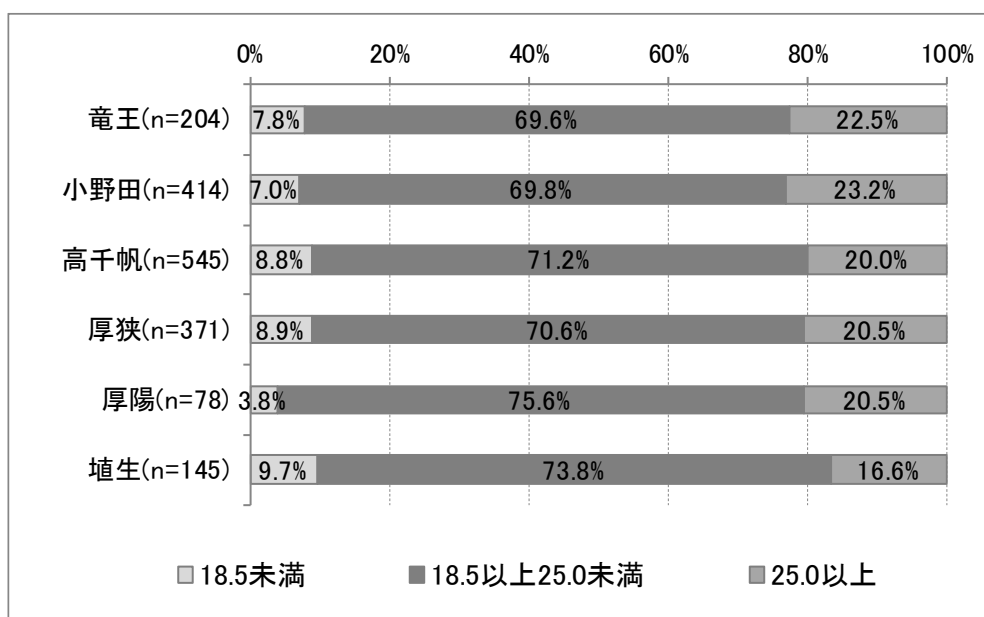
問 2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか(MA) (再掲)



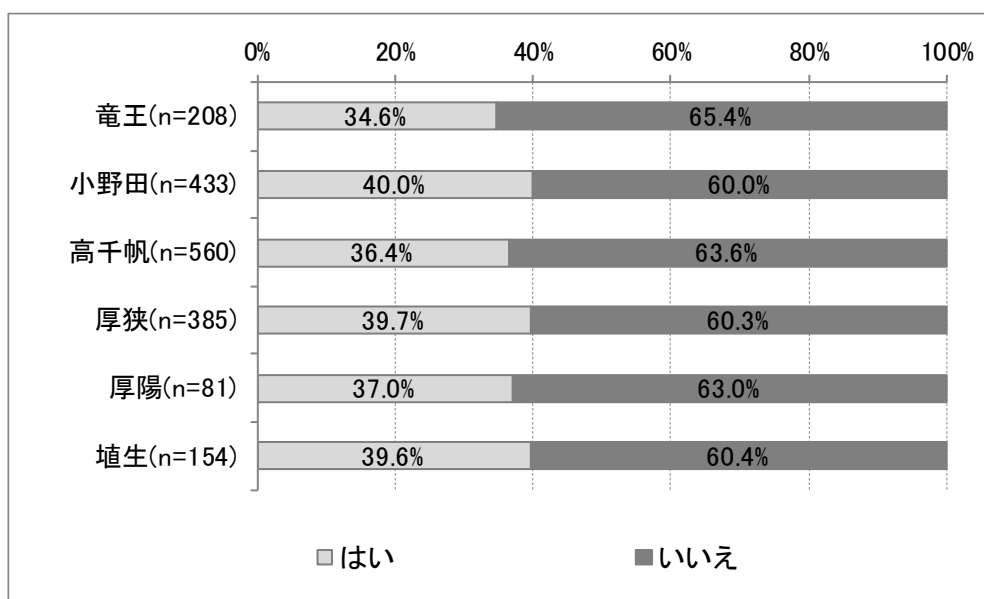
問3 食べることについて

問3(1) 身長・体重を記入してください

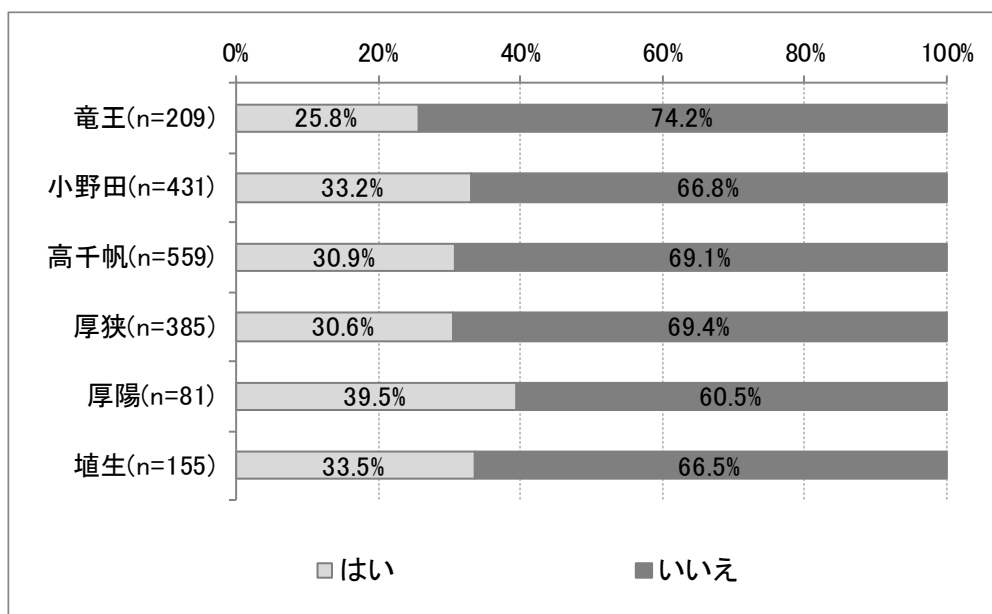
※グラフは、身長・体重から BMI を算出して作成。



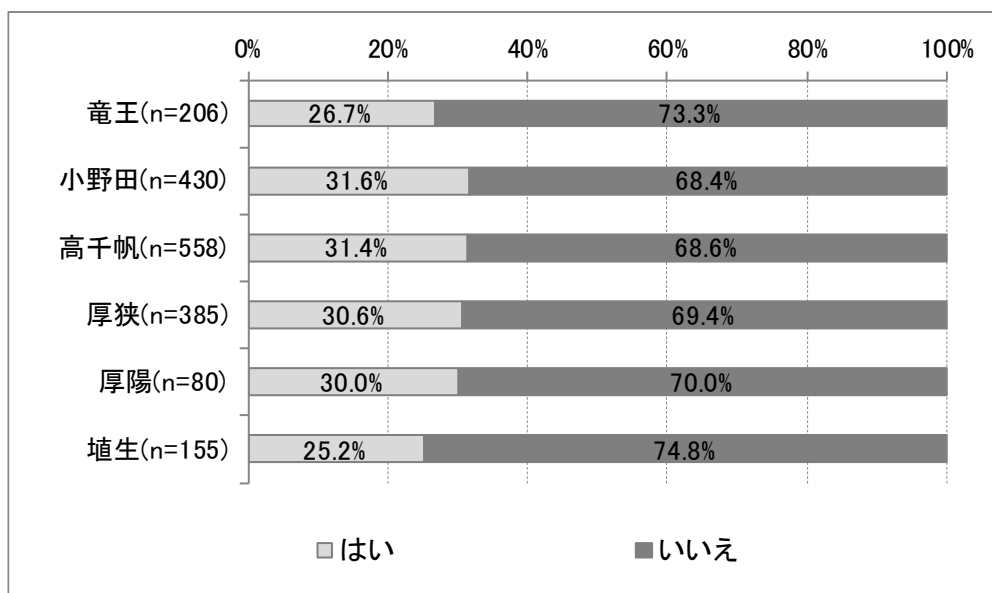
問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(SA)



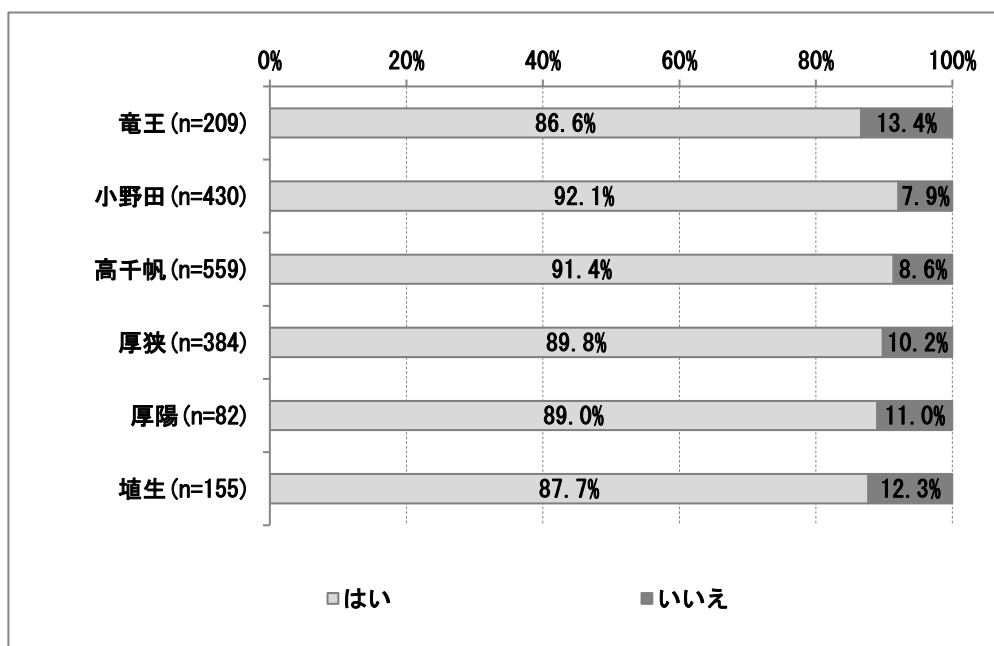
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか (SA)



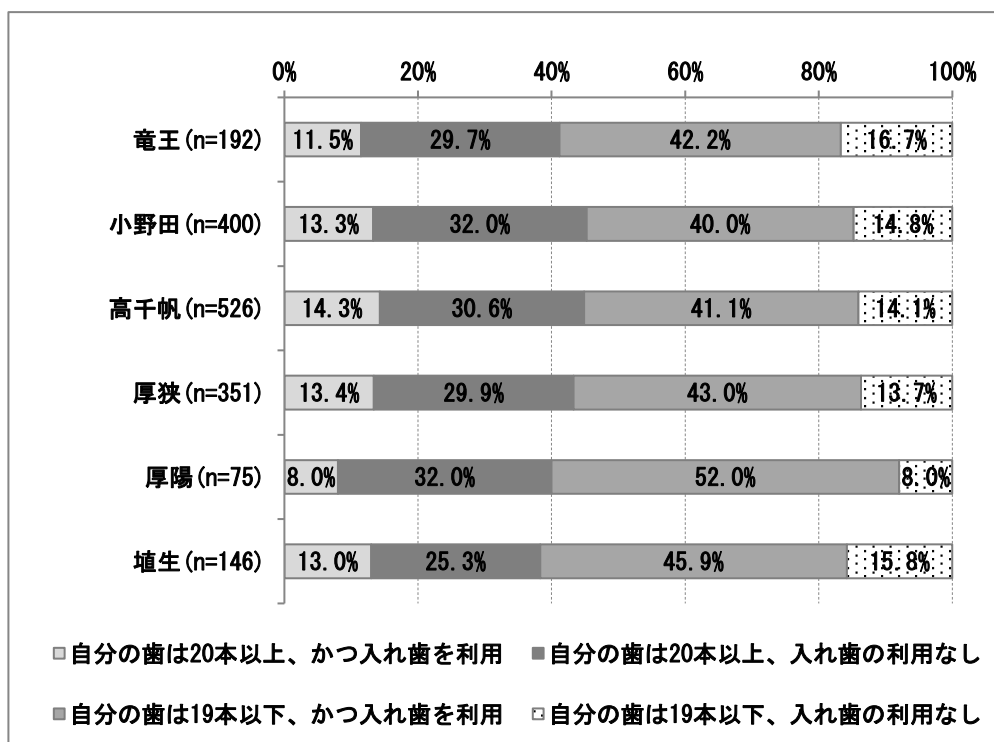
問3 (4) 口の渇きが気になりますか (SA)



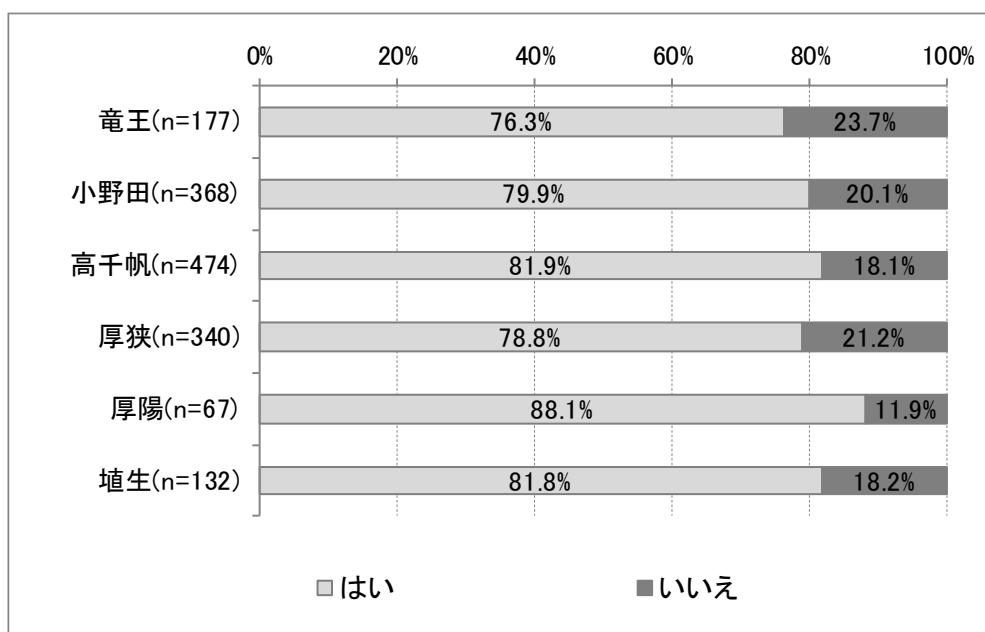
問3 (5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか (SA)



問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (SA)

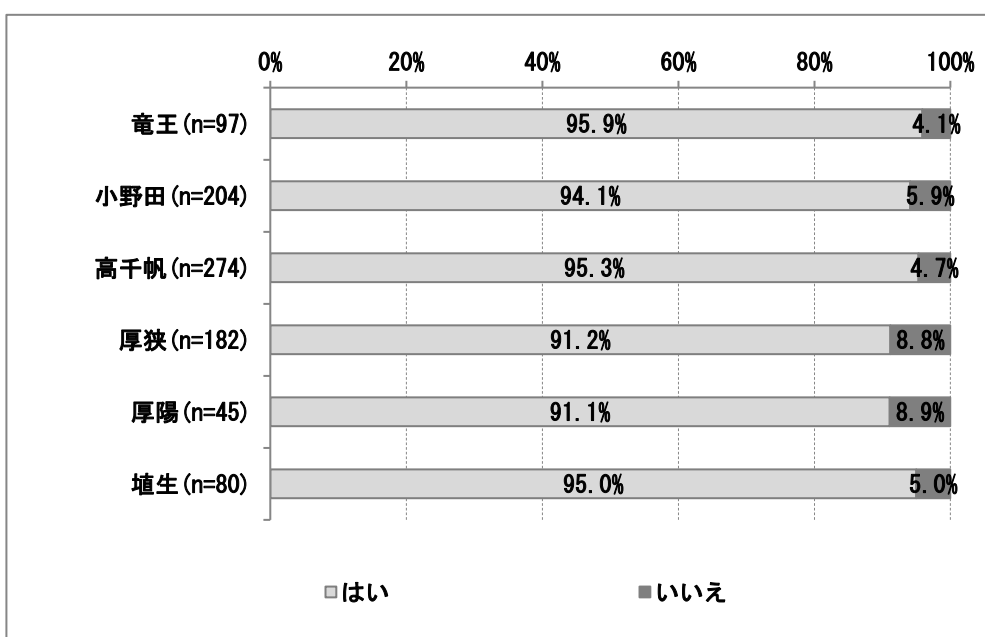


問3 (6-1) 噛み合わせは良いですか (SA)

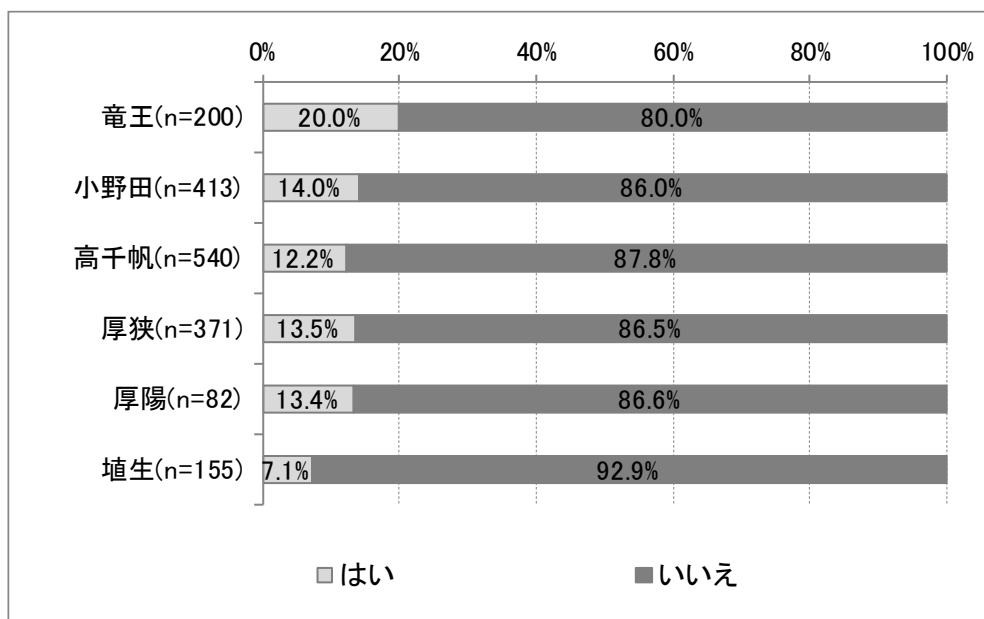


【(6)において、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

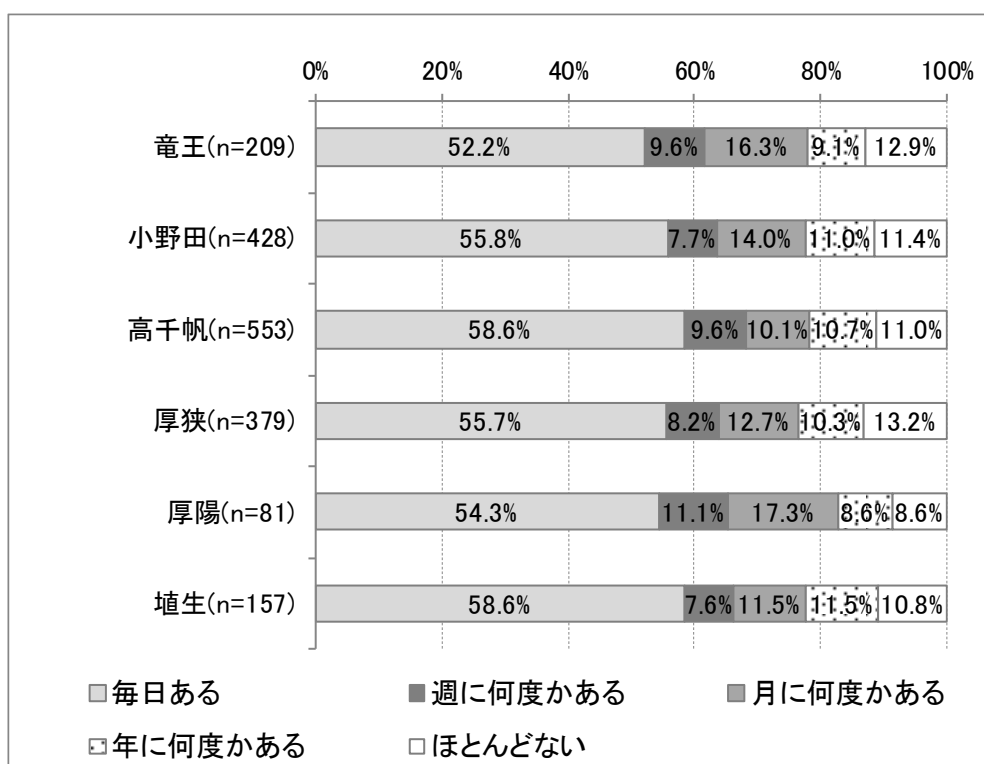
問3 (6-2) 毎日入れ歯の手入れをしていますか (SA)



問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(SA)

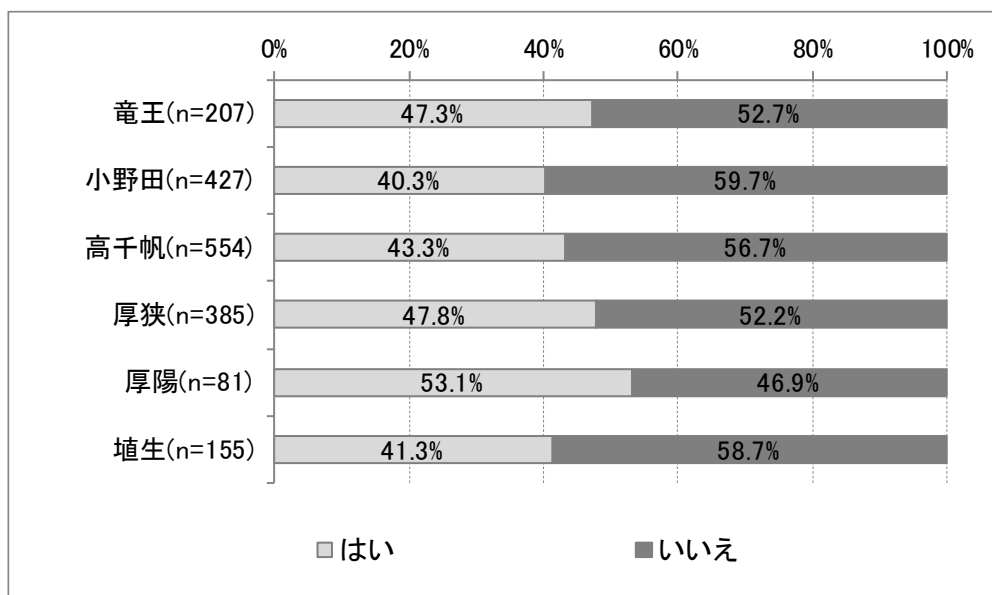


問3(8) どなたかと食事をとる機会がありますか(SA)

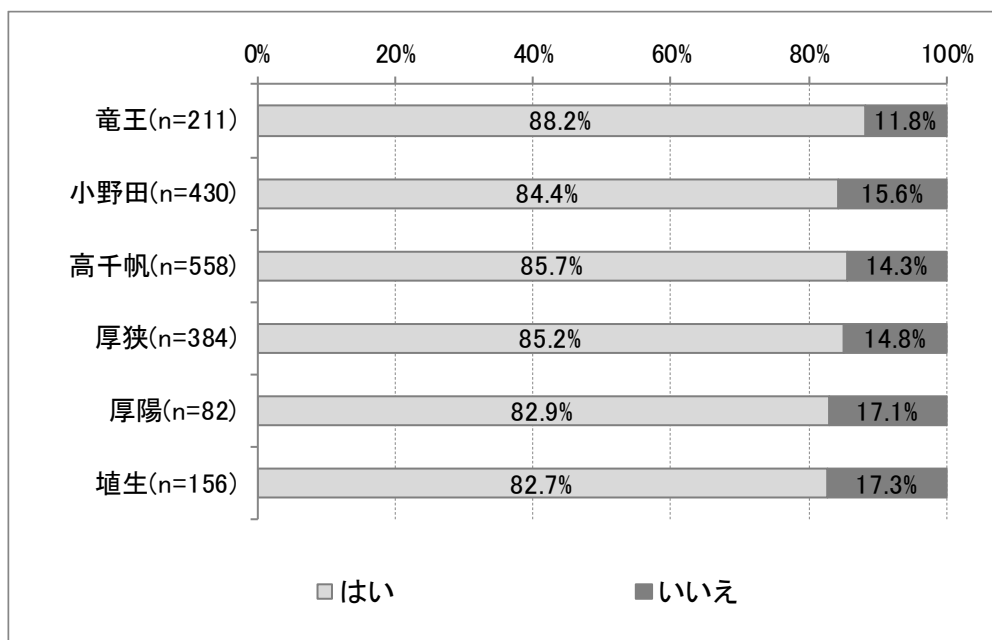


問 4 毎日の生活について

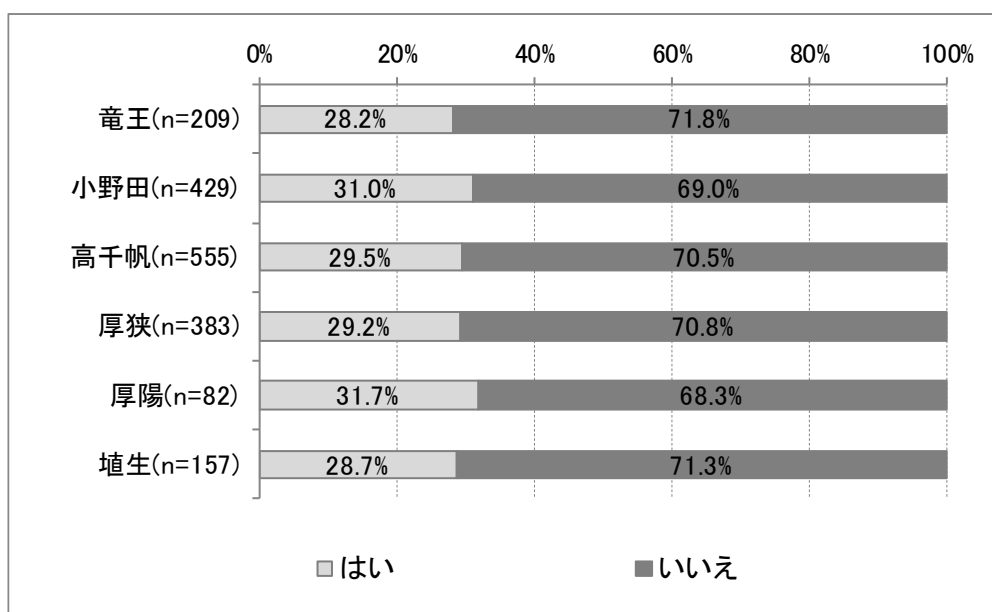
問 4 (1) 物忘れが多いと感じますか (SA)



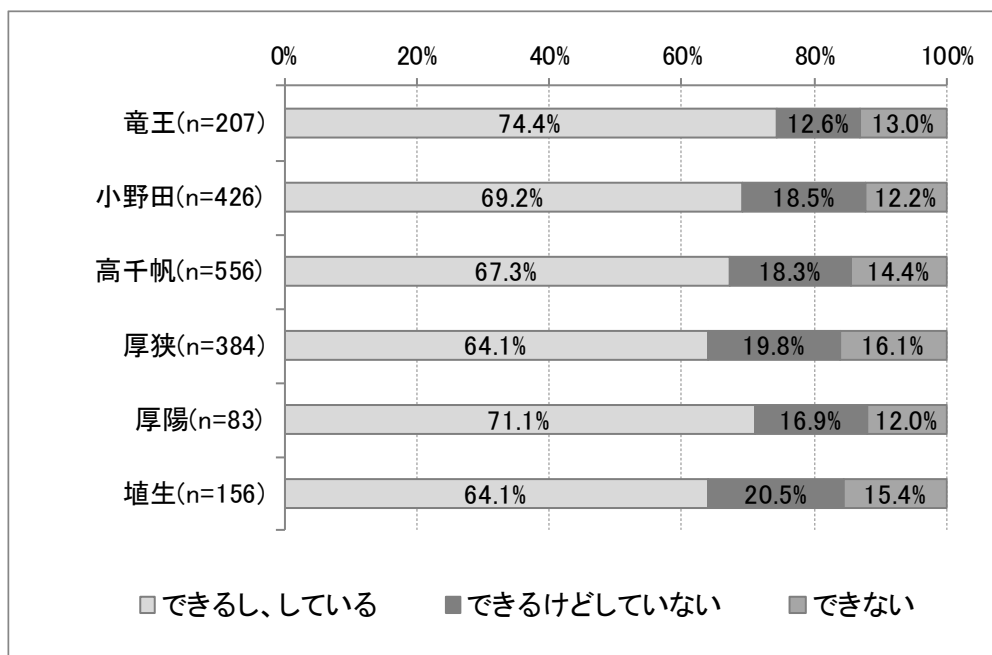
問 4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (SA)



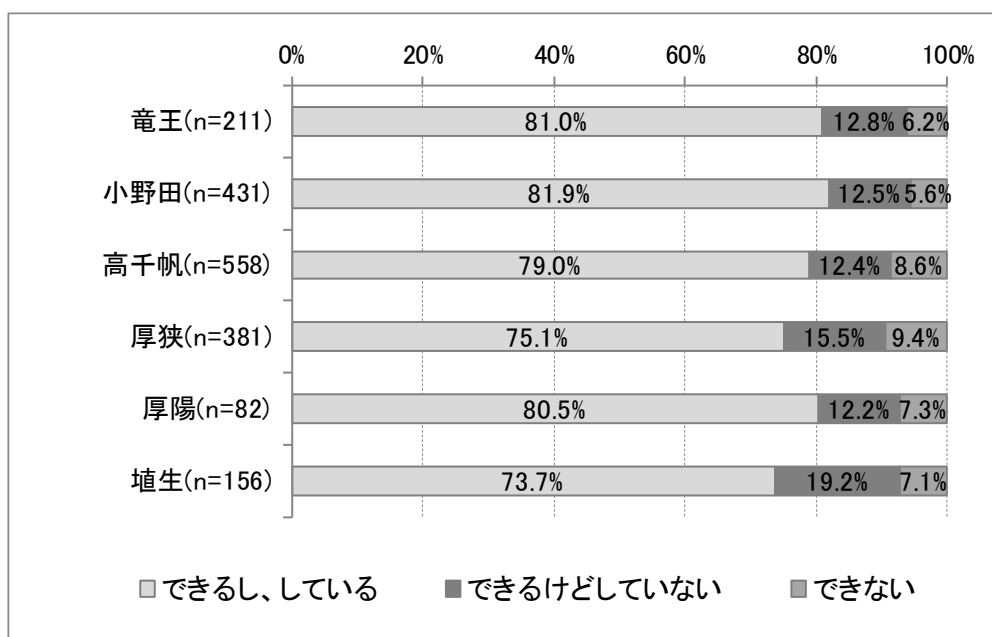
問 4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (SA)



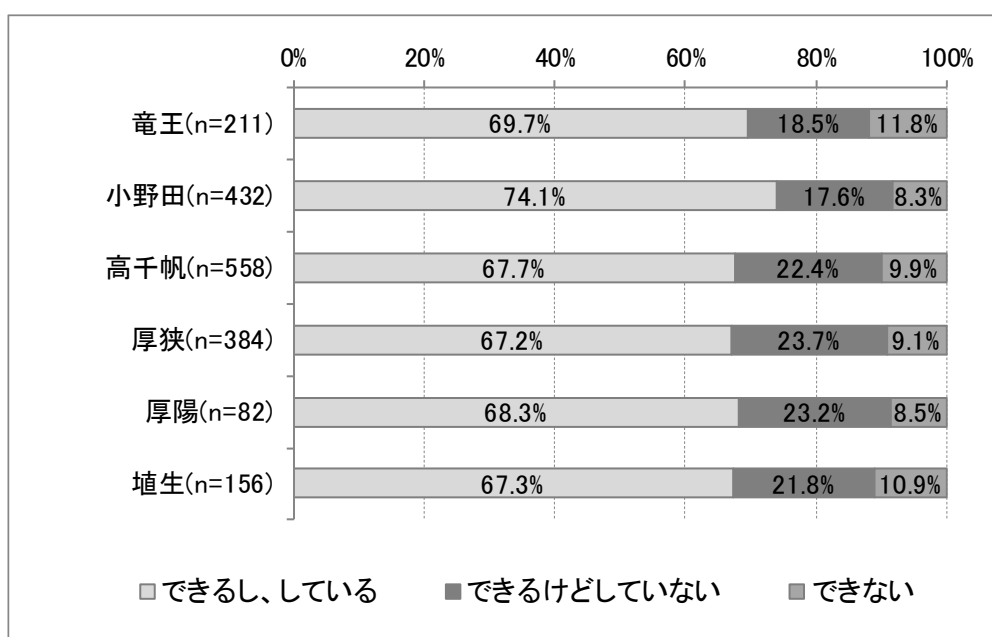
問 4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (SA)



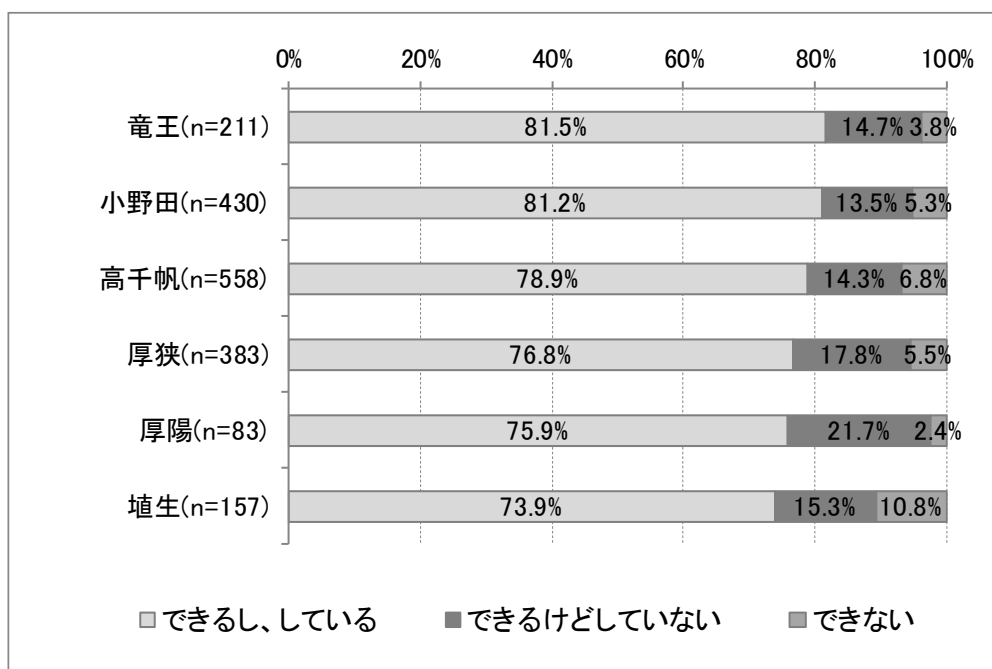
問 4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (SA)



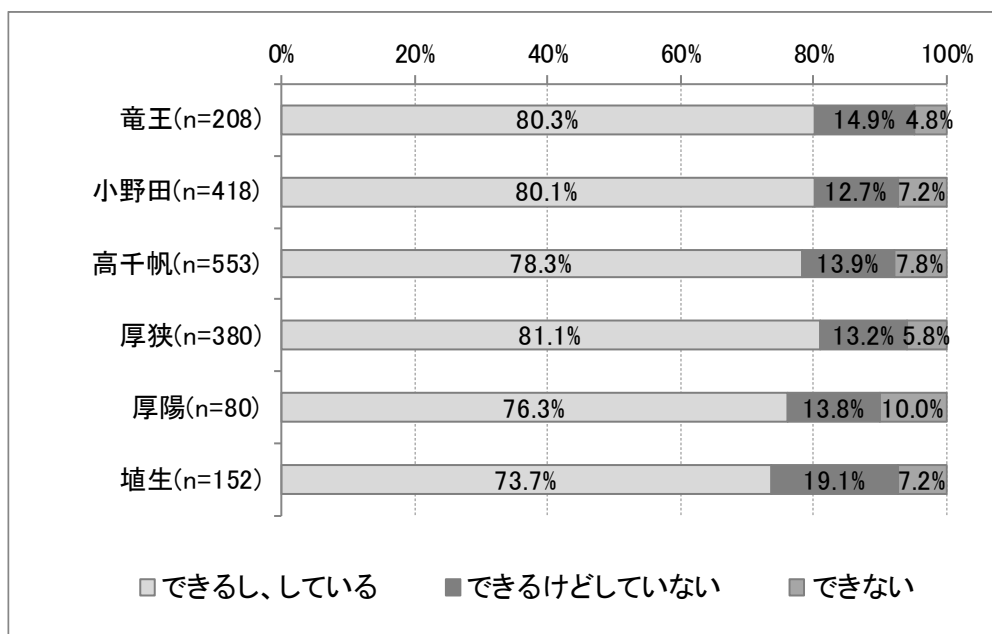
問 4 (6) 自分で食事の用意をしていますか (SA)



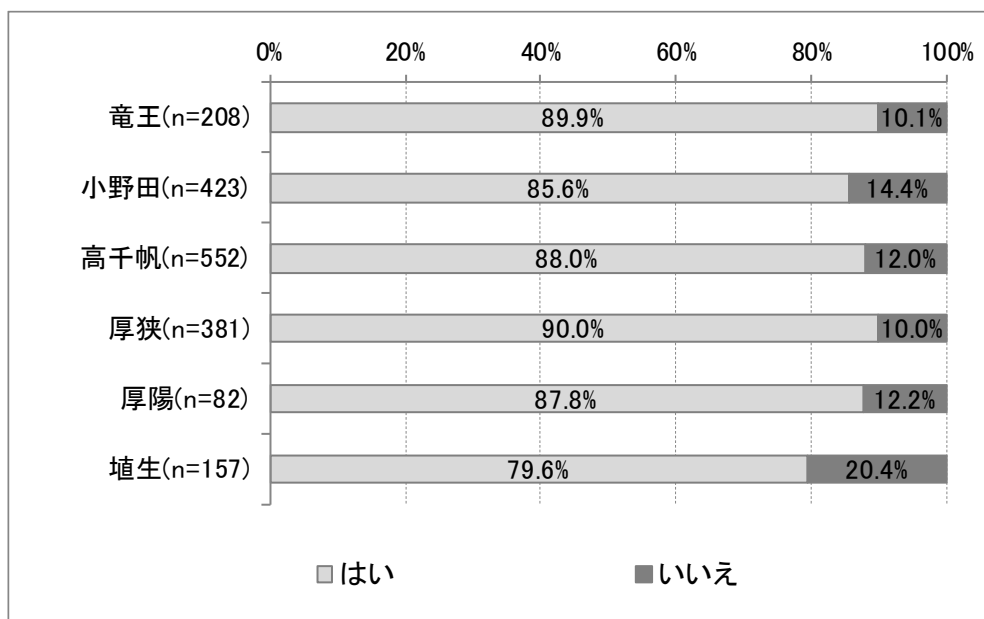
問 4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか (SA)



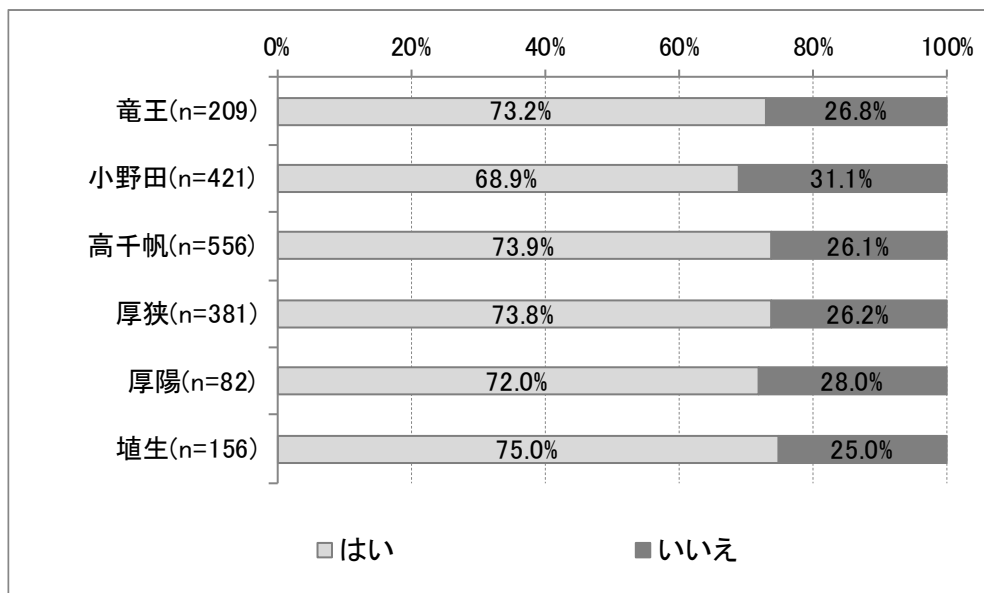
問 4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (SA)



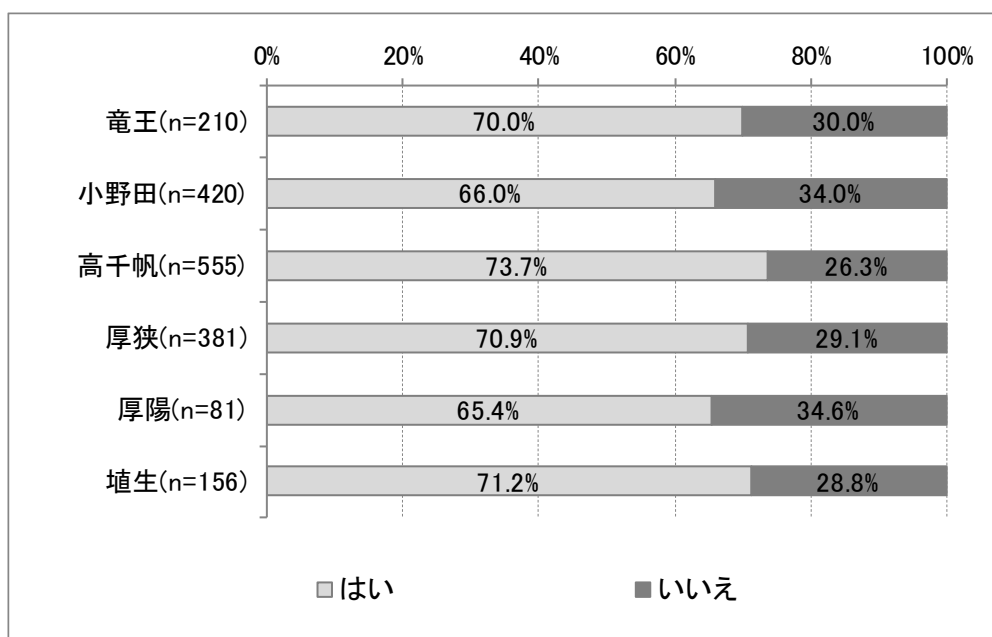
問 4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか (SA)



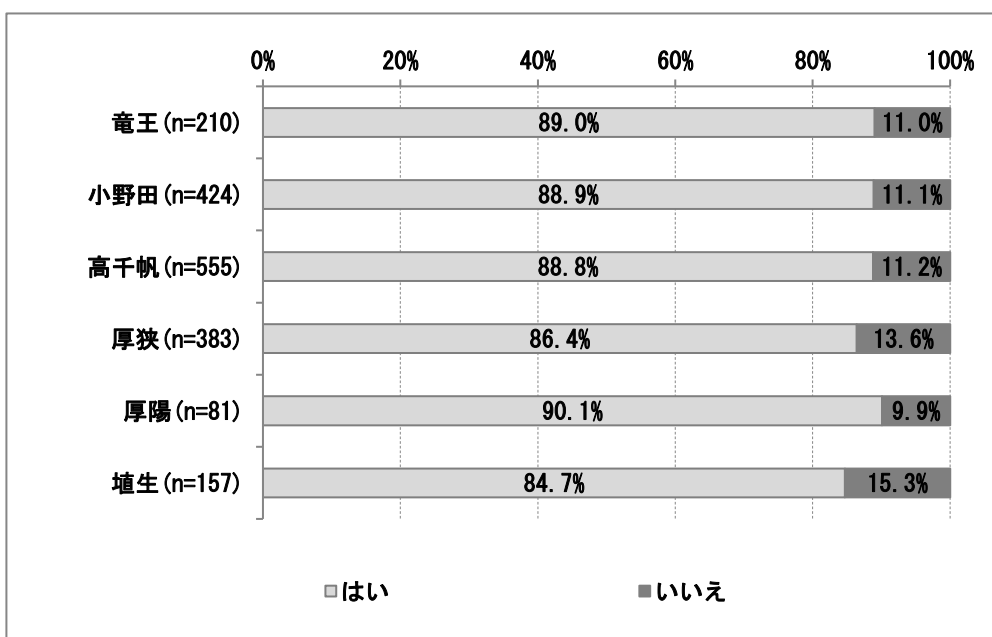
問 4 (10) 新聞を読んでいますか (SA)



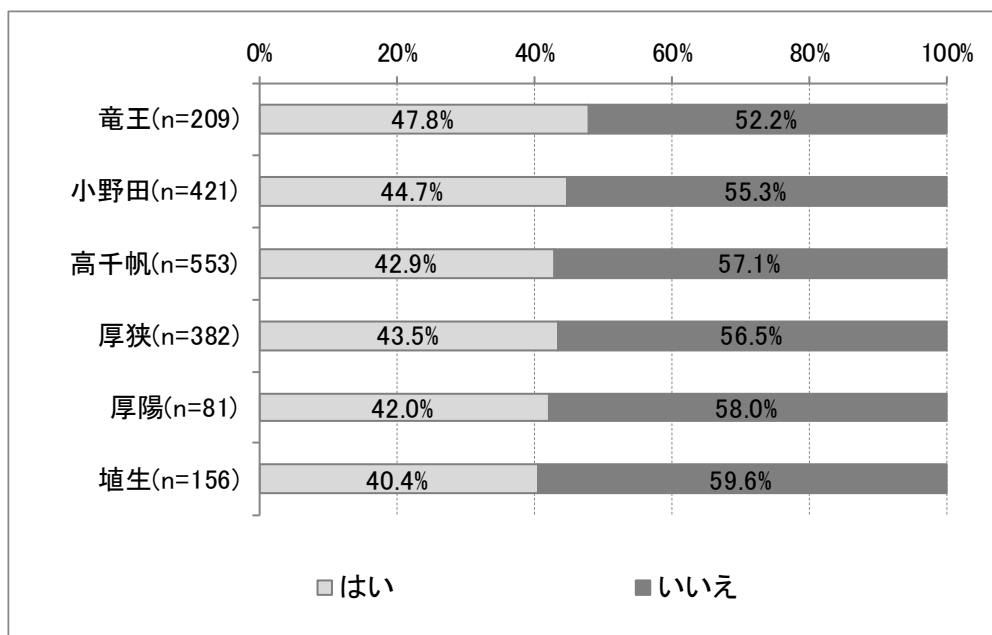
問 4 (11) 本や雑誌を読んでいますか (SA)



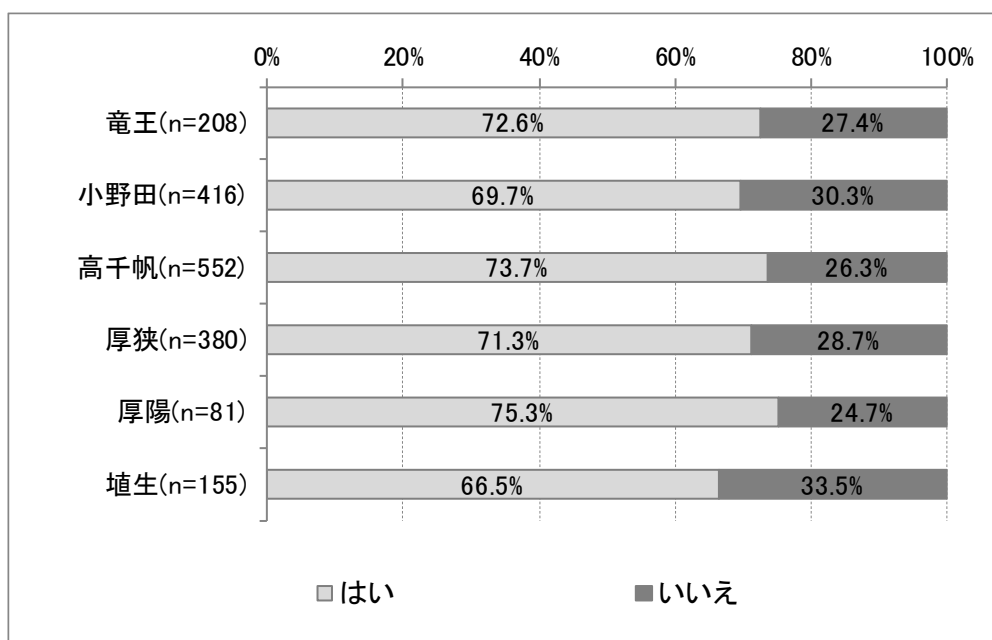
問 4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (SA)



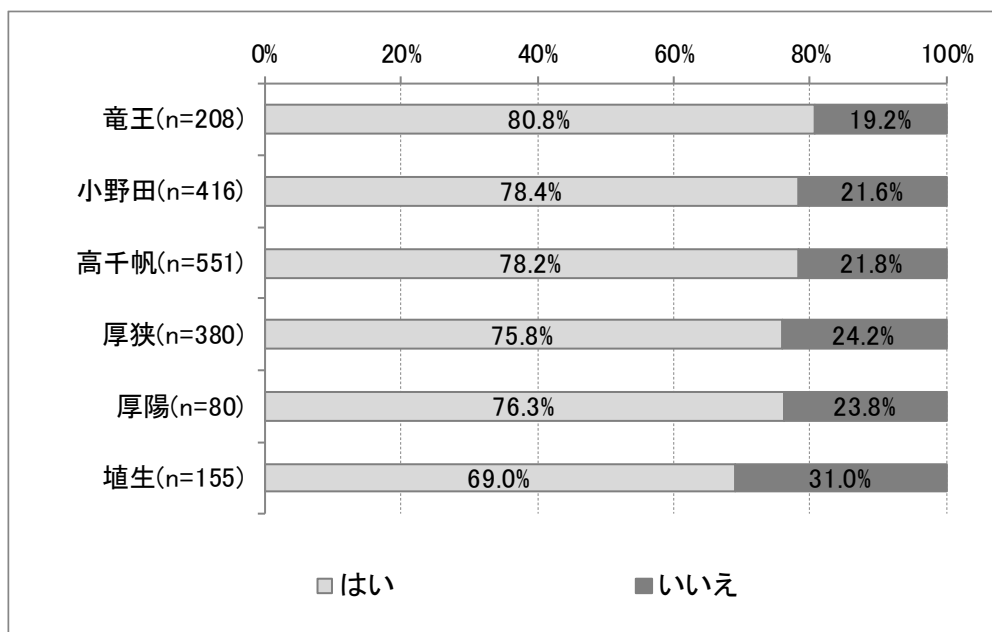
問 4 (13) 友人の家を訪ねていますか (SA)



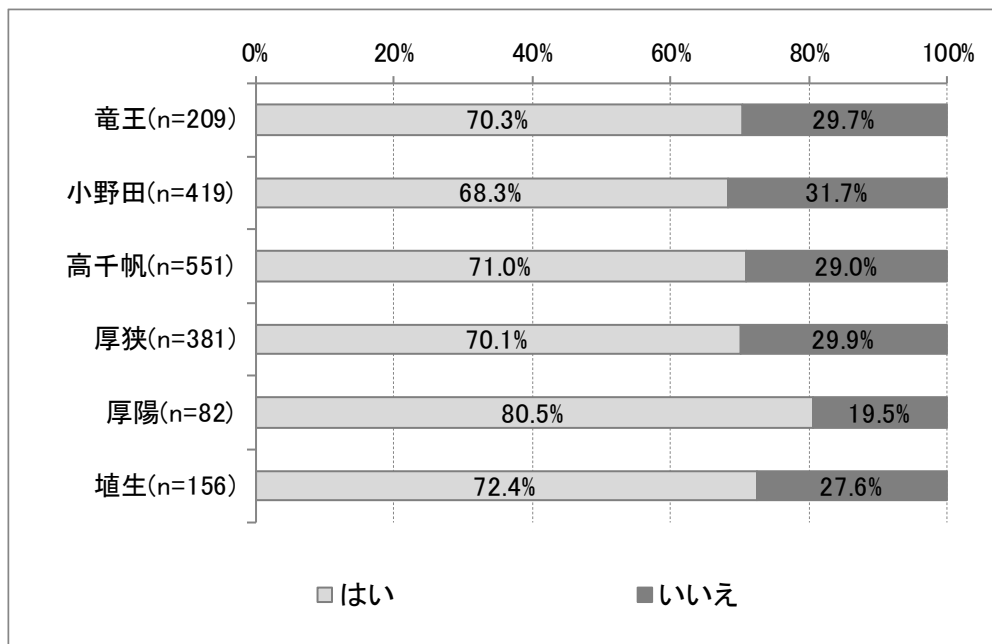
問 4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか (SA)



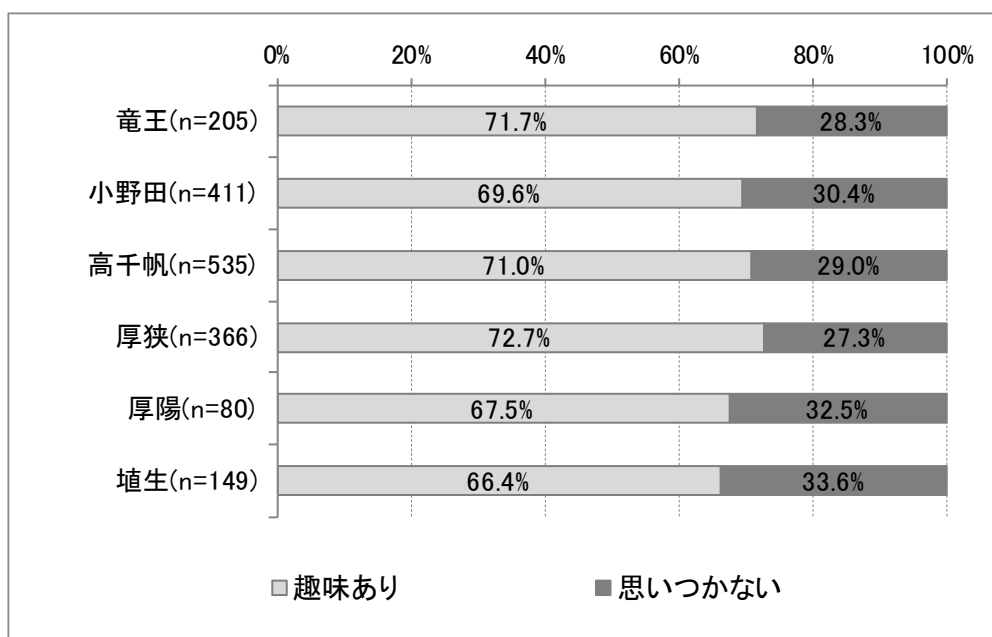
問 4 (15) 病人を見舞うことができますか (SA)



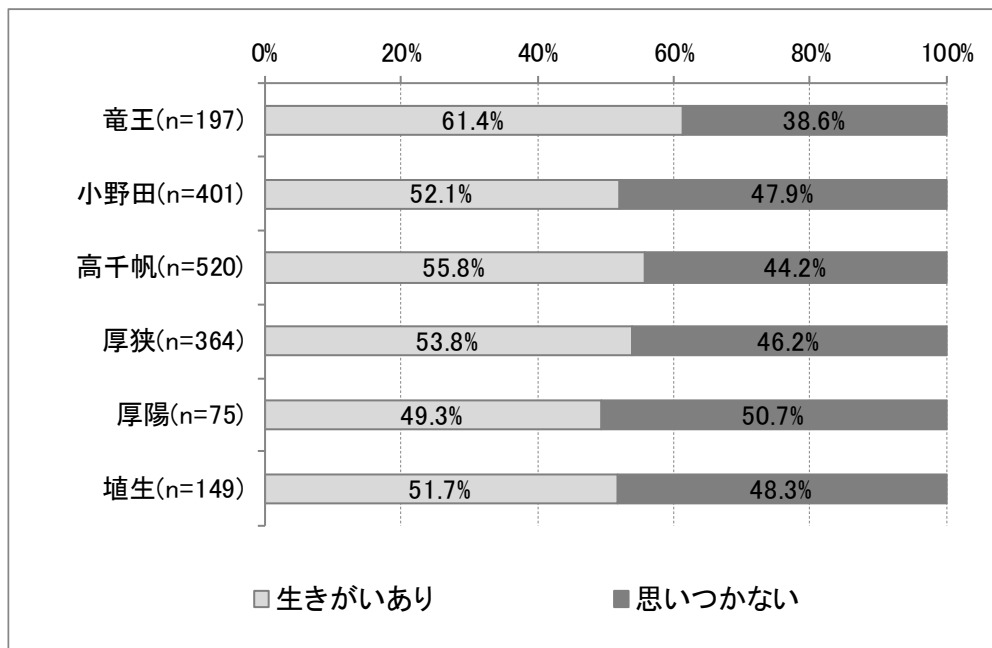
問 4 (16) 若い人に自分から話しかけることができますか (SA)



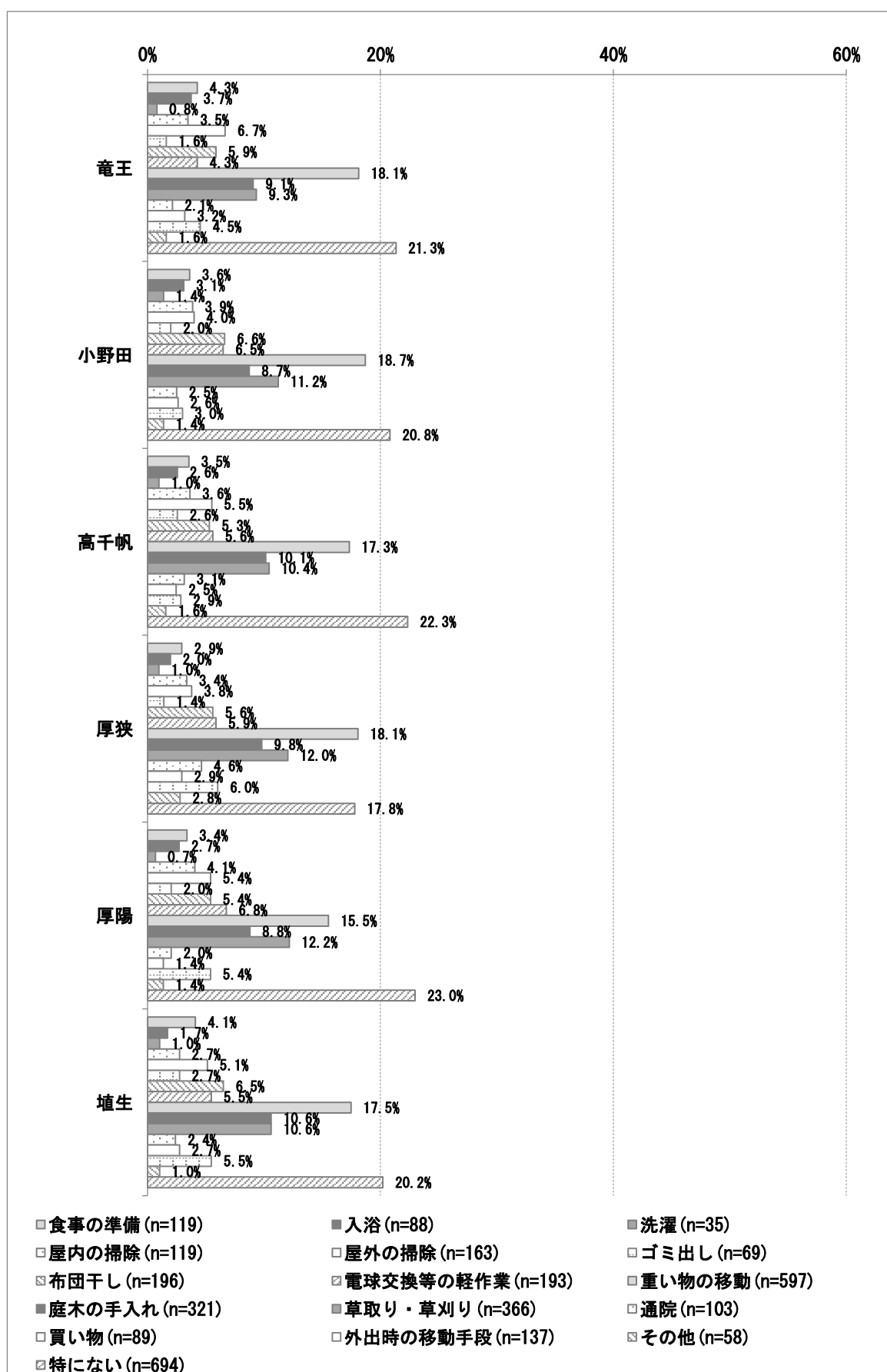
問 4 (17) 趣味はありますか (SA)



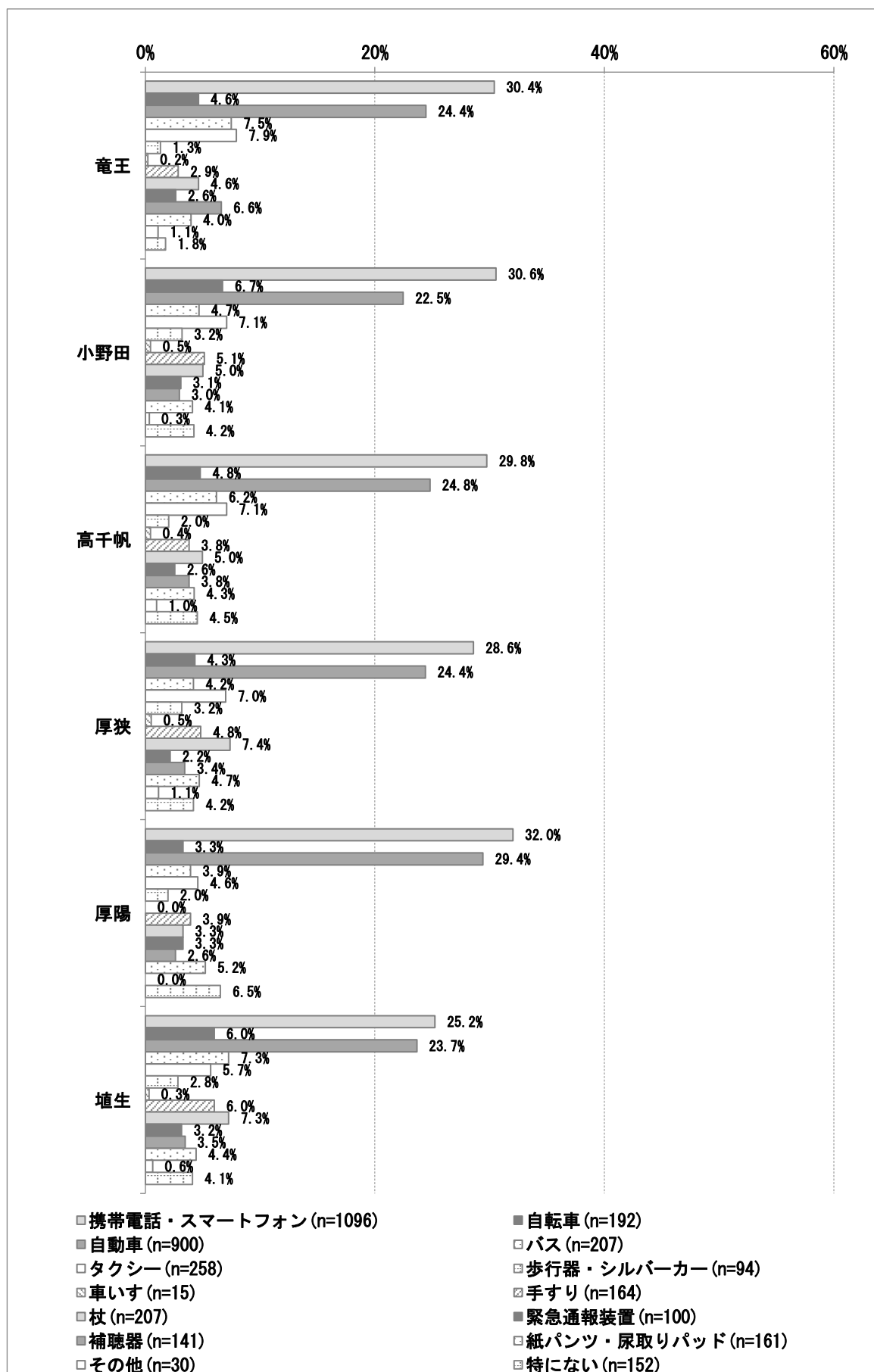
問 4 (18) 生きがいがありますか (SA)



問4 (19) 普段の生活で困っていることはありますか(★MA・3つまで)



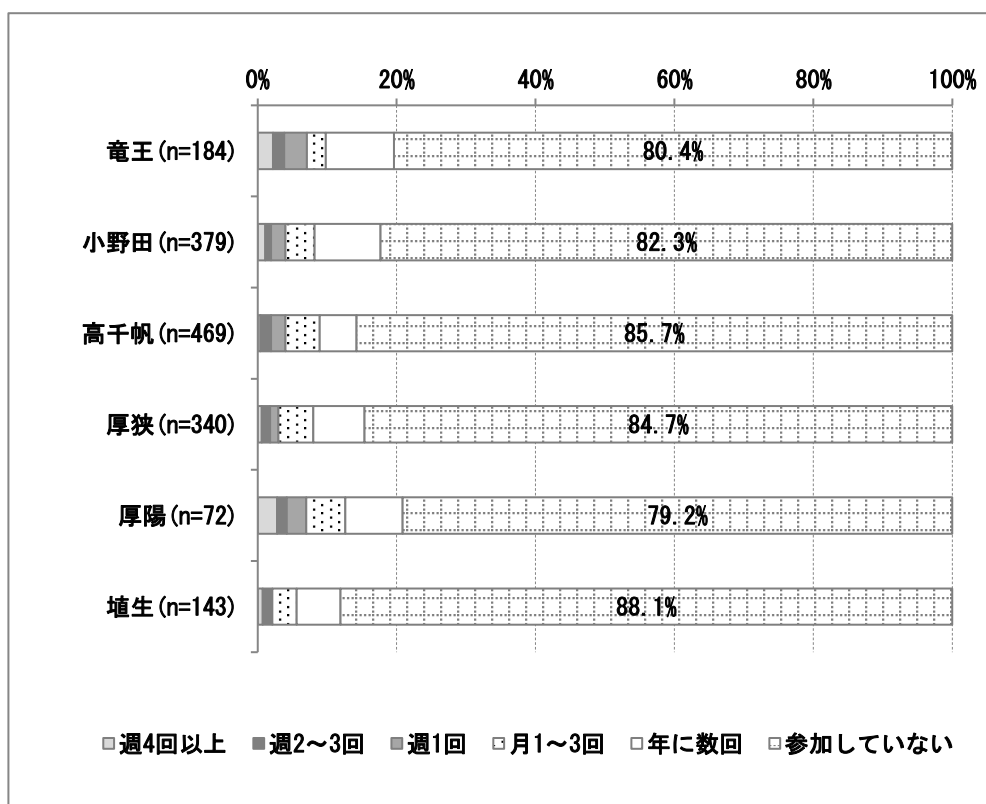
問4 (20) 普段の生活をおくる上で必要なものは何ですか(★MA・3つまで)



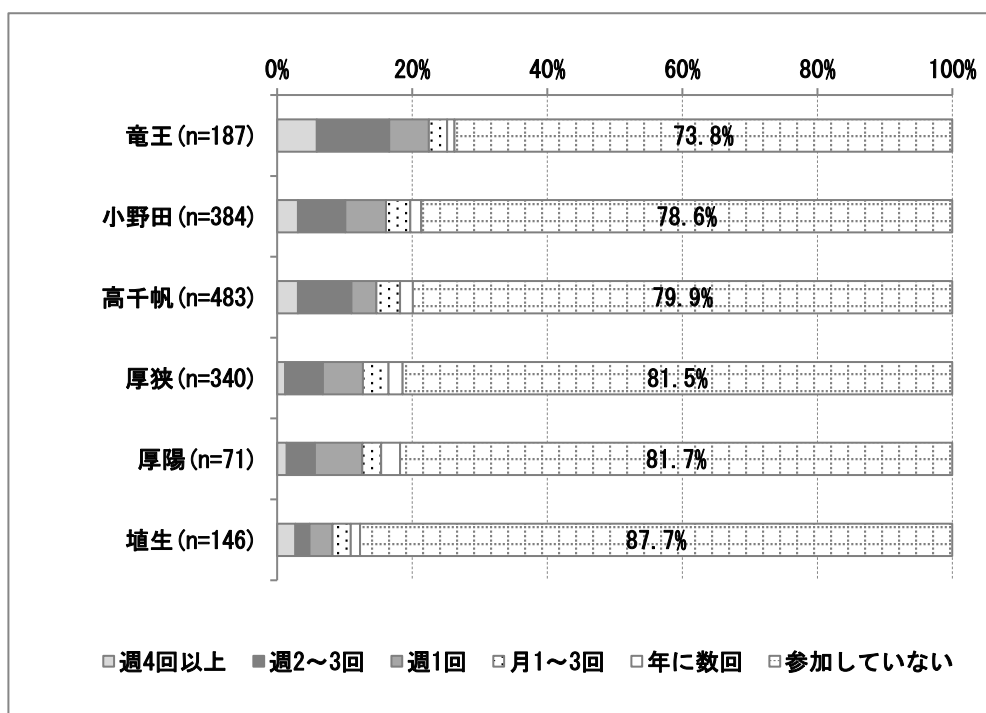
問5 地域での活動について

問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

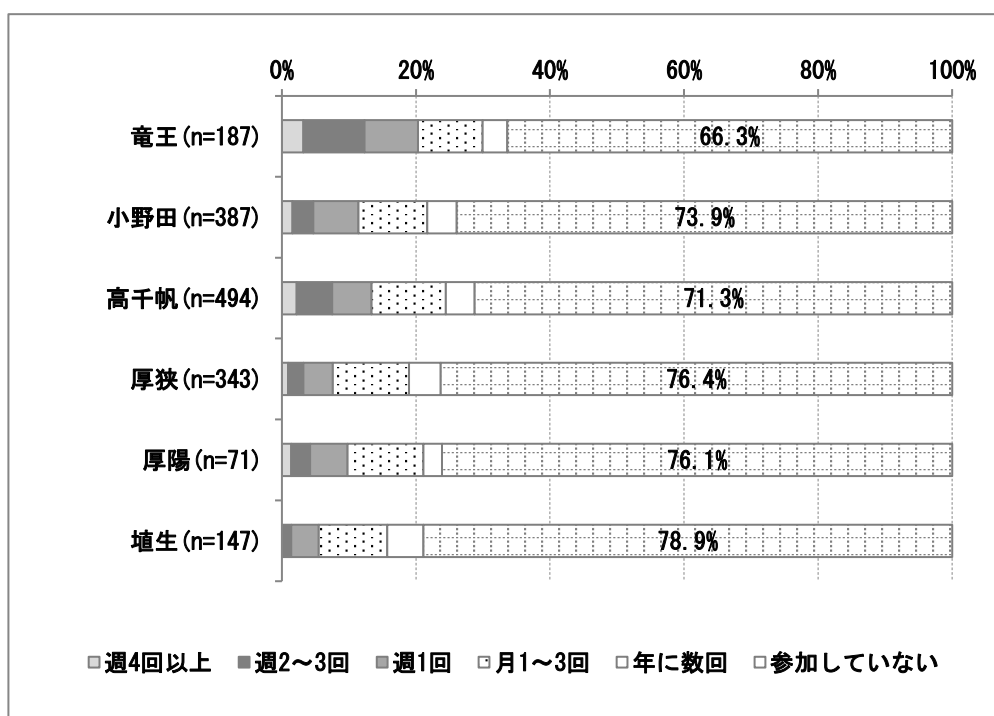
① ボランティアのグループ



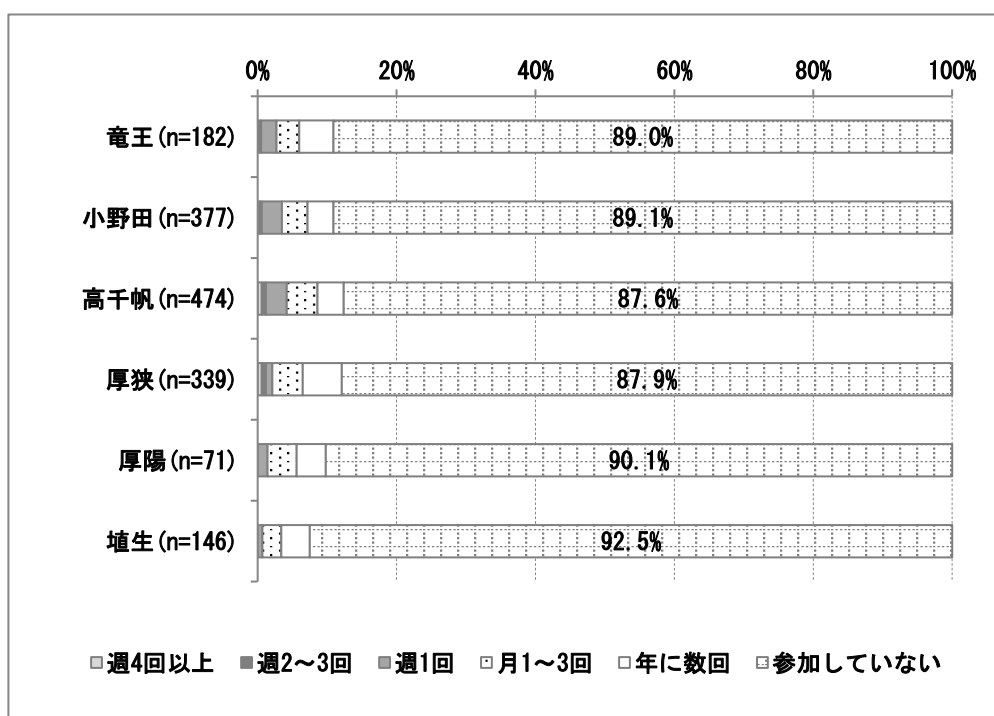
② スポーツ関係のグループやクラブ



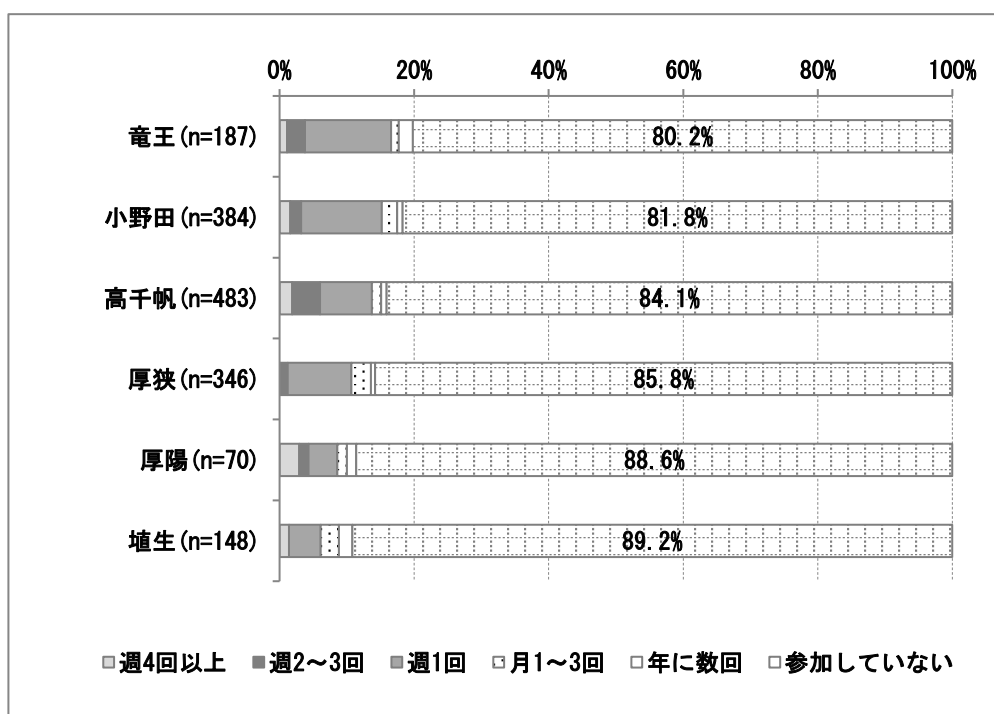
③趣味関係のグループ



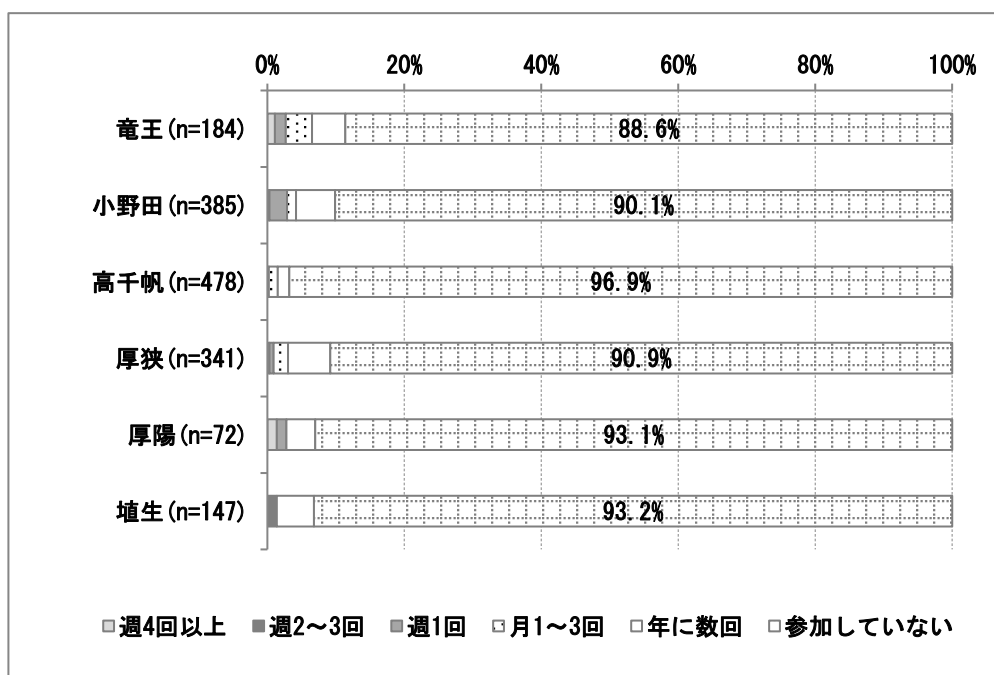
④学習・教養サークル



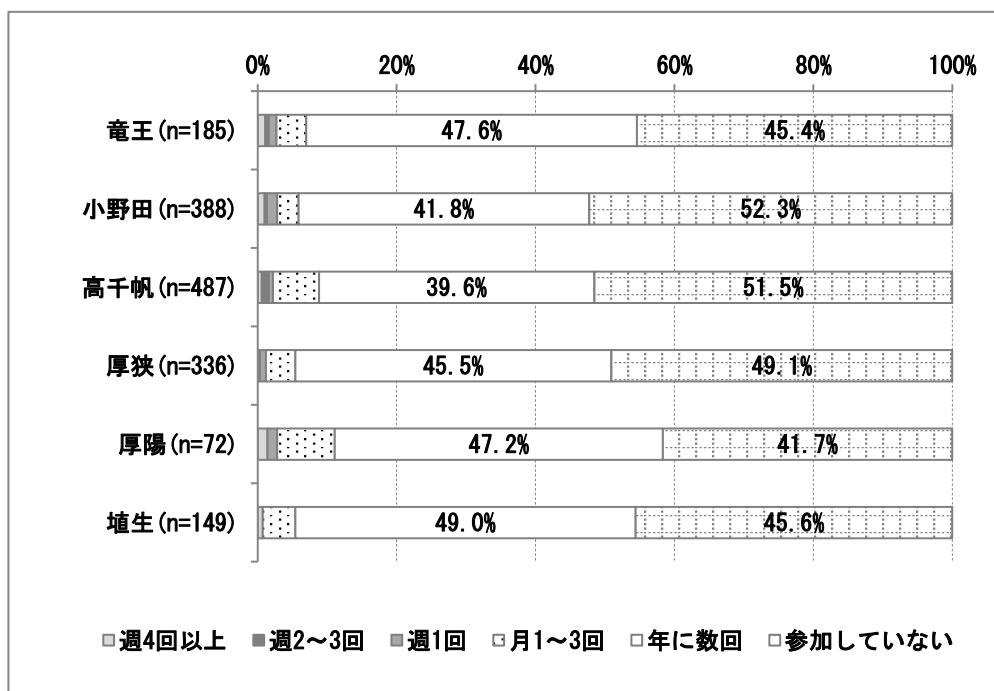
⑤介護予防のための通いの場や百歳体操



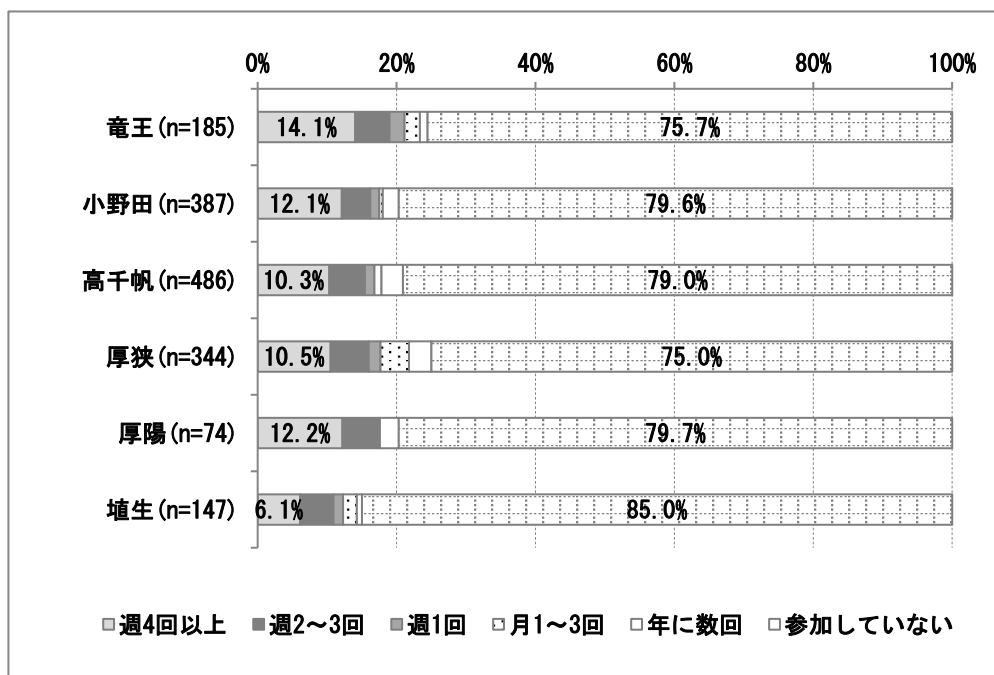
⑥老人クラブ



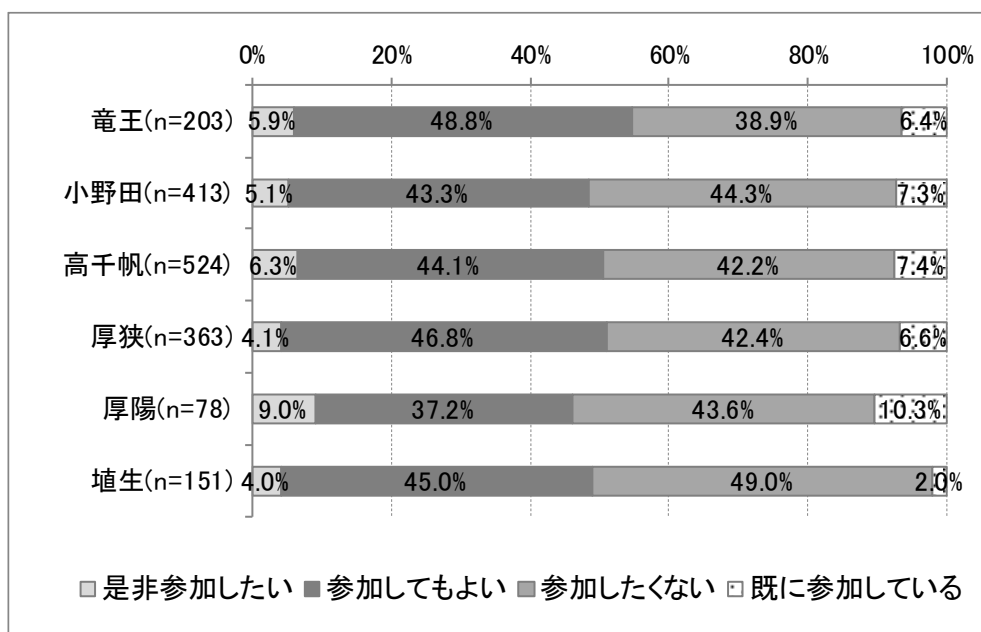
⑦町内会・自治会



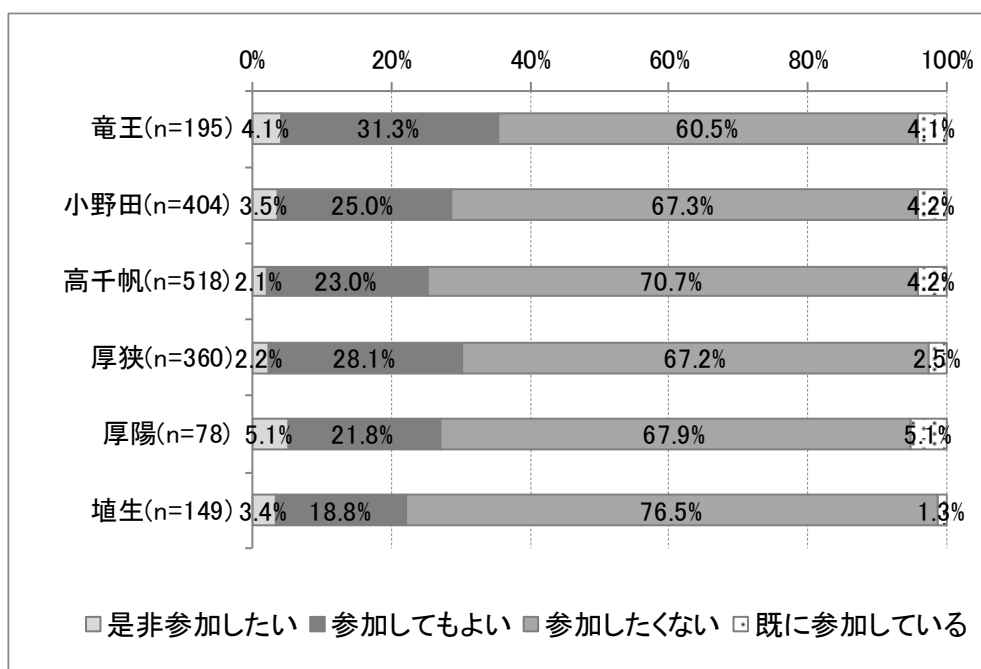
⑧収入のある仕事



問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(SA)

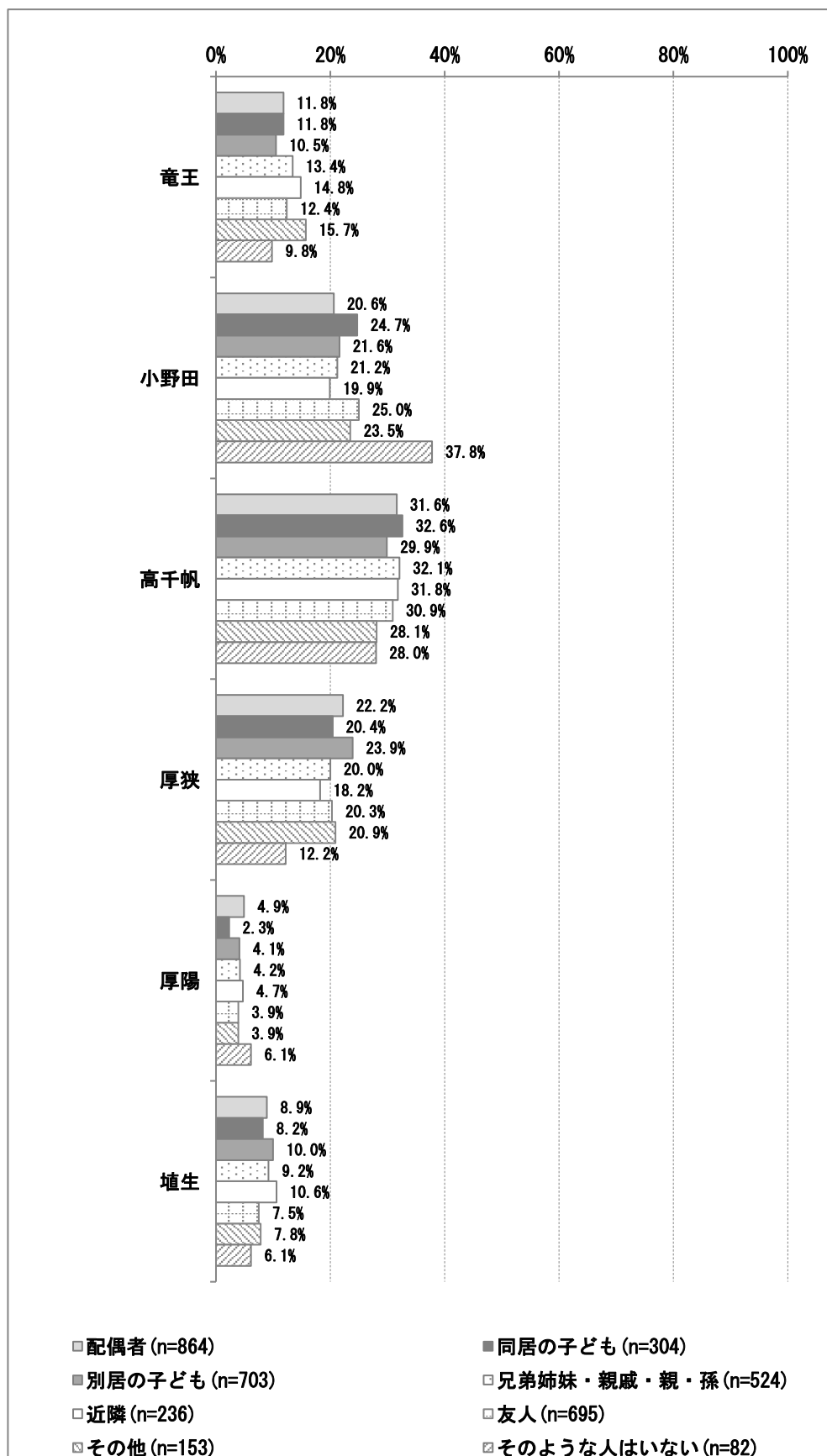


問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか(SA)

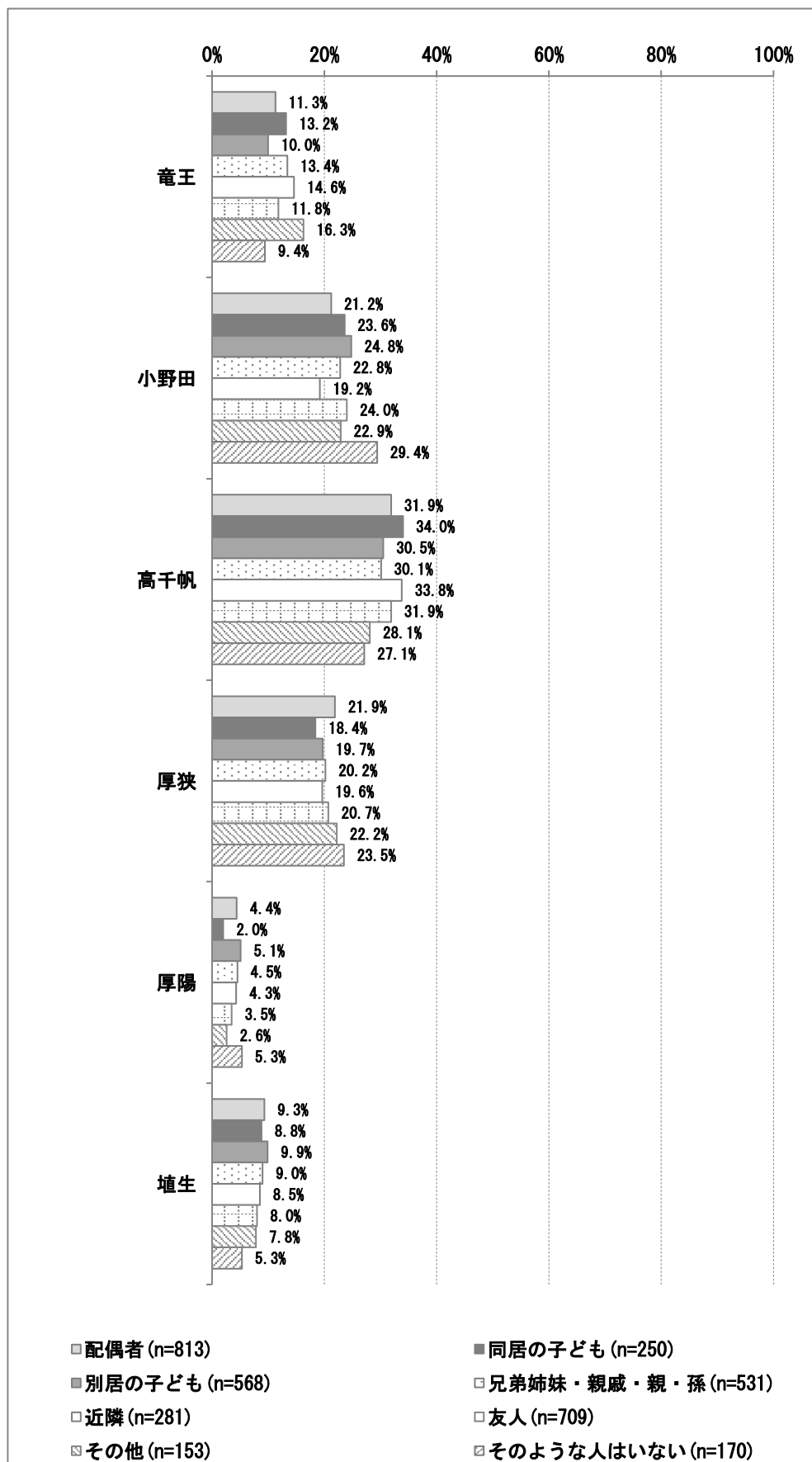


問6 たすけあいについて

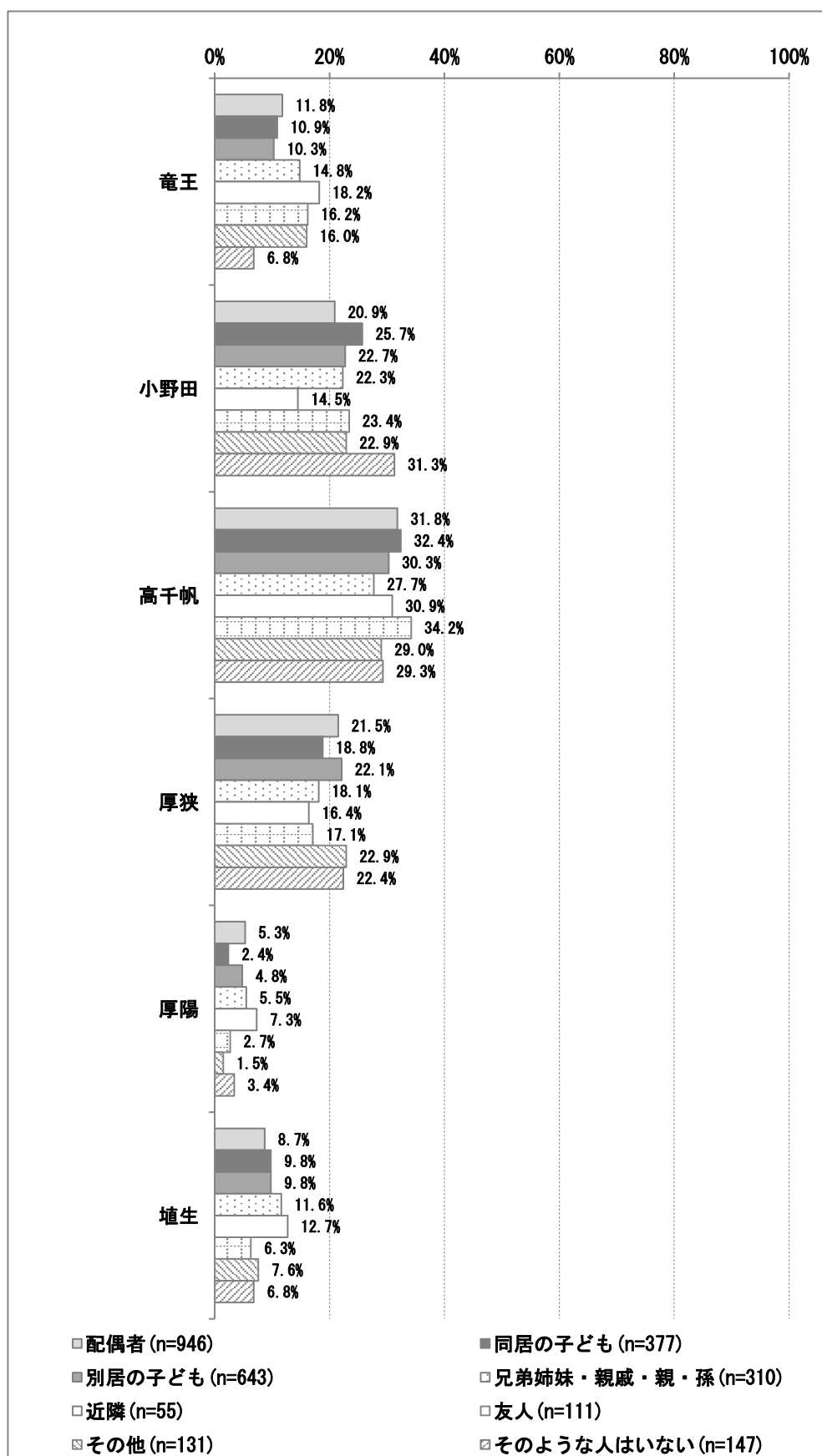
問6(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)



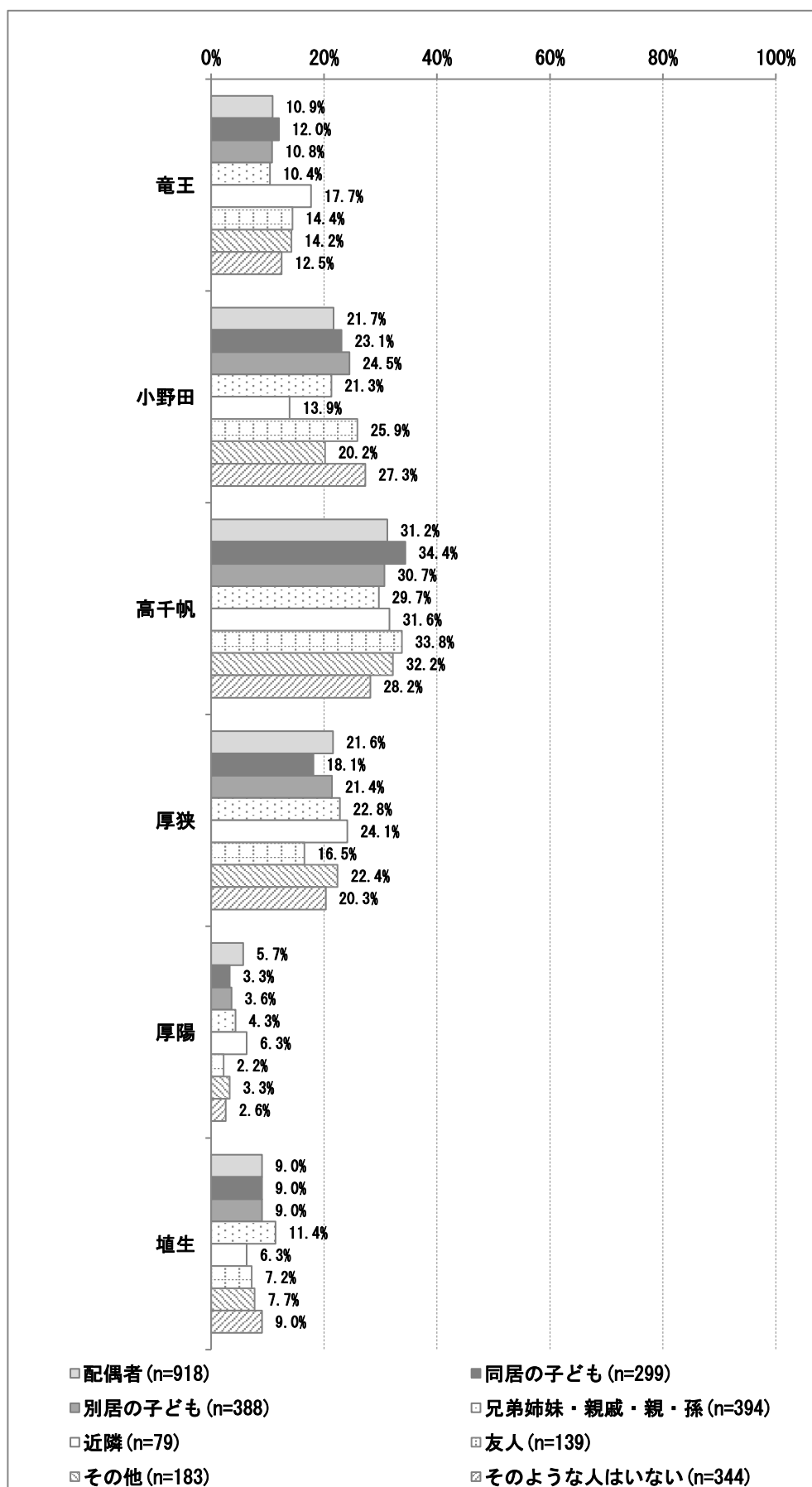
問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)



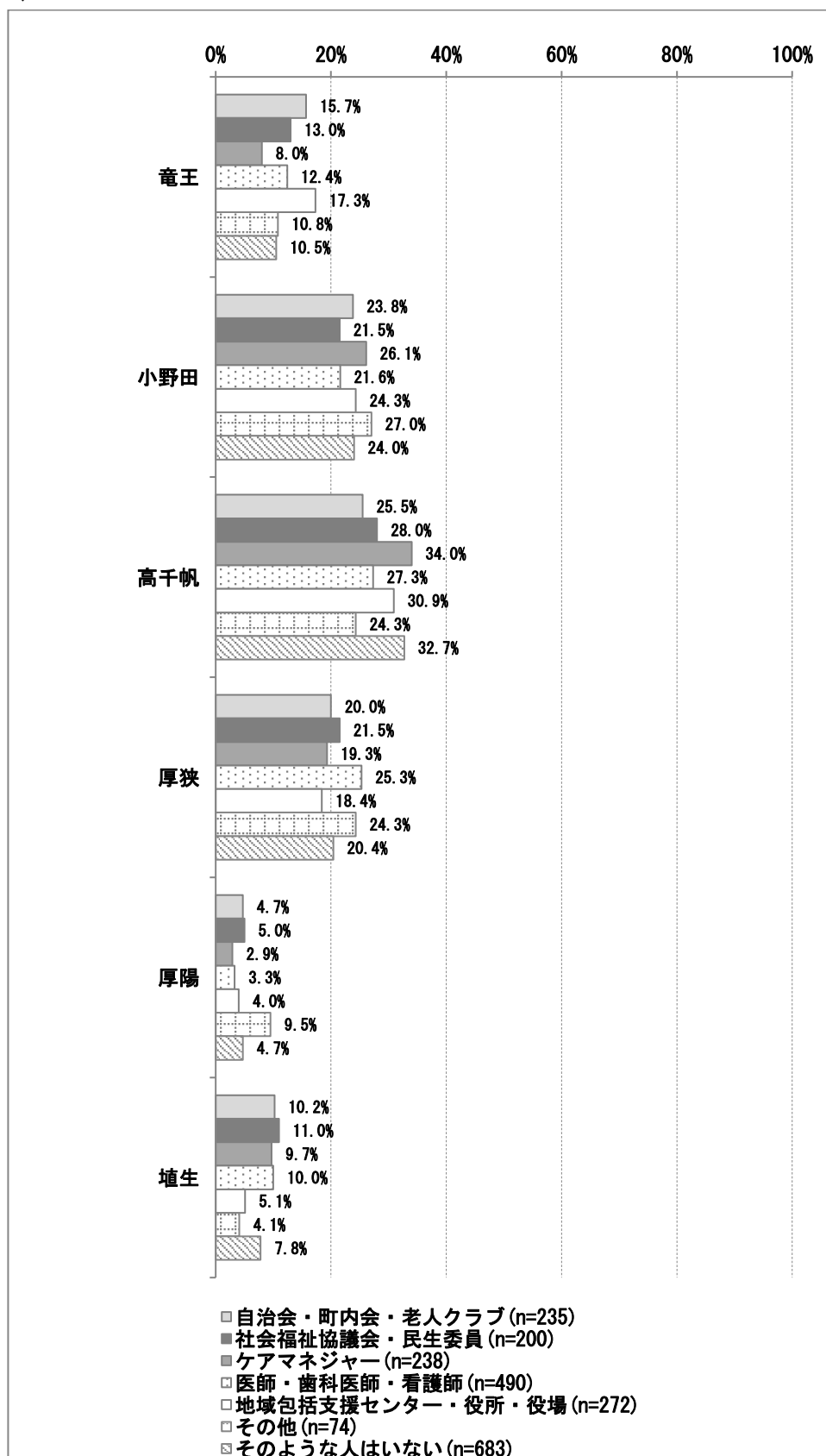
問 6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)



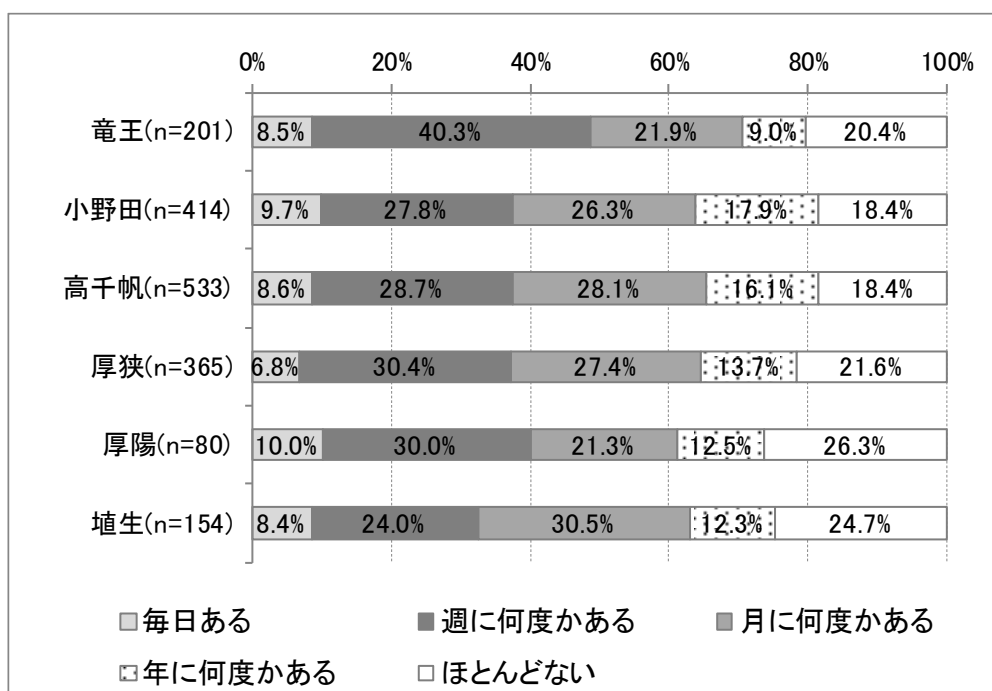
問6(4) 反対に、看病や世話をしあける人(MA)



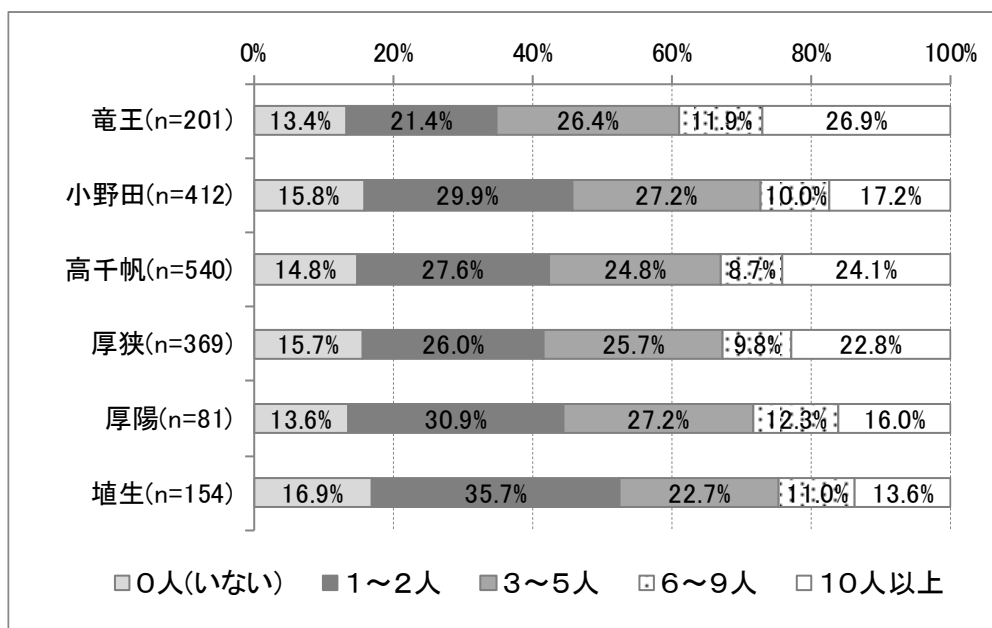
問 6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(MA)



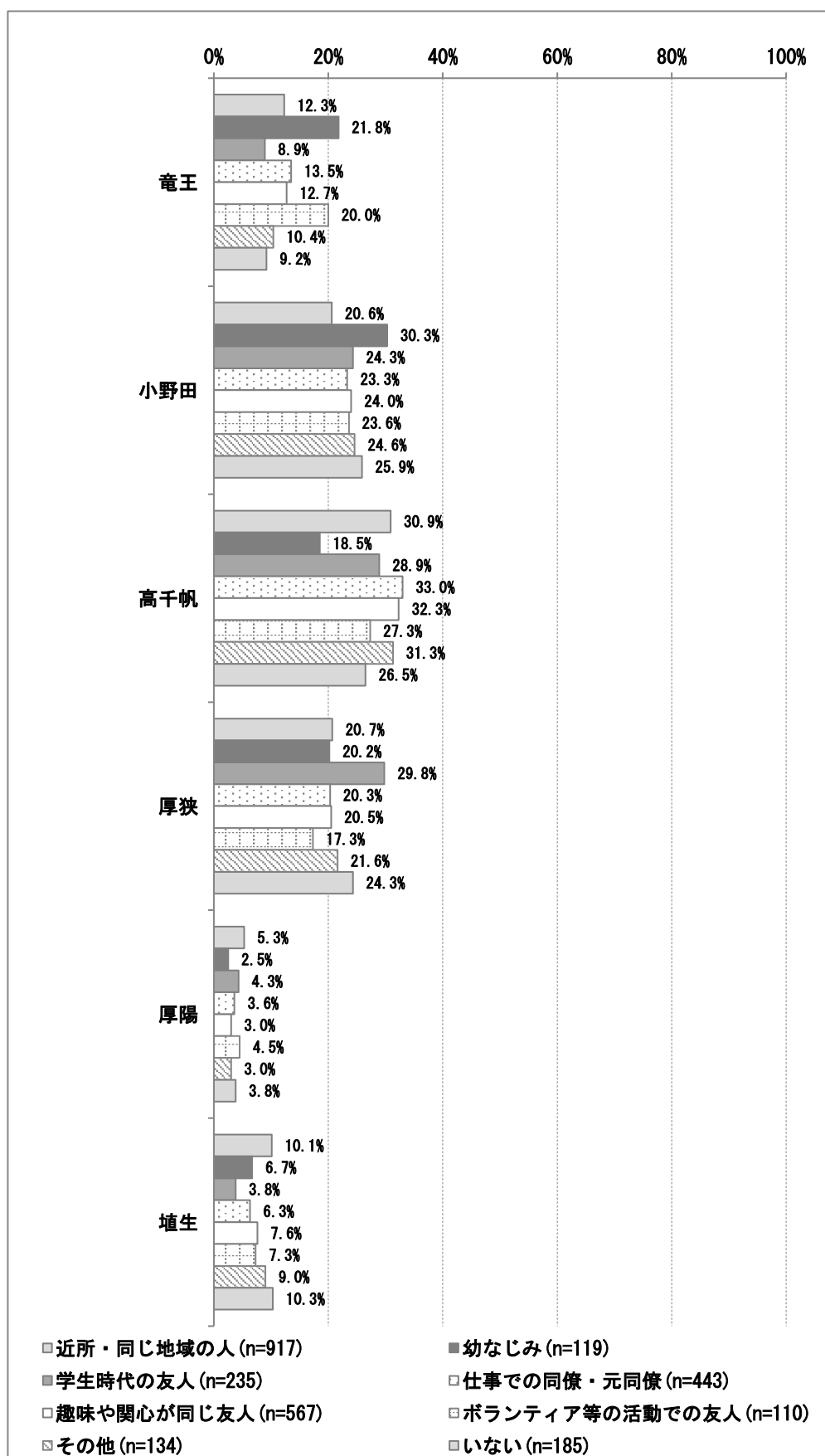
問 6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (SA)



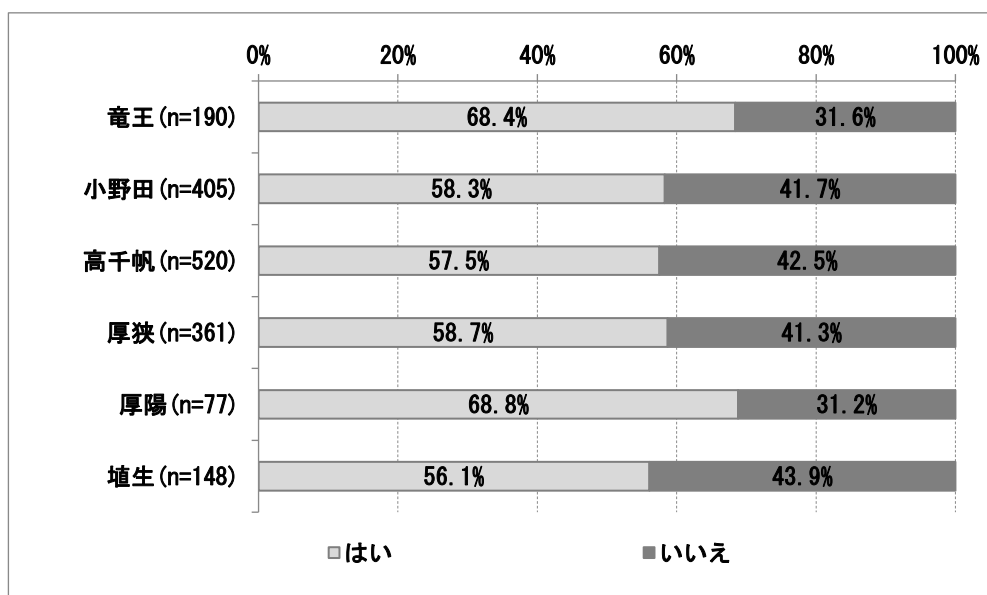
問 6 (7) この 1 か月間、何人の友人・知人と会いましたか (SA)



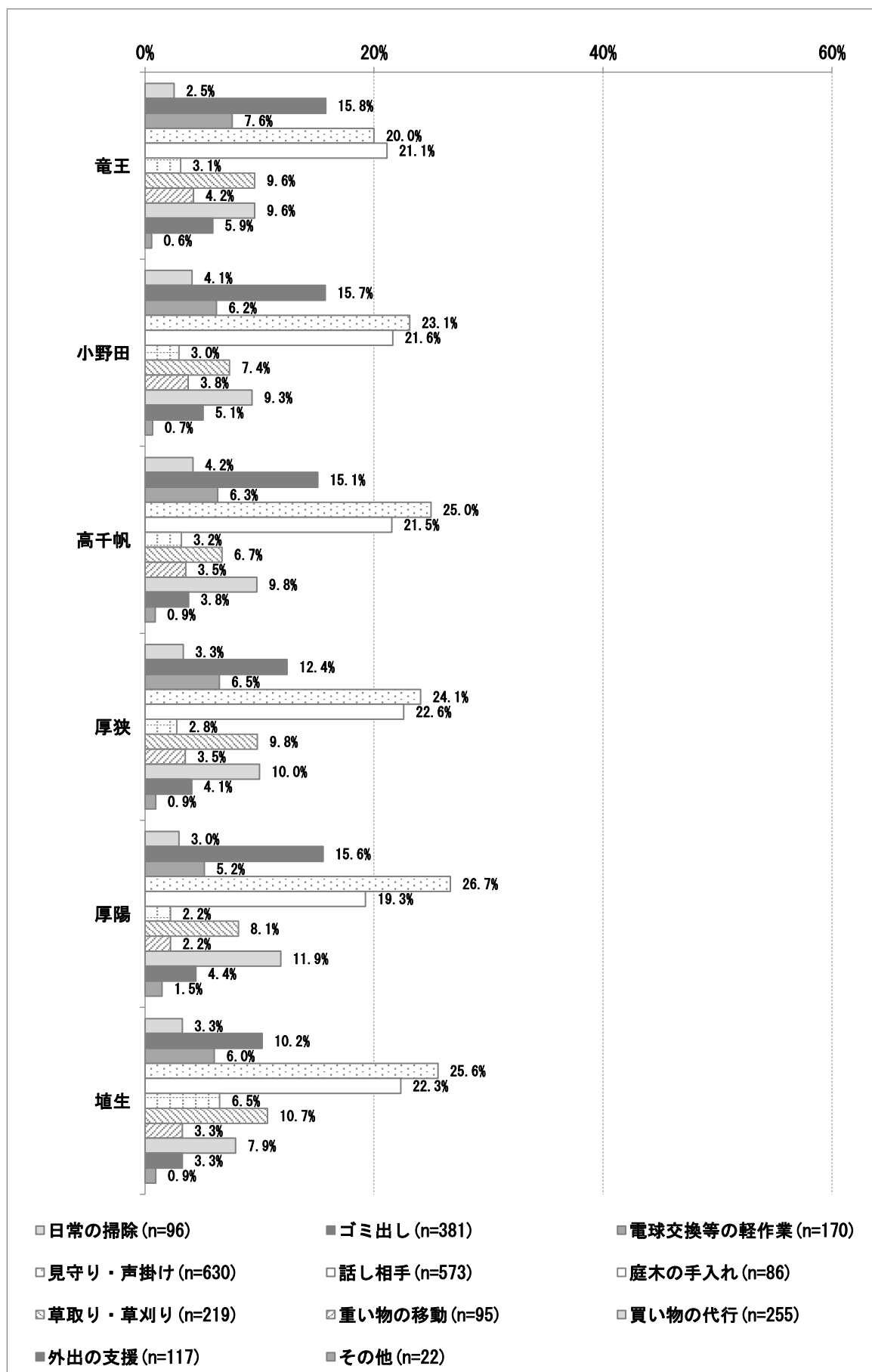
問6(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(MA)



問6(9) まわりで困っている高齢者がいたときに、あなたができる支援はありますか(★SA)

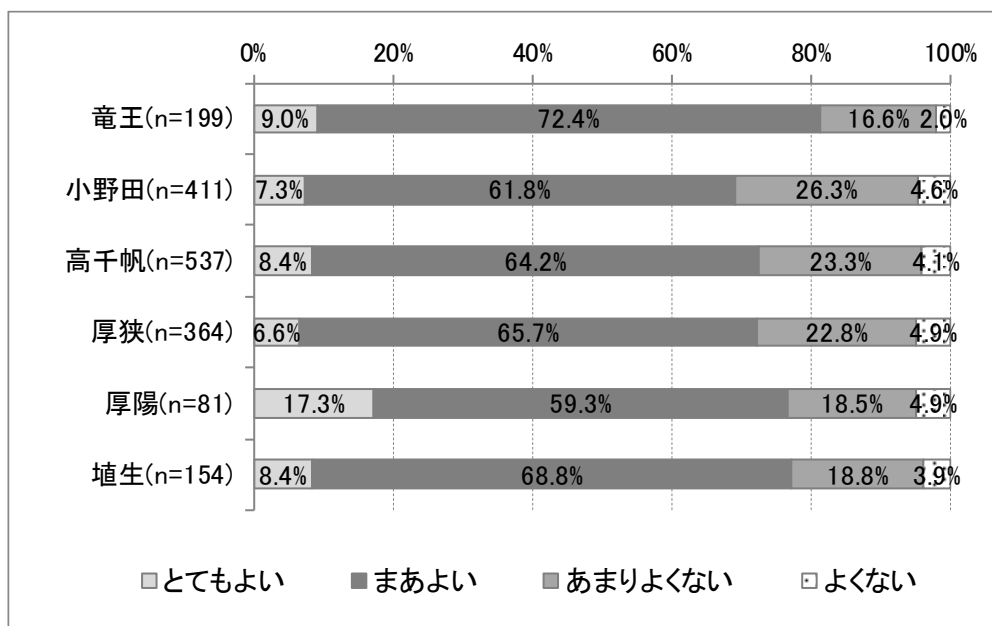


問6(9-1) どのような支援ができていますか(★MA)



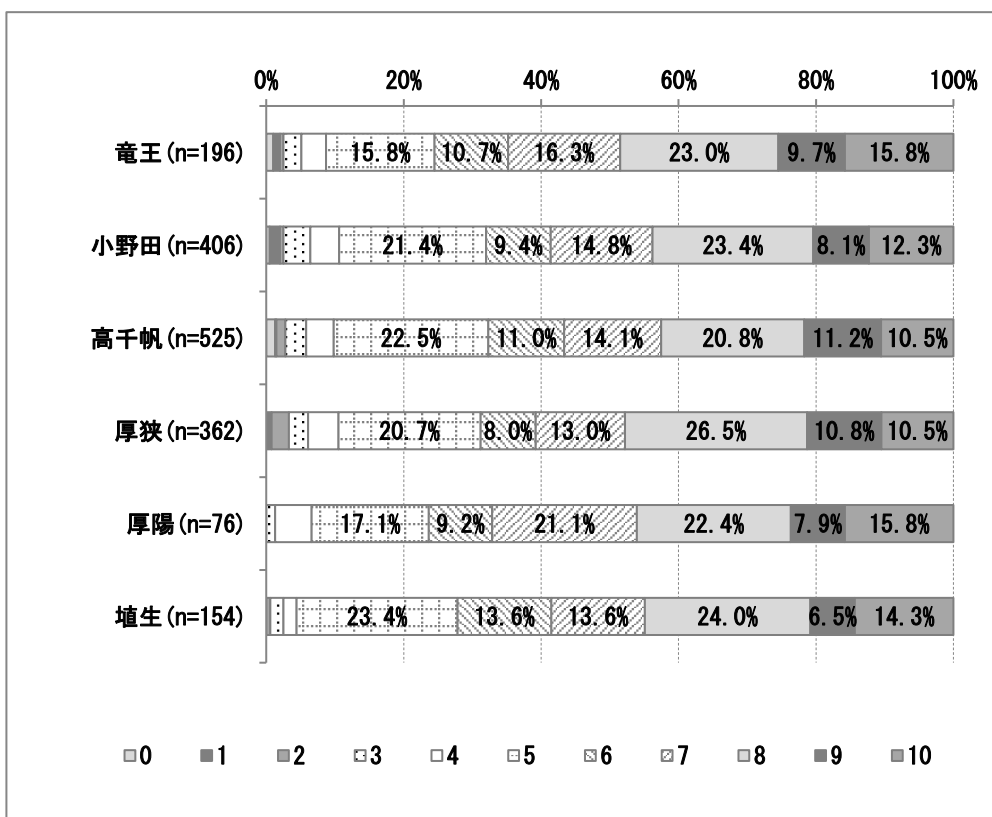
問 7 健康について

問 7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (SA)

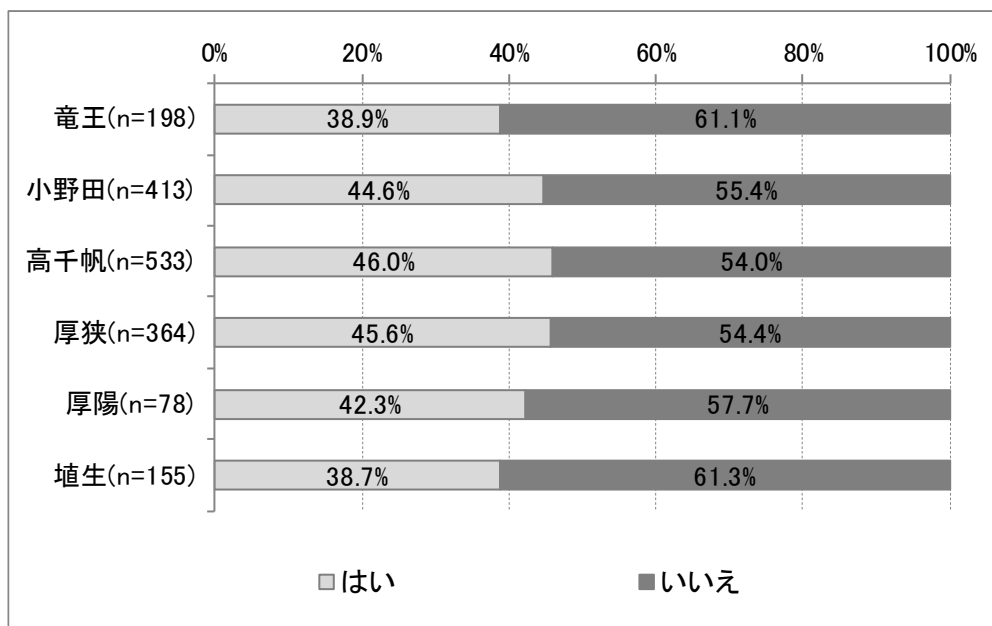


問 7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか (SA)

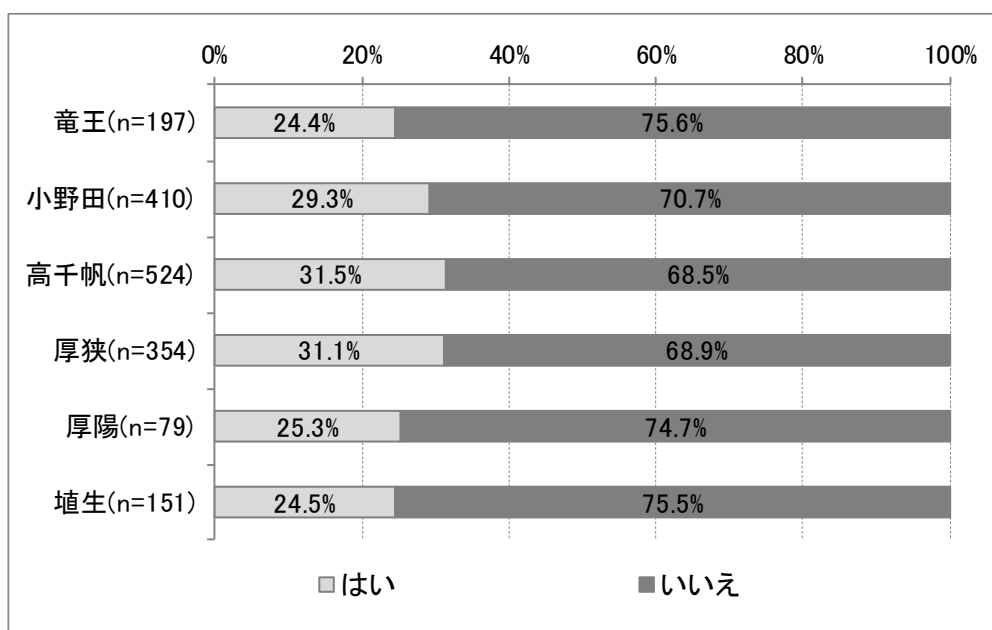
(「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として記入)



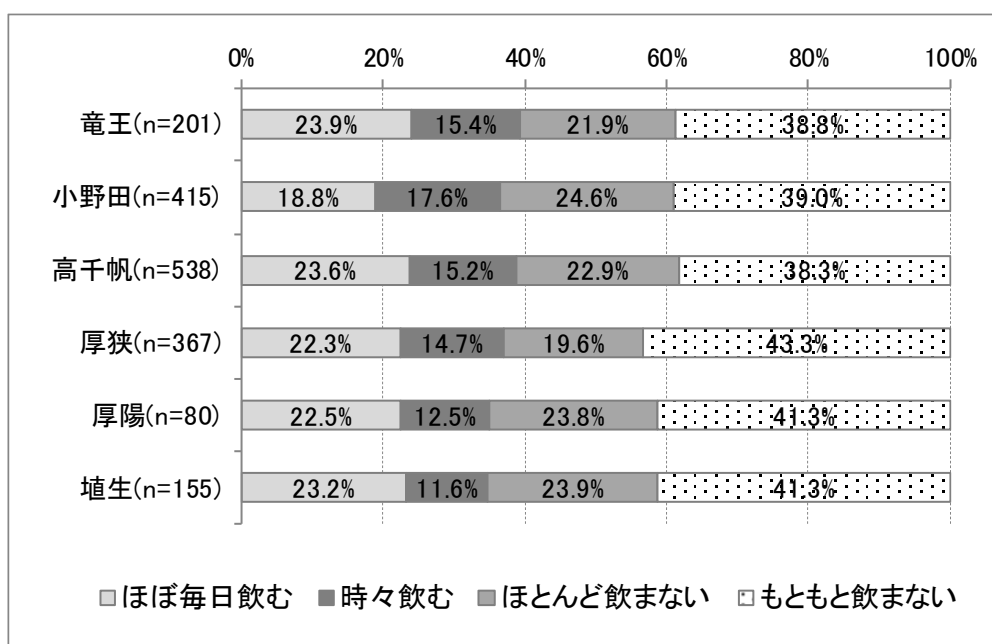
問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(SA)



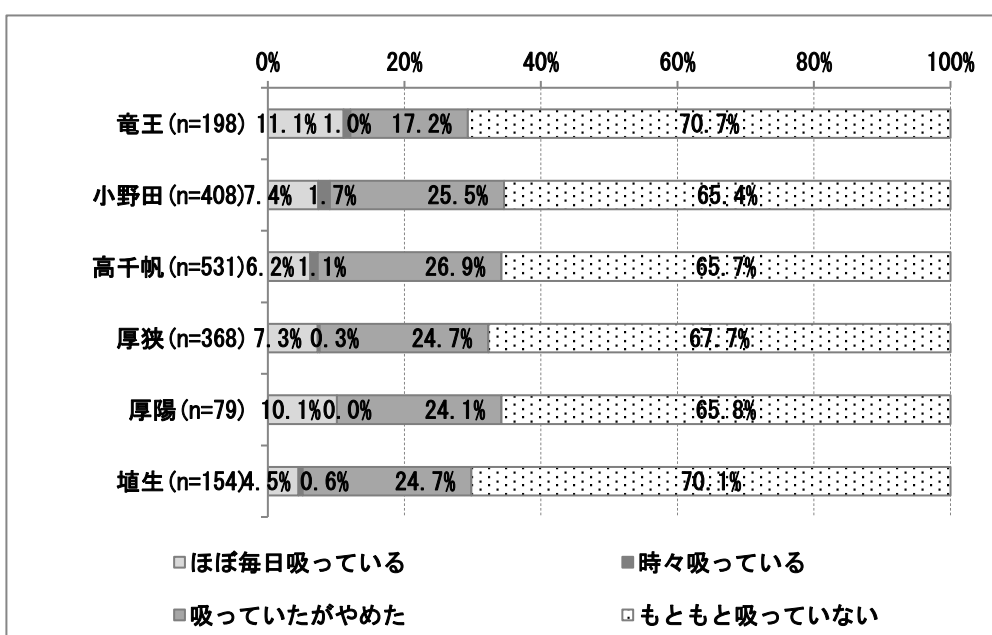
問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(SA)



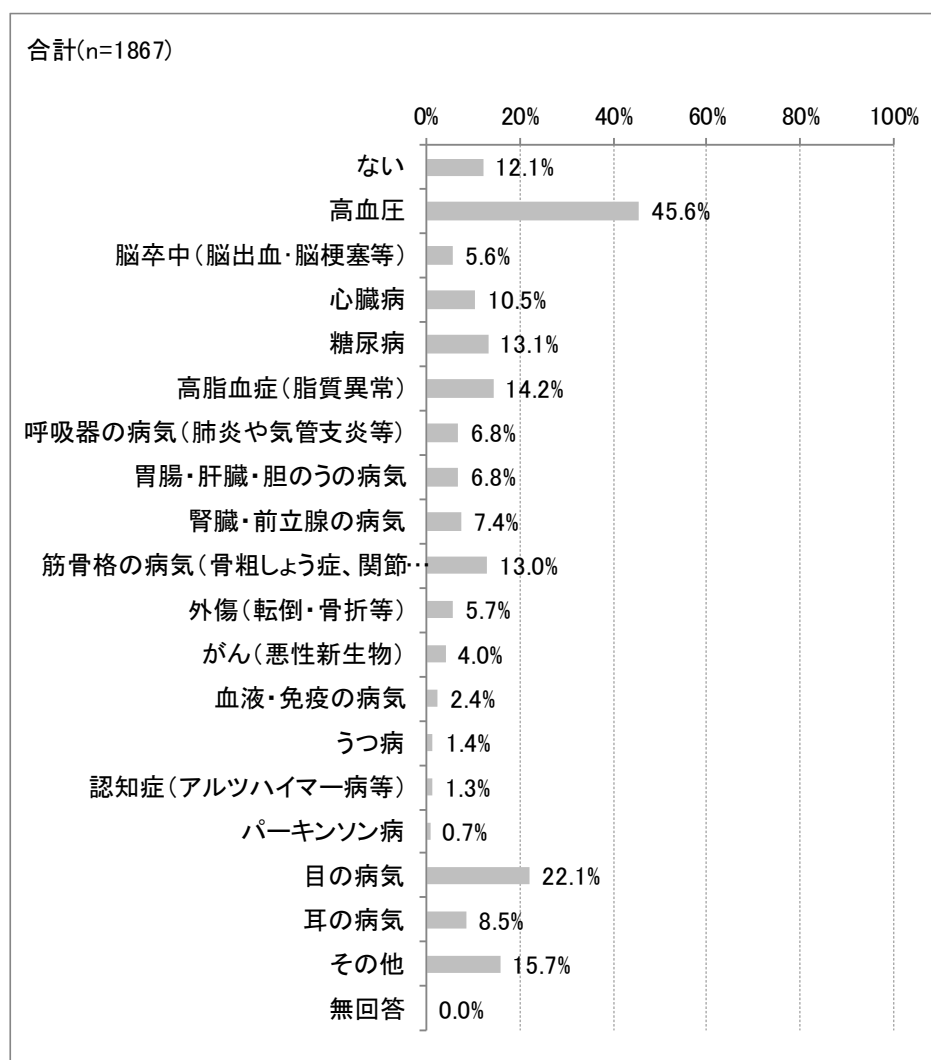
問 7 (5) お酒は飲みますか (SA)



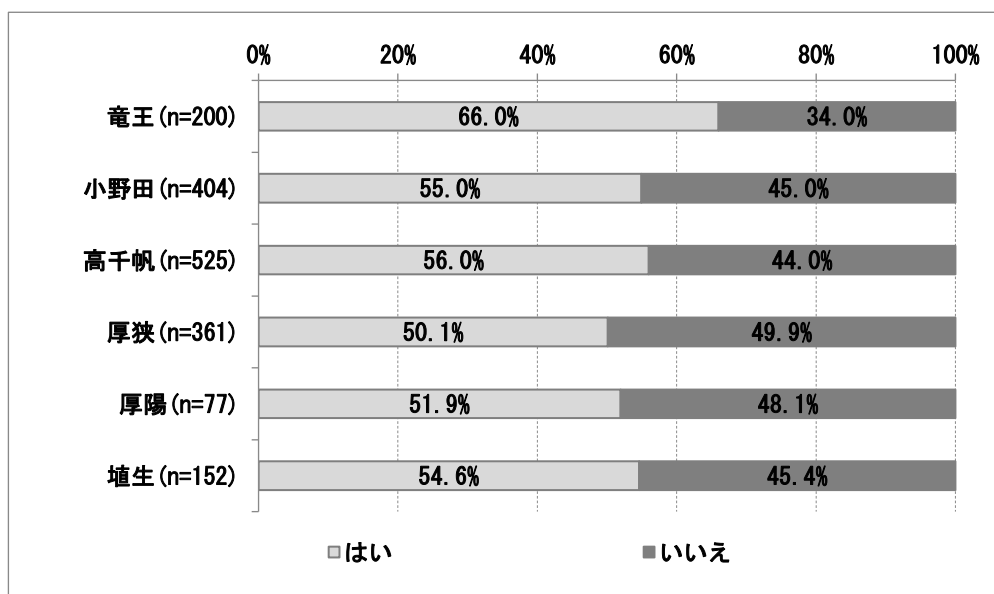
問 7 (6) タバコは吸っていますか (SA)



問 7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (MA) (再掲)

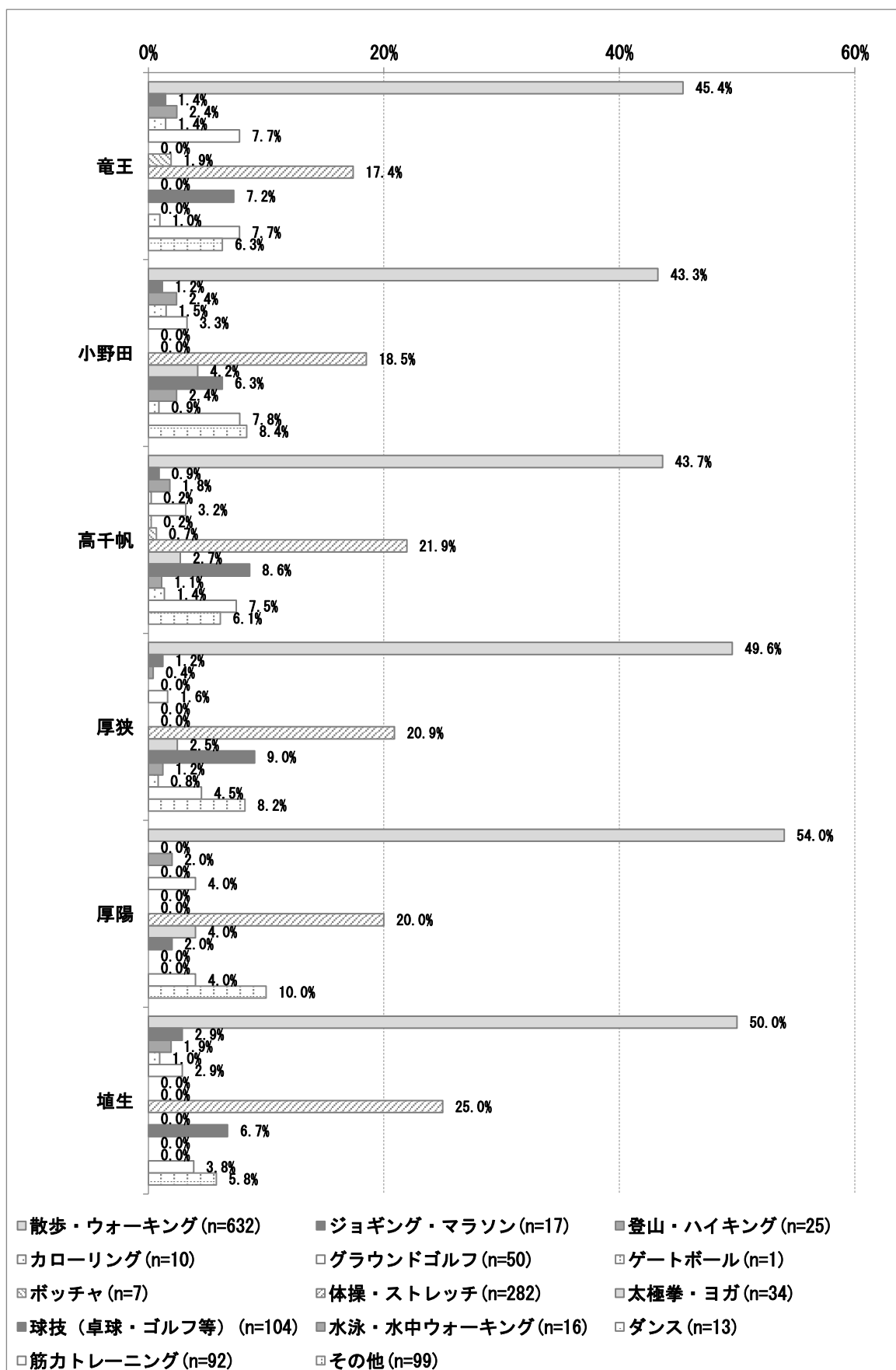


問 7 (8) 普段運動をしていますか (★SA)



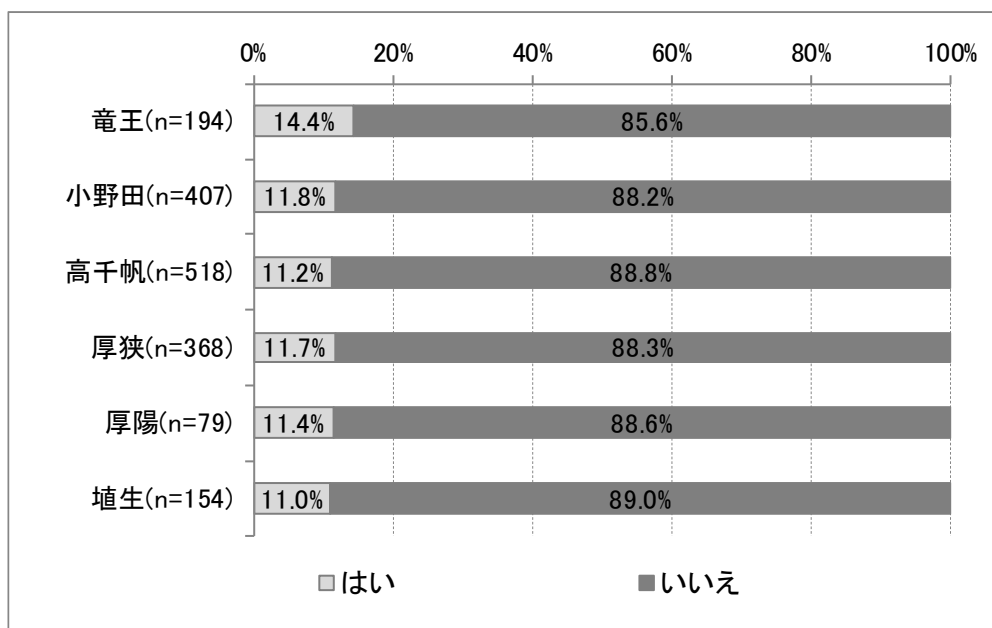
【(8)において、「はい（運動をしている）」を回答された方のみ】

問7 (8-1) 現在している運動は何ですか(★MA)

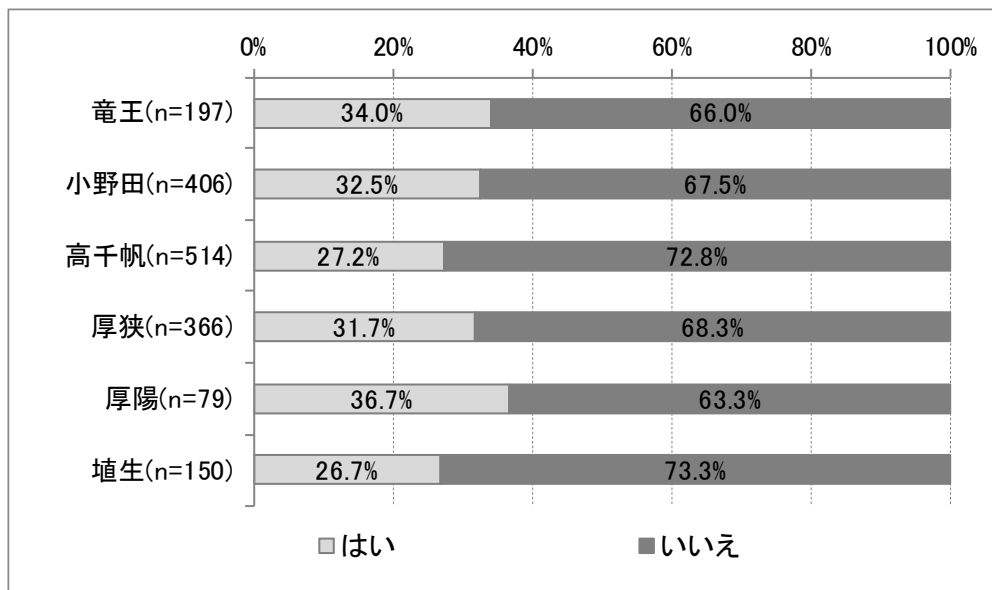


問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

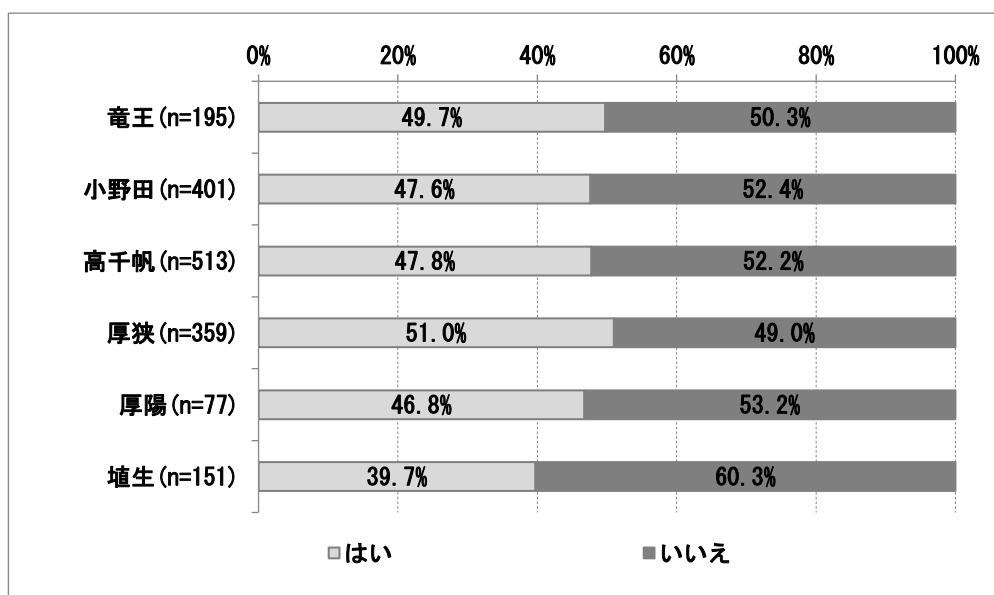
問 8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (SA)



問 8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (SA)

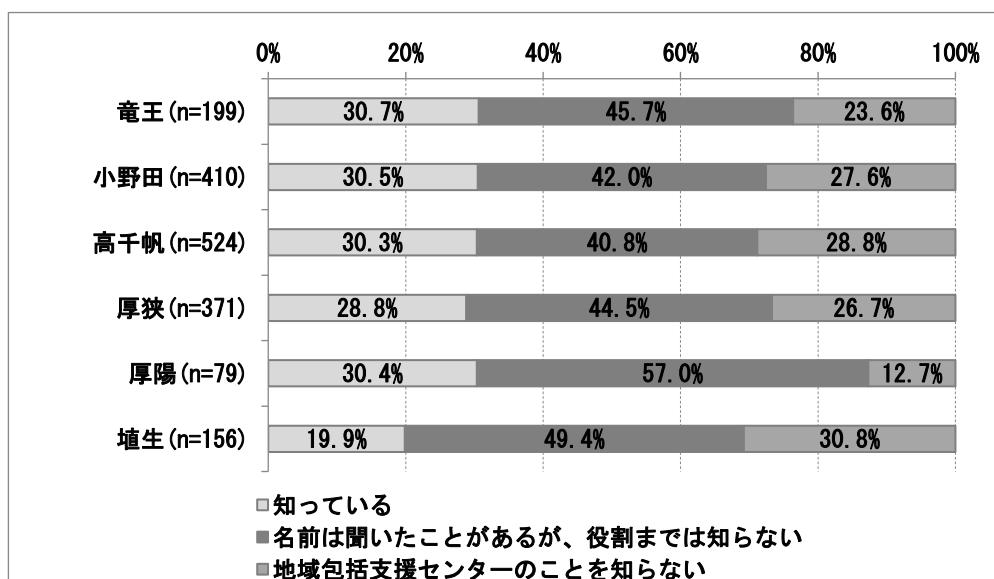


問 8 (3) 成年後見制度を知っていますか (★SA)

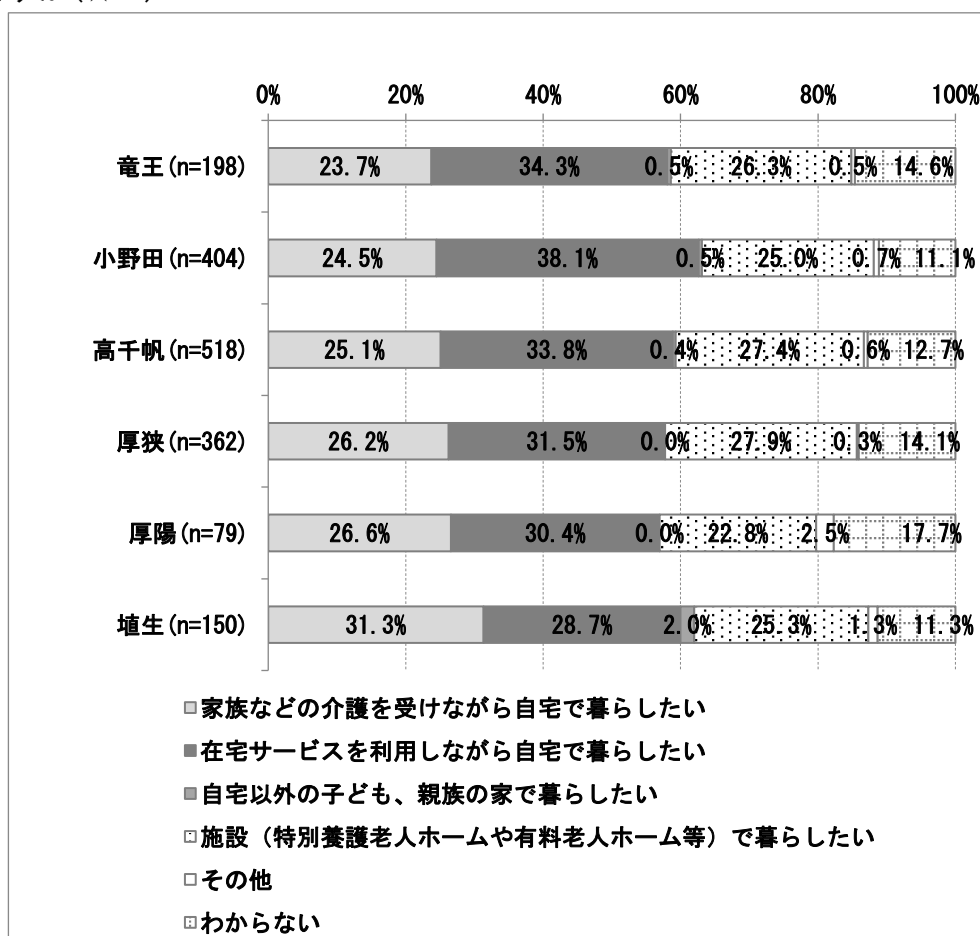


問 9 住み慣れた地域での暮らしについて

問 9 (1) 市では地域包括支援センターを市役所高齢福祉課に設置していますが、その役割を知っていますか(★SA)

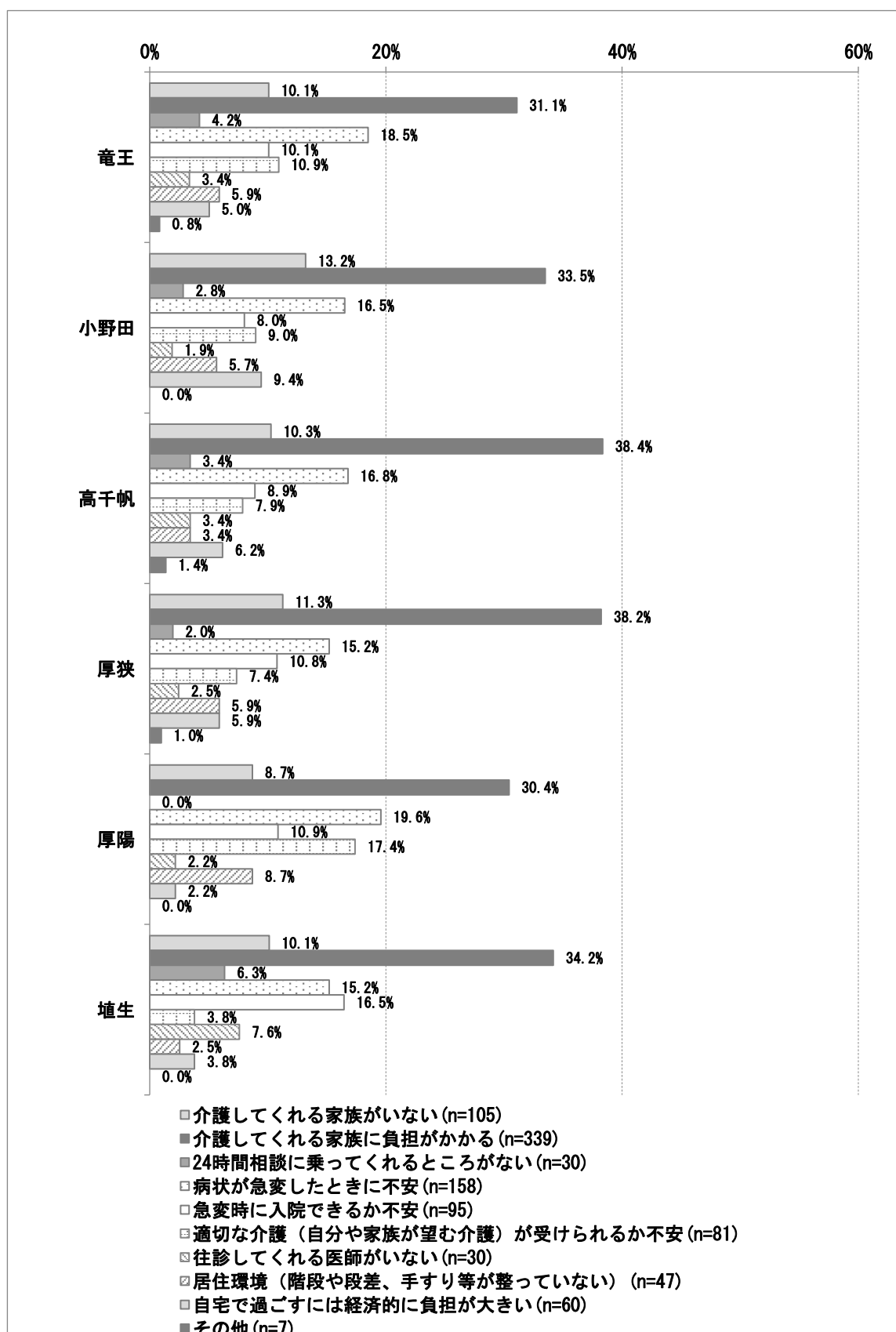


問 9 (2) あなたが介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいですか(★SA)

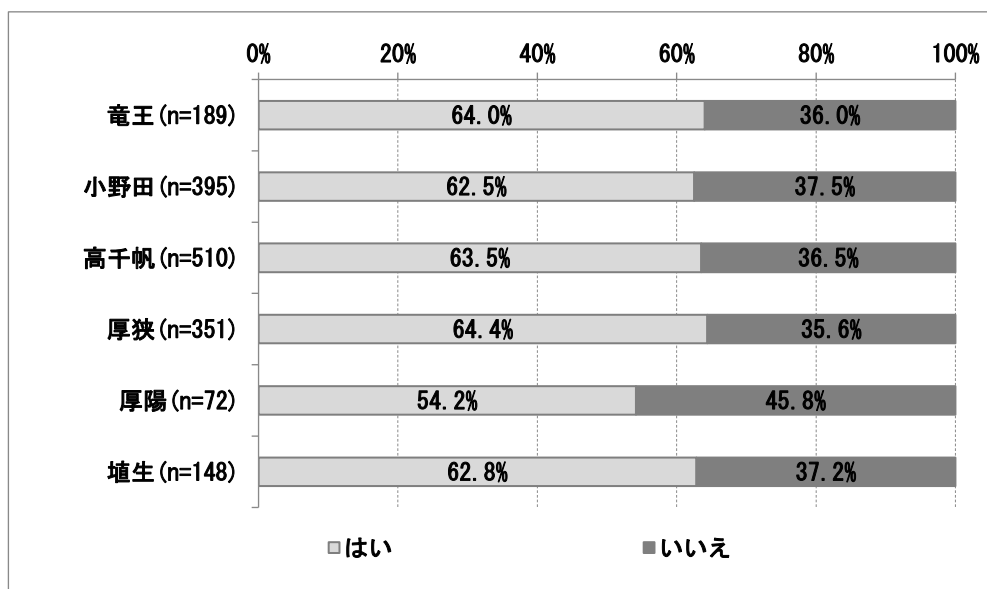


【(2)において、「施設で暮らしたい」を回答された方のみ】

問9(2-1) 自宅や子供、親族の家以外で暮らしたいと考える理由を教えてください(★
MA・3つまで)

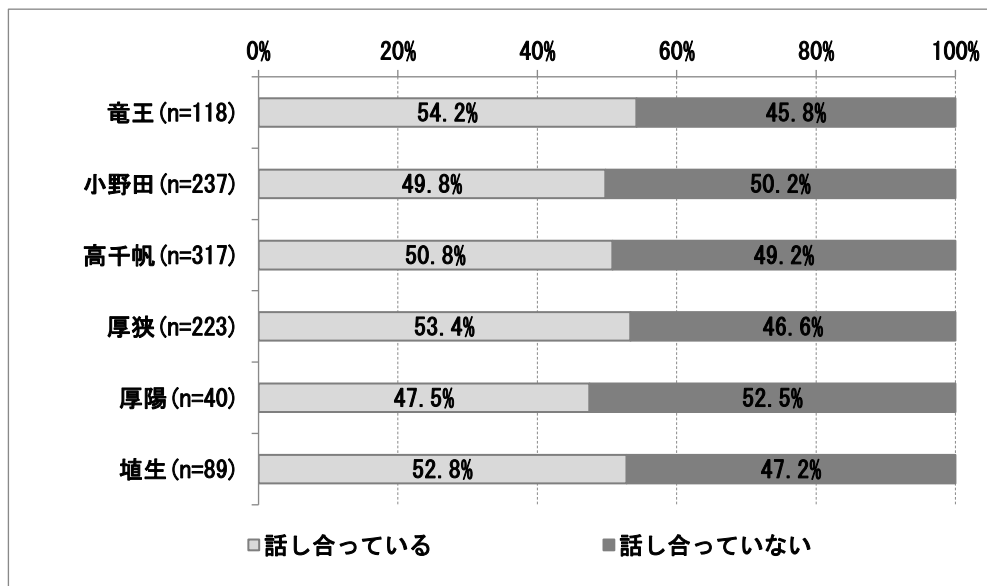


問 9 (3) 人生の最終段階における介護・医療についてこれまでに考えたことがありますか(★SA)



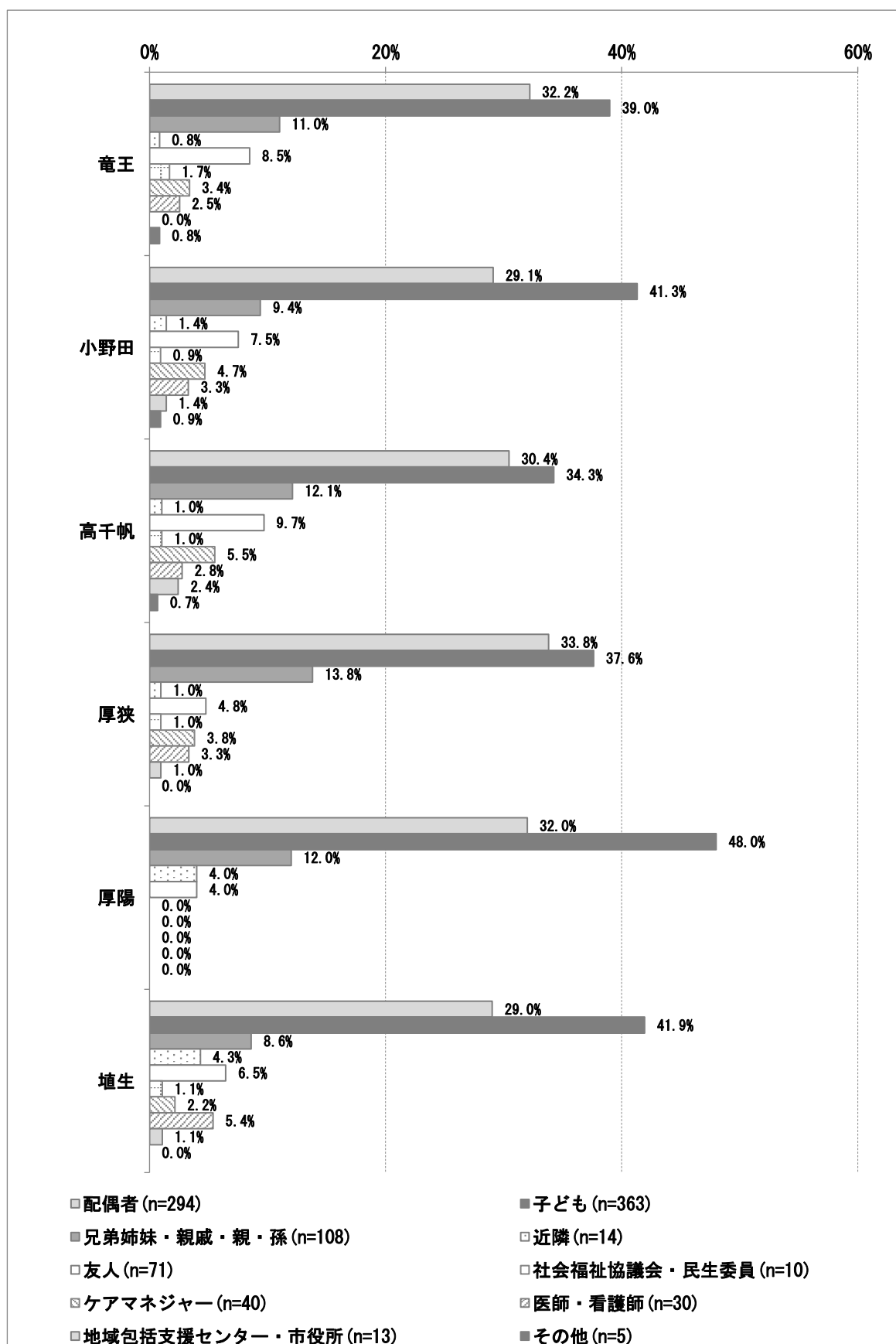
【(3)において、「はい（人生の最終段階における介護・医療）について考えたことがある」」を回答された方のみ】

問 9 (3-1) 人生の最終段階において、「希望する介護・医療」や「希望しない介護・医療」について話し合ったことがありますか(★SA)

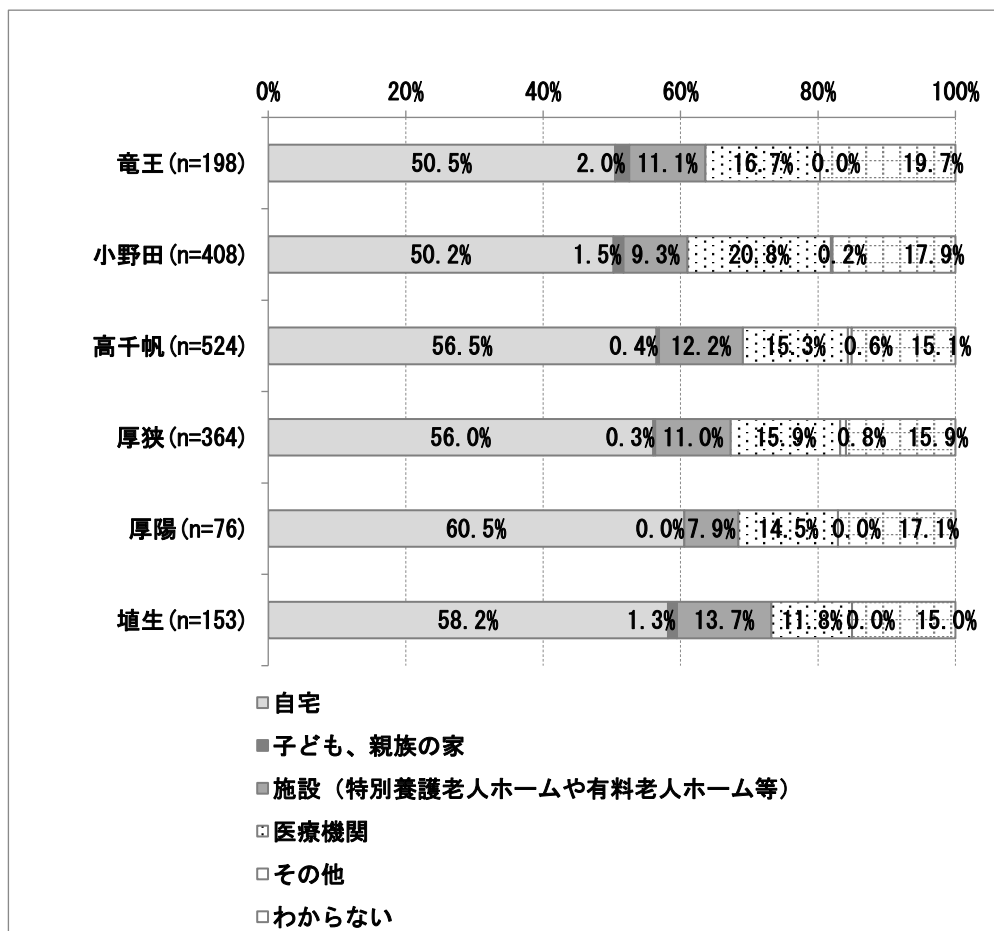


【(3-1)において、「話し合っている」」を回答された方のみ】

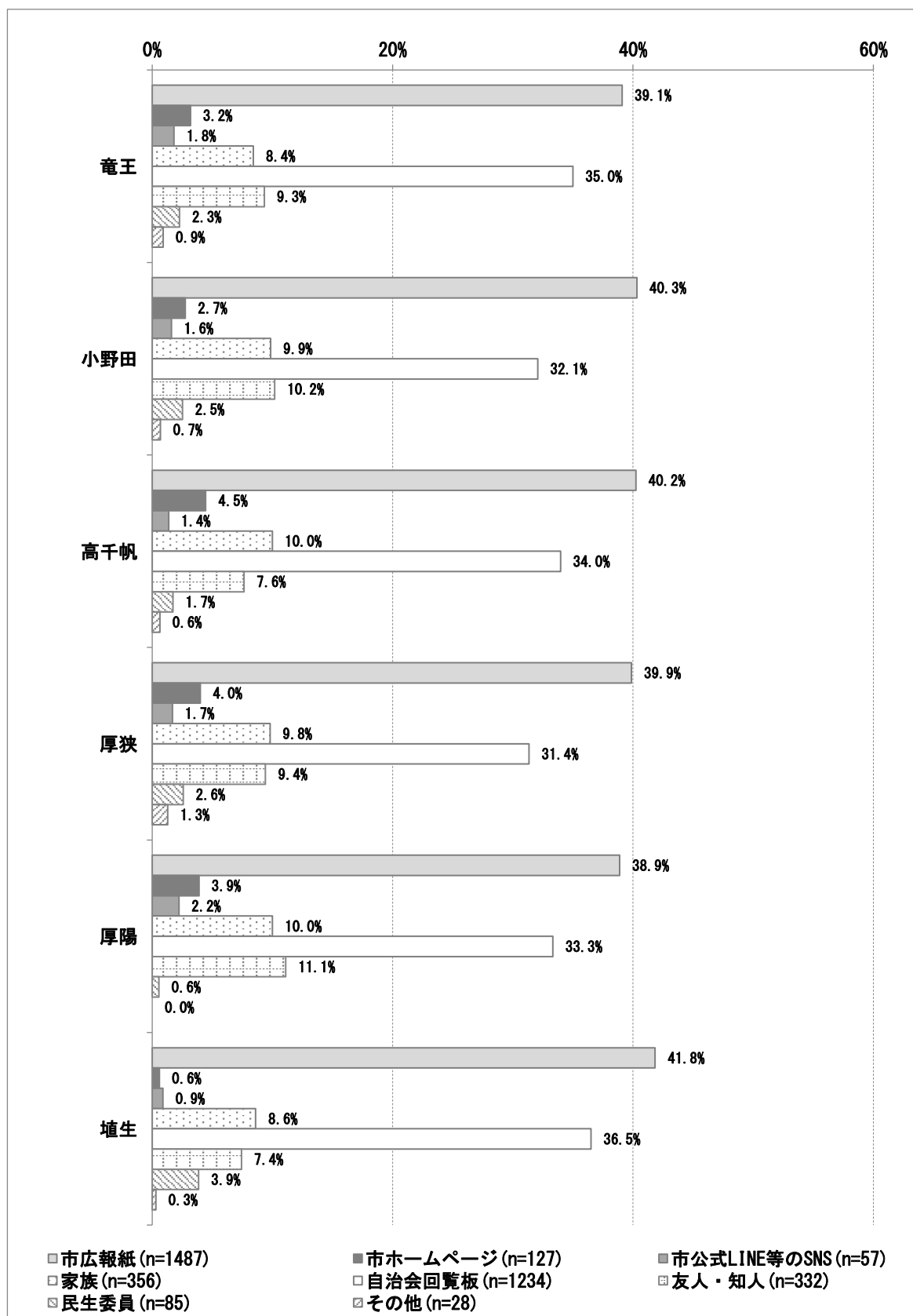
問9 (3-2) どのような立場の方と話し合われましたか(★MA・3つまで)



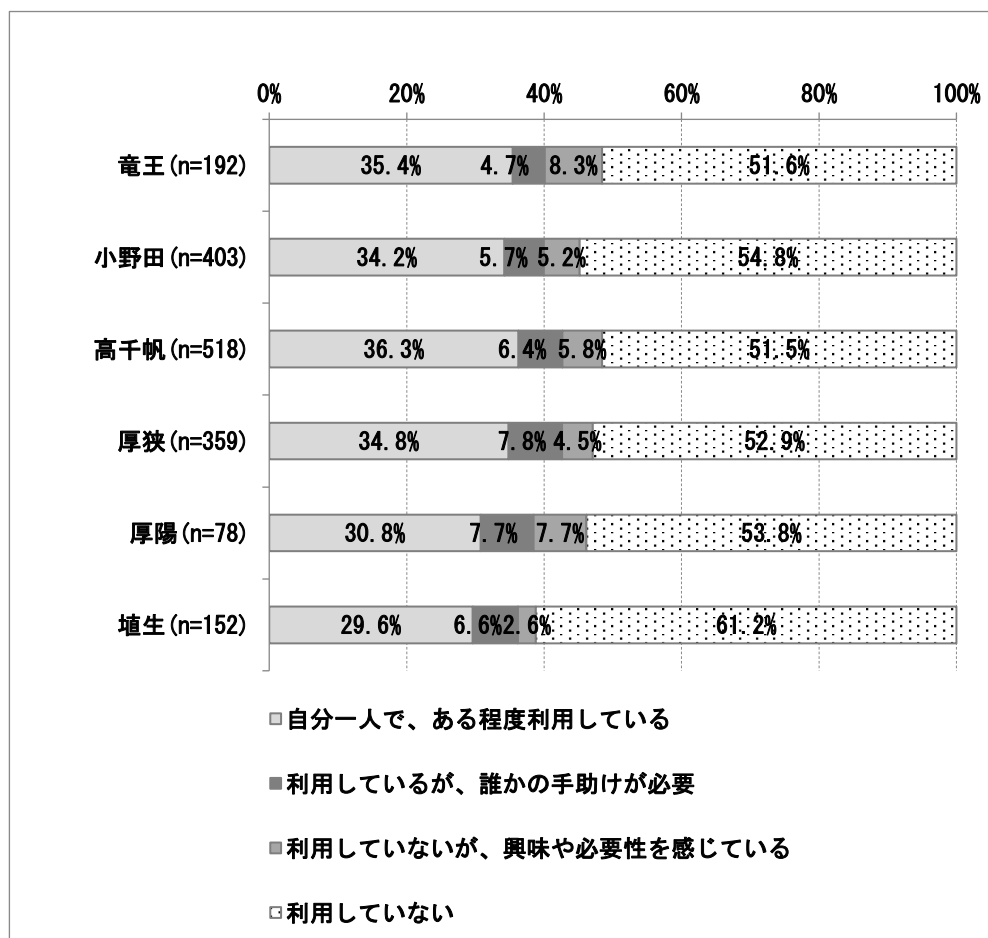
問 9 (4) あなたが人生の最後を迎えたい場所として、ご希望に最も近いものはどれですか(★SA)



問9 (5) あなたは市からの情報をどのような手段で入手しますか(★MA・3つまで)

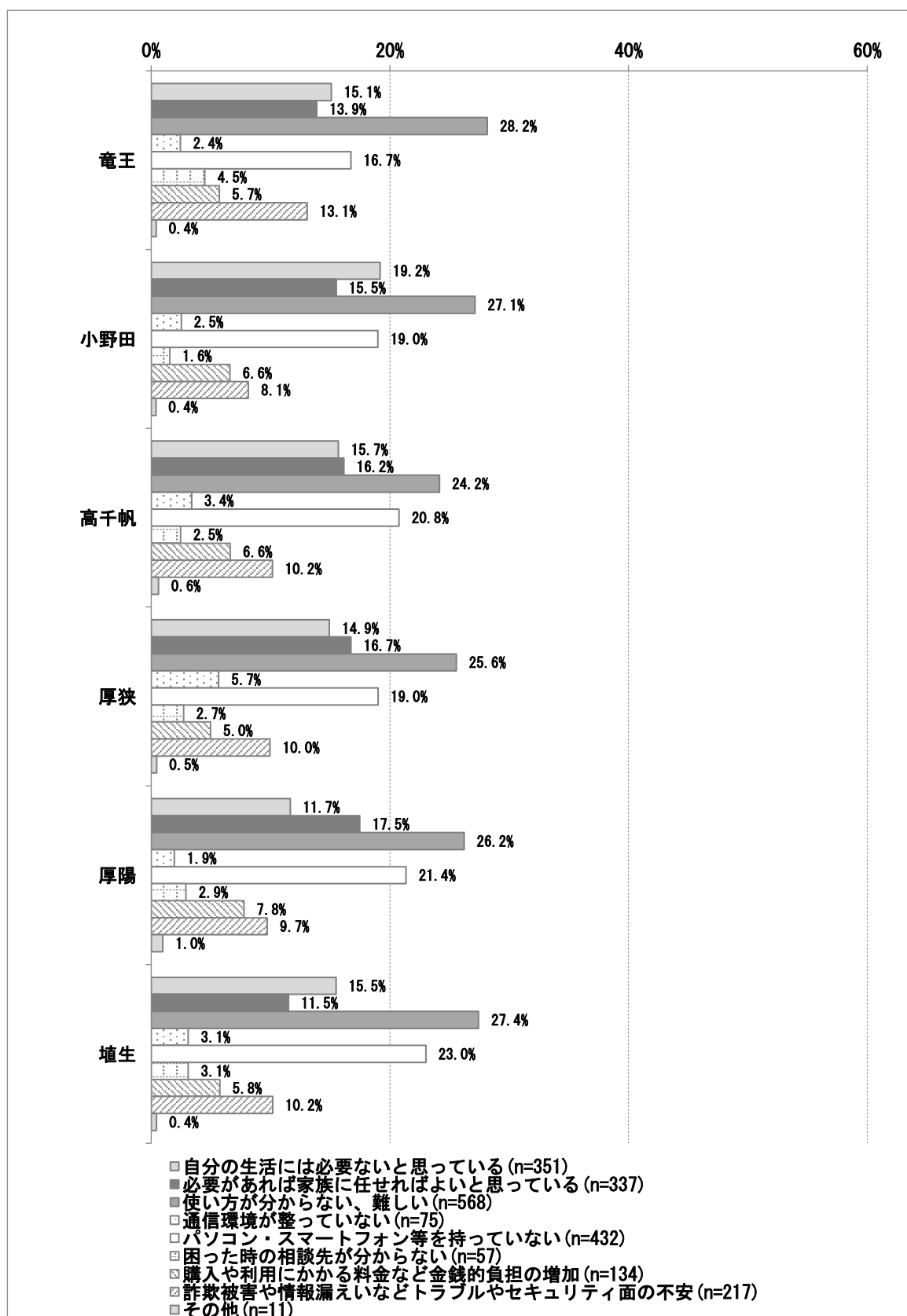


問 9 (6) パソコン、スマートフォン、タブレット等を用いて、インターネットを利用していますか (★SA)



【(6)において、「利用していないが、興味や必要性を感じている」「利用していない」を回答された方のみ】

問9 (6-1) 利用していない理由について教えてください(★MA・3つまで)



問 9 (7) 高齢者施策（サービス）について、特に力を入れてほしい項目を教えてください(★MA・3つまで)（再掲）

	竜王	小野田	高千帆	厚狭	厚陽	埴生
介護予防サービス(介護予防教室等)の充実(n=176)	5.1%	4.1%	4.1%	4.1%	4.0%	4.6%
高齢者福祉の相談ができる窓口の充実(n=386)	9.9%	9.9%	8.4%	9.7%	9.0%	9.7%
ふれあい・いきいきサロン、いきいき百歳体操など高齢者が集える場の充実(n=156)	5.4%	3.3%	3.9%	3.1%	4.0%	4.0%
虐待に関する相談や通報ができる窓口の充実など、虐待防止の推進(n=35)	0.6%	1.4%	0.6%	0.7%	1.5%	0.5%
成年後見制度の利用の促進と充実(n=39)	1.1%	1.2%	1.1%	0.7%	1.0%	0.0%
認知症高齢者と家族の情報交換の場(認知症カフェ等)の設置支援(n=49)	1.3%	1.0%	1.2%	1.4%	1.0%	1.1%
地域住民による声掛けや見守り活動の推進(n=205)	4.7%	5.7%	3.7%	5.7%	6.5%	5.1%
緊急時に通報ができる装置の貸与(n=391)	10.9%	9.0%	10.1%	7.8%	8.0%	11.0%
家族による介護を援助する福祉サービスの充実(n=454)	9.0%	10.6%	11.2%	12.8%	11.6%	8.9%
介護施設や高齢者の健康づくり活動を支援する介護支援ボランティアの育成(n=59)	1.3%	2.1%	1.4%	1.0%	1.5%	0.8%
老人クラブ、社会活動やボランティア活動への参加支援(n=38)	1.3%	0.6%	1.1%	0.9%	0.0%	1.1%
健康診査の充実や健康管理の推進(n=201)	3.4%	4.7%	5.1%	5.8%	5.0%	3.8%
在宅医療(訪問診療・訪問看護等)の充実(n=446)	11.8%	10.1%	11.7%	11.0%	8.0%	9.1%
災害時の支援体制の整備(n=195)	3.0%	5.5%	4.9%	4.2%	5.0%	5.1%
安心して外出できる移動手段の確保(n=488)	13.1%	9.8%	11.3%	12.5%	11.6%	15.3%
買い物や掃除、食事などの日常生活を支援する福祉サービスの充実(n=259)	4.9%	6.6%	6.3%	6.3%	7.0%	6.5%
高齢者が住みやすい住居の確保及び入居に対する支援(n=178)	4.9%	4.9%	4.3%	3.5%	4.0%	3.8%
施設や交通機関等のバリアフリー化の推進(n=80)	1.7%	2.1%	2.4%	1.7%	2.0%	0.8%
手すりの取り付けなど、在宅生活を送るための住まいの改修に関する支援(n=228)	4.7%	4.9%	5.9%	5.0%	7.5%	6.7%
就労支援(n=33)	1.1%	1.3%	0.6%	0.6%	0.0%	0.5%
その他(n=48)	0.9%	1.1%	0.8%	1.6%	1.5%	1.6%

V ニーズ調査（調査票様式）

山陽小野田市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調 査 票

※ 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。

記入日	令和 5 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入（ご本人からみた続柄： ） 3. その他	
お住まいの小学校区に○をつけてください。	
1. 本山 2. 赤崎 3. 須恵 4. 小野田 5. 高泊 6. 高千帆 7. 有帆 8. 厚狭 9. 出合 10. 厚陽 11. 埴生	

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市内で適切に管理いたします。
- ただし、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (○はひとつ)	
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯
5. その他	
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○はひとつ)	
1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3)へ 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ (2-1)へ 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒ (2-1)、(2-2)へ (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	
(2)で「2」または「3」を回答された方(介護・介助が必要な方)のみ	
(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (○はいくつでも)	
1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) のうそっちゅう のうしゅっけつ のうこうそく 3. がん(悪性新生物) 5. 関節の病気(リウマチ等) 7. パーキンソン病 9. 腎疾患(透析) じんしつかん どうせき 11. 骨折・転倒 こっせつ てんどう 13. 高齢による衰弱 すいじゃく 15. 不明	2. 心臓病 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) はいきしゅ はいましゅ 6. 認知症(アルツハイマー病等) にんちしょう 8. 糖尿病 とうようびょう 10. 視覚・聴覚障害 しかく ちょうかくしやうがい 12. 脊椎損傷 せきついそんしやう 14. その他 ()
(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ	
(2-2) 主にどなたの介護・介助を受けていますか (○はいくつでも)	
1. 配偶者(夫・妻) 3. 娘 5. 孫 7. 介護サービスのヘルパー	2. 息子 4. 子の配偶者 6. 兄弟・姉妹 8. その他 ()
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○はひとつ)	
1. 大変苦しい 4. ややゆとりがある	2. やや苦しい 5. 大変ゆとりがある
3. ふつう	

(4) お住まいは戸建て、または集合住宅のどちらですか (○はひとつ)	
1. 持家 (戸建て) こうえいちんたいじゅうたく	2. 持家 (集合住宅) みんかんちんたいじゅうたく
3. 公営賃貸住宅 みんかんちんたいじゅうたく	4. 民間賃貸住宅 (戸建て)
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6. 借家
7. その他	

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○はひとつ)	1.できるし、 している	2.できるけど していない	3.できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○はひとつ)	1.できるし、 している	2.できるけど していない	3.できない
(3) 15分位続けて歩いていますか (○はひとつ)	1.できるし、 している	2.できるけど していない	3.できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○はひとつ)	1.何度もある	2. 1度ある	3.ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○はひとつ)			
1. とても不安である		2. やや不安である	
3. あまり不安でない		4. 不安でない	
(6) 週に1回以上は外出していますか (○はひとつ)			
1. ほとんど外出しない		2. 週1回	
3. 週2～4回		4. 週5回以上	
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○はひとつ)			
1. とても減っている		2. 減っている	
3. あまり減っていない		4. 減っていない	

(8) 外出を控えていますか (○はひとつ)	
1. はい⇒(8-1)へ	2. いいえ⇒(9)へ
(8)で「1. はい」を回答された方のみ	
(8-1) 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)	
1. 病気	2. 障害 (脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ()
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)	
1. 徒歩	2. 自転車
3. バイク	4. 自動車 (自分で運転)
5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス
9. 車いす	10. 電動車いす (カート)
11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他 ()	

問3 食べることについて

(1) 身長・体重を記入してください (数字を記入) (小数点以下は四捨五入)							
身長 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 30px; height: 20px;"></td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr></table> c m				体重 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 30px; height: 20px;"></td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr></table> k g			
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ						
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ						
(4) 口の渇きが気になりますか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ						
(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ						

(20) 普段の生活をおくる上で必要なものは何ですか (主なものを <u>3つ以内</u> で○をしてください)		
1. 携帯電話・スマートフォン	2. 自転車	3. 自動車
4. バス	5. タクシー	6. 歩行器・シルバーカー
7. 車いす	8. 手すり	9. 杖
10. 緊急通報装置	11. 補聴器	12. 紙パンツ・尿取りパッド
13. その他 ()		14. 特になし

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに回答してください。①～⑧それぞれに○はひとつ			
① ボランティアのグループ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
② スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
③ 趣味関係のグループ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
④ 学習・教養サークル	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑤ 介護予防のための通いの場や百歳体操	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑥ 老人クラブ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑦ 町内会・自治会	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑧ 収入のある仕事	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いき (2) いきた地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか (○はひとつ)			
1. 是非参加したい		2. 参加してもよい	
3. 参加したくない		4. 既に参加している	

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いき (3) いきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話 役）として</u> 参加してみたいと思いますか（○はひとつ）	
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（○はいくつでも）	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（○はいくつでも）	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (○はいくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他 ()	
7. そのような人はいない		
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○はひとつ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	
3. 月に何度かある	4. 年に何度かある	
5. ほとんどない		
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○はひとつ) ※同じ人には何度会っても1人と数えることとします		
1. 0人 (いない)	2. 1～2人	
3. 3～5人	4. 6～9人	
5. 10人以上		
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	
3. 学生時代の友人	4. 仕事での同僚・元同僚	
5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人	
7. その他	8. いない	
(9) まわりで困っている高齢者がいたときに、あなたができる支援はありますか (○はひとつ)		
1. はい ⇒ (9-1)へ	2. いいえ ⇒ (問7)へ	
(9)で「1. はい」を回答された方のみ		
(9-1) どのような支援ができると思いますか (いくつでも)		
1. 日常の掃除	2. ゴミ出し	3. 電球交換等の軽作業
4. 見守り・声かけ	5. 話し相手	6. 庭木の手入れ
7. 草取り・草刈り	8. 重い物の移動	9. 買い物の代行
10. 外出の支援	11. その他 ()	

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○はひとつ)	
1. とてもよい	2. まあよい
3. あまりよくない	4. よくない
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (点数に○を付けてください) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)	
とても不幸 0点	1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ
(5) お酒は飲みますか (○はひとつ)	
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない
(6) タバコは吸っていますか (○はひとつ)	
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)	
1. ない	2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) のうそっちゅう のうしゅっけつ のうこうそく	4. 心臓病
5. 糖尿病 とうようびょう	6. 高脂血症 (脂質異常) こうしけっしょう ししつ いじょう
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 じんぞう ぜんりつせん	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) きんこっかく こつそしょうしょう
11. 外傷 (転倒・骨折等) がいしょう てんとう こっせつ	12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 めんえき	14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等) にんちしょう	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他 ()	

(8) 普段運動をしていますか (○はひとつ)	
1. はい⇒(8-1)へ	2. いいえ⇒(問8)へ
(8)で「1. はい」を回答された方のみ	
(8-1) 現在している運動は何ですか (○はいくつでも)	
1. 散歩・ウォーキング	2. ジョギング・マラソン
3. 登山・ハイキング	4. カローリング
5. グラウンドゴルフ	6. ゲートボール
7. ボッチャ	8. 体操・ストレッチ
9. 太極拳・ヨガ	10. 球技(卓球・ゴルフ等)
11. 水泳・水中ウォーキング	12. ダンス
13. 筋力トレーニング	14. その他()

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ
(3) 成年後見制度を知っていますか (○はひとつ)	1. はい 2. いいえ

※成年後見制度は、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な人の法律行為(財産管理や契約の締結など)を、家庭裁判所が選任した成年後見人等が本人を代理して契約を行ったり、同意なく結んだ不利益な契約を取り消すなどの保護や支援を行う民法の制度です。

問9 住み慣れた地域での暮らしについて

(1) 市では地域包括支援センターを市役所高齢福祉課に設置していますが、その役割を知っていますか (○はひとつ)
1. 知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない
3. 地域包括支援センターのことを知らない

※地域包括支援センターとは、在宅介護の相談はもちろんのこと、介護が必要にならなくていように元気で過ごせるためのアドバイスなどを他の機関と連携をとりながら行う、住民の皆さんの身近な相談窓口です。

(7)

21. その他 ()

～ 以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 ～

記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れて（切手不要）

令和5年5月25日（木）までに郵便ポストに投函してください。

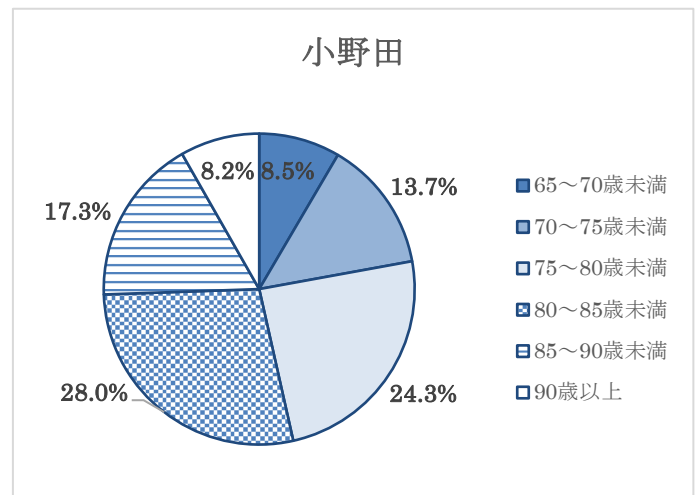
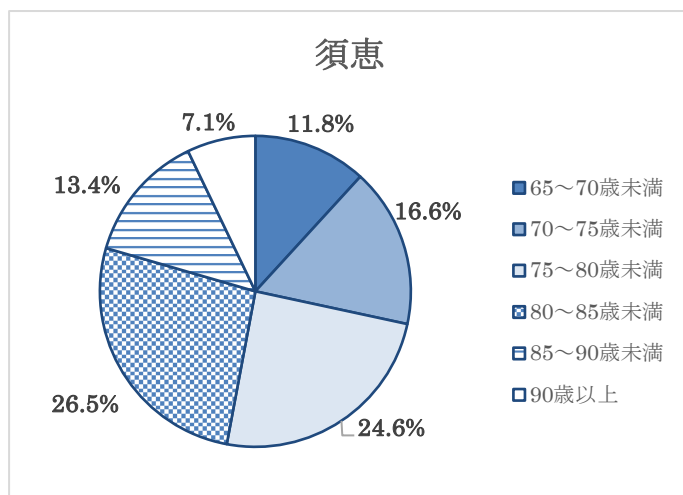
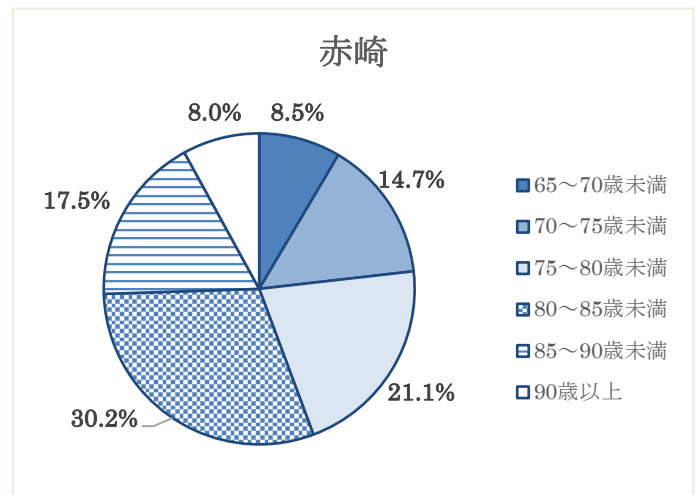
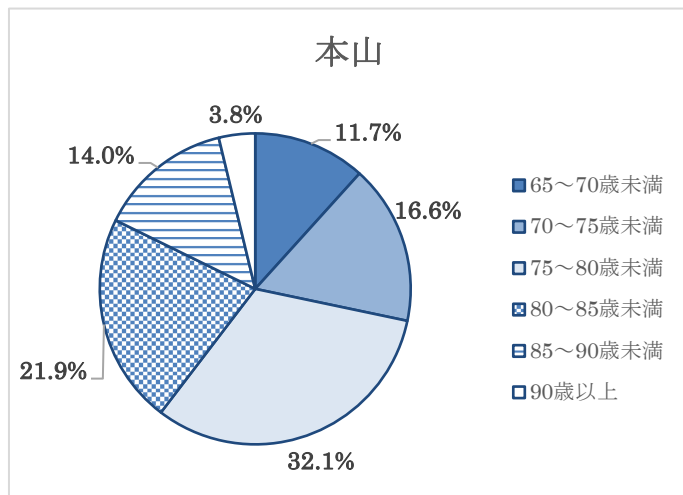
Ⅵ 参考資料（令和４年度山陽小野田市高齢者保健福祉実態調査結果）

1 調査実績

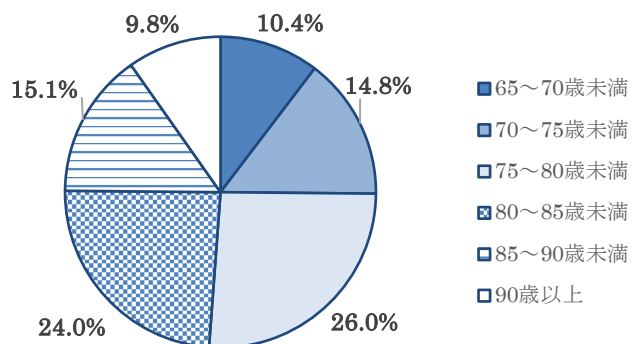
(1) 調査対象・小学校区別

	65歳以上 ひとり暮らし	75歳以上 ふたり暮らし	在宅寝たきり	総計
本山小学校	171	52	0	223
赤崎小学校	254	75	2	331
須恵小学校	523	163	1	687
小野田小学校	293	110	0	403
高泊小学校	218	66	3	287
高千帆小学校	496	206	0	702
有帆小学校	230	82	0	312
厚狭小学校	460	210	3	676
出合小学校	263	49	0	312
厚陽小学校	258	55	0	313
埴生小学校	600	99	2	701
総計	3,766	1,167	11	4,947

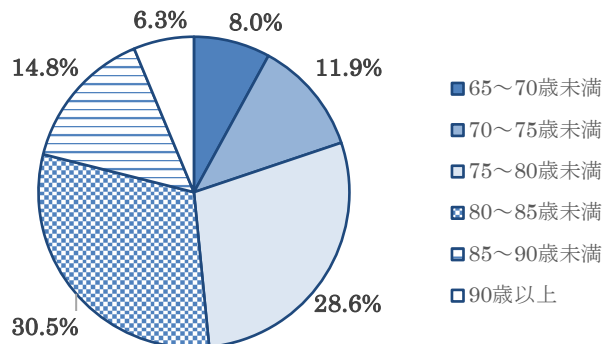
(2) 年齢構成・小学校区別



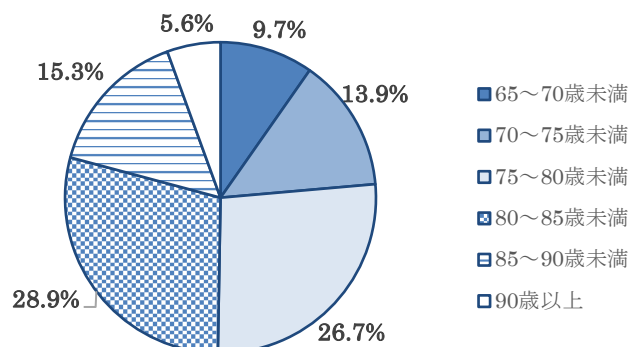
高泊



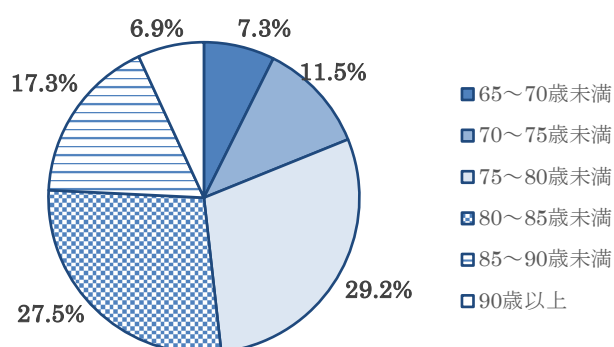
高千帆



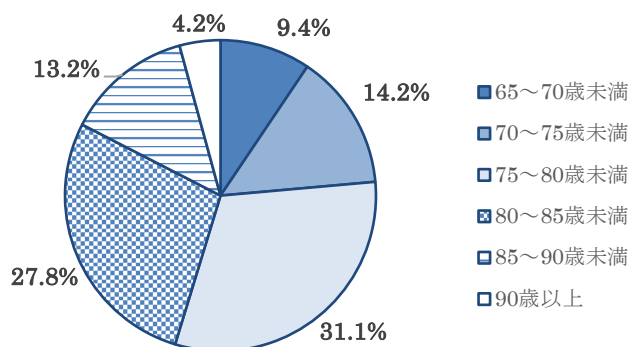
有帆



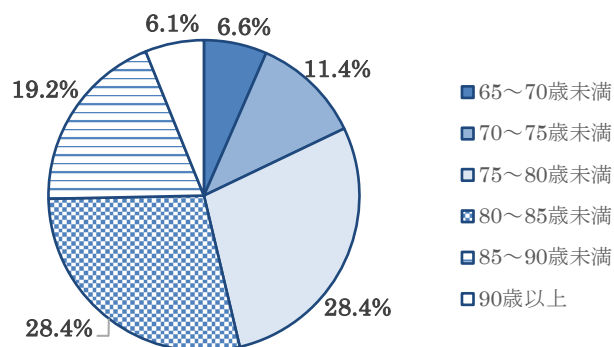
厚狭



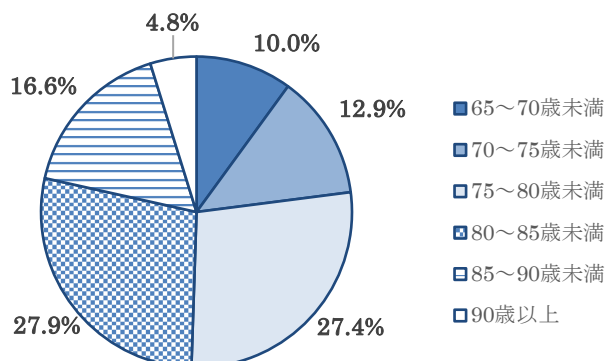
出合



厚陽

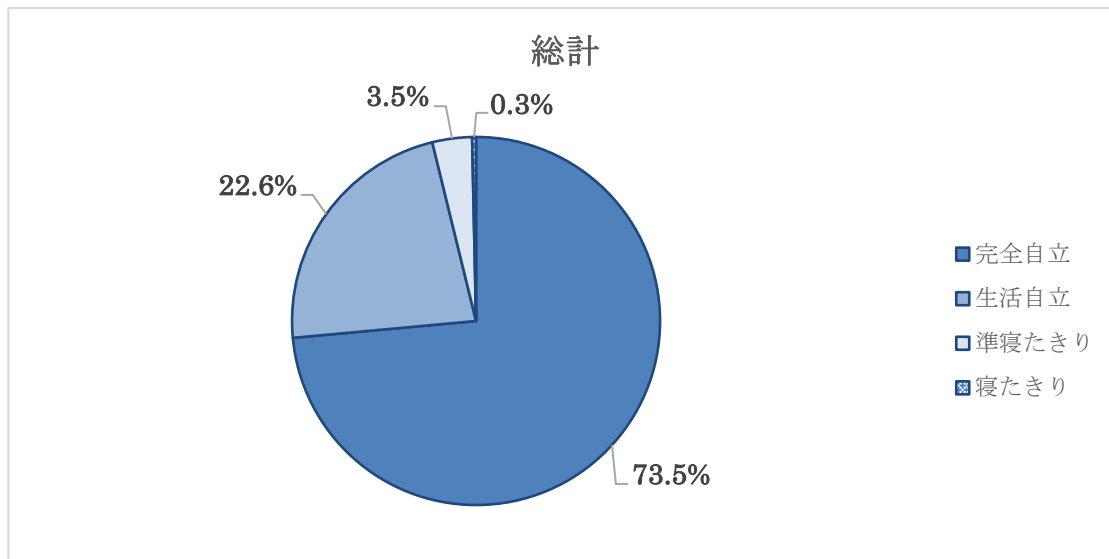


埴生

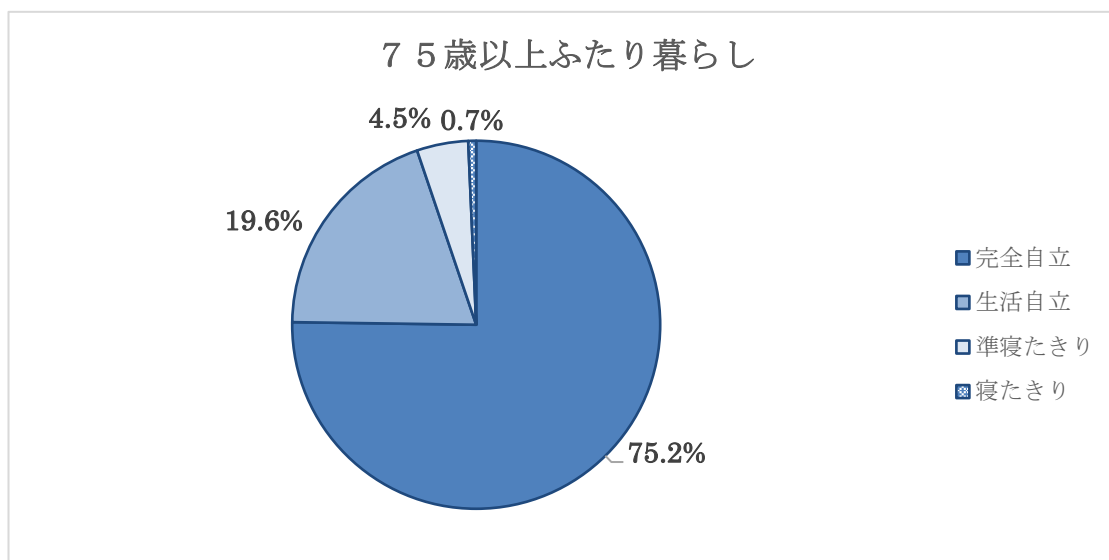
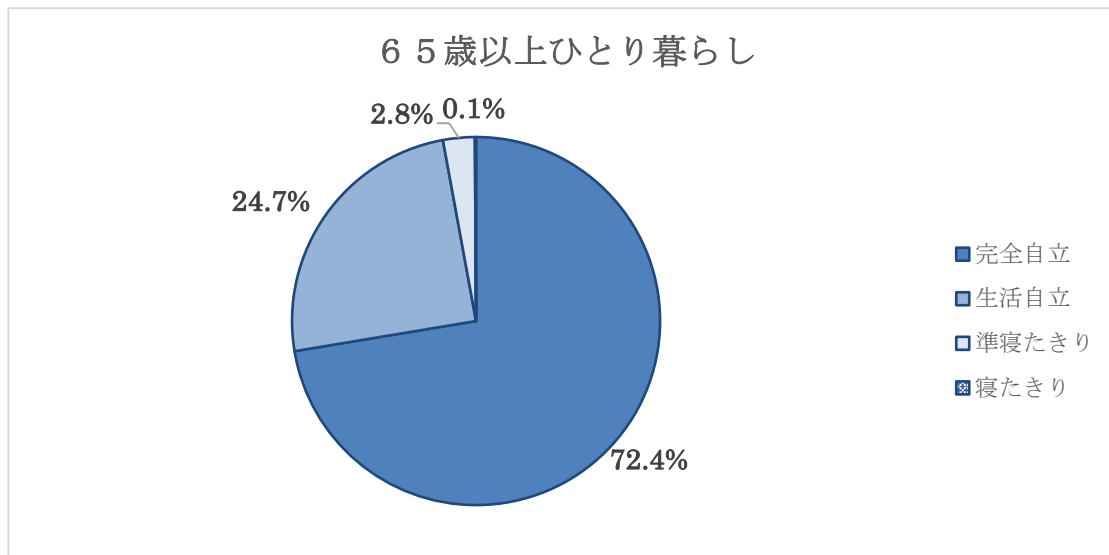


2 日常生活自立度

(1) 総計

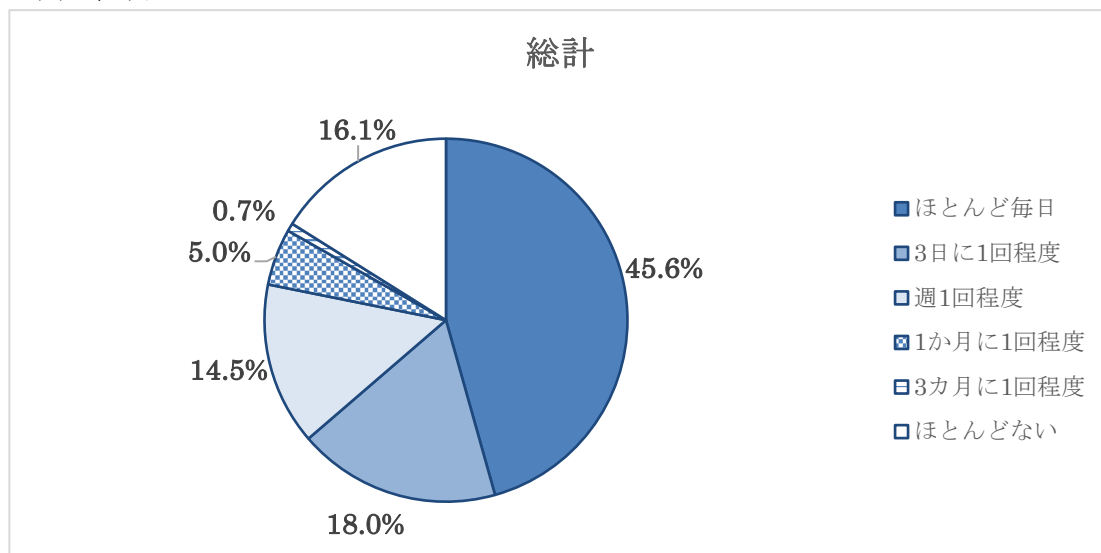


(2) 対象者別

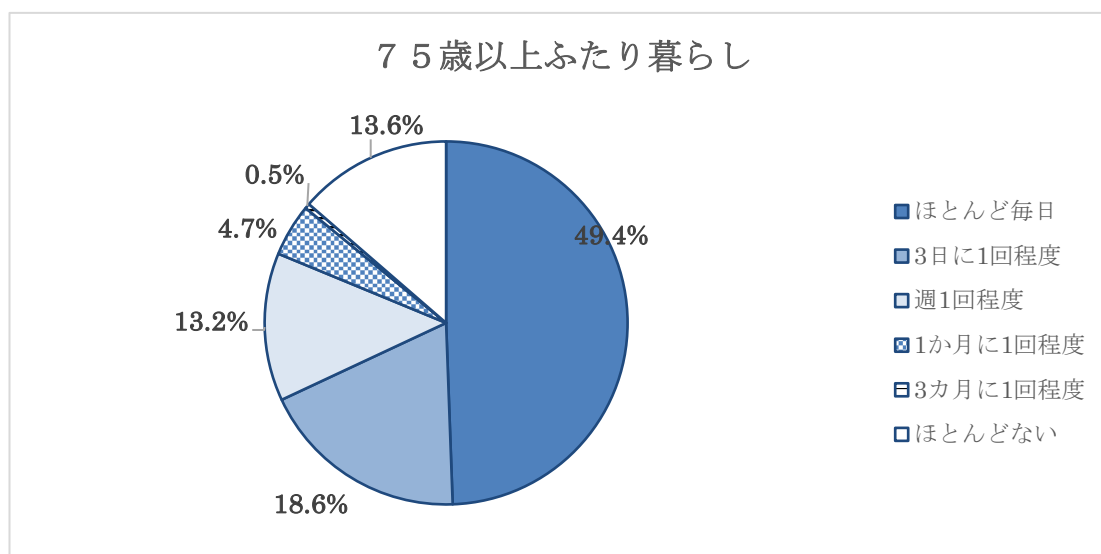
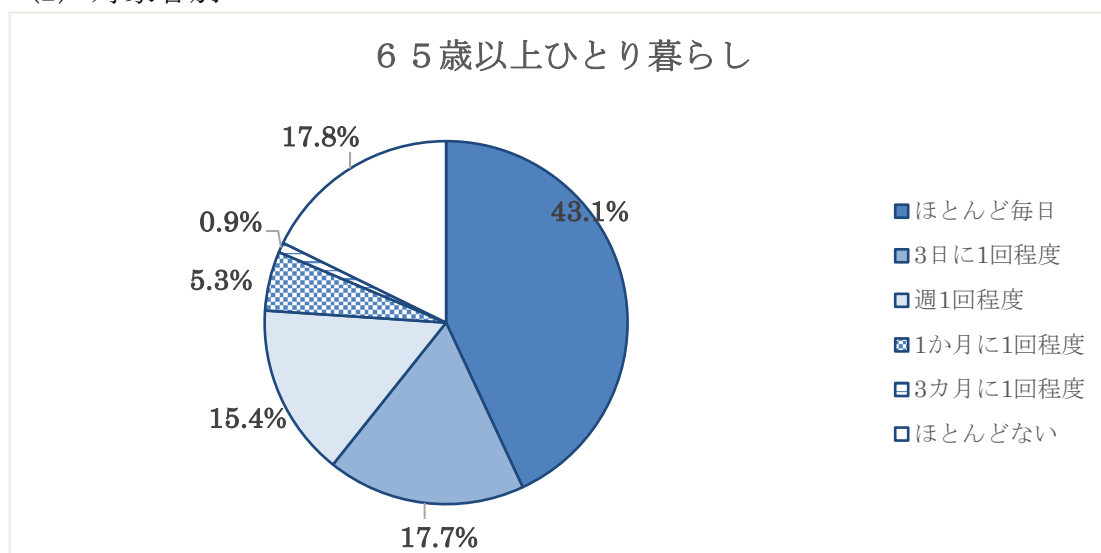


3 近隣との交流

(1) 総計

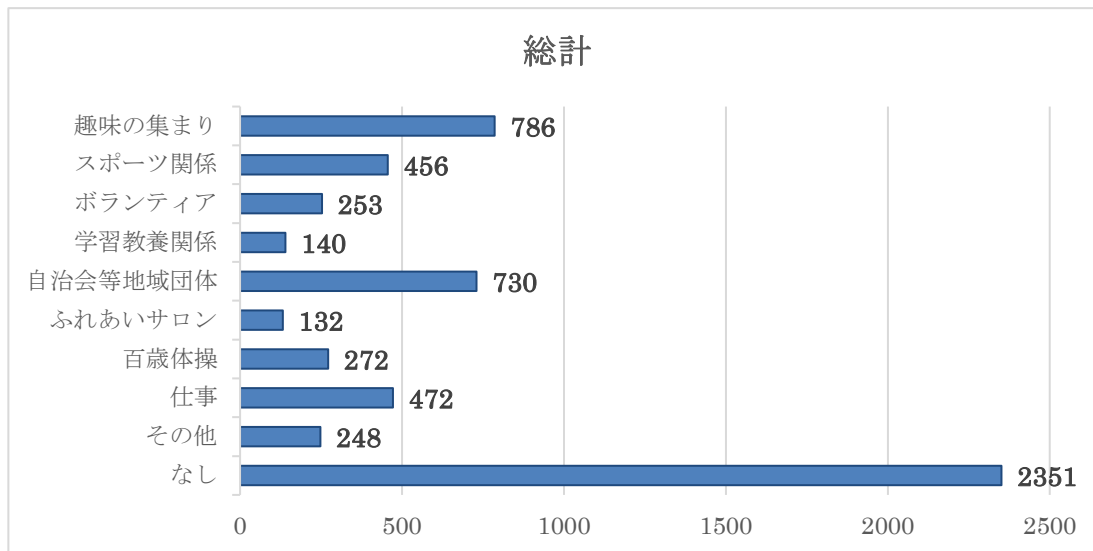


(2) 対象者別

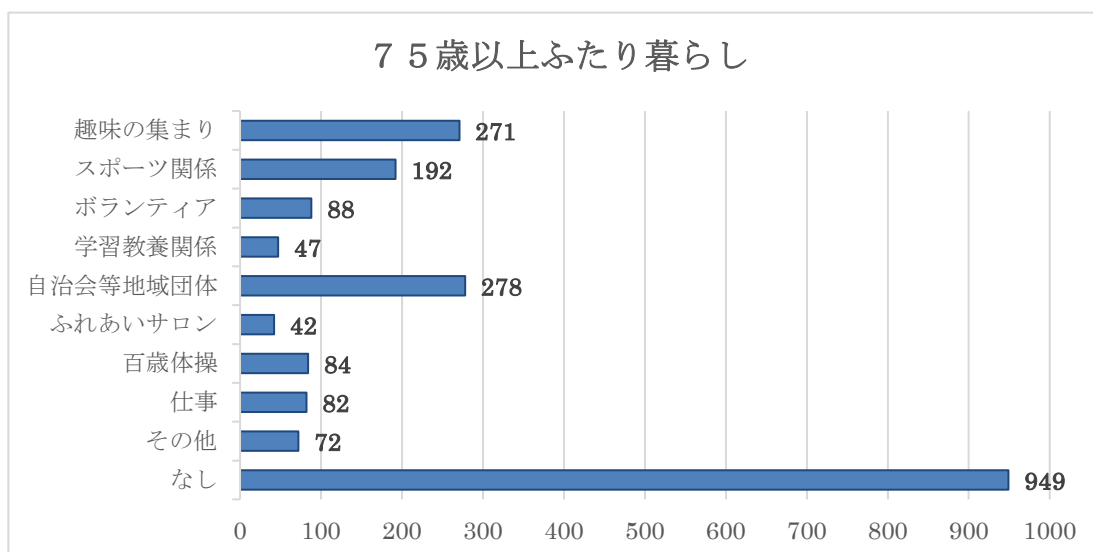
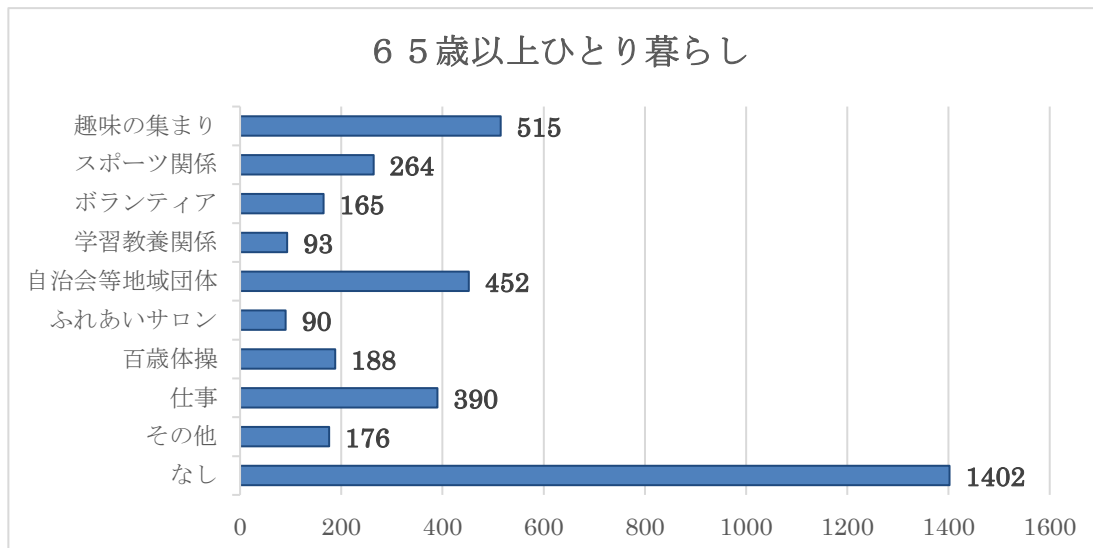


4 社会参加

(1) 総計

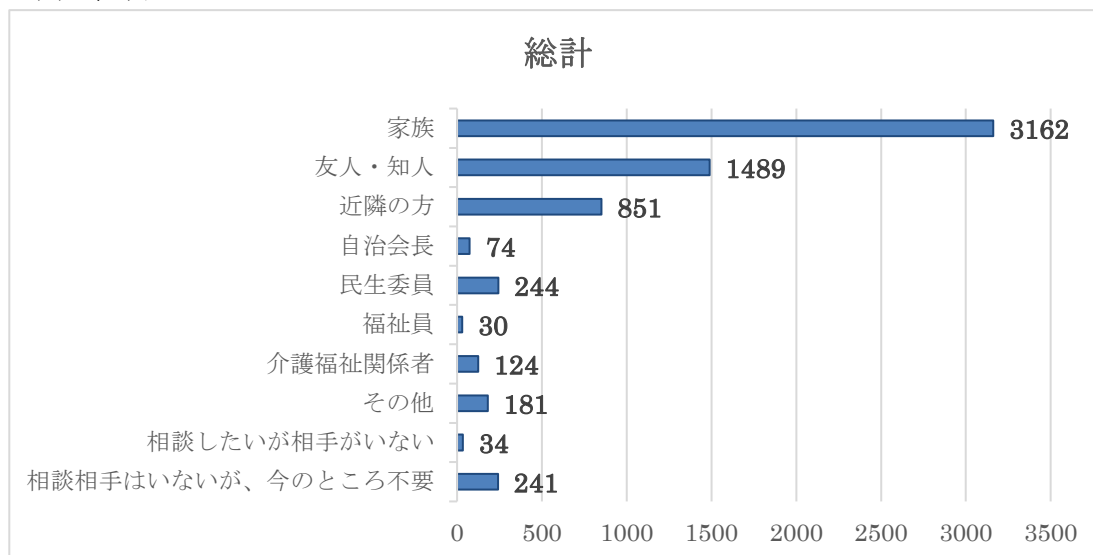


(2) 対象者別

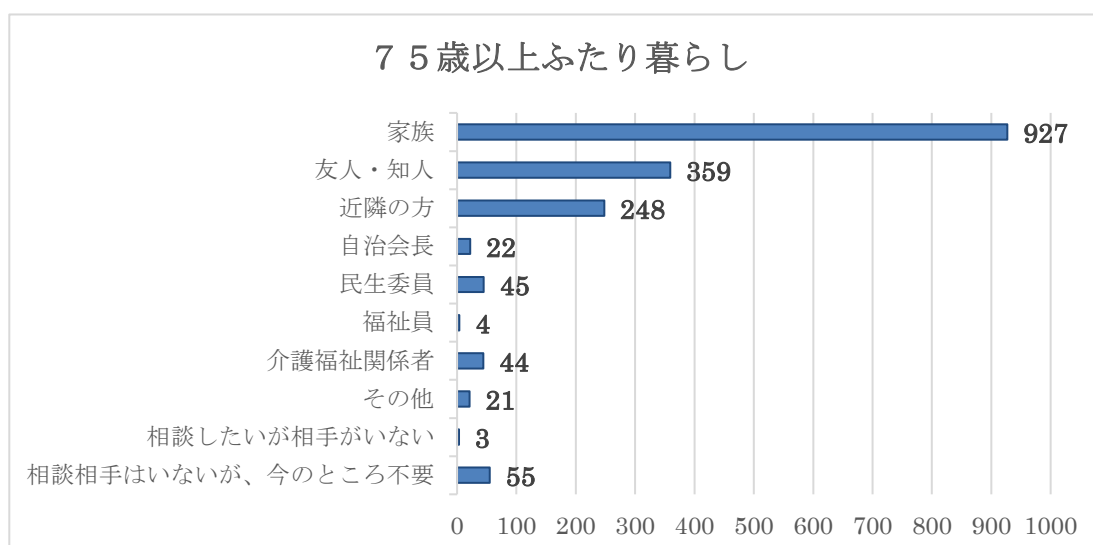
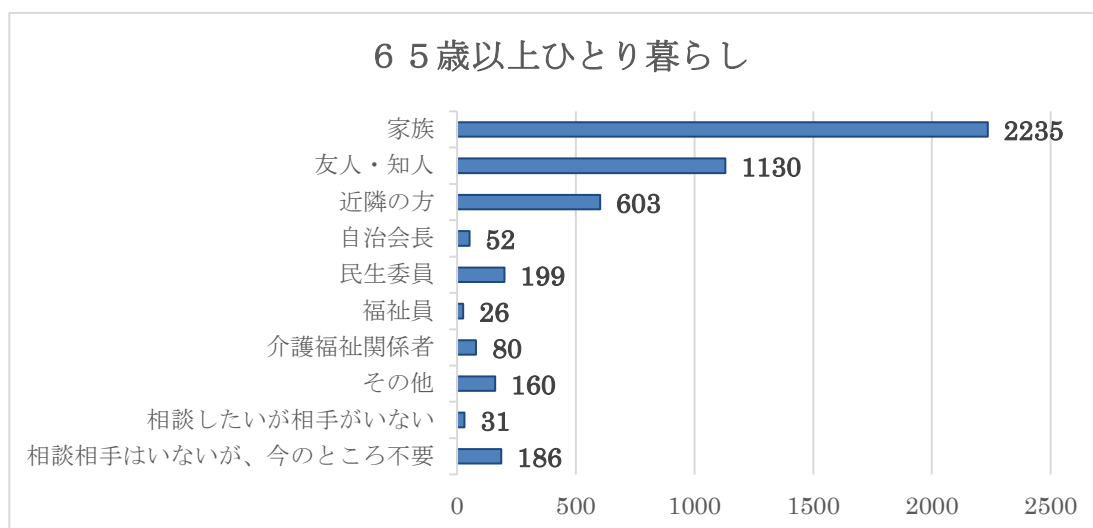


5 相談相手

(1) 総計



(2) 対象者別

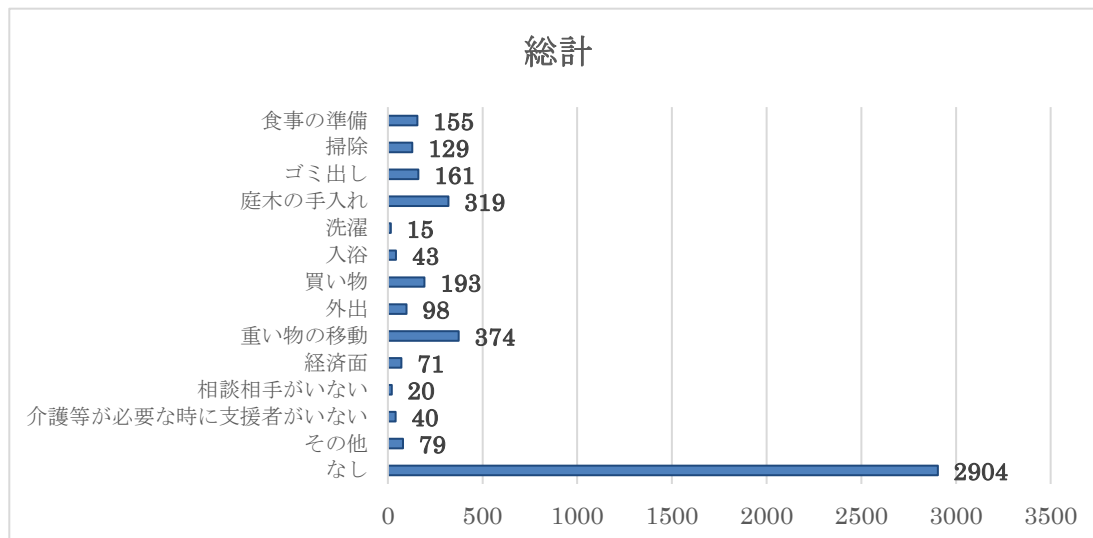


(3) その他の内容

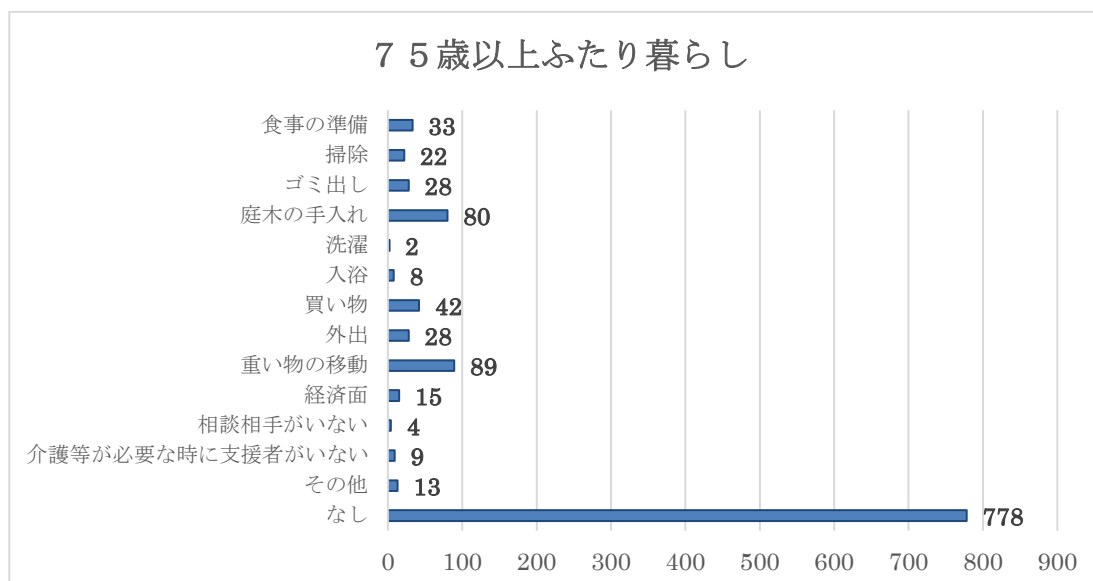
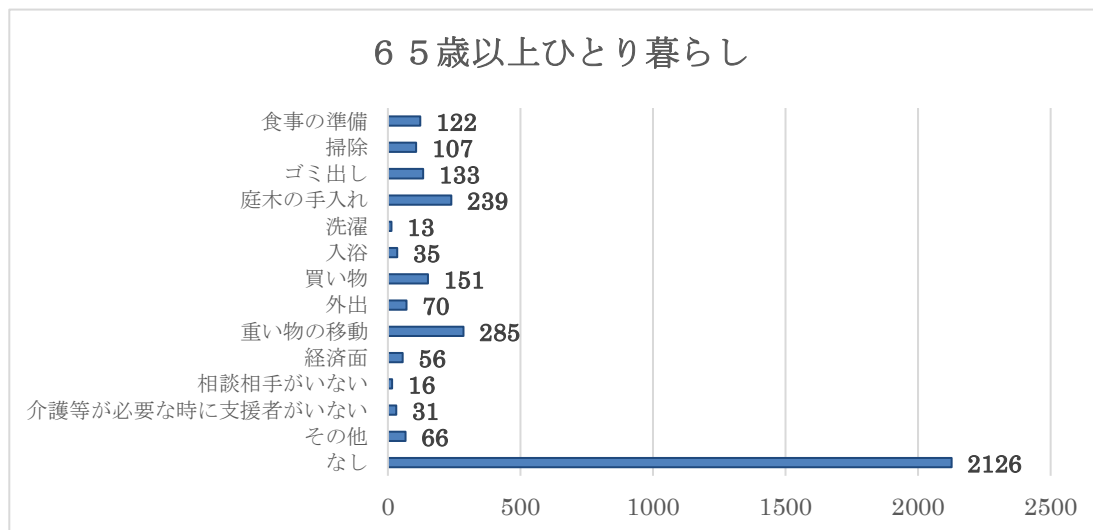
親族、宗教関係者、市職員、職場、医者、ボランティア仲間

6 生活上の困りごと

(1) 総計



(2) 対象者別

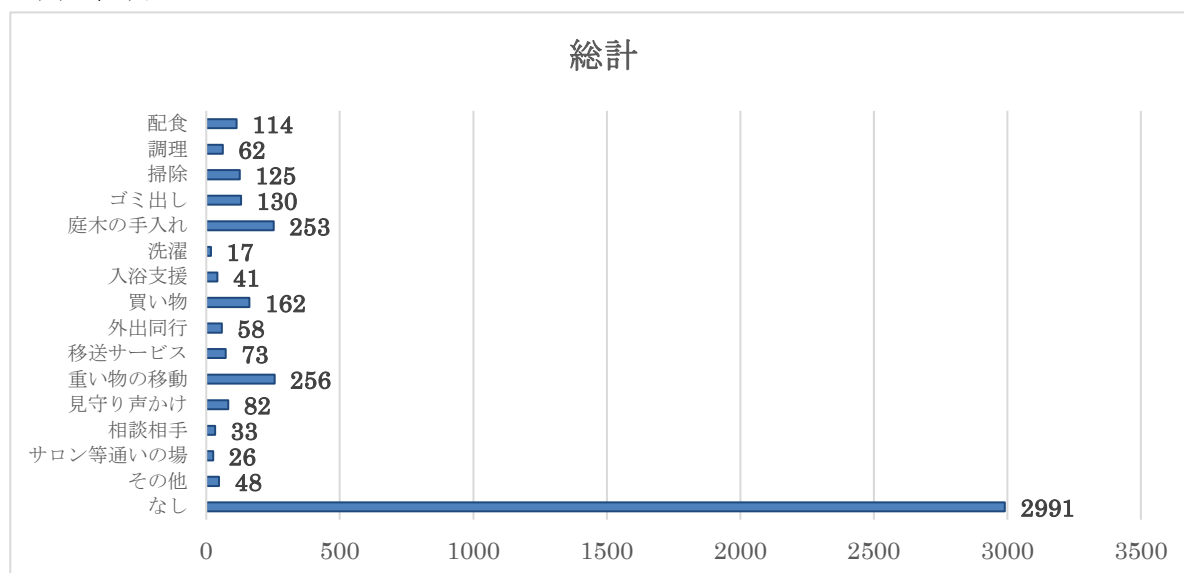


(3) その他の内容

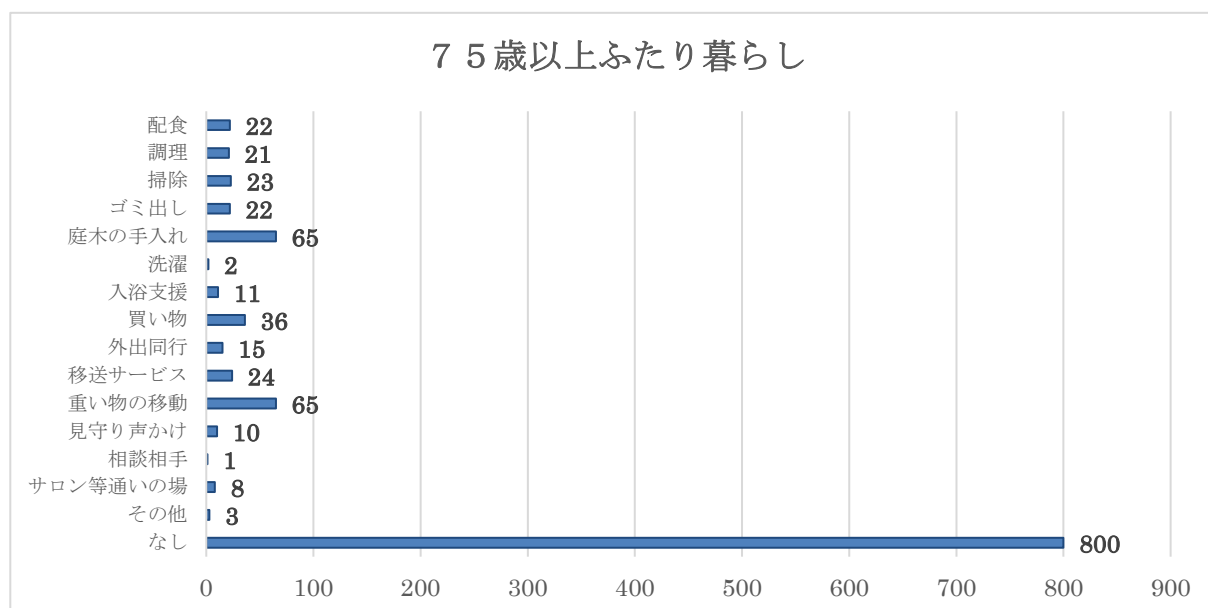
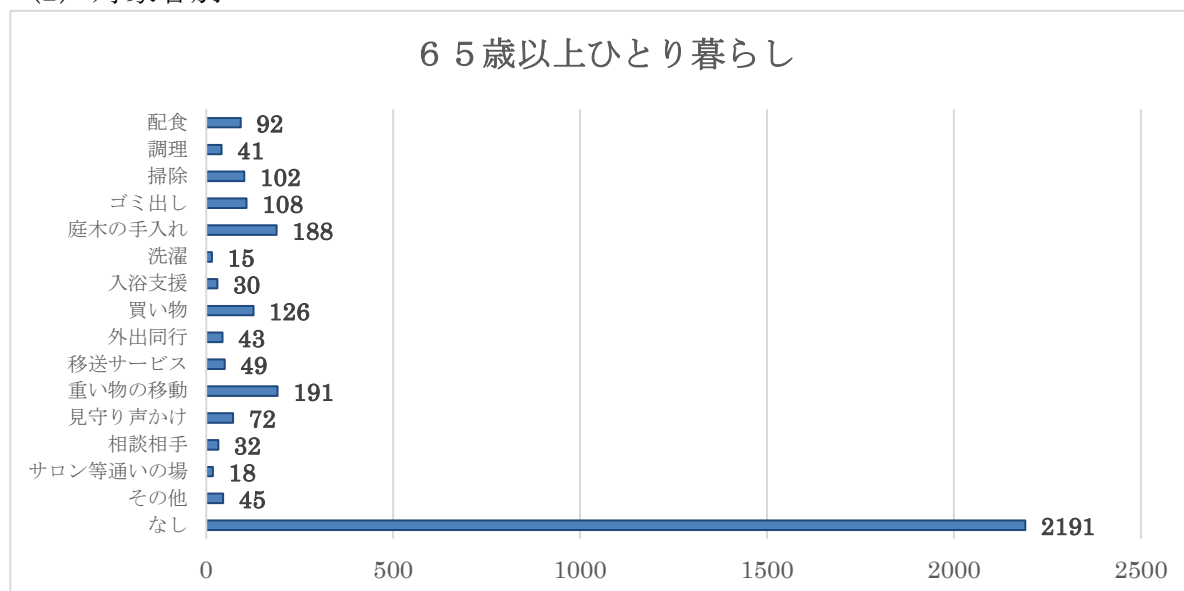
ペット、健康状態、田畑の管理、電球交換、大型のゴミ捨て、入浴、排泄、高所作業、シーツ交換、通院手段、家の整理、近くに店がない、空き地の草取り

7 在宅生活の継続に必要な支援

(1) 総計



(2) 対象者別

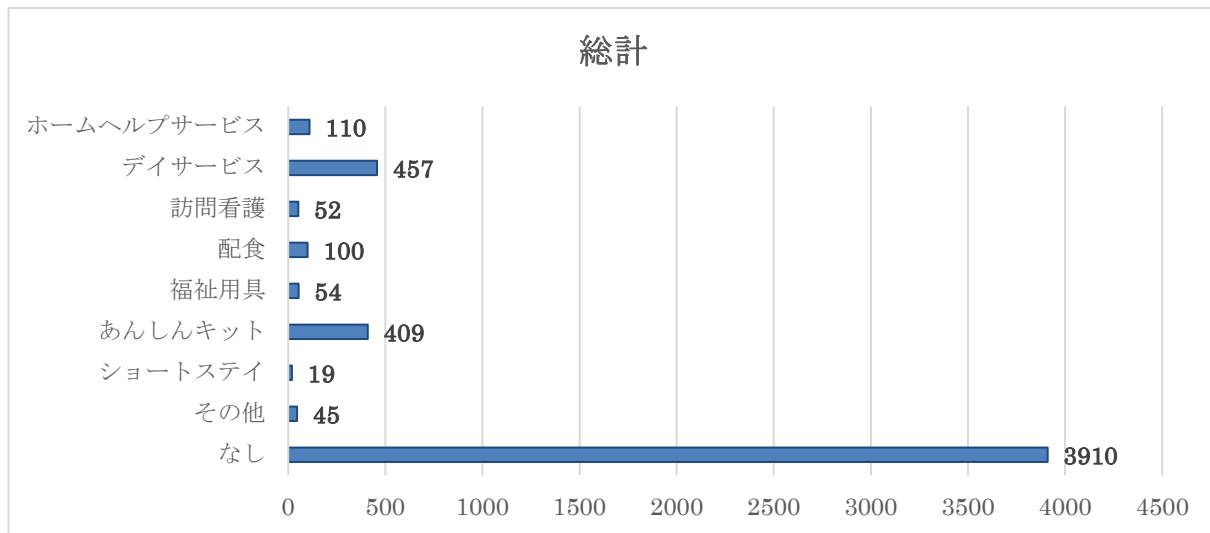


(3) その他の内容

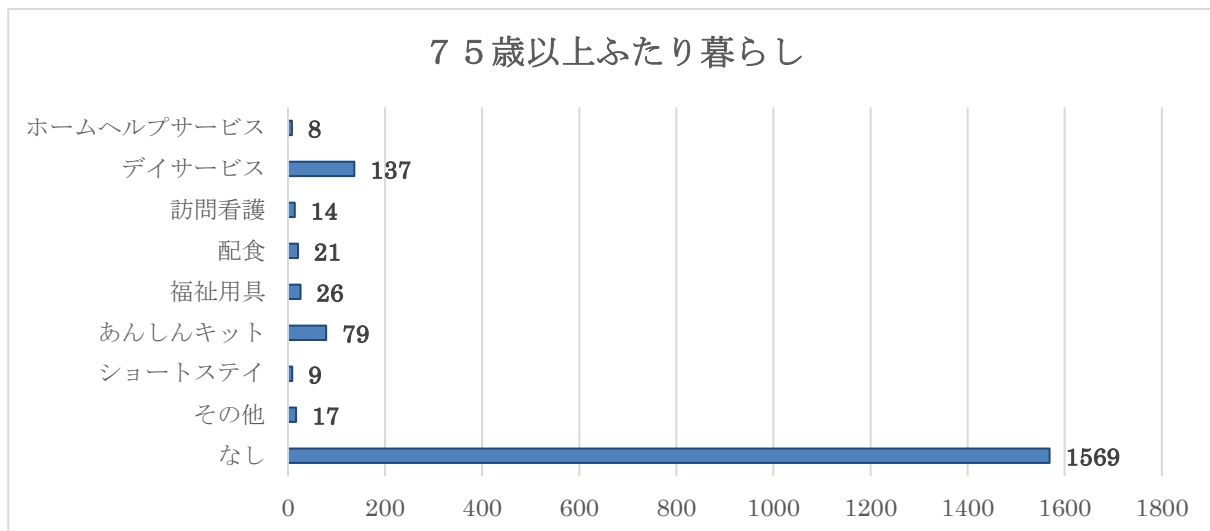
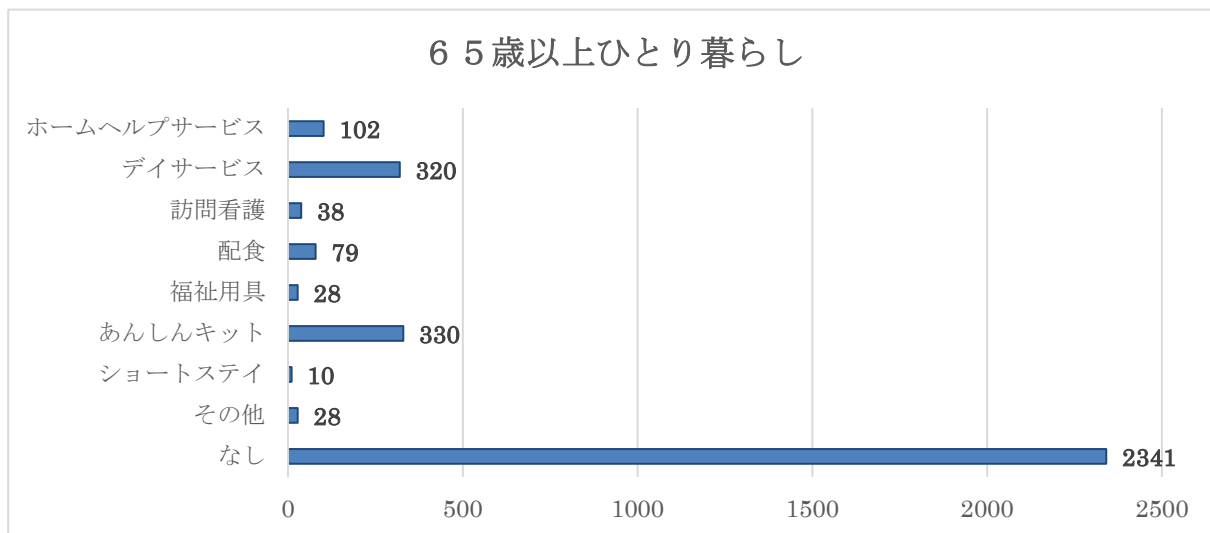
電球交換、シーツ交換、高所作業、経済面、ヘルパー、デイサービス

8 現在利用しているサービス

(1) 総計



(2) 対象者別

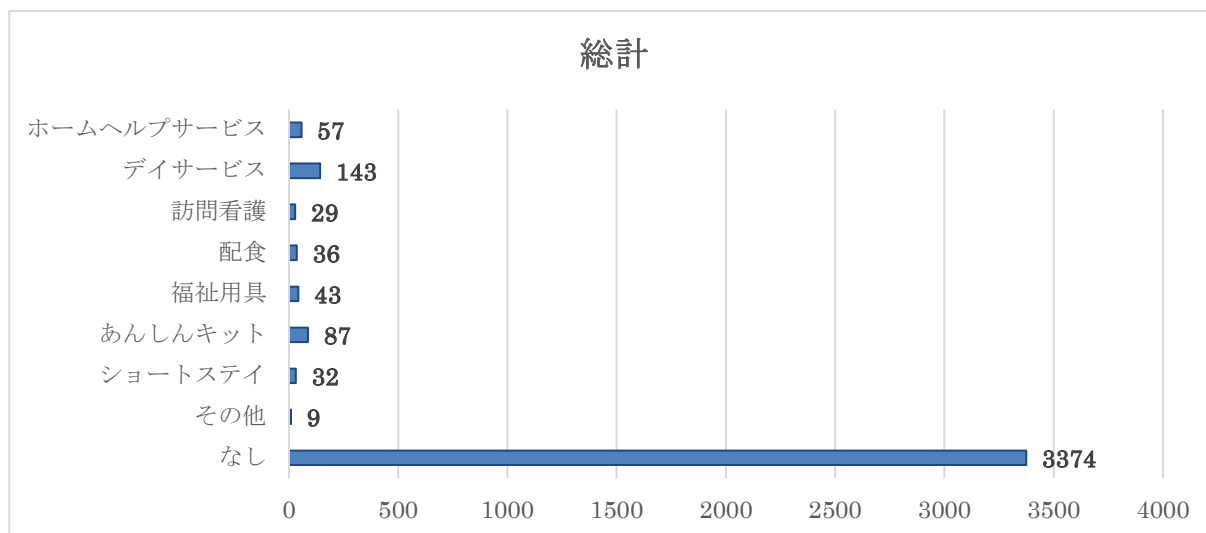


(3) その他の内容

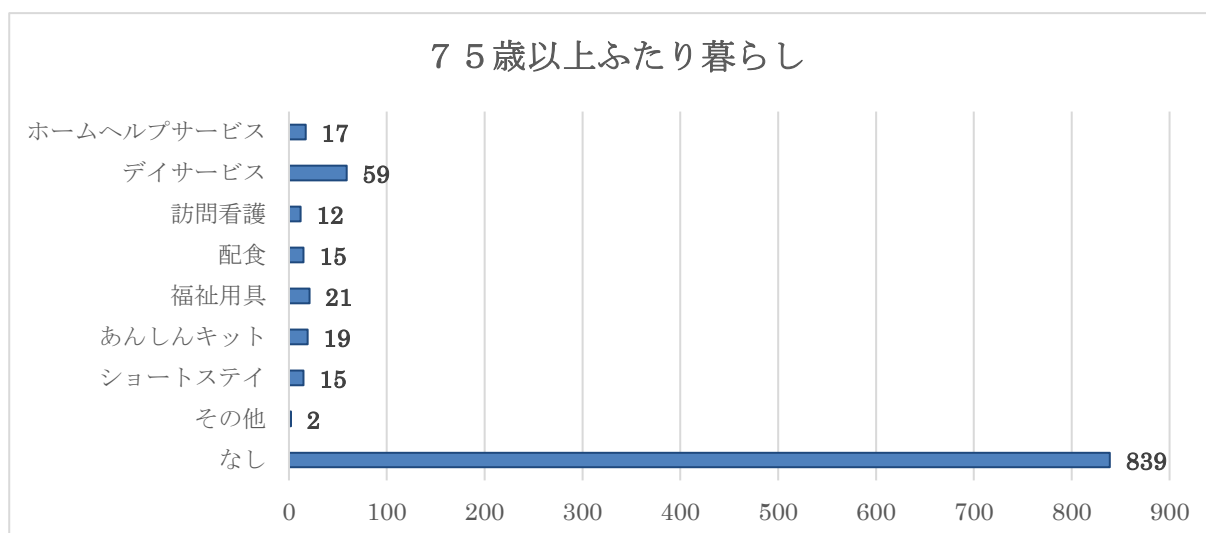
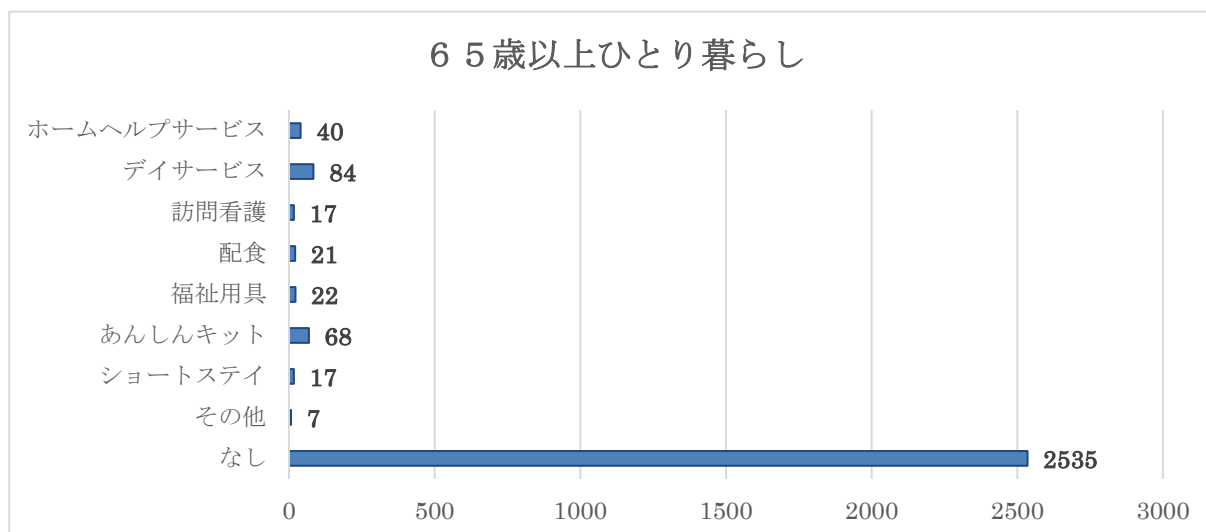
リハビリ、同行援護、安心相談ナースホン

9 今後利用したいサービス

(1) 総計



(2) 対象者別

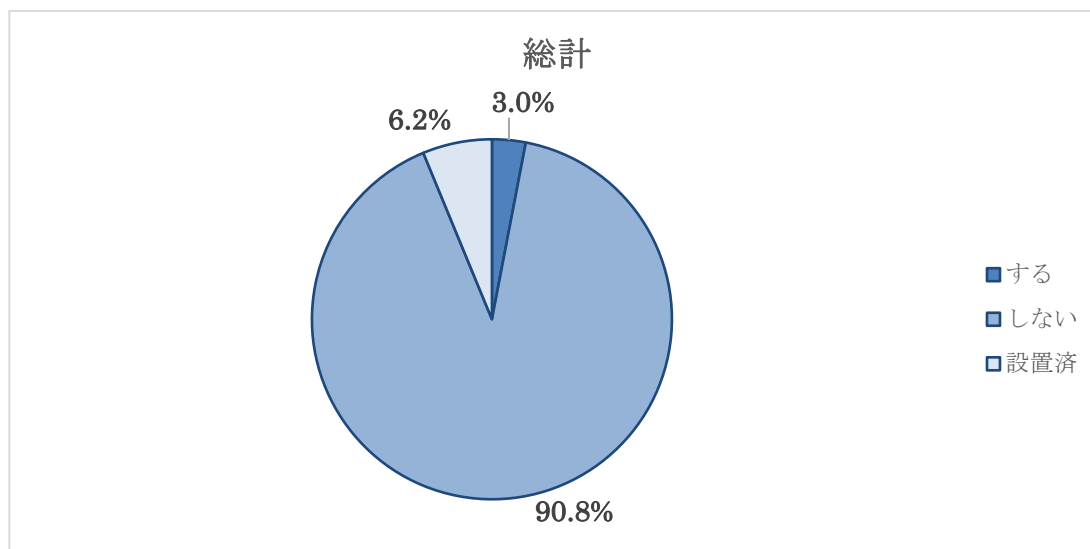


(3) その他の内容

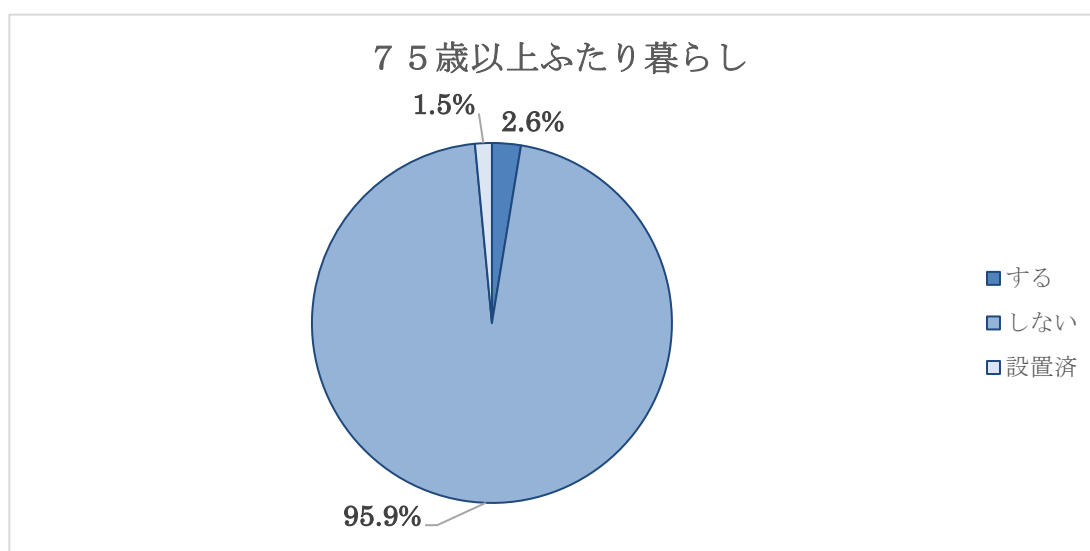
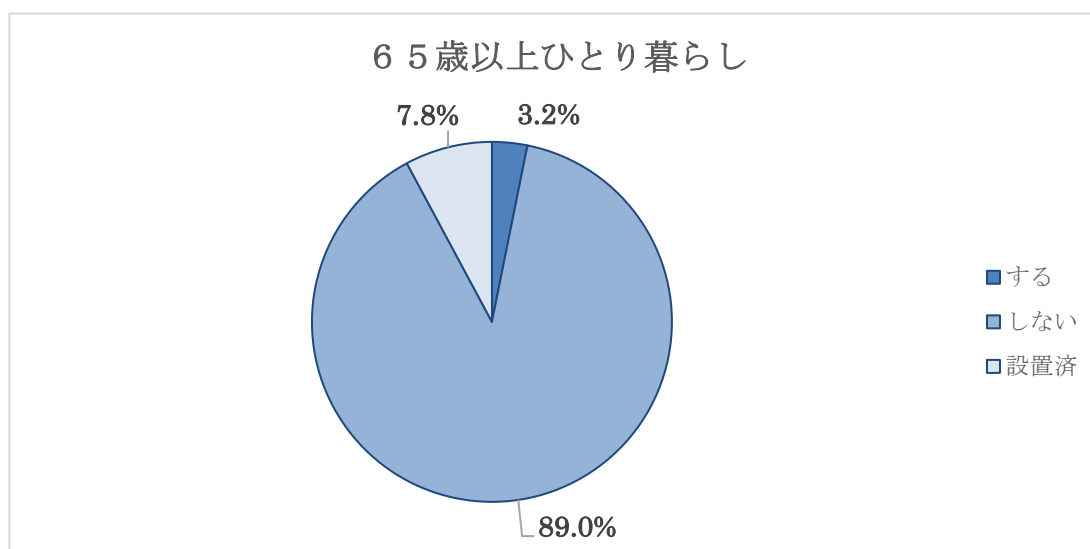
ふれあいサロン、運動

10 安心相談ナースホン

(1) 総計

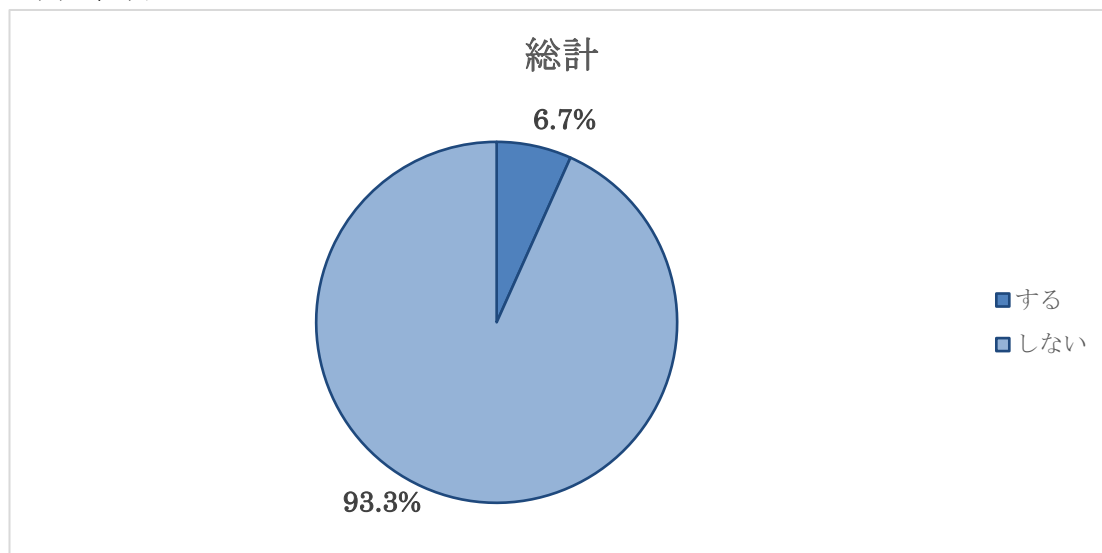


(2) 対象者別

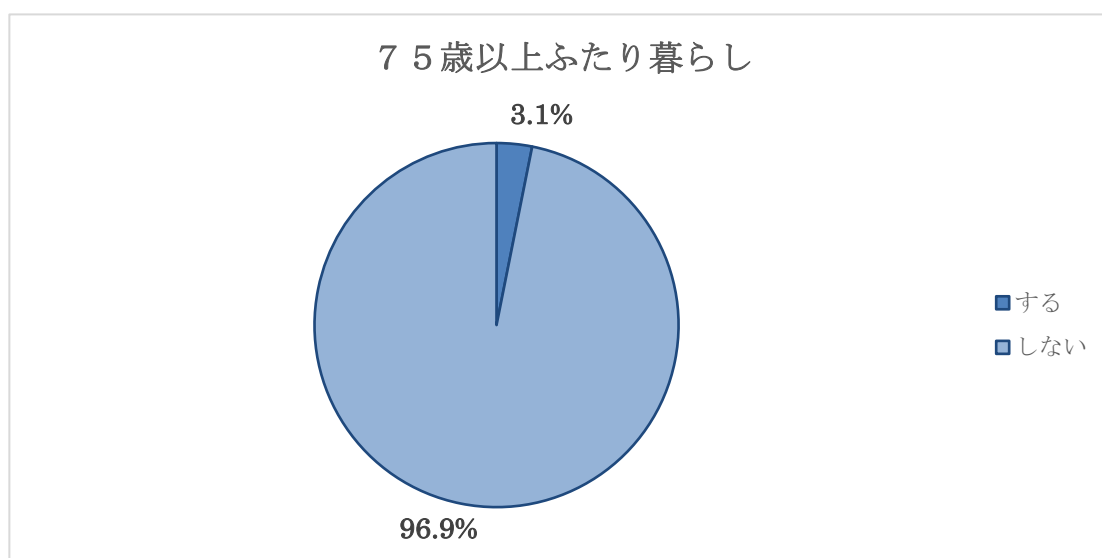
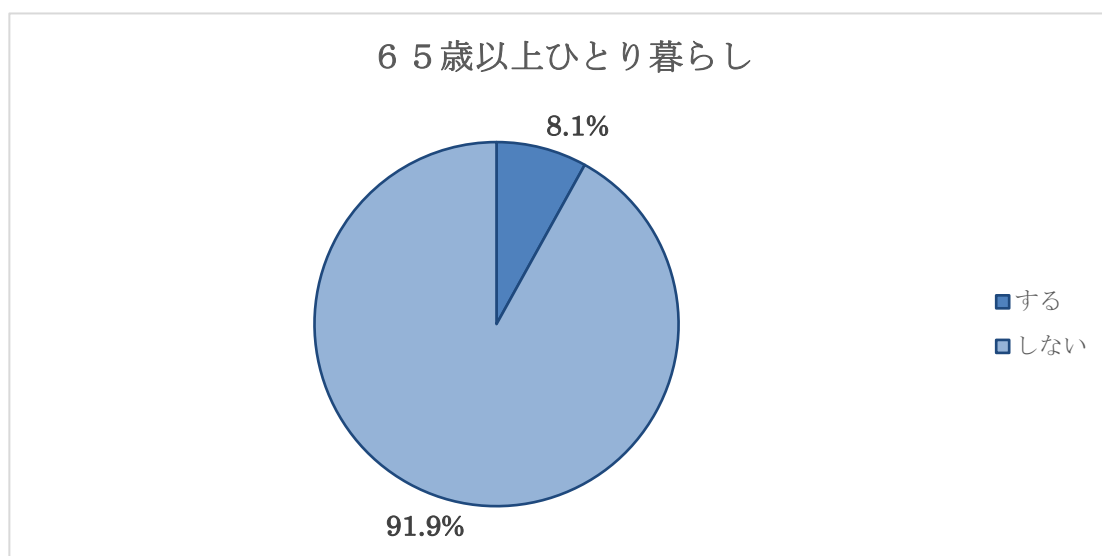


1.1 どうしちよるネット

(1) 総計

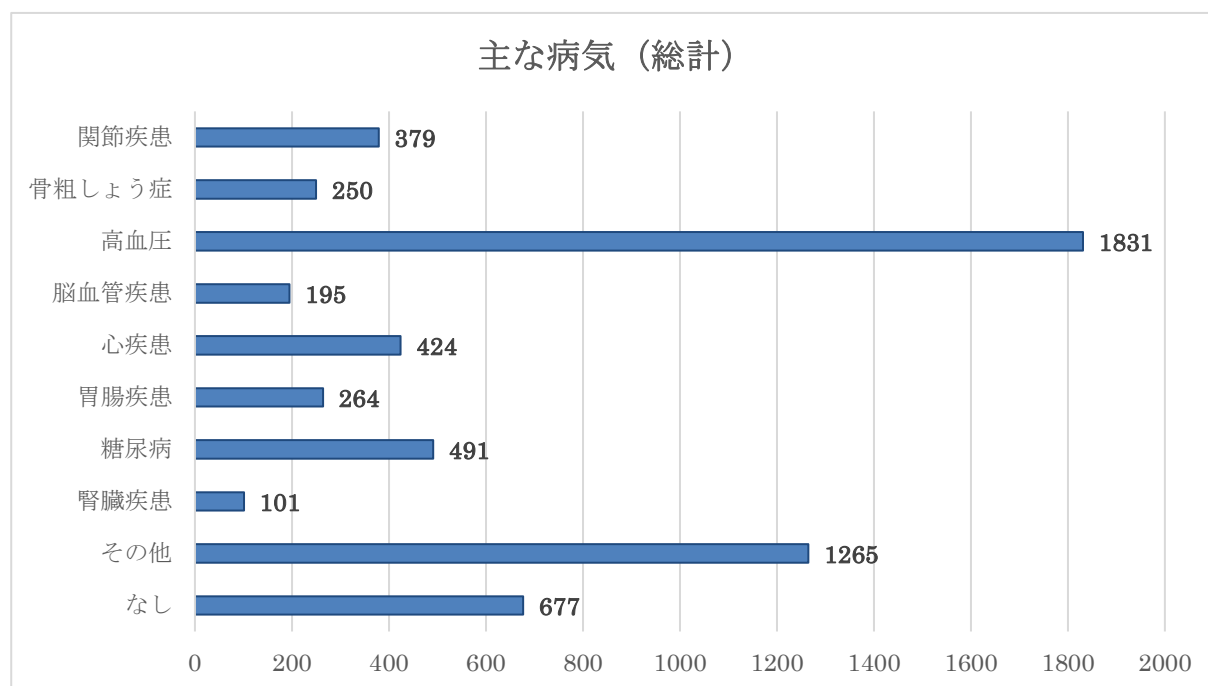


(2) 対象者別

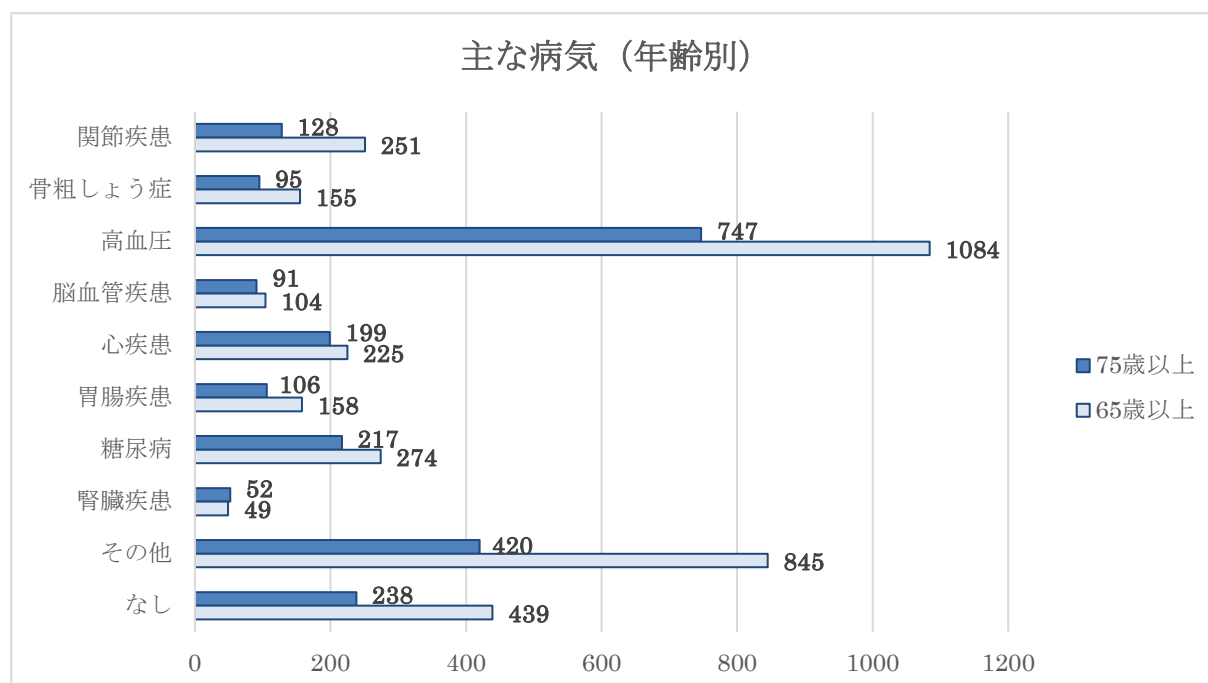


1 2 主な病気

(1) 総計



(2) 年齢別



(3) その他の内容

肺癌、尿酸、心臓病、喘息、骨折、肺気腫、難聴、胃癌、乳癌、子宮癌、神経痛、めまい、甲状腺、中性脂肪、痛風、ヘルニア、リウマチ、蜂窩織炎、肺炎、前立腺肥大、線維筋痛症、白内障、アレルギー、鬱、虚血性腸炎、シェーグレン症候群、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、膀胱癌、全身性エリテマトーデス、肝硬変、動脈硬化、統合失調症、さかまつげ、声帯ポリープ、便秘、血栓症、網膜静脈閉塞症、メニエール、高脂血症、むずむず脚症候群、脳梗塞、てんかん、腰痛、貧血、帯状疱疹、舌癌、狭心症、花粉症、大腸癌、ドライアイ、不眠症、脊柱管狭窄症、コレステロール、耳鳴り、白血病、気管支拡張症、緑内障、精神疾患、加齢黄斑変性症